

日本音楽財団の歩み

(2014年度～2023年度)

財団設立50年、楽器貸与事業30年記念

日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION

財団設立 50 年、楽器貸与事業 30 年記念

The 50th Anniversary of the Nippon Music Foundation
and
The 30th Anniversary of the Instrument Loan Project



Stradivarius "Paganini Quartet"

日本音楽財団の歩み(2014 年度～2023 年度)

目 次

《特別対談》 日本財団会長 笹川 陽平 ・ 日本音楽財団会長 海老沢 勝二	2
設立50年を迎えて	10
沿革(財団50年の歩み)	12
巻頭写真集(2014年～2023年)	18
他団体との共同事業(演奏会の開催)について	24
I 2014年度から2023年度	
2014年度から2023年度の10年間を振り返って	26
日本財団笹川陽平会長ブログより転載 「ちょっといい話」その111 -日本音楽財団の楽器貸与事業-	30
II 2014年度から2023年度の実施事業	
1 保有楽器の保守・保全	32
2 保有楽器の貸与	32
「ストラディヴァリウス」と「グアルネリ・デル・ジェス」について	35
日本音楽財団保有楽器一覧(2024年3月末現在)	38
オーストリア国立銀行のインタビューに答えて	39
演奏家の声(貸与された楽器の感想等)	46
楽器貸与中の演奏家からのお祝いメッセージ「財団設立50年、貸与事業30年」	50
3 演奏会の開催	56
演奏会の開催(2014年度から2023年度)	57
4 音楽助成事業(2014年度から2023年度)	106
助成事業(主にパートナーの育成枠)のうち被貸与者出演協力の演奏会一覧	107
III 理事、監事、評議員、委員名簿	
理事、監事、評議員	110
楽器貸与委員	113
事業運営委員	114
IV 資料	
① 日本財団助成金実績一覧	116
② 事業費内訳(2014年度～2023年度)	117
③ 楽器貸与状況(2014年度～2023年度)	118
④ 主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)	121
⑤ 「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み	137
⑥ 「チャリティ・コンサート」の開催一覧	147
⑦ 「青少年のためのコンサート」の歩み	150
⑧ 「オーケストラとの共演コンサート」の歩み	152
⑨ 保有楽器の被貸与者によるCD等一覧(2014年度～2023年度)	155
⑩ 音楽助成実績一覧(2014年度～2023年度)	159
⑪ 「ランチタイムコンサート」の開催一覧	162
⑫ 日英表記一覧	165



日本財団 笹川陽平会長

日本音楽財団 海老沢勝二会長

司会 私ども日本音楽財団は、1974年3月にアマチュア音楽の振興普及のために設立され、2024年の3月に設立50年を迎えます。また、現在、我々の活動の軸である楽器貸与事業は、同じく30年を迎えます。2024年は、二重の記念の年となります。貸与事業を始めたのは1994年ですが、笹川会長は日本財団の理事長でいらっしゃった頃かと思います。笹川会長より「弦楽器を購入してその楽器を貸与する事業を始められたらどうか」とご提案いただき、事業がスタートしたと聞いております。このご提案を当時の日本国民音楽振興財団（日本音楽財団の前身）にされた流れについてのお話を伺いたいと思います。その前に、海老沢会長からひとこといただけますでしょうか。海老沢会長は2018年6月に日本音楽財団の会長に就任され、それから6年が経ちます。それまでは日本音楽財団の評議員を約10年されていますので、16年間日本音楽財団に関わってきたことになります。

海老沢 今日はお忙しいところ、ありがとうございます。お蔭様で私どもは、日本財団に長年お世話になり、笹川会長のご尽力によって文字どおり発展させて頂きました。この50年を振り返りながら、次の新しい50年を目指すためにも、我々はこれを後輩にこのような立派な日本の文化事業をさらに発展させるための一里塚という形で伝えていきたいと思います。そのためにこの節目の年に、笹川会長からこれまで日本音楽財団をどのようにして育ててきたか、また、これから何十年、先頭に立って、また導いていただけるのか、そのあたりのことを今日はお伺いして、今後のために参考にいたしたいと思い、お忙しいところお出でいただきました。日本は、戦後、新しい日本を作っていくために、文化によって世界の平和を築いていくんだという高い理想をもって一致団結し、そうした中で日本財団が発展してきたと思います。文化事業としての一部である日本音楽財団を、まずどのようにしてやってきたのか。その辺のいきさつについて、笹川会長からお話を伺い

ながら話を進めていきたいと思います。

笹川 少し歴史的なところを振り返りますと、先ほどお話がありました日本国民音楽振興財団の初代会長は日本財団の初代会長であった笹川良一氏です。そして2代目会長をやっていたのは、愛知県出身の江崎真澄さんという代議士さんでした。彼から自分もそろそろ年齢もきたし、いろいろ他の仕事もあるので、この財団を預かってくれないかというお話がありました。

当時は財団法人を作るということは実は大変な時代で、すべて各役所の許可制で、今のように公益法人改革で簡単に作れる時代ではありませんでした。

文科省の管轄の財団でしたが、これを引き受けて新たに何をするのかということで、1、2年は確か吹奏楽のことをやっていたのですけれども、私達の日本財団の中で特に欠けているのは文化活動でした。福祉や海の問題などが中心のテーマで、文化活動をどうするかということで、バレエの支援ですとか、能の支援ですとか、あるいは邦楽の財団を作ろうとか、いろいろ私自身悩んでおり、その一部はやってきました。ある程度、限定的なもので、年に1、2回海外に能や太鼓チームを派遣したり、国内ではバレエとか様々な舞台芸術を応援しましたけれども、結局は切符が売れない問題で、何か世界的にもっと大きな影響力のある文化事業はないものかと考えておりました。当時、丁度バブルに入る時で、日本が、当時で一兆数千億円というお金で海外の絵画を買いあさりまして。

海老沢 バブル時代ですね。

笹川 特に、印象派の絵画なら何でもいいというようなことで、某氏が130何億円の絵画を買って、死んだらどうするんだって聞かれ、「一緒に焼いてもらう」と言って国際的に大批判を浴びたことがありました。ほとんどの絵画が銀行や貸金庫におさまっちゃっている中で、私はヨーロッパによく出かけておりましたので、冬になると音楽会、オペラが盛んで、何とか弦楽器を収集してそれを世界の人にタダでお使い頂くということになれば、相当世界的にインパクトのある文化事業になるのではないかと考えました。

当時、私の父で日本財団初代会長の通訳をしており、サザビーズ日本支社長もしていた塩見和子さんに「僕はこういう仕事をしたいんだけど手伝ってくれないか」と声をかけたところ、「喜んで協力します」と言っていたところに、アメリカのコーコラン美術館が『パガニーニ・クアルテット』なるものを売りに出すと。実は『パガニーニのクアルテット』がどういうものか知識がなかったんですよ。

ストラディヴァリウスのクアルテットは世界で6セットあるそうですが実働しているのは、日本音楽財団のが唯一だそうです。売りに出ているのが、パガニーニ（ヴァイオリンの名手）がコレクションしたクアルテットだという。大変なもんだということで、じゃあそれをとにかく手に入れようではないかということになり、交渉にあたらせた結果、「我々の趣旨が、単なるコレクターでもなければ、商売人でもないという、無料で世界のアーティストに貸す」ということで、コーコラン美術館は日本音楽財団に楽器を売却することを決定してくれました。



確か当時の日本円で16億円強だったと思うのですが、これらが手に入ったことで、当時、週刊誌には、「えらい高い買い物をしたもんだ」といって批判をされたことがありました。

当時は円高でもあり、順調に手に入ってきました。「笹川陽平さんは自分の趣味で多額の金を使って楽器のコレクションをやっている」というような批判が聞こえてくるので、「もうそろそろ5挺でいいのではないかな。10挺でいいのではないかな。」そのたびに職員からの意見がありましたが、私は返事をしませんでした。私は別にクラシック音楽が趣味でもありませんし、楽器

など触ったこともありませんでした。

非常に順調に手に入り、20 挺まできたときに、急速に値段も上がってまいりました。楽器を買うためのファンで金儲けをする者やオイル成金も出てまいりました。次の楽器を買おうとしても、もう事実上無理な値段になってまいりましたので、ここで一つの区切りということになったわけです。

やはりある程度の技術力を持った演奏家は、それから上は楽器によるということ、また、日本音楽財団の楽器は質がいいので、腕のいい人でないといい音色が出ないという、相関関係があると後で知りました。

オーケストラにソリストが出たときに、楽団員が一番最初に気にするのは、ソリストがどんな楽器をもっているのかということが、ひとつの興味の対象になるようで、「そんな楽器持っているの！」と演奏の時に尊敬というわけではないでしょうけれども、きまづい思いをしないのでできる要素にもなっているようです。

その間にいろいろなことが起こってきました。アメリカでは、昔の楽器ですから象牙が入っているのがよくないとか、マダガスカルの木を使った一部分がよくないとか。良い楽器を持って外国に入国し高く売って、安い楽器を持って帰国するふらちな人も出てきたりして、なかなか演奏家自身もお使いいただく上で、責任もあって大変だったと思うんです。

特にあまりにも海外を優先してやってきたので、これからは日本国内でもご理解を頂き、もっと未来志向で考えて頂くには、長年 NHK でご苦勞をなさってこられた海老沢さんにぜひ会長になって頂くことが次の発展に重要だということで、無理やりお願いをしてお引き受けを頂き、私達も安堵をしているところです。本当に日本国内でも音楽の振興をきめ細かくやって頂き、日本の弦楽器奏者は世界的にも、お陰様で超一流のところ随分出てくるようになりました。

300 年、350 年前の楽器が今も使われているという大変不思議な事で、日本音楽財団でしっかり管理をして頂いている賜物だと思います。これからも宜しくお願ひしたいと思ひます。

海老沢 楽器といひますと日本では現在ではヴァイオリンとピアノが主流であります、江戸時代の終わりから明治時代になって、いわゆる文明開化の象徴と

してヨーロッパ、アメリカなどから、洋楽器が日本に入ってきました。それまでは笛太鼓や箏、三味線が中心の日本独特の音楽でした。

音楽と言へば、世界どこの民族も国もそれぞれの文化を持っていますからね。そういう歴史の積み重ねで各国とも発達しているのでしょうけれども、日本の場合はずっと笛、太鼓、鼓、箏、三味線など、日本独特の或いは中国や朝鮮の影響を受けてやってきました。世界的にみると、それぞれヴァイオリンやピアノなどそのほかいろいろな楽器を改良しながら発展してきました。



前に私が NHK にいた頃、中国に行きましたら、中国は当時、鄧小平の時代、毛沢東・四人組が失脚した後の政権と話しますと、今まで西洋音楽は中国では禁じられていたんですね。私はすぐに N 響を中国に連れていきまして、N 響の演奏会をしましたところ、ホールといひますか、劇場に副首相クラスの方々を招待したのですが、客席からジュースの缶などが演奏中に転がってくるんですね。「恥ずかしながら、まだまだ中国はこういう洋楽器を使ったオーケストラの演奏会は少ないんだ。了承してください」といひ話を伺ひましたね。それくらい中国は一時洋楽器が禁じられてね。副首相が言っていました、四人組当時の中国は洋楽器を天井裏に隠したんだそうです。将来なんとかなるから、今捨てないで。そういう歴史を踏みながら、中国もだんだんクラシック音楽が盛んになってきたんです。韓国もそうですけれどね。

日本の場合は、特に戦後いろいろ工夫し、ファンも増えましたが、当時は洋楽器が高かったんですね。

笹川 ストラディヴァリウスの名を、私たちが知るよ

うになったのは、辻久子さん(ヴァイオリニスト)が「家を一軒売って買った」というので、そういう「楽器」があるんだというのが、私が知り始めた最初でしたね。

海老沢 千住真理子さん(ヴァイオリニスト)のお母さんが元気な頃、僕は NHK の楽屋で会ったのですけれども、その頃のストラディヴァリウス・ヴァイオリンが 1 億円か 2 億円したんですね。その当時はもっと安いと思ったところがどんどん値上がりしてしまっていて、それで兄弟が(長男が画家で、次男が作曲家で)支援して、千住真理子さんが楽器を買ったんですが、皆がびっくりしたんです。これ一挺持っていたら一生食べていけるという話なんです。今や 5 億円だ、10 億円だという時代になりましたけれど、当時は安かったものが 1 億円以上になると皆びっくりです。これからは楽器の時代ということで、どんどん値上がりしていったことを覚えております。それほど楽器に対してバブル期の経済もあるのでしょうかけれども、だいぶ変わってきました。戦後、昭和 25、6 年頃、近衛文麿さん(元総理大臣)の弟で、N 響の初代の指揮者の近衛秀麿さんが日比谷公会堂で演奏会をやったのですが、私はいとこに連れられて行きました。はじめはさっぱりわからなかったんですが、そのうちだんだん耳が慣れてくるんですね。文化というのは、色々な世界との交流を深めながら人間の本能的な独自の文化を育てていくものだと思いました。

そういう中で、日本財団が音楽に関心を持って、弦楽器の名器を世間に知らしめたという功績は非常に大きいと思います。

「継続は力なり」といいますが、それが今に続いて、音楽というのは世界共通の文化であり、文化を理解するとその国の力がわかる。変わってきたと思いますね。これからはやはりそういうクラシック音楽なり、いろんな独自の文化を自分で育てながら、世界的に広がっていく。そうすると平和な世の中になる気がします。

笹川 海外では会議の合間にちょっと音楽が入ることがよくあることです。この間(2023 年 6 月)もベルゲンで「ハンセン病の菌を発見したハンセン博士の 150 周年記念の国際会議」に日本音楽財団から 4 名の演奏家に出て頂いたのですが、ノルウェーは

音楽ファンが多いですし、グリーグ(作曲家)が出るところですから、皆さんびっくりして、「こんなにレベルの高い演奏は聴いたことがない」といって、結構耳の超えた方々が驚いていらっしゃいました。ちょっとこっちもいい気持ちになりました。これからもいろんなところの国際会議に出て頂くと、相乗効果が出て我々も非常にいい思いをさせて頂くことができます。

2018 年 6 月にジュネーブで開催した「世界人権宣言 70 周年記念式典」では、アイデアもないし、お金もないというので、それならば、日本音楽財団からアーティストを派遣しましょう。やったらどうでしょうかって言いましたら、結論を言いますと、国連の EU 本部のパレ・デ・ナシオンでやるって。あそこに入るには事前に許可証を取らないといけないし、そんなに人が入るわけがないし、人が入らなかつたら格好が悪いから、もっと小さなホールでやりましょうよと言ったら、いや、絶対に満杯になる。人が入るか入らないかは任しておいてくれと言うので、私なんかは、半信半疑だったのですけれども、当日行きましたならば、皆、許可証を胸につけて、満員でした。いかに西欧の人達が、クラシック音楽について造詣が深いかというのがよくわかりました。もちろん、日本でやってもいっぱいになることは間違いないのですが、驚きました。



海老沢 音楽には、国境がないですから。それぞれの民族がそれぞれの文化を持つと同じように音楽もいろんなジャンルがありますけれども、どこに行っても音楽をやっていれば平和が続く、そういう時代じゃないかと思います。文化度といいますか、いい国は音楽が盛んですよ。そういう面では、世界共通の言葉として通用するのではないかと私は思います。

笹川 国際共通語ですね。

海老沢 私が付き合ってきた中で、小渕恵三さん（元総理大臣）が非常にクラシック音楽を好きだったんですね。よく私のところへ電話してきて、この前の演奏はどうだったとか、録音が欲しいから送ってくれとか。

小渕さんは学生時代に世界を漫遊していましたから、よく知っているんですよ。文化的なことに興味を持っていましたよ。先頭を切ってやっていた印象があります。日本の政治家も、クラシック音楽に対して関心を持ってきていますよ。

笹川 僕は、小渕さんについては知りませんでしたが、小泉（純一郎元総理大臣）さんはオペラを含めて、音楽が好きですね。日本音楽財団の新しい CD は必ず彼のところに届けていました。

海老沢 小泉さんも、ものすごく好きなんですね。小渕さんも本当に好きだったんですよ。あまり世間では知られていないし、本人も言わないですしね。



笹川 これだけ科学が発達してきたにも関わらず、弦楽器だけは、日本音楽財団が所有しているストラディヴァリウス以上のものが生まれてこないという。これがまた、不思議なことだと思うのです。それだけに、管理されていることは、大変ご苦労があるんじゃないかと思うのですが。やはり出てこないものですか。

海老沢 どうなのでしょうかね。やはりイタリアの北部の土地柄もあるのでしょうか。ストラディヴァリのところでは、ヴァイオリン製作に合っている材料の木材を選

んでやっていたそうなんですね。普通のところは真似ができないという話を聞いたことがあります。

笹川 以前に、楽器アドバイザーをしてくださっていたロンドンの有名なヒル商会のヒルさんに聞いたことがあるのですが、「同じストラディヴァリウスでもピンキリだ」とおっしゃっていました。

「日本音楽財団が持っているものはストラディヴァリウスの中でも超一流のものばかりで、ストラディヴァリウスというみんな同じように考えるがそうではない」ということを力説されていました。

海老沢 木によって違うらしいですね。どの木がいいかを探すのが腕なんだそうです。ストラディヴァリイイ木を選んで、生涯、約 1,100 挺を作ったそうです。目利きがよくないといい材料が取れない。どの木を使えば法隆寺のように長く残るのか、そこが勝負なのでしょうね。文化的な程度が高くて、目利きがないと歴史がつかないという気がします。文化・芸術というのはいろんなものの積み重ねで、先達がやったものを追い越すというのは、相当の力が必要な気がしますね。

笹川 匠の世界の技ですね。

海老沢 古い民家は、きちんと倒れないで頑張っているところはありますね。職人と材質という問題もあるのでしょうか。法隆寺があれだけ歴史を持っているのは、やっぱりよい木材を使ったのでしょうか。

司会 いい材料で作られた名器も楽器ですから、演奏しないと世界の方にはわかって頂けないということで、特に日本音楽財団としては、楽器貸与事業開始当初から、若手育成を前提にやってきました。当初は若手の方にお貸ししていたのですが、それが区切れなく続いてしまうと、ベテランの演奏家になってしまったということもありました。笹川会長から、もう一度原点に戻ってみてはどうかというお話があり、海老沢会長が会長に就任した時に、貸与期間を最長 7 年としました。

現在では、お蔭様でここまで若返ったのかと思うくら

い若返りました。

笹川 会長のご英断ですね。

中には、17、18年使ったような人もいましたけれども、貸すのは簡単ですが、一心同体になっている楽器を返却願うのは酷な話ではあります。やはり、次の人に譲って頂けるということで、今や若い人たちにお貸し頂くように、期限を切って頂いたということは素晴らしいことだと思います。

司会 日本財団の助成を頂いて、かつ日本音楽財団という名称を持っている財団としては、日本のお客様にもたくさん聴いて頂かないといけないということで、以前と少し変わってきているところは、日本をベースに活躍している演奏家に優先してお貸しできるようなカテゴリーを作りました。このあたりも笹川会長のお話をヒントに、決まりを作ってやってきております。

笹川 いいですね。

短期にCDをリリースするためだとか、あるいは、半年とか1年使わせて欲しいという方にもできるだけチャンスを与えて頂いているということは、特定の優れた人だけではなく、次の世代を担う人達を養成するという意味でも大変有効なやり方をして頂いており、私達も大変喜んでおります。

海老沢 我々は、次の世代を常に考えて、新しい人材を大きくしていくことも一つの役目ですからね。長くも必要ですが、ある程度の期限をきって人材を育て、それがつながって「継続は力なり」ということは必要ですね。

笹川 そういう意味では、国際的に弦楽器の世界、それからバレエの世界では、日本が大変注目をされている国になっていますよね。

海老沢 食わず嫌いという言葉がありますが、日本も色々な分野に人材を輩出しており、野球では今、大谷翔平選手が頑張っていますが、そういう人材を育てていって、世界的に注目されるということが一番大事なんですね。そういう中で友好関係を結んでいか

ないと。民族によって差が出てくると戦争になります。同じ屋根の下で暮らしているのであれば、地球は一つだという思想というものを、私は、スポーツなり、音楽なり、それを通じてやっていく必要がだんだん迫って来るのではないかという気がしています。



司会 日本国内ですと、東京、大阪、名古屋、福岡という大都市では、ストラディヴァリウスの音を聴くチャンスはかなり多くなっていると思うのですが、もしかしたら一回聴いたら一生聴くことが叶わないような方も多くいらっしゃるのではないかと、全国の公立のホールが、今、日本には、1,000とか2,000とかあると言われています(現在の全国公立文化施設協会 正会員数1,315施設)。公立ホールと協力して事業をしたり、また、演奏家の夢というのはもちろんソリストとして演奏することも大事ですが、オーケストラのソリストとして演奏する機会も少ないので、日本オーケストラ連盟と協力して、少しずつ、笹川会長から頂いた案をヒントにしながらか活躍の場を広げつつあります。

笹川 おおいに結構ですよ。

司会 今日は、笹川会長と私どもの海老沢会長とお話して頂いたわけですが、これから先、笹川会長として日本音楽財団に期待されることがありましたら、厳しいことでも結構ですのでお願いします。

笹川 音楽の振興というのは非常に大事なことで、すし、幼児教育でピアノやヴァイオリンを習わせにいく家庭が多いですね。また、教える先生もたくさんい

らっしゃって、そういう意味では、大変裾野が広がってきていることは、私は大変いいことだと思っています。

今度、三田に300人くらいは入れる、すぐれた音響設備の施設を作りますので、そこでは、日本財団ビル1階で開催している「ランチタイムコンサート」がいつでもできるように計画しています。演奏する場がない、お披露目する場がないという演奏家の皆さんもたくさんいらっしゃいます。そういう人たちに、毎日365日使えますので、音楽財団のお仕事は忙しくなるかと思いますが、門戸を広げることできるのではないかと考えております。

海老沢 日本の場合は、そういう演奏する場が少ないんですよね。NHKの話で恐縮ですが、1970年初頭にホールを建てる際に論争がありまして、今みたいに3,000人も4,000人も入る大きなホールにするか、200人、300人の小ホールにするかでだいぶ論争があったらしいです。やはりNHKは国民の放送局であるので受信者用として大きくしようということで、大きくしたらしいです。

笹川 室内楽にはね、ちょっと無理ですよ。

海老沢 3,000人以上入ると音がだめだということで、いろいろ思案はありましたけれども、音響設備はだいぶ僕らの時代から改良されてだいぶ良くなりました。

笹川 日本は、民主主義が徹底し過ぎていて、地方には総合文化会館というものがたくさんあって、2,000人も入るところで落語をやったり、落語は100人か多くて200人くらいですから、そんなところで落語をやっても面白くもおかしくもないですし、歌謡曲からクラシックまで幅広い何にでも使えるホールばかりができてしまったから、結果的には使い勝手が悪くて使えないという状況ですね。

海老沢 そういう多目的な大きいホールと小さいホールをバランスよくやっていくことが必要でしょうね。あまり少ないとこれまた採算が合わなくなるだろうし、その辺の兼ね合いをどうするか、これは永遠の課題でしょ

うけれども。いずれにしても、音楽とか絵の展覧会とかそういうものがどんどん増えてくることは良いことです。それをいかにうまく活用していくかですね。



笹川 今、国内にオーケストラはいくつくらいあるのですか。

司会 プロフェッショナルのオーケストラは、例えば東京都だけで、11あります。全国で言いますと、日本オーケストラ連盟へ加盟しているオーケストラが現在40あります。加盟していないプロのオーケストラを入れると、50くらいはあるだろうと思います。

海老沢 文化国家ですね。

司会 おそらく、世界の中でもいわゆる音楽マーケットが一番広いといえますか、音楽マーケットの最大市場は東京だと言われています。

笹川 東京にオペラがふたつくらいはいる時がありますものね。

司会 最近では中国もかなり力をつけてきたので、ヨーロッパのオーケストラなどは、日本と中国で演奏会が出来れば経済的に成り立つと言われていています。それだけ文化力がついてきてはいるのでしょうけれども、もう少し国の方からいろんな助成金が出るといいなと思いますけれどもね。

笹川 文化予算の少なさは先進国の中でも、ダントツに日本でしょう。計算した時がありましたが、フラン

ストと比べて約 10 分の1くらいでしたね。

司会 さすがよくご存じで。トータルで 1,000 億円程度です。

笹川 楽器貸与の話に戻りますが、今、日本の方がお使いになっているのは何割くらいですか。

司会 21 挺あるうち、現在 5 名の日本人に貸与しておりますので 23%くらいになります。以前に比べてかなり増えてきましたし、その演奏家達がやはり非常に素晴らしくて、国際音楽コンクールにも優勝するような人達が使うようになってきています。

海老沢 日本音楽財団はこれからもいろいろな挑戦をしていきます。

とにかく今やっている弦楽器を中心としたクラシック音楽。もう少し、いろいろアドバイスを受けながらやっていきます。

笹川 日本人が製作したヴァイオリンはどうですか。腕が上がってきているのではないですか。

司会 レベルは上がってきております。ストラディヴァリが活躍していたイタリア・クレモナにも日本人が結構いまして、その作家が作った楽器が世界楽器コンクールで優勝したりしています。

笹川 そういう楽器を入手することはお考えにならないですか。

司会 それは別のこととして、そういうことも長い将来を見据えたところで、日本の作家の育成なんているのもあるのかもしれないですね。

海老沢 いろんなことの変化が激しいですからね。いろいろな試みをしてどういうものが日本人に合うのか、日本からどれだけ進出して日本を知ってもらうか。勉強させていただきます。

司会 長い時間ありがとうございました。

(2023 年 12 月 18 日)



(司会進行役 日本音楽財団 加納民夫常務理事)

設立 50 年を迎えて

日本音楽財団は 1974 年 3 月に「財団法人日本国民音楽振興財団」として設立され、その後、1994 年 4 月、国際的に楽器貸与事業を開始するのを機に「財団法人日本音楽財団」に改称しました。2012 年 4 月には内閣府の認可を得て「公益財団法人日本音楽財団」に移行しました。日本財団をはじめとする関係する皆様のご支援のもと、2024 年 3 月で財団設立 50 年、楽器貸与事業を開始して 30 年を迎えることができました。

財団設立当初は、国内の学校教育の中での音楽の支援を目的にしており、主に吹奏楽と合唱そして和太鼓の活動支援を事業の中心としていました。

現在の主事業となっている西洋クラシック音楽を中心とした音楽文化の振興・普及事業、特にストラディヴァリウス等の弦楽器を購入し、それらを貸与する「楽器貸与事業」を開始したのは、財団設立 20 年を迎えた 1994 年でした。当時、クラシック音楽界の中で今一番大変なことは何かと考えた時に、弦楽器の演奏家のことが最初に話題となりました。ストラディヴァリウス等の弦楽器は、実際に使用する人がいるという理由も手伝って、投機の対象に直接になってしまう絵画等美術品ほど値段は高騰していないと言われていましたが（歴史的に見てもストディヴァリウス等の弦楽器の値段は下がったことはありません）、当財団が最初に購入した楽器の現在の評価額は、当時の購入価格の倍以上になっているものもあります。弦楽器の最高峰といわれるストラディヴァリウスやグァルネリ・デル・ジェスの値段は、今も昔も、演奏家個人が入手できる域をはるかに越えているのですが、近年の価格上昇には驚くものがあります。その一番困っているところを支援しようと当時の日本船舶振興会（日本財団の前身団体）笹川陽平理事長からの事業提案のもと、当財団はストラディヴァリウス等の弦楽器名器を購入し、それらの無償貸与事業を始めました。

弦楽器名器の購入にあたり、次の 5 つの条件を掲げました。

1. 来歴が明確であり真贋の問題がない。
2. 保存状態が良い。
3. 演奏にむいている（貸与に見合った楽器であること）。
4. 世界的な文化遺産として保存し、後世に継承していく価値がある。
5. 価格が適正である。

演奏家の方は音が良ければあまり保存状態は気にされないことが多いといわれています。有名演奏家が過去に使用していた楽器は、音が出ることは保証されていますが、長年の演奏に耐えてきていますので、状態がかなり良くないことがあります。当財団は、50 年、100 年先のことを考えねばなりませんので、保存状態が良いということはおのずと重要な条件のひとつとなってきます。

当財団が所有する楽器の中には個人のアマチュア演奏家により大切に所蔵されてきた楽器がいくつかあります。元所有者からは、当財団が資産として死蔵することなく、若い演奏家の方々に貸与していることを高く評価していただき、楽器を購入していただきたいと次の楽器所有者として当財団を指定してくださったケースがありました。日本音楽財団が次世代に向けて楽器の保全事業と若手演奏家の支援を主とした楽器貸与事業を行っているという実績から楽器の次の管理者として当財団を選んでくれたと確信し、その意思に背かぬように、楽器貸与事業を開始して以来、たえず楽器の保全に力を注いでいます。当財団の楽器アドバイザーであったアンドリュー・ヒル（Andrew Hill）氏がかつてのインタビューで「《修理をしなくてもよいのであればむやみに修理するな》という



表現がこれほど相応しいことはありません。我々は一時的な管理者にすぎず、そして、管理者としてなすべき保全の義務がある」と語っていました。当財団はこの言葉を常に念頭に置き、楽器の管理者としての大きな責務を負っていることを自覚し、楽器の保全に最大の注意を払っています。2024年1月から楽器アドバイザーはローランド・バウムガルトナー (Roland Baumgartner) 氏に引き継がれましたが、楽器保守の基本方針も引き継いでいくことになります。

楽器は生きていますといわれています。同じ楽器でも演奏家によって音が違うのは当たり前ですが、気候、特に湿度に敏感に反応し、弓や弦の違いによっても全く性格の違う音が出てきます。その繊細に反応する楽器から自分の納得する音を創り出すのは、演奏家にとって並大抵のことではありません。演奏家からは「楽器を貸与してもらうことにより、その楽器のより良い音の出し方を楽器に教えてもらい、演奏家として次の段階へステップアップできた」との報告を受けることがあります。そのような場面に接した際は、楽器貸与を行う団体として大きな事業成果を感じます。

当財団ではストラディヴァリウス 10 挺以上を一堂に会したコンサートを国内外で開催し、ストラディヴァリウスの聴き(弾き)比べする機会を定期的に提供してきています。また 2011 年度からは、当財団から楽器を貸与された演奏家によるレクチャーコンサートを比較的クラシック音楽に触れる機会が少ないとされる地方都市の子供たちのために開催し、クラシック音楽のファン層の拡大をめざして実施してきました。「初めてのクラシック音楽体験が、一流の演奏家による加えて、最高峰のストラディヴァリウスの演奏なのですから、これほど素晴らしい音楽体験はない」との感謝の報告がコンサート開催ごとに届いていることは大変嬉しいことです。

当財団では楽器貸与事業を開始した当初から、1 年以上の長期に楽器を貸与する演奏家の選定には、楽器貸与委員会で行ってきています。審査は書類と動画の審査があり、過去には、楽器貸与委員会でオーディションが実施されたこともありました。貸与が決まった演奏家はストラディヴァリウス等の名器を演奏することができたことにより、エクセレント・プレイヤーからグレート・プレイヤーに飛躍することができています。その大事な時期に日本音楽財団が楽器の支援をできることは大変喜ばしいことです。多くの弦楽器奏者の演奏活動の中でストラディヴァリウス等の名器を弾くことができる人はほんの限られた数の人です。歴史的にも貴重な名器を次世代に引き継ぐため、楽器を貸与した演奏家とともに楽器の保守・保全に努めてまいります。

これまで当財団では、25 年誌、30 年誌、40 年誌を編纂しておりますので、今回の記念誌では、設立 40 年(2014 年度)以降の 10 年を特に記すことにいたしました。

当財団の運営にあたりましては、設立当初から日本財団の全面的なご支援によって実施されております。ここに改めて日本財団並びにご指導をいただいている皆様に深謝申し上げます。

2024 年 3 月
公益財団法人日本音楽財団

沿革(財団 50 年の歩み)

1974 年 (昭和 49)	3 月 23 日	<p>文部大臣の認可を得て、「財団法人日本国民音楽振興財団」として設立 事務所を東京都港区虎ノ門に置く 設立時の基本財産 70,000,000 円 (内訳)</p> <p>①日本船舶振興会(日本財団)の助成金 60,000,000 円 ②笹川良一氏個人からの寄付金 10,000,000 円</p> <hr/> <p>設立から 20 年は、学校教育及び市民グループ等により実施されているアマチュア音楽の振興普及を主体とした事業を実施</p> <p>・「アマチュア音楽文化の振興普及事業」の具体的な目的は以下のとおり</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 音楽演奏団体の演奏機会の増大 2) 音楽団体の演奏技術の向上 3) 音楽団体における指導者の養成と交流 4) 音楽愛好家に対する音楽演奏の提供 5) 音楽団体(特に分野の異なる)の相互交流と理解の促進及び音楽活動の活発化 6) 作曲の奨励及び若手作曲家の育成 7) アマチュア音楽の地域社会における定着 <p>・対象とする音楽分野は、吹奏楽、マーチング、バンド、合唱、和太鼓、ギター、マンドリン、療育音楽教育等多岐にわたる</p> <p>・「アマチュア音楽文化の振興普及事業」は主に下記のとおり実施</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「日本アマチュア音楽祭」の開催(財団設立時より主要事業として実施) 幼児から大学生、職場サークルの社会人まであらゆるレベルと音楽分野の代表によって構成される合同演奏会 ②伝統音楽公演(主に和太鼓公演) ③講習会の開催と講師の派遣 吹奏楽、合唱、マーチング&バンド、オーケストラ、ギター、和太鼓、療育音楽及び幼児音楽の指導者講習等多岐にわたる ④楽器貸与並びに供与 全日本吹奏楽連盟支部へティンパニー等、合唱連盟へピアノ、地方の和太鼓連盟へ和太鼓等 楽器の償却期間を経過した後は、貸与先に供与パレードユニフォームの供与 ⑤楽譜出版 笹川賞作曲コンクール(合唱部門と吹奏楽部門)各部門 1 位から 3 位までを表彰各部門 1 位曲を出版・配布、披露演奏会の実施 ⑥施設訪問演奏(おじゃましますコンサート) 社会福祉事業の一環として養護施設、老人ホーム等へ吹奏楽団等を派遣 ⑦パレードの開催 マーチングバンド、吹奏楽団 ⑧国際交流 吹奏楽団、合唱団の海外派遣、吹奏楽団の招へい マーチングバンドの国際パレード参加等
	3 月	1973(昭和 48)年度事業として吹奏楽音楽関係団体の指導育成のため、日米吹奏楽合同会議(1974/3/26~3/31)を開催した日本吹奏楽指導者協会へ 200 万円の支援
	8 月	第 1 回「日本アマチュア音楽祭」を 2 日間(8/16, 8/17)東京・普門館にて実施
1983 年 (昭和 58)	3 月 15 日	笹川賞作曲コンクール 10 周年記念「'83 春の合唱フェスティバル」を東京五反田・簡易保険ホールにて実施
1989(平成元)年～ 1990(平成 2)年		<p>事務局職員の払底により事務局機能が喪失し、約 2 年間事業が途絶えた</p> <p>1991 年 1 月に日本船舶振興会(日本財団)をはじめとする関係団体の支援協力により役員員の補充が行われ、事業が再開</p>
1991 年 (平成 3)	4 月	1991(平成 3)年度より事業(音楽祭の開催、講習会の開催、笹川賞作曲コンクール)が復活
1993 年 (平成 5)		笹川賞作曲コンクール(合唱部門、吹奏楽部門)は 1993 年度第 20 回(1990 年度は休)で終了となる ≪受賞曲(者)一覧は 25 年誌に記載≫



沿革(財団 50 年の歩み)

	3 月	音楽文化における国際交流事業を推進することを決め、日本船舶振興会(日本財団)より 9 億円の支援のもと音楽交流基金を創設し、音楽分野における国際交流事業として、特に弦楽器貸与のための楽器の市場調査を開始
1994 年 (平成 6)	2 月	最初の弦楽器購入は、世界で 6 セットしか現存しないとされている「ストラディヴァリウス・クアルテット」うちの 1 セットである「パガニーニ・クアルテット:Paganini Quartet」(ヴァイオリン 2 挺、ヴィオラ 1 挺、チェロ 1 挺) 米国のコーコラン美術館(The Corcoran Gallery of Art)と 1994 年 2 月 27 日に売買契約を締結し、4 月に楽器を日本に輸入 その後も毎年、日本船舶振興会(日本財団)の支援を得てストラディヴァリウス等の弦楽器を 2004 年まで継続して購入 《日本音楽財団保有楽器一覧参照》
	4 月	設立 20 周年を機に、弦楽器(ストラディヴァリウス等)貸与を主とした事業を開始 主な事業として①音楽分野における国際交流事業、②演奏会事業、③音楽助成事業 ①音楽分野における国際交流事業 具体的には「弦楽器名器の貸与事業」として、演奏家個人が購入するには高額となってきたストラディヴァリウス等の弦楽器名器を財団が購入し、それらの弦楽器の保守保全を行うとともに、国内外の一流演奏家や若手有望演奏家に無償で貸与しながら、次世代へ弦楽器名器を引き継ぐ ②演奏会事業 1) 財団所有楽器による国内外での演奏会の開催 2) 良質な音楽を低廉な価格でクラシック音楽愛好家に提供 特に学生や勤労青少年たちが気楽に鑑賞できるような機会を提供できるようにした 主にロリン・マゼール:Lorin Maazel 氏指揮による来日オーケストラ公演 ③音楽助成事業 これまでの講習会事業の流れで、アマチュア音楽の普及だけでなく、対象をプロやプロを目指す団体等も含める 音楽領域は弦楽器を中心としたクラシック音楽を加えた
	4 月 19 日	文部大臣の認可を得て「財団法人日本音楽財団」と名称変更 英語名を Japan Music Foundation とした
	6 月 3 日	ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット:Paganini Quartet」購入発表記者会見及び披露演奏会の実施: 来日中のロリン・マゼール(Lorin Maazel)氏とフィルハーモニアの弦楽器首席演奏者 3 名による四重奏曲披露 東京都港区南麻布(米荘閣)にて
1995 年 (平成 7)	8 月 25 日	第 1 回楽器貸与委員会をオーストリア・ザルツブルグにて開催 楽器貸与に係る細則、貸与期間の基準等を提案するとともに楽器貸与先を選定 その後毎年 1 回、長期貸与者を選定するために開催
	9 月 27 日	最初の弦楽器貸与は第 1 回楽器貸与委員会の合意に伴い「東京クアルテット」へ貸与 東京クアルテットには当該団体が解散する 2013 年 7 月 4 日まで貸与(17 年 10 ヶ月)
1996 年 (平成 8)	8 月	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール(Queen Elisabeth International Music Competition of Belgium)ヴァイオリン部門優勝者に 1997 年 5 月開催分より次期コンクールまでの 4 年間、ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス:Huggins」を貸与することを決定
	10 月	財団の英語名を Japan Music Foundation から Nippon Music Foundation に改称 (親団体である日本財団が The Nippon Foundation であり、The Japan Foundation は国際交流基金になるため、日本財団に合わせ Nippon を選択し改称することにした)
	10 月 22 日	来日中のベルギー国王アルベール 2 世・パオラ王妃両陛下に在日オーストリア大使館(東京)において、1997 年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールへのヴァイオリン貸与協力報告とストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス:Huggins」の音色を披露
	12 月 11 日	楽器被貸与者による財団主催による演奏会開催事業を国内で開始 「ふたつのストラディヴァリウスの夕べ」と題して「ハギンス:Huggins」と「エングルマン:Engleman」を披露

沿革(財団 50 年の歩み)

1997 年 (平成 9)	11 月	和太鼓の任意団体であった全日本太鼓連盟(1979(昭和 54)年設立)の事務局を当該団体の設立時より引き受け、全日本太鼓連盟の事業を全面的に協力してきたが、全日本太鼓連盟の財団法人化を推進し、1997 年 11 月 11 日に文部大臣の認可を得て「財団法人日本太鼓連盟」を設立 これにより当財団の事業から和太鼓事業に係わるものは、すべて財団法人日本太鼓連盟に移行
1998 年 (平成 10)	9 月 8 日 10 月 26 日	設立 25 周年記念事業 ①「オール・ストラディヴァリウス・コンサート」で 8 挺の楽器を一堂に会した演奏会を東京オペラシティコンサートホールで実施 ②「ストラディヴァリウス・チェロ・コンサート」を東京・浜離宮朝日ホールで実施 ストラディヴァリウスを一堂に会したコンサートは「ストラディヴァリウス・コンサートの歩み」参照
1999 年 (平成 11)	3 月 7 日 4 月 16 日	最初の海外演奏会 日本船舶振興会(日本財団)並びにグレートブリテン・ササカワ財団の協力を得て、英国王立音楽院(Royal Academy of Music)デュークホール(ロンドン)にて Steven Isserlis(ストラディヴァリウス・フォイアマン・チェロの貸与者)のリサイタル実施 米国コロンビア大学 The Donald Keene Center の日本文化研究センターへの研究基金チャリティ・コンサートとして東京クワルテット(ストラディヴァリウス・パガニーニ・クワルテットの貸与団体)と Richard Stoltzman(クラリネット)の演奏会を協力開催(ニューヨーク)
2000 年 (平成 12)	7 月 14 日 10 月 19 日	2 つの「ムントツ:Muntz」ストラディヴァリウスとグアルネリ・デル・ジェス 1736 年製ヴァイオリンの 2 名の楽器被貸与者による聴き比べ演奏会を東京・浜離宮ホールで実施 2000 年、2007 年、2010 年、2011 年に 2 回実施、計 5 公演実施 米日財団設立 20 周年記念事業として、日本財団の協力のもと米国シアトルにて東京クワルテット(ストラディヴァリウス・パガニーニ・クワルテットの貸与団体)演奏会を実施
2001 年 (平成 13)	4 月 19 日 5 月 20 日 5 月 23 日 7 月 10 月 10 月 1 日	「Seven Stradivarius Benefit Concert」 スウェーデン王立音楽院内コンサートホールで、ストラディヴァリウス 7 挺(うちヴァイオリン 1 挺はスウェーデン王立音楽院から借用)による演奏会を実施 (スウェーデン赤十字社に寄付したこのコンサートが、当財団として初めてのチャリティ・コンサート) 国内外においてチケット販売する演奏会は、チャリティ・コンサートとして実施 《チャリティ・コンサート一覧参照》 「Japan 2001 オープニング・ガラ・コンサート」 日英両政府が推進する Japan 2001 の公認事業としてロイヤル・フェスティバルホールで、姉妹団体のグレートブリテン・ササカワ財団が共催し、当財団の楽器貸与者 1 名がオーケストラのソリストとして出演 「A Stradivari Musical Extravaganza」 ロンドン・ランカスター・ハウスでストラディヴァリウス 10 挺(うちヴィオラ 1 挺は英国王立音楽院より借用)を一堂にしたチャリティ・コンサートを実施 英国王立音楽院所有のストラディヴァリウス 1769 年製ヴィオラ「アーキント:Archinto」借用 その後も「メンデルスゾーンの弦楽八重奏曲」を演奏する際には、英国王立音楽院のご厚意により 2012 年までの「ストラディヴァリウス・コンサート」で借用した 事務所を東京都港区赤坂に移転 第 1 回マゼール/ヴィラ国際音楽指揮者コンクールアジア地域予選日本事務局として協力(10/1~10/4、東京・五反田ゆうぼうにて実施) 「We Love New York」チャリティ・コンサートの支援 2001 年 9 月 11 日、米国・ニューヨークで発生した同時多発テロ事件の被害者支援のため、我が国の衆参超党派国会議員有志の会が主唱し企画した演奏会(東京・新国立劇場)に当財団の楽器貸与委員であり来日中であった指揮者のロリン・マゼール(Lorin Maazel)氏とチェリストのヤーノシュ・シュタルケル(Janos Starker)氏の出演協力及び運営協力をした
2002 年 (平成 14)	10 月	「All Stradivarius Concert」 日中国交正常化 30 周年記念国家事業の一環として日本船舶振興会(日本財団)と協力し、中国(北京)において、第 5 回北京音楽祭でストラディヴァリウス 8 挺を使用したコンサートを 2 回(保利劇場 10/25、釣魚台迎賓館 10/26)実施

沿革(財団 50 年の歩み)

2003 年 (平成 15)	11 月	「Age of Stradivarius」 産経新聞社と共催して、東京で 3 公演:11/26, 11/27(東京オペラシティコンサートホール、オーケストラ公演)、11/28(東京芸術劇場コンサートホール、室内楽)実施 ストラディヴァリウス 11 挺と被貸与者、ピアニスト、ロイヤルチェンバーオーケストラが出演
2004 年 (平成 16)	1 月	衛星デジタルラジオ「ミュージックバード・ザ・クラシック」の協力で、ストラディヴァリウス等の音色を不特定多数の人たちに楽しんでもらうことを目的に、当財団主催演奏会の実録 CD を利用した放送を開始(2022 年 12 月放送分で終了)
	4 月 4 日	設立 30 周年記念事業 「Easter with Stradivarius」オーストリア・ザルツブルグのモーツアルテウム大ホール(Mozarteum)にてイースター音楽祭の公式プログラムとして実施 ストラディヴァリウス 14 挺(うち 1 挺は英国王立音楽院から借用したヴィオラ)と 13 名の被貸与者とピアニスト 1 名が出演
2005 年 (平成 17)	9 月	衛星デジタルテレビ「クラシカジャパン」の協力のもと、当財団主催演奏会の実録 DVD を利用した放送を開始(2019 年 10 月放送分で終了)
	10 月	「Encounter with Stradivari」と題して 2005 年から 2010 年までの 6 年間、毎年ストラディヴァリウス 10 挺以上を一堂に会した演奏会を国内外で実施(計 13 公演) 「Encounter with Stradivari 2005」 イタリア・トリノ(10/9)、オーストリア・ザルツブルク(10/11)、スイス・チューリッヒ(10/13)の 3 都市でストラディヴァリウス 11 挺(うち 1 挺は英国王立音楽院から借用したヴィオラ)によるコンサートを実施
		「親子でコンサート」 子どもが主体で親を連れて演奏会に来られるよう子ども宛に招待 将来のクラシック音楽ファンの育成・底辺の拡大のため、財団が主催、共催する演奏会に親子で招待することを開始
2006 年 (平成 18)	9 月	日本財団の外部委託による事業評価調査実施。日本においての社会的な認知度がまだ低いとの評価があったため、2008 年度より「地方による演奏会の開催」事業を追加した
	10 月	「Encounter with Stradivari 2006」 ベルギー・ブリュッセル(10/5)でストラディヴァリウス 12 挺、チェコ・プラハ(10/9)でストラディヴァリウス 11 挺(うち 1 挺は英国王立音楽院から借用したヴィオラ)を一堂にしたコンサートを実施
2007 年 (平成 19)	2 月 16 日	1736 年製「ムンツ」ストラディヴァリウス&デル・ジェス ひとりの被貸与者による 2 つの楽器の弾き比べ(聴き比べ)演奏会を東京・浜離宮朝日ホールで実施 これまで計 5 公演を実施
	10 月	「Encounter with Stradivari 2007」 米国のヴァージニア州(10/7)、カナダのオタワ(10/9)でストラディヴァリウス 12 挺(うち 1 挺は英国王立音楽院から借用したヴィオラ)を一堂にしたコンサートを実施
2008 年 (平成 20)	9 月	設立 35 周年記念事業 「Encounter with Stradivari 2008」として読売新聞社と共催し、ストラディヴァリウス 15 挺(うち 1 挺は英王立音楽院から借用したヴィオラ)を一堂に会したコンサートを 3 都市《大阪(9/6)、名古屋(9/7)、東京(9/9)》で実施
2009 年 (平成 21)	11 月	「Encounter with Stradivari 2009」 オーストリア・グラーツ(11/5)、イタリア・フィレンツェ(11/7)でストラディヴァリウス 11 挺(うち 1 挺は英国王立音楽院から借用したヴィオラ)を一堂にしたコンサートを実施
	12 月 11 日	「モーツアルト神童ヴァイオリンを聴く会及び記者会見」 国立新美術館 3 階講堂にて、ザルツブルク国際モーツアルテウム財団が所有するモーツアルトが子どもの時に使用していたヴァイオリンの披露演奏会をザルツブルク国際モーツアルテウム財団、国立新美術館、読売新聞東京本社、在日オーストリア大使館等の協力を得て、その音色をチェンバロと一緒に当時の音楽を披露するコンサートを実施
2010 年 (平成 22)	10 月 7 日	「Encounter with Stradivari 2010」 フランス・パリのルーブル美術館内音楽ホール(Auditorium de Louvre)でストラディヴァリウス 15 挺(うち 1 挺は英国王立音楽院から借用したヴィオラ)を一堂にしたコンサートを実施

沿革(財団 50 年の歩み)

2011 年 (平成 23)	6 月	2011 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災の復興支援のため、保有していたストラディヴァリウス 1721 年製ヴァイオリン「レディ・ブラント:Lady Blunt」をオークションで売却し、日本財団の復興支援基金に全額寄付<オークションで扱われる楽器としては史上最高値の 875 万ポンド(14,177,599 米ドル)で落札> 売却により当財団の所有楽器は 20 挺(ストラディヴァリウス・ヴァイオリン 14 挺、ヴィオラ 1 挺、チェロ 3 挺、ガールネリ・デル・ジェス・ヴァイオリン 2 挺)となった
	8 月	「ストラディヴァリウス&N 響 チャリティ・コンサート」～東日本大震災復興支援～ ストラディヴァリウス 3 挺の被貸与者と NHK 交響楽団とが共演するチャリティ・コンサートを実施(8/31、東京・サントリーホール)
	11 月	「青少年のためのレクチャー・コンサート」を秋田市で開催 その後、北九州市、白山市、宇部市、浦安市、境港市等で実施 ≪「青少年のためのコンサート」の歩み参照≫
2012 年 (平成 24)	4 月 1 日	内閣府の認可を得て、公益財団法人に移行 公益財団法人への移行に伴い、基本財産は下記の 2 つとした ①預金 70,000,000 円 ②公益目的事業を行うために不可欠特定財産とする保有するストラディヴァリウス等の弦楽器名器 「楽器貸与事業を通じた音楽文化振興・普及として楽器貸与事業」 主として①楽器の保守・保全、②楽器の貸与、③演奏会の開催、④音楽文化振興のための助成を引き続き実施
	9 月	「Encounter with Stradivari 2012」として読売新聞社と共催し、ストラディヴァリウス 11 挺(うちヴィオラ 1 挺は英王立音楽院より借用)を一堂に会したコンサートを福岡(9/6)、大阪(9/8)、東京(9/10)で 3 公演実施
	9 月 28 日	フランクフルト空港で貸与中のストラディヴァリウス 1736 年製ヴァイオリン「ムンツ:Muntz」が押収される 関係各所の協力を得て 11 日後に無償で返還されたが、その後は、すべての保有楽器の渡航に際しては、ATA カルネ制度を利用することにした 被貸与者は ATA カルネを使用できない国への楽器持ち込みを禁止にした
2013 年 (平成 25)	12 月	「ストラディヴァリウス&N 響 チャリティ・コンサート」2 回目実施 ストラディヴァリウス 2 挺の被貸与者と NHK 交響楽団が共演するチャリティ・コンサートを実施(12/17、東京・オーチャードホール)
2014 年 (平成 26)	6 月	「Stradivarius Charity Concert 2014」として読売新聞との共催で 2 公演実施 ①ストラディヴァリウス 2 挺での室内楽を読売大手町ホールで(こけら落としコンサート 6/24) ②ストラディヴァリウス 2 挺とオーケストラとの共演をサントリーホールで(6/25)を実施
	9 月	大阪・いずみホールが主催する視覚障害者とその家族やボランティアの方々を招待する「夢コンサート」に財団の楽器被貸与者の出演協力 2014 年度から 3 年間協力
2016 年 (平成 28)	1 月	「ストラディヴァリウスの響き PAC ニューイヤー名曲コンサート」 インターナショナル・オーケストラ・アカデミー支援 兵庫県と兵庫立芸術文化センター協力してチャリティ・コンサート開催 ストラディヴァリウス 2 挺と被貸与者が兵庫芸術文化センター管弦楽団と共演
	9 月	「Encounter with Stradivari 2016」として、ストラディヴァリウス 13 挺を一堂に会したコンサートを大阪(9/9)、福岡(9/12)、東京(9/13)で 3 公演実施
	12 月	千葉県浦安市と協定を締結し、2017 年度より双方が保有する音楽資源を有効に活用し、演奏会を 2017 年度から 2022 年度まで 6 年で 9 公演実施 2017 年から 2019 年の 3 年間はレクチャー・コンサートとチャリティ・コンサートを実施、2020 年から 2022 年はチャリティ・コンサートのみ協力 チャリティ・コンサートでの収入は浦安市文化芸術振興基金に積立、浦安市の文化芸術振興のために使われる
2017 年 (平成 29)	8 月	2014 年に日本の篤志家より弦楽器購入のための寄付の申出があり、楽器の市場調査を行い、当財団の貸与事業に相応しい候補楽器が決定した後に 2 億円の寄付を受領 日本財団からの助成金を合わせてストラディヴァリウス 1735 年製ヴァイオリン「サマズィユ」を購入(日本財団以外の資金が入った初めての楽器購入) 所有楽器はストラディヴァリウス 19 挺(ヴァイオリン 15、ヴィオラ 1、チェロ 3)、ガールネリ・デル・ジェス 2 挺(ヴァイオリン 2)計 21 挺となった



沿革(財団 50 年の歩み)

	9 月	東海地方を代表するオーケストラである名古屋フィルハーモニー交響楽団と当財団の貸与者が毎年定期公演を共演することにより、集客、芸術性の高い音楽を追求を目指し、国内クラシック音楽ファン層拡大を図ることを目的に名古屋フィルハーモニー交響楽団と3年間(2017年度より2019年度)の協定を締結 名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 「日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ」開始 2018年2月より3年間で、8シリーズに9名の被貸与者が協力し、東海地方における当財団の活動周知と音楽文化の振興普及に貢献
2018年 (平成30)	6月16日	世界人権宣言70周年記念「Encounter with Stradivari 2018」 日本財団と国連人権高等弁務官事務所(OHCHR)との共同事業に協力し、国際連合欧州本部(スイス・ジュネーブ)においてストラディヴァリウス7挺を一堂にしたコンサートを実施
	8月	弦楽器貸与は楽器貸与委員会で審議し、貸与更新希望者に対しても期間を毎年、更新審議していたが、2019年申請受付分から下記に変更 ①申請時の年齢制限(35歳、クアルテットは4名の平均が40歳まで)を設定 ②最長貸与期間は7年に設定 ③日本を拠点として活動する貸与区分を追加
2019年 (令和元)	10月	4年ごとのストラディヴァリウス10挺以上を一堂に会する大規模な「ストラディヴァリウス・コンサート」の間の3年は小規模の演奏会(貸与者2~4名の出演規模)を実施することとした 「ランチタイムコンサート」 日本財団が2001年より日本財団ビル1階バウルームで実施していた「ランチタイムコンサート」を当財団が運営を引き継ぐ
2020年 (令和2)	2月	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、「ランチタイムコンサート」の実施は、一時中断(2023年10月に再開)
	3月	公益社団法人日本オーケストラ連盟と共同し、当該連盟加盟団体の中で共演を希望するオーケストラに被貸与者をソリストとして出演協力する覚書を交わす 2020年度から被貸与者の出演協力を計画したが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で協力を中止する公演が出た
	9月	9月に日本で開催を予定した「Encounter with Stradivari 2020」はコロナウイルス感染症の拡大の影響により、海外在住の演奏家の来日が不可となり開催を中止
	12月	上記コンサート出演予定だった演奏家の有志15名、指揮者、ピアニストによる演奏動画『Pachelbel's Canon in lieu of "Encounter with Stradivari 2020"』を編集し、日本音楽財団公式YouTubeチャンネルで配信した その他、被貸与者の了解を得て財団主催演奏会の演奏動画を無料で配信開始
2021年 (令和3)	3月	保有楽器21挺の楽器図録の制作 各楽器の来歴、特徴等を再度調査し、2021年3月に完成、国内外の図書館、音楽学校等に配布
2022年 (令和4)	3月	公益財団法人千葉県文化振興財団との共同事業を2023年度より2025年度までの3年間の協定書を締結
	4月	公益社団法人全国公立文化施設協会(公文協)との共同事業を2023年度より2025年度までの3年間の覚書を締結
2023年 (令和5)	3月4日	「ストラディヴァリウス・スペシャル・コンサート」 笹川平和財団、日本財団、北極サークル事務局共催 「北極サークル日本フォーラム」(東京)において生け花とストラディヴァリウス1挺による演奏のコラボレーションを実施
	6月21日	「ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート2023」 笹川ハンセン病イニシヤチブ、ベルゲン大学共催 「らい病発見150周年記念ハンセン病国際会議」(ノルウェー・ベルゲン)においてストラディヴァリウス4挺のコンサートを実施
2024年 (令和6)	1月31日	「ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート2024」 笹川ハンセン病イニシヤチブ、世界保健機構(WHO)共催 ハンセン病回復者たちに対する偏見や差別撤廃を訴える「グローバル・アピール2024」式典(スイス・ジュネーブ)において、ストラディヴァリウス2挺によるコンサートを実施

ストラディヴァリウス・コンサート 2014

2014. 6.24

よみうり大手町ホール大ホール(東京)
こけら落としコンサート



2014. 6.25

サントリーホール大ホール(東京)
オーケストラ: 読売日本交響楽団
指揮: 円光寺雅彦



©Eisuke Miyoshi



ストラディヴァリウス・コンサート 2016
Encounter with Stradivari 2016



2016. 9. 9 いずみホール(大阪)
2016. 9.12 福岡シンフォニーホール(福岡)
2016. 9.13 サントリーホール(東京)





2016.9.13 サントリーホール ©Eisuke Miyoshi

世界人権宣言 70 周年記念「ストラディヴァリウス・コンサート 2018」
Encounter with Stradivari 2018
“In commemoration of the 70th anniversary of the Universal Declaration of Human Rights”

2018. 6.16

国際連合欧州本部 Palais des Nations, Assembly Hall (スイス・ジュネーブ)





日本財団 笹川陽平会長の挨拶



2018.6.16 国際連合欧州本部 ©Yuki Matsui



ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート 2023
 「らい菌発見 150 周年記念ハンセン病ベルゲン国際会議」
 At The Bergen International Conference on Hansen's Disease
 150 Years Since the Discovery of the Leprosy Bacillus

2023. 6.21

グリーグホール The Peer Gynt Hall, GRIEGHALLEN (ノルウェー・ベルゲン)



上 オープニングセレモニーでのミニコンサート
 右 レセプション時のミニコンサート



左下 レセプション後演奏家とともに
 日本財団笹川会長(左1人目)、
 ベルゲン大学ハーゲン学長(左から3人目)



オープニングセレモニーでのベルゲン宣言発表風景

他団体との共同事業(演奏会の開催)について

日本音楽財団では、ストラディヴァリウス等の楽器を貸与する演奏家の協力を得て実施する演奏会事業では、楽器貸与事業の周知広報を図るとともにストラディヴァリウス等の妙音を多くの人に届けることにより音楽文化の振興普及を図っている。同時に実施にあたっては公益財団法人として、音楽事務所等の企業とは競合することがないように常に留意している。

楽器貸与事業をはじめた当時は、国内においての当財団の楽器貸与事業の広報をより効果的にするために、被貸与者による演奏会は、主に政官財のオピニオンリーダーを招待するというものだったが、近年では、他団体との共同開催演奏会を積極的に実施している。

海外においては2004年4月にザルツブルク・イースター音楽祭の公式プログラムとしてストラディヴァリウス14挺を一堂に会した演奏会を実施した。その後は毎年、10挺以上のストラディヴァリウスが一堂に会する『ストラディヴァリウス・コンサート』を各開催地の団体と協力して行ってきた。2010年10月開催のフランス・パリ(ルーブル美術館)での演奏会以降は、日本財団からの要請に基づき実施している。2018年6月には日本財団並びに国連人権高等弁務官事務所との共同事業として世界人権宣言70周年記念『ストラディヴァリウス・コンサート 2018』としてジュネーブで開催した。また笹川記念財団の要請により、2023年6月には「ハンセン病ベルゲン国際会議」がノルウェー・ベルゲンで開催された際に、また2024年1月にはジュネーブで、「グローバル・アピール2024」の際に、ストラディヴァリウス・ミニ・コンサートとして実施した。

国内における『ストラディヴァリウス・コンサート』は、2003年11月に産経新聞社と共催し、東京において3公演を実施した。2008年9月と2012年9月には読売新聞社と共催し、東京を含め大阪、名古屋、福岡でチャリティ・コンサートとして実施した。読売新聞社とは2014年6月に『ストラディヴァリウスの響き』と題し「よみうり大手町ホールこけら落とし公演」並びに「サントリーホールでの読売交響楽団との演奏会」にてチャリティ・コンサートを共同開催した。

日本音楽財団の名前とともに当財団の楽器貸与事業を知ってもらう第一歩として、楽器を貸与した各演奏家にはそれぞれの演奏会プログラムのプロフィール、インタビュー等においては日本音楽財団から楽器の貸与を受けていることを表示することを義務づけている。しかしながら「日本国内、特に地方都市においての知名度がまだまだ低い」という日本財団が実施した外部による事業評価(2006年)を受け、その後は、東京以外での演奏会開催を積極的に企画し実施してきた。また、クラシック音楽愛好家の底辺の拡大という目的で、2011年度より『青少年のためのレクチャー・コンサート』の開催に力を入れてきた。地方都市での開催では集客には現地開催団体の協力が必須となってくることから、演奏会開催地団体との共同開催は効果的であった。

千葉県浦安市とは、2016年に協定書を締結し双方が持っている音楽資源を有効に利用する事業として浦安市が保有する浦安音楽ホールにおいて、2017年度から2022年度までの6年間で、レクチャー・コンサート3回、チャリティ・コンサート6回、計9回実施した。チャリティ・コンサートのチケット売上6回分全額(5,431,000円)は浦安市の文化振興事業に寄付した。

全国のオーケストラとの共同事業としては、2017年度から3年間、名古屋交響楽団と『ストラディヴァリウス・シリーズ』として当財団の被貸与者をソリストとして各年2~3名(4~6公演)の協力をした。2020年度からは、日本オーケストラ連盟と共同し、同連盟に加盟する全国のオーケストラに当財団の楽器被貸与者をソリストとして出演協力することで、日本国内オーケストラの質の向上に貢献し、当財団の楽器貸与事業を周知広報するとともに、世界トップクラスの演奏家によるストラディヴァリウス等の音色を提供している。

2023年度からは、全国公立文化施設協会(公文協)と協力し、日本全国の自治体が所有するホールと共同して演奏会を開催している。

また、2023年度からは千葉県文化財団との共同事業を開始しており、若手のクラシック音楽振興となる演奏会事業を実施している。



I

2014年度から2023年度



2014年度から2023年度の10年間で振り返って

この10年間で特筆すべき事項

- 1) 2017年7月に、新たに弦楽器名器であるストラディヴァリウス・ヴァイオリン1挺を購入でき、保有楽器は21挺(ストラディヴァリウス19挺、グアルネリ・デル・ジェス2挺)になった。
篤志家からの寄付金が、2017年(2億円)、2023年(1億3,000万円)があった。それぞれ楽器取得資金として受け入れた。
- 2) 2018年に、貸与楽器に係わる内規を改正(申請時の年齢制限及び貸与の最長期間の上限の制定等)を行った。
- 3) 2020年より新型コロナウイルス感染症の世界規模の拡大による日本への渡航制限があり、ATAカルネの更新ができない楽器が出たため、貸与を一時中断して財団から楽器を海外の貸与先まで取りに行くケースが数件あった。また、コロナ感染防止等の理由により計画した主催演奏会は中止、または渡航制限により日本人演奏家の代演による実施となった。
- 4) 他団体との共同事業による演奏会開催を積極的に実施した。
- 5) 保有楽器21挺の故事来歴、写真等を一冊にした楽器図録を2020年3月に完成させ、国内外の図書館並びに音楽関係者に配布した。
- 6) 日本財団が日本財団ビル1階(バウルーム)で実施していた「ランチタイムコンサート」は、当財団が2019年10月より引継ぎ実施している。

1) 楽器購入(ストラディヴァリウス・ヴァイオリン1挺)

楽器の購入にあたっては、当財団の楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル(Andrew Hill)氏の鑑定のもと、理事会、評議員会の決議を経て取得している。今回の楽器入手には寄付者からの申し出があつてから市場調査を開始し3年を要した。特定資産取得資金(楽器)と寄付額で足りない資金は遊休財産並びに特定費用準備資金(楽器保全)を理事会、評議員会の承認を得て使用し購入した。

・2017年8月8日に Stradivarius 1735年製 Violin 「サマズイユ: Samazeuilh」の売買契約を締結し、同年8月21日に日本の通関手続きを終了した。

当財団が保有する楽器のうち唯一、日本財団の助成金以外の資金(日本人篤志家からの寄付2億円)を加えて購入した楽器であるため、2022年までは日本人への貸与を主として、寄付者にその音色をできるだけ日本で聴いてもらう機会を作った。

2023年には、楽器購入資金を日本財団から頂戴することができ、特定資産取得資金(楽器購入)に繰り入れた。また、同時期に個人からの高額寄付をいただき、全額を「演奏家活動支援」にこの寄付者の意向に従い、特定資産取得資金(楽器購入)に繰り入れ、若手演奏家支援を目的とした弦楽器名器取得のため、弦楽器の市場調査を開始した。

2) 2018年に楽器貸与に係わる内規の改正を実施



楽器貸与を開始した1994年度から2018年度までは楽器貸与契約は1年とし、毎年新規貸与先の選定とともに、貸与延長についても審議してきた。しかし、各貸与者の貸与期間が長期化してきた傾向にあったため、2018年に楽器貸与規程の見直しを行い、2019年度の申請時から年齢制限並びに貸与期間の上限を下記のとおり設けた。また、これまでは、国籍を問わず長期の貸与先を決めてきたが、日本人への長期貸与が少なく日本における貸与楽器の演奏を披露する機会が少なかったことに鑑み、日本を拠点に演奏活動をする貸与区分Bを追加した。

2018年に改正した貸与区分は、次のとおり4区分となった。

区分	貸与期間	貸与楽器配分の目安	申請条件	貸与決定方法
A	7年以内	保有楽器数の70%	申請年の9月1日時点で35歳以下の者 (クアルテットは、4名の平均が40歳以下)	楽器貸与委員会での選考を経て会長決裁
B	3年以内	保有楽器数の15%	日本を拠点に演奏活動している者 申請年の9月1日時点で35歳以下の者 (クアルテットは、4名の平均が40歳以下)	
C	1年以内	保有楽器数の10%	具体的な演奏活動の目的がある者 (例:デビュー公演・周年記念公演・ レコーディング・コンクール等)	会長決裁
D	次期コンクール開催時まで	保有楽器数の5%	エリザベト王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門優勝者	

3)-1 コロナ禍でのATAカルネの運用

当財団は、2012年10月より、税関での楽器押収を防ぐ対応策として、すべての保有楽器の海外持出に対してはATAカルネを発給し対応している。ATAカルネは有効期限が1年であり、期限内にATAカルネ発行国である日本に楽器を再持込みできない場合は、その時点で楽器が存在する国の税関に輸入税を支払わなくてはならず、不慮の交通事故等によって楽器を損失し、日本への持込みが不可能となった場合でさえ、輸入税の支払いが免れない制度である。そのため、当財団はATAカルネ更新のため被貸与者に毎年期限内に来日することを義務付け、スケジュール管理に細心の注意を払うことは勿論のこと、不慮の事故等による輸入税支払いのための資金確保を行っていく必要があることから、特定費用準備資金(楽器保全)を設けている。

上記のように、どのような理由においても輸入税の支払いが免れない制度である中、2020年当初より新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため世界的な渡航制限が実施されたが、欧州においてはリプレイメントカルネの発給等で期限を延長することができた。しかし、米国においてはその対応がなく期限が切れたまま日本に再輸入できない楽器が出ていたため、一時的に渡航制限が緩和された2020年10月に、当財団が米国に取りに行った。期限が過ぎていた楽器については課税される可能性があったが、コロナ禍という状況において最大限の対応ができたことにより課税されることなく済んだ。

コロナ禍の日本への渡航制限等による ATA カルネの対応として、貸与を中止して日本に搬入した楽器は下記のとおり。

- ・2020年9月 アメリカ5挺(Engleman, Huggins, Jupiter, Joachim, Samazeuilh)
- ・2022年1月 韓国1挺(Sasserno)
- ・2022年4月 オーストリア1挺(del Gesù Muntz)

上記の楽器については、2022年4月に日本の入国制限が緩和されたことにより順次貸与を再開した。なお、それぞれ貸与を中断していた期間については、貸与期間を延長する対応をした。

注:ATA カルネとは、ATA 条約(物品の一時輸入のための通関手帳に関する通関条約)に基づき、職業用具、商品見本、展示会への出品物などの物品を外国へ一時的に持ち込む場合、外国の税関で免税扱いの一時輸入通関が手軽にできる通関手帳のこと(一般社団法人日本商事仲裁協会発行「ATA カルネのご案内」より)。

3)-2 新型コロナウイルス感染症の影響による財団主催演奏会の中止

2020年初頭より新型コロナウイルス感染症の世界規模の拡大により、渡航制限及び入国制限等により計画していた主催演奏会の中止を決定せざるをえなかった。

中止したコンサートは下記のとおり

2020年度<8公演中止>

- ・「ストラディヴァリウス・コンサート2020」

福岡公演、大坂公演、東京公演 計3公演の中止

(被貸与者15名出演 福岡・大阪は室内楽、東京はオーケストラとの共演を予定した)

- ・「日本オーケストラ連盟との共同事業」の5公演のうち4公演中止、1公演は日本人の被貸与者の代演で実施
- ・「マリア・ドゥエニャス ヴァイオリン・リサイタル」中止

2021年度<6公演中止>

- ・小規模編成の「ストラディヴァリウス・コンサート2021」

大坂公演、東京2公演、鳥取公演 計4公演の中止

(被貸与団体のゴルトムント・クアルテットの出演を予定した)

- ・「日本オーケストラ連盟との共同事業」の6公演のうち2公演中止、4公演は日本人の被貸与者の代演で実施、

2022年度<1公演中止>

- ・「マリア・ドゥエニャス&N響 スペシャル・コンサート」の中止

4) 他団体との共同事業による演奏会の開催

当財団の演奏会開催は、従来から他団体との共同開催により、相互の持っている音楽資産を有意義に利用してきたが、継続的に実施することはなかった。2017年度より各音楽団体等との共同開催を下記のとおり実施してきている。

- ① 2017年度から2019年度の3年間「日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ」として、名古屋フ



イルハーモニー交響楽団へ各年 3 名程度の被貸与者をソリストとして出演協力した。

- ② 2017 年度から 2022 年度の 6 年間は浦安市と協定を締結して「青少年のためのコンサート」を 3 回、「チャリティ・コンサート」を 6 回、計 9 公演を実施した。
- ③ 2020 年度より公益社団法人日本オーケストラ連盟と共同して、当該連盟に加盟する全国のオーケストラに各年度、当財団楽器の被貸与者 2 名から 3 名をソリストとして出演協力している。
- ④ 全国の自治体が運営するコンサートホールをまとめている公益社団法人全国公立文化施設協会(公文協)と協定を締結し、2023 年度より希望する地方のホールでの演奏会の開催を開始した。
- ⑤ 公益財団法人千葉県文化振興財団と協定を締結し、2023 年度より子供たちのための演奏会事業を開始した。

5) 保有楽器 21 挺の楽器図録制作

2018 年度から保有する弦楽器 21 挺について故事来歴等の資料を再検証するとともに取りまとめ、各楽器のデジタル写真の撮影を行い 1 冊の図録にまとめた。

これらは国内外の図書館、音楽大学及び音楽関係者に配布した。



6) 日本財団ビル 1F における「ランチタイム・コンサート」実施

日本財団が開催していた日本財団ビル1階のバウルームでの「ランチタイム・コンサート」は、2019 年 10 月より当財団が引き継ぎ、音楽文化の振興と普及のため、また、プロを目指す若手演奏家の発表の場として、さらに、来場者には気軽に音楽に親しむ機会を提供し、「ランチタイム・コンサート」を通し、当財団の事業を多くの人々に知ってもらう広報活動の一環として実施している。

出演者は一般公募し、書類及び動画審査により決定した。

日 程 毎月第 2、第 4 水曜日 12:10～12:50

場 所 日本財団バウルーム(東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 1 階ロビー)

2020 年 2 月末から、2023 年 9 月まで新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中断していた。2020 年度は予定していた 10 組の演奏家の協力により動画を収録し、日本音楽財団ランチタイム・コンサート YouTube で公開した。

資料⑩「ランチタイムコンサート」の開催一覧参照

姉妹財団の日本音楽財団がストラディヴァリ製バイオリンなど世界最高峰の弦楽器を内外の若手演奏家に貸与する事業を1994年に開始して四半世紀が経過し、今や世界の音楽界に広く知られる事業となった。

これを受け日本音楽財団では貸与期間を最高7年以内とするなど運用方法を見直し、3月の1ヶ月間、世界で6セットしか存在が確認されていないストラディヴァリ製カルテットのほかバイオリンとチェロ計4挺の貸与申請を受け付けるという。1人でも多くの若者が名器に触れ、さらに音楽文化の振興と普及に貢献する事業に発展してほしいと思う。

日本音楽財団は現在、ストラディヴァリ製のバイオリン15挺、チェロ3挺、ビオラ1挺、グアルネリ・デル・ジェス製バイオリン2挺を保有し“世界の文化遺産”といった有難い評価もいただいている。うち1735年製のストラディヴァリ製バイオリン「サマズィユ」は東京都内の篤志家のご寄付と日本財団の助成を基に一昨年夏に取得した。

フランス・サマズィユ家が保有したことでこの名が付けられ、昨年8月から1年間、世界で活躍するバイオリニスト竹澤恭子さんに貸与され、デビュー30周年の記念リサイタルで演奏されている。この一環として3月5日に日本音楽財団が東京・銀座の王子ホールで開催するピアニスト江口玲氏とのデュオ・リサイタルでもベートーベンのバイオリンソナタ第9番「クロイツェル」など5曲が演奏される。

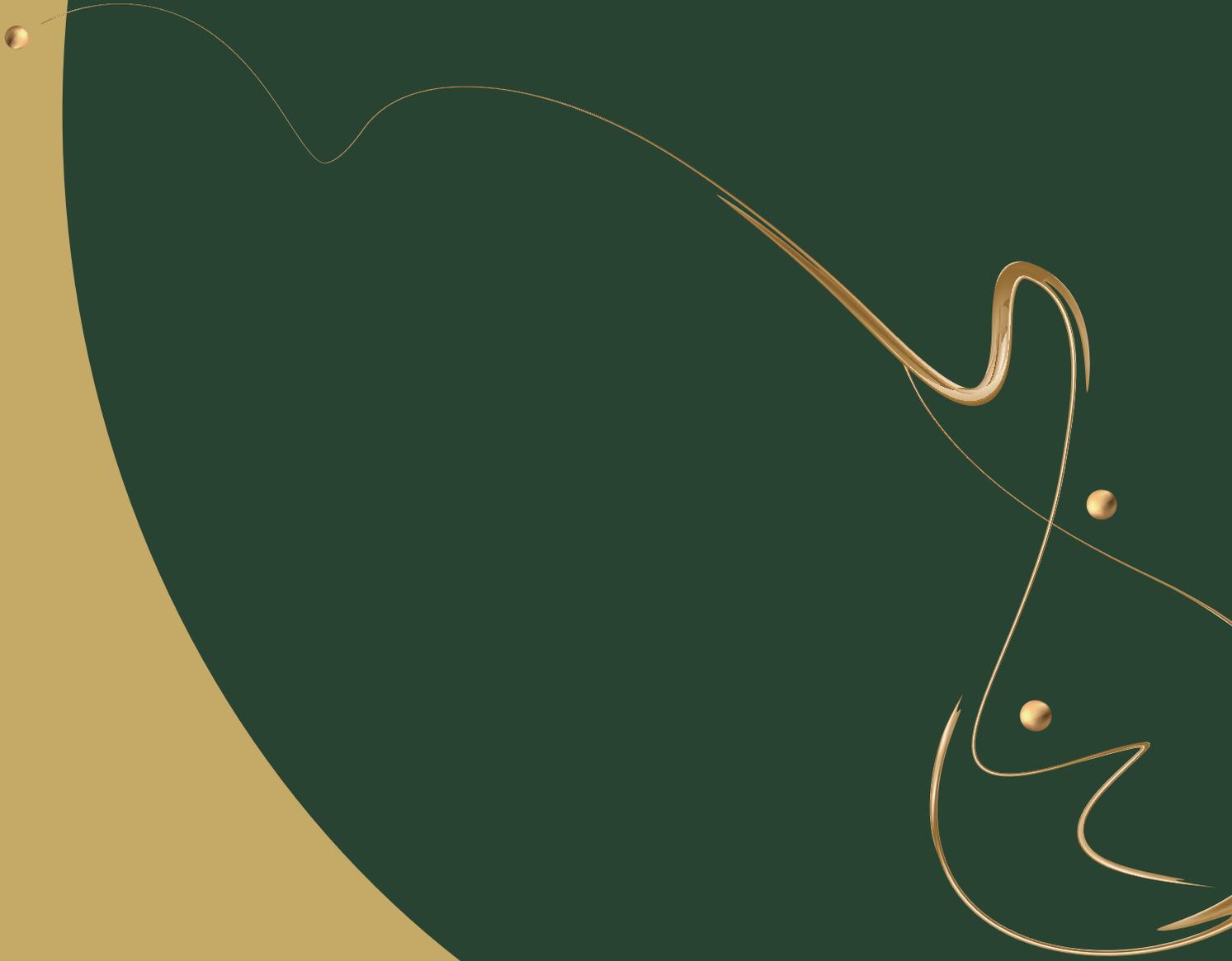
リサイタルの売上金は全額、昨年7月の西日本豪雨災害で被災した岡山県の「倉敷市マービーふれあいセンター」に寄付されると聞く。センターは3.5メートルの高さまで浸水、音響機器が故障したほか天井の一部が落下するなど深刻な被害を受け、20年12月の復旧に向け復興作業が続いている。

思い起こしてみれば、日本音楽財団は2011年3月の東日本大災害で名器「レディ・ブランド」を楽器オークションとしては史上最高額の11億6千万円で売却、日本財団が寄付を受け、被災地の「地域伝統芸能復興資金」として流失した神輿や太鼓、神社の復興・再生に活用し、感謝された。

楽器の貸与先は最終的に「楽器貸与委員会」（委員長：原田幸一郎・桐朋学園大教授）で決まるが、日本を拠点に演奏活動をする若手演奏家に「3年以内」、「1年以内」といった短期の貸し出しも検討されるという。幅広い人により親しまれる事業になってほしいと願ってやまない。

II

2014年度から2023年度の 実施事業



2014年度から2023年度の実施事業

日本音楽財団は保有する弦楽器の貸与を通じて音楽文化の普及振興を実施しており、1.保有楽器の保守・保全、2.保有楽器の貸与、3.保有楽器と被貸与者による演奏会の開催、4.音楽文化の事業支援(助成事業)を主な柱としている。

1. 保有楽器の保守・保全

当財団は、引き続き保有している弦楽器名器を永く次世代へ引き継ぐため、楽器の修理及び調整内容等については慎重に検討し、名器の取り扱いに習熟している世界屈指の楽器商を指定し保全に努めている。

各被貸与者に、年4回定期的に指定楽器商による楽器の状態チェックを義務付け、楽器商から当財団に対して直接報告書(コンディションレポート)を提出してもらうことにより、楽器の状態を把握している。さらに、年に一度は同じ目で楽器を見る必要があるという観点から、年4回の定期チェックの内1回は、英国(ロンドン)在住の当財団楽器アドバイザーであるアンドリュー・ヒル(Andrew Hill)氏のチェックを受けている。2023年12月末をもってヒル氏が引退したことにより、2024年1月よりスイス(バーゼル)在住のローランド・バウムガルトナー(Roland Baumgartner)氏に委嘱した。

当財団保有の楽器は、製作後約300年経過しており、その間ほとんど大規模な修理が行われていないため、経年による大規模な修理、補修が必要な楽器が出てきている。2007年から2024年3月までに保有している楽器9挺に大規模修理を施した。今後、大規模修理が必要とされた時期に適宜に対応できるように、公益財団法人への移行後は特定費用準備資金として、楽器修理代金の積立を行い、大規模修理に対応できる資金を確保している。

貸与中の楽器の定期メンテナンスや大規模修理を含むすべての修理費は、当財団が全額負担している。これは世界的文化遺産といわれる弦楽器名器に関して、どこで誰がどのような修理をしたかを「管理者」として把握し記録しておくためである。

楽器保全の観点から、貸与事業開始当初より、各貸与者に対して、高温多湿な地域に持ち込むこと(船舶等での演奏を含む)を禁止しているほか、戦争地域及び治安が不安定な国への楽器持込みも禁じている。さらに、国家権力による楽器の没収の危険のある国については、貸与者の演奏活動に応じて随時指示を出して対応している。ロシアについては、入国時に必ず証明書に押印することを義務付けていたが、ロシアがウクライナとの戦争を開始したことで2022年よりロシアへの持込を禁止した。中国に関しては、不安定要素が多いことから、公演受け入れ先が楽器持ち出しを保証しない限り、楽器の持込を禁じている。

楽器保険については、楽器管理者の責任のもと、全額を当財団が支払っており、日本の保険会社2社と、より良い条件と料率で契約できるように努めている。

2. 保有楽器の貸与

楽器貸与事業を開始した1994年より、貸与者の選定のため欧・米・アジアのトップクラスの指揮者、演奏家等により構成された楽器貸与委員会(楽器貸与委員名簿 P.113)において、1年以上の貸与



先について書類審査と動画による審査を毎年1回開催して決定している。

2019年度までは対面による会議を実施してきたが、2020年初頭より新型コロナウイルス感染症の拡大防止による渡航制限等のため日本への渡航ができないこともあり、2020年度からの楽器貸与委員会は海外在住の委員はリモートによる会議出席が数年続いた。



第22回楽器貸与委員会(2018年11月6日東京開催)風景

楽器貸与で特筆すべきは、1997年よりベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクールヴァイオリン部門優勝者に副賞として当財団の楽器を貸与していることである。1997年度から継続的にヴァイオリン部門優勝者に、次回開催までの約4年、ストラディヴァリウス1708年製ヴァイオリン「ハギンス; Huggins」を貸与している。このコンクールは従来から若手演奏家の登竜門として国際的に定評があったが、当財団の保有楽器が当該コンクール優勝者への副賞として次回開催までの間貸与されることになって以来、応募者の数が増加し、ヴァイオリン部門の出場者の質が向上したとの報告を受けている。2014年から2024年3月までの10年間では2015年にイム・ジョン(Ji Young Lim)、2019年にステラ・チェン(Stella Chen)の2名に当該コンクール・ヴァイオリン部門優勝者として、ストラディヴァリウス・ヴァイオリン「ハギンス: Huggins」を貸与した。

2018年に実施した楽器貸与規程改正で、①申請時の年齢制限(35歳まで、クアルテットは平均40歳まで)、②貸与期間の上限(7年)を設けたことにより以前に比べ、より若い演奏家への支援につながった。

20歳前後に貸与を開始する被貸与者も増えてきたことにより、国際コンクールでの優勝者も出てきた。マリア・デウエニャス(María Dueñas)当時18歳(グアルネリ・デル・ジェス1736年製ヴァイオリン「ムンツ:Muntz」貸与)が、2021年5月にリッチモンド(米国ヴァージニア州)で開催されたユーディ・メニューイン国際コンクール シニア部門にて優勝および聴衆賞を受賞(新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、予選・本選共に無観客で行われた)。吉田南 当時24歳(ストラディヴァリウス1716年製ヴァイオリン「ブース:Booth」貸与)が、2022年9月にインディアナポリス・国際ヴァイオリン・コンクール3位入賞。前田妃奈 当時20歳(ストラディヴァリウス1715年製ヴァイオリン「ヨアヒム: Joachim」貸与)が、2022年10月にヴィエニャフスキ国際コンクール(ポーランドで開催)優勝及び4

つの特別賞受賞。竹内鴻史郎 当時 18 歳(ガエルネリ・デル・ジェス 1736 年製ヴァイオリン「ムンツ: Muntz」貸与)は、2023 年 10 月にパガニーニ国際コンクール(イタリア・ジェノバで開催)にて第 5 位と
 アミチ・ディ・パガニーニ協会賞、エンリコ・コスタ賞、続いて 2023 年 11 月にロン＝ティボー国際音楽コ
 ンクール(パリで開催)には 3 位入賞している。



吉田南(Stradivarius “Booth”貸与)
 左から 3 人目
 インディアナポリス・国際ヴァイオリン・コンクール
 3 位入賞

前田妃奈(Stradivarius “Joachim”貸与)
 ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール優勝



日本音楽財団は 2024 年 3 月末現在、ストラディヴァリウス等の弦楽器を 21 挺保有しており、国籍
 を問わず演奏家に無償で貸与している。

貸与を開始して 30 年間の貸与人数は 25 ヶ国 125 名(実数)となった。(同じ演奏家に別の楽器を
 貸与することもある)



「ストラディヴァリウス」と「グァルネリ・デル・ジェス」について

日本音楽財団は弦楽器名器を保有し、演奏家に無償でそれらを貸与しているが、「弦楽器名器」の市場価額は、年々高騰を続けている。演奏家個人が名器を自ら所有し演奏するにはあまりにも高額になってきており、現実的ではなくなりつつある。弦楽器名器は音楽を生み出すための「道具」として考えると高価すぎるが、科学が進んだ現代においても同等の楽器を再現することができないという芸術的な価値を持った「第一級のアンティーク(古美術品)」であり、現存する数の希少性から妥当だという人もいる。(古美術品であるが、演奏道具として演奏家が行くところに移動するというのは特異なことである)

当財団は、日本財団の全面的支援のもと、21 挺の弦楽器名器を保有することができ、演奏家に貸与しながら同時にそれらの保全管理に努めている。世界的文化遺産ともいわれる「弦楽器名器」を次世代に継承することも当財団は重要な役割と考え、それらの管理者として保守・保全に力を注いでいる。当財団はいろいろな場面において楽器の「所有者」という表現でなく「管理者」と言っているのは、当財団はあくまでも次世代へ引き継ぐ一期間において管理を任されただけだと考えているからである。

「2 大弦楽器名器」

「弦楽器名器」と言えば 1700 年前後に製作された「ストラディヴァリウス:Stradivarius」と「グァルネリ・デル・ジェス:Guarneri del Gesù」が有名で、どちらも圧倒的な弦楽器名器として知られており、300 年以上経った今なお、最高の弦楽器として取り扱われている。これらの弦楽器が製作されたのは、日本の歴史でいうと江戸幕府 5 代将軍綱吉(1646-1709)から 8 代将軍吉宗(1684-1751)が治世した時代である。

アントニオ・ストラディヴァリ(Antonio Stradivari)(1644-1737)が製作した弦楽器を「ストラディヴァリウス:Stradivarius」と呼んでいるが、これは、彼が楽器の内部のラベルにラテン語でストラディヴァリウスと書いたことからそう呼ばれるようになった。アントニオ・ストラディヴァリは当時から今日に至るまで最も偉大な弦楽器製作者とされている。

バルトロメオ・ジュゼッペ・グァルネリ(Bartolomeo Giuseppe Guarneri)(1698-1744)は、ストラディヴァリと並んでヴァイオリン製作界の双璧と称されている。グァルネリ一族からは何人かの名工が輩出しているが、今日グァルネリの名器といえはバルトロメオ・ジュゼッペ・グァルネリが製作したものをさし、「グァルネリ・デル・ジェス」として親しまれている。「デル・ジェス」とは、「イエスの」という意味で、楽器の内側のラベルにある、イエス・キリストを表す HIS(ラテン語の Iesus Hominem Salvator を短縮)の符号と十字架に由来している。

「ストラディヴァリウス」

「ストラディヴァリウス」の製作者アントニオ・ストラディヴァリは、北イタリアのクレモナの弦楽器製作の第一人者であるニコロ・アマティ(Nicolo Amati)(1596-1684)の一番弟子として 10 代のころからアマティのもとでヴァイオリン製作の伝統技術を学んだ後、1680 年に独立し彼独自の製作法を確立していった。師であるアマティ没後は、ストラディヴァリの名声はヨーロッパ中に広まっていった。

「ストラディヴァリウス」は理想的な音色を備えており、今も昔も、多くの演奏家が一度は手にした

いと憧れる弦楽器なのである。また、構造の美しさと精密さで知られており、特別な音楽ファンでなくとも、その名を聞いたことのある人は多く、弦楽器名器といえば、「ストラディヴァリウス」がまず挙げられる。

「ストラディヴァリウス」が製作された 1680 年代から 1730 年代といえ、宮廷や教会での室内楽が主流であったにもかかわらず、現在の 2,000 人クラスの大規模ホールにおいてもピアノシモのような繊細な音色がホールの端々まで響いて聴こえるのは、素晴らしいことである。

ストラディヴァリは、90 余年でその生涯を終えるまでに約 1,100 挺の弦楽器を製作したといわれている(文献によって多少違うが、この数字はクレモナ市の資料による)。その後、戦争等で破損された楽器も多く、現存する「ストラディヴァリウス」は、約 600~700 挺といわれ、1902 年発行のイギリスのヒル商会の『アントニオ・ストラディヴァリ』によると、現存する「ストラディヴァリウス」は、ヴァイオリン 540 挺、ヴィオラ 12 挺、チェロ 50 挺の存在が確認されている。

300 年以上を越えて楽器愛好家や演奏家によって大切に受け継がれてきた名器「ストラディヴァリウス」には、それぞれ過去の著名な所有者や著名な演奏家等のニックネームが付けられることが多く、日本音楽財団が保有するストラディヴァリウス 19 挺、ガールネリ・デル・ジェス 2 挺のすべてにニックネームが付いている(下記一覧参照)。中には複数のニックネームが付いている楽器もあるが、当財団は購入時に一番親しまれているニックネームを選んでいる。

状態が良く演奏されている楽器は、300 年以上経った今でも、力強い音がホールの隅々まで届くと言われている。透明感のある明るさ、深さ、柔らかな音色は数々の著名な演奏家に愛され、ハイフェッツ (Jascha Heifetz) (1901-1987) やオISTRAフ (David Oistrakh) (1908-1974) などが使用していたことでも知られている。「ストラディヴァリウス」の中でも 1700 年初頭に製作された作品が特に優れており、黄金期の楽器と言われている。

「ガールネリ・デル・ジェス」

ガールネリはストラディヴァリと比べると製作した楽器の数が少なく現存している楽器は 200 挺程度とされ、現在でもストラディヴァリウスと同様に非常に希少な名器である。

大砲のように抜けるような音、音域のバランスが良く、音色は落ち着いているといわれ、スターン (Isaac Stern) (1920-2001)、コーガン (Leonid Kogan) (1924-1982) などのヴァイオリニストに愛され使用されていたことでも知られている。スターンが生涯愛用していたヴァイオリンは当財団が保有している 1740 年製「イザイ: Ysaye」である。

日本音楽財団は、楽器収集家である「ムンツ」が所有していた 1736 年製ヴァイオリン「ストラディヴァリウス」と「デル・ジェス」をそれぞれ 1 挺保有しており、貸与事業 30 年の間に 5 回、楽器の弾き(聴き)比べ演奏会を企画し実施している。

「2 つの名器の個性」

名器と言われる「ストラディヴァリウス」と「ガールネリ・デル・ジェス」、同じ時代に生まれながら、この 2 つの楽器は全く違う個性を持つといわれている。

ヴァイオリニストの諏訪内晶子氏は、2022 年に『R100 tokyo+』ウェブマガジン “curiosity” のインタビューの中で次のように語っていた。『実際、弾いてみると個性の違いは明確で、ス



トラディヴァリウスの倍音はキラキラした透明感のあるものなのですが、デル・ジェスの倍音は地響きのよう。体に触れているところからその素晴らしさを感じます。ストラディヴァリウスは楽器自体が完成されていますから、その良さを引き出すのが演奏家の役目。私に馴染んでくるのではなく、逆に私が馴染んでいくという感じです。楽器自体に緊張感があって、それをできるだけ崩さない形で音を作っていくことが必要です。一方、デル・ジェスは弾いているだけでは音はあまり出てこないのです。ストラディヴァリウスの場合は、楽器の持っている音を壊さないでいい状態を出すことが必要ですが、デル・ジェスは楽器が持っている音を引き出してあげるのが演奏家の役目。ですから、自分の出したい音のイメージがはっきりしている人のほうが演奏しやすいと思います。私には黄金期のストラディヴァリウス(日本音楽財団保有の「ドルフィン」)を20年弾いてきた経験がありますから、出したい音のイメージがある。それがなければここまではっきりしたイメージは持てなかったと思うのです。』

「日本音楽財団の楽器貸与委員会」

弦楽器名器は誰でも音が簡単に出せるわけでもなく、あるレベルに達した演奏家こそが、納得のいく良い音色を奏でられる楽器ともいえる。素晴らしい名器ほどその楽器の能力を引き出す演奏家の実力が問われることになるのだ。演奏家が楽器の、楽器が演奏家のポテンシャルを、互いに引き出しあえるレベルになったと思われる演奏家に名器が貸与されるのである。

演奏家のポップ・ステップ・ジャンプの成長過程において最後のジャンプする時が、名器を貸与したいタイミングであり、そのタイミングに名器を貸与する演奏家を選ぶことで、国際的に活躍する演奏家の成長に寄与していきたいというのが当財団の考えである。

日本音楽財団では楽器貸与事業を開始した1994年より、欧・米・アジアの代表により構成された「楽器貸与委員会」を設置し、そのレベルに達した演奏家に楽器貸与を決定してきている。

日本音楽財団の保有ストラディヴァリウス等名器のニックネーム一覧

所有者名	演奏家名	その他
Dragonetti: ドラゴネッテイ	Paganini: バガニーニ	Dolphin: ドルフィン
Lord Newlands: ロード・ニューランズ	Joachim: ヨアヒム	Jupiter: ジュピター
Huggins: ハギンス	Wilhelmj: ウィルヘルミ	
Engleman: エンゲルマン	Feuermann: フォイアマン	
Camposelice: カンポセリーチェ	Ysaÿe: イザイ	
Booth: ブース		
Sasserno: サセルノ		
Samazeuilh: サマズイユ		
Muntz: ムンツ		
Lord Aylesford: ロード・アイレスフォード		

日本音楽財団保有楽器一覧

2024年3月末現在

ストラディヴァリウス

Stradivarius "Paganini Quartet"	「バガニーニ・クアルテット」	1994年 2月購入
① Stradivarius Violin 1680年製 "Paganini"		
② Stradivarius Violin 1727年製 "Paganini"		
③ Stradivarius Viola 1731年製 "Paganini"		
④ Stradivarius Cello 1736年製 "Paganini"		
⑤ Stradivarius Violin 1700年製 "Dragonetti"	「ドラゴネッティ」	2002年 6月購入
⑥ Stradivarius Violin 1702年製 "Lord Newlands"	「ロード・ニューランド」	2002年 6月購入
⑦ Stradivarius Violin 1708年製 "Huggins"	「ハギンス」	1995年 3月購入
⑧ Stradivarius Violin 1709年製 "Engleman"	「エングルマン」	1996年 5月購入
⑨ Stradivarius Violin 1710年製 "Camposelice"	「カンポセリーチェ」	2004年 9月購入
⑩ Stradivarius Violin 1714年製 "Dolphin"	「ドルフィン」	2000年 2月購入
⑪ Stradivarius Violin 1715年製 "Joachim"	「ヨアヒム」	2000年 9月購入
⑫ Stradivarius Violin 1716年製 "Booth"	「ブース」	1999年 1月購入
⑬ Stradivarius Violin 1717年製 "Sasserno"	「サセルノ」	1999年 5月購入
⑭ Stradivarius Violin 1722年製 "Jupiter"	「ジュピター」	1998年 5月購入
⑮ Stradivarius Violin 1725年製 "Wilhelmj"	「ウィルヘルミ」	2001年 6月購入
⑯ Stradivarius Violin 1735年製 "Samazeuilh"	「サマズィユ」	2017年 7月購入
⑰ Stradivarius Violin 1736年製 "Muntz"	「ムンツ」	1997年 7月購入
⑱ Stradivarius Cello 1696年製 "Lord Aylesford"	「ロード・アイレスフォード」	2003年 6月購入
⑲ Stradivarius Cello 1730年製 "Feuermann"	「フォイアマン」	1996年12月購入

グァルネリ・デル・ジェス

⑳ Guaneri del Gesù Violin 1736年製 "Muntz"	「ムンツ」	1995年 3月購入
㉑ Guaneri del Gesù Violin 1740年製 "Ysaÿe"	「イザイ」	1998年 3月購入

Stradivarius Quartet	1組 (2 Violins, 1 Viola, 1 Cello)
Stradivarius Violin	13挺
Stradivarius Cello	2挺
Guaneri del Gesù Violin	2挺
合計	21挺

各楽器の来歴、特徴等については、当財団のWebサイトの「日本音楽財団楽器図録」で確認できる。



2021年3月発行
楽器図録

上記の他に下記の楽器を保有していたが、東日本大震災復興支援のため、2011年6月に売却し日本財団の災害復興基金に全額寄付した。

Stradivarius Violin 1721年製 "Lady Blunt" 「レディ・ブラント」



＜オーストリア国立銀行のインタビューに答えて＞

印刷物名:「オーストリア銀行の弦楽器コレクション」

(2023 年発行)

日本音楽財団の加納民夫常務理事へ 7 つの質問

1974 年に「音楽文化の普及振興」を目的として設立された日本音楽財団は、現在、アントニオ・ストラディヴァリが製作した弦楽器を最も多く所有する組織化された支援団体となっています。具体的には、ストラディヴァリによるヴァイオリン 15 挺、ヴィオラ 1 挺、チェロ 3 挺、ガエルネリ・デル・ジェスによるヴァイオリン 2 挺です。日本音楽財団は、1994 年から開始した「楽器貸与事業」では、国際的に活躍する若手演奏家に国籍を問わず楽器を無償で貸与しています。日本音楽財団は、楽器貸与者による演奏会や保有する楽器の保守保全を通じて、これらの文化遺産を将来の世代のために保存することに寄与しています。

Q1 日本音楽財団は、約 50 年にわたり音楽文化の普及振興に携わってきました。楽器コレクションの経緯と楽器貸与事業設立の経緯について教えてください。

A1 日本音楽財団の楽器貸与事業は、1992 年に親財団である日本財団(笹川陽平会長)からの提案により調査を開始しました。

当時、日本財団では、既に様々な分野での援助を行っていましたが、文化の分野では国際的な事業をそれほど多くは行っていませんでした。そうしたことから、文化面での援助に何ができるか、何が有効かを模索していました。そのような中、演奏家が弾きたくなるような音の良い弦楽器は、個人で購入するにはあまりにも高額になっており、弦楽器奏者たちが困っている状況を知り、日本音楽財団にこうした楽器を貸与する事業の相談がありました。そこで、日本音楽財団では、1994 年から楽器貸与事業を開始しました。弦楽器の世界文化遺産とも称されるストラディヴァリウスやガエルネリ・デル・ジェスを購入し、末永く良い音が保持されるように、楽器の保全を第一義としながら、演奏されてこそ価値のあるこれらの楽器を、国内外の演奏家に無償で貸与することになりました。それにより、国際的に躍進しようとする演奏家の後押しをすることで、世界的にクラシック音楽振興を図ることを目的とした楽器貸与事業を行うことになったのです。最初にストラディヴァリウス 4 挺(ヴァイオリン 2 挺、ヴィオラ 1 挺、チェロ 1 挺)で構成されている「パガニーニ・クアルテット」と称されるクアルテット・セットを入手することができました。ストラディヴァリウスで構成されたクアルテットは、世界で 6 セットの存在が知られていますが、私どもが保有するのは、そのうちの 1 セットです。

現在では世界中で活躍する日本の多くの音楽家たちが、これまで長い間、欧米の方々に暖かく受け入れていただき支援してもらってきたことを振り返り、欧米の音楽関係者に感謝の意を込めた恩返しで、当財団が保有する名器の貸与先は、日本人だけでなく、国籍を問わずにお貸

しすることといたしました。そのために、公正な貸与選定を行うために、当時の世界最高峰の指揮者であったロリン・マゼール氏を委員長として、世界の音楽界をリードされる方々で構成された楽器貸与委員会を設けました。また、1997年よりエリザベート王妃国際コンクールのヴァイオリン部門の優勝者へ副賞としてストラディヴァリウス・ヴァイオリン「ハギンス」を次の開催までの4年貸与しています。

Q2 私たちのコレクションは1989年に3挺のヴァイオリンを購入して確立されましたが、ストラディヴァリによるものは「シャコンヌ」だけでした。長年に渡り、私たちは45挺の楽器を購入することができましたが、ストラディヴァリによるものは9挺だけです。対照的に、日本音楽財団は、ストラディヴァリとガールネリ・デル・ジェスしか収集していないことで知られています。このような楽器のみに集中するという決断は、多くの可能性を意味する一方で、時には、創造的な解決策を必要とする多くの運営上の課題も意味しています。これらの点について詳しく教えてください。

A2 楽器貸与にあたっては、ストラディヴァリウス等の名器に限らず、たくさんの弦楽器を入手し、多くの演奏家に貸与すべきではないかとの意見もありました。しかし、それぞれの分野でそれぞれができる範囲で演奏家を支援することが大事であるという結論となり、いちばん困難である世界最高クラスの弦楽器を入手して保全し、次世代に繋ぐ役割を日本音楽財団がすべきだということになりました。日本音楽財団が弦楽器の名器を入手する頃には、楽器の取引価格が上昇していました。しかし、日本音楽財団が、投資ではなく、楽器を大切に保全し、演奏家に無償貸与することを大きく評価していただき、楽器所有者が私どもに楽器を委ねたいとの声をかけてくださることが増えてまいりました。

このようなことにより、このプロジェクトを始めて約10年で20挺の楽器を入手することができました。楽器保険および修理費は、楽器の保有者・管理者として、また若手演奏家支援のため、日本音楽財団の全額負担としました。これらの最高峰の弦楽器を入手して貸与する事業を長く継続できているのは、親財団である日本財団が、その必要性を理解し、全面的に支援してくれているからです。

Q3 オーストリア国立銀行やその他のヨーロッパの組織的なパトロンとは異なり、日本音楽財団は楽器を日本人だけでなく外国籍の演奏家にも貸与しています。これは非常にオープンマインドで前向きなアプローチです。これは楽器貸与事業開始当初からの目的でしたか？ これまで問題が発生したことはありますか？

A3 先にも申し上げましたが、日本の演奏家が長い間欧米の音楽関係者に育ててもらったことへの恩返しの目的もあり、私どもの楽器貸与は、国籍を限らず多くの演奏家にお貸しすることとしました。現在、約30年が経ち、その目的は十分達成したと考えています。

しかし、約30年が経過する今日、逆に、「日本人への貸与が少なかったため、私どもが保有する名器の演奏を日本で聴く機会が少ない」、「日本の財団でありながら日本人への支援が少ない」などといった問題が浮上してきました。それを善処するため、貸与の区分「日本を拠点に活動する」というカテゴリーを新設することといたしました。これにより、日本において、楽器貸与者による演奏機会を多く持つことができるようになり、日本でそれらの音色を聴く機会を増やすこ



とができるようになりました。

楽器の保守・保全に関しては、海外在住の演奏家が多くいることもあり、メンテナンスや修理については、各楽器、年間で4回ほど世界の指定楽器商に全面的な協力をお願いしており、随時、報告を送ってもらっています。

Q4 日本音楽財団は国際的な側面を強く持っていますが、実は、国内的な側面もあります。財団は日本の音楽シーンに対してどのような役割を果たしていますか？

A4 日本音楽財団は、楽器貸与者の協力を得て、国内外で名器による演奏会を開催しています。日本国内では「青少年のためのレクチャーコンサート」も開催してクラシック音楽ファンの底辺拡大に努めるほか、日本のオーケストラと貸与者との共演を積極的に設定しています。

Q5 私たちは、これらの楽器の保存と調査に関して同様のビジョンを共有しています。しかし、私たちの取り組みの核となるのは、貸与や演奏会を通じて、これらの素晴らしい楽器を可能な限り広く、聴衆に提供することです。どのような課題に直面していて、また、特に満足を与えてくれるものは何ですか？ 保存の必要性和、今でも楽器が演奏会で演奏家によって集中的に使用されていることとの間のバランスをどのように考えていますか？

A5 われわれが貸与事業をしているなかで、一番の喜びは、貸与した演奏家が大きく成長していくことです。また、演奏家から、楽器により自分の成長の助けとなったとコメントをいただくことです。私どもは、素晴らしい名器を次世代へ引き継ぐことを使命と考え保全に努めていますが、楽器は道具ですので演奏に使えば傷がつくこともあります。そのなかで、貸与した演奏家の協力を得ながら、一緒に名器の保全管理をしています。

Q6 私たちの貸与者の中には、同じ楽器を何年も演奏し、楽器との個人的な関係を築いている人もいます。同様に、楽器を貸与するために必要な信頼関係は時間をかけて築き上げてきたものであり、才能ある演奏家だからこそできる限り長くサポートしていきたいと考えています。しかし、日本音楽財団の貸与期間は明確に定義されており、非常に厳格ですが、楽器の返却はどのように対応していますか？ 貸与後、別の楽器を申し込むことは可能ですか？

A6 私どもの財団は、日本政府に認められた公益財団法人です。そうしたこともあり、一個人演奏家に長期に貸与していくことはできません。

以前は貸与契約を1年ごととし、毎年貸与の延長申請を受けて審査して貸与を行ってまいりました。それは、常に演奏家の活動状況をチェックし、演奏家の成長時期には楽器を取り上げるべきではないという意見があったからです。しかしながら、そのことにより10年以上の貸与者が増えてしまい、若手演奏家への貸与が少なくなっていました。それを打開するために、2018年に貸与申請時の年齢上限(クァルテット・セットは4人の平均が40歳、単独楽器は35歳)や貸与期間(最長7年)を定めました。

貸与を終えた後も、特定の演奏会、例えば演奏家にとっての周年記念コンサート等のために1年以内の貸与区分が設定されていますので、演奏家は必要であれば貸与申請を再度することができます。

Q7 日本音楽財団のコレクションから個人的に1つ選ばなければならないとしたら、最も特別な楽器はどれですか？

A7 私どもが保有している弦楽器の名器は、どれも唯一無二の存在であり、この先も大切に保存されていくものだと思っています。そうしたことから「最も特別な楽器」をひとつあげることは難しいことです。強いてあげるのであれば、私どもが楽器貸与事業を始めるにあたり最初に購入することができたストラディヴァリウスだけで構成された「パガニーニ・クアルテット」でしょう。

加納民夫氏は 2018 年より日本音楽財団の常務理事を務めています。

「The string instrument collection Oesterreichische Nationalbank」

published by Oesterreichische Nationalbank in 2023

Seven questions to Tamio Kano, Managing Director of the Nippon Music Foundation

Established in 1974 to promote musical culture, the Nippon Music Foundation owns the largest number of stringed instruments made by Antonio Stradivari, specifically 15 violins, 1 viola and 3 cellos, as well as 2 violins crafted by Guarneri del Gesù. Under its Instrument Loan Project, launched in 1994, the Nippon Music Foundation lends the instruments free of charge to promising young musicians and international musicians regardless of their nationality. By facilitating concerts that feature the performers and their valuable instruments and ensuring maintenance of the loaned instruments, the Nippon Music Foundation helps to preserve an invaluable cultural heritage for future generations.

Q1 The Nippon Music Foundation has helped preserve essential components of the world's cultural heritage for almost 50 years. Could you please tell us more about the history of the collection and the decision to establish the Instrument Loan Project?

A1 The Nippon Music Foundation began research for the Instrument Loan Project after a suggestion from Yohei Sasakawa, chairman of The Nippon Foundation, in 1992.

At the time, The Nippon Foundation was already supporting causes in a variety of areas, but did not have many international projects related to culture. When they were looking into what they could do, and what would be effective in achieving their goals, they learned that many string instruments with the kind of excellent sound that musicians would love to play were getting much too expensive for individuals to afford, which was becoming a real problem for string players. So they consulted with the Nippon Music Foundation on starting a loan project for such instruments. This is why the Nippon Music Foundation launched the Instrument Loan Project in 1994 and purchased string instruments crafted by Stradivari and Guarneri del Gesù, whose works were



considered world cultural heritage. The aim was to loan them gratis to musicians, both nationally and internationally, because the instruments' value is in being played, while also maintaining them to conserve their sound qualities for generations to come, which we consider most important. So by supporting musicians who are building international careers, the Foundation started the Instrument Loan Project with the objective of promoting classical music worldwide.

First, we were able to acquire the “Paganini Quartet” set, which comprises four Stradivarius instruments (two violins, one viola, one cello). There are six known sets of quartets composed of Stradivarius instruments, and we have one of those sets.

Many Japanese musicians currently active on the world stage have long been warmly accepted into, and supported by, communities in Europe and the USA. In reflection of that, out of gratitude, we decided to make our top-quality instruments available not just to Japanese but to all string players, regardless of nationality. In order to carry out a fair loan selection process, we founded the Instrument Loan Committee, which is comprised of leaders of the global classical music world. It was first chaired by Maestro Lorin Maazel, one of the world's leading conductors at the time. In addition, since 1997, the Foundation has loaned the Stradivarius 1708 violin “Huggins” to the winner of the Queen Elisabeth International Music Competition in Belgium for four years until the next Competition.

Q2 The OeNB's collection was established in 1989 with the purchase of three violins, only one of which, the “Chaconne”, was crafted by Stradivari. Over the years, we managed to purchase 45 instruments, but only nine of them are Stradivari. In contrast, the Nippon Music Foundation is known for collecting only instruments built by Stradivari and Guarneri del Gesù. The decision to concentrate on these two luthiers alone implies a lot of potential but also many logistical challenges, which sometimes demand creative solutions. Could you please tell us more about these aspects?

A2 Some people thought that we should not limit the scope of the Instrument Loan Project to top-quality string instruments by these two luthiers, but should instead acquire as many string instruments as possible so we could loan them to many musicians. However, we concluded it was more important to support musicians as much as we could within our range, and so we as the Nippon Music Foundation decided to collect the world's best string instruments, the ones that are hardest to acquire, and help preserve them for future generations. By the time the Nippon Music Foundation began acquiring top-quality string instruments, sales prices were already rising. However, the Foundation's approach – acquiring instruments not to invest, but to carefully preserve and loan them to musicians gratis – was valued highly, and many instrument owners came forward, saying they would like to pass their instruments to us. Within about ten years, we were able to acquire 20 instruments. As their owner and custodian, and to support young musicians, we decided to assume the cost of instrument insurance, maintenance and repair. We have only been able to acquire such top-quality string instruments and continue our Instrument Loan Project thanks to the full support of our parent foundation, The Nippon Foundation, who shares our commitment to the cause.

Q3 Unlike other institutional patrons, such as the OeNB or other European institutions, you lend your instruments to musicians from across the globe, not only Japan, which is a very open-minded and forward-looking approach. Has this been a goal of the Instrument Loan Project since the beginning? Have you encountered any difficulties on the way?

A3 As mentioned previously, we decided to loan our instruments to musicians regardless of their nationality, out of gratitude because Japanese musicians have long been welcomed at classical music institutions in Europe and the USA. After 30 years, we believe we have fulfilled that goal to a satisfactory level. At the same time, we have seen some issues arising. For example, very few instruments have been loaned to Japanese musicians, so audiences here in Japan have had very few opportunities to enjoy performances with our top-quality instruments. Also, even though we are a Japanese foundation, we have not been providing enough support to Japanese musicians. In order to rectify these issues, we established a new category for musicians who are active mainly in Japan. This has allowed us to create more opportunities for our instruments to be on stage in Japan – and for Japanese audiences to enjoy their sound. For instrument maintenance and preservation, because many of our musicians live overseas, we ask our designated luthiers around the world for their full cooperation in conducting quarterly condition checks every year for each instrument and sending the reports to us.

Q4 The Nippon Music Foundation has a very relevant international dimension, but there is certainly a national one, too: What role does the Foundation play for the Japanese music scene?

A4 The Nippon Music Foundation holds concerts nationally and internationally in cooperation with the recipients of our instruments. Within Japan, we have made an effort to get more people excited about classical music through a series of “Lecture Concerts for Young Students” as well as through collaborations between our loan recipients and Japanese orchestras.

Q5 We share similar visions concerning the preservation of, and research into, these instruments. But at the core of our engagement is the will to make these amazing instruments available to the widest possible audience through loans or concerts. What challenges have you faced and what gives you particular satisfaction? How do you balance conservation needs and the fact that the instruments are still being used extensively in concert by the musicians?

A5 The greatest joy over the course of our Instrument Loan Project has been to witness the significant progress our loan recipients have made and to hear from our musicians about how the instrument has helped them evolve. Although we do believe it is our mission to pass on these wonderful instruments to future generations and endeavor to preserve them, instruments are tools in their own way, and playing them can cause damage. In these situations, we gain our musicians’ cooperation and work towards preserving the instruments.

Q6 Some of our borrowers play the same instrument for many years and develop a personal relationship with it. Also, the trust necessary for lending an instrument to someone builds over the



years. Since these musicians are incredibly talented, we like to support them for as long as possible. The Nippon Foundation's Instrument Loan Project has a different strategy: The duration of your loans is well-defined and quite strict. How do you handle the return of your instruments? Is it even possible for musicians to apply for another one?

A6 Our Foundation is a public interest organization recognized by the Japanese government. This is one of the reasons why we are unable to loan our instruments to one single recipient for a long term. In the past, we used to provide loan agreements with a duration of just one year and reassess applications for extension every year. This allowed us to constantly check the musicians' activities, as some thought it would not be right to take away an instrument from a musician who is still developing. However, this resulted in many borrowers keeping the instruments for over ten years and, consequently, fewer loans to young musicians. As a solution to that, in 2018, we established a maximum age for loan applicants (40 years for quartets, and 35 years for soloists) as well as a maximum duration (7 years). Even after the end of a loan, we have a category for those who still wish to use our instruments for special engagements up to one year, such as anniversary concerts, so they can reapply in the future if they wish to do so.

Q7 In your opinion, which is the most extraordinary piece in your collection, if you had to choose one?

A7 All of our top-quality instruments are irreplaceable and will continue to be kept with the utmost care. Therefore, it is difficult to pick just one as THE most special instrument. If we had to choose, it would be the "Paganini Quartet" set, the first instruments we were able to acquire when we started the Instrument Loan Project.

Tamio Kano has served as the Managing Director of the Nippon Music Foundation since 2018.

演奏家の声(貸与された楽器の感想等)

ハーゲン・クアルテット Hagen Quartet

ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット:Paganini Quartet」

ハーゲン弦楽四重奏団 ストラディヴァリウスの輝き (ウィーンにて)

ライナー・シュミット Rainer Schmidt (第2 ヴァイオリン) 1680 年製ヴァイオリン「パガニーニ」

ルーカス・ハーゲン Lukas Hagen (第1 ヴァイオリン) 1727 年製ヴァイオリン「パガニーニ」

弾き始めて今年でちょうど3年。「これまで様々な楽器を弾いてきたが、音色が豊かでとにかく美しい！」と二人は口を揃えて絶賛する。

名器の場合、弾き手に馴染むまで適当な時間を要することが多いが、シュミットは東京クアルテットの第2ヴァイオリン奏者に「2年はかかる」と忠告されたらしい。「当初はそんなに長くかかるわけではないと思っていましたが、実際に弾き始めて彼が正しかったことを痛感しました。でも惚れ込んでいる相手なので、苦にはなりませんでした。」とまるで新しい恋人ができたかのように嬉しそうだ。

メンバーの中にはモダン楽器を弾いていた人もいたため、「弾き方をかなり変えた人もいる」とルーカス・ハーゲンは語る。とくに変わってくるのが弓の使い方で、「楽器の美しい響きを最大限に引き出すために弓圧を抑えて楽器を自然に鳴らすように弾く」のだという。その弓圧の加減が難しいらしい。それでもあえて《パガニーニ》を弾きたいとメンバー全員が望んだのは、「この楽器でハーゲン弦楽四重奏団はさらなる高みを目指すことができる」という確信があったからだ。

「2013年、ザルツブルクで行ったベートーヴェン・ツィクルス公演で、貸与された4本の楽器を初めて人前で演奏しました。作品132で4人の響きが重なってコーラルを奏でる箇所があるのですが、あまりの美しい和音が響いて思わず涙するところでした。何度も弾いている曲ですが、鳥肌が立つほど美しかった」(シュミット) いまだに謎の多いストラディヴァリウスの魅力は？ シュミットが語る。「彼が製作した楽器はすべてが名器というわけではありません。でも名器はやはり格別です。響きの可能性が圧倒的に広いんです。常に新しい発見がある。」

ひと言で説明するのは難しいが、演奏者をこの上なく幸せにする楽器であることだけは確かなようだ。

(雑誌「サラサーテ」インタビュー 2016年10月号より抜粋)

アラベラ・美歩・シュタインバッハー Arabella Miho Steinbacher

ストラディヴァリウス 1716年製ヴァイオリン「ブース:Booth」

「楽器によっては最初に音を出したとき、演奏が難しいと分かる楽器がありますが、『ブース』は最初からオープンでいてくれました。楽器と演奏家の関係は、人間同士が人間関係を構築するのと同じなのです。曲によってどういう音色を出すのか、いまだに研究し、楽器から学ぶことが多いのです。そしてお互いに成長するのです。」日本とヨーロッパは気候、湿度が違うため、木でできたヴァイオリンは鳴り方が違う。また作曲家や作品が要求する音はそれぞれ異なる。「楽器に学ぶ、というのは言葉で表現することは難しいのですが、正確な音を出すという基本を超えて、ビブラートのかけ方や、柔らかかったり硬かったりする音色などを試します。ステージに立つと、また変わりますから試行錯誤です。ホールの規模や音響の特性があるので、そこでまた弾き方を変えなければいけないのです。」加えて「ブース」固有の性格もある。「ブースはパワフルで、明るい音のバラエティがあり、一方で深い音が出ます。大きなオーケストラと共演して音が立ちますし、バロックなど繊細



な音が求められる音楽には、それに応えてくれます。たくさんの年を生きてきて、いろいろな時代にたくさんのヴァイオリニストが弾いてきました。ブースにはたくさんの魂が宿っているのです。それがインスピレーションを与えてくれます。自分が弾いた楽器の中では間違いなくユニークな音を持っています。魔法がかかった音なのです。」

(雑誌「モーストリー・クラシック」インタビュー 2016年10月号より抜粋)

諏訪内晶子 Akiko Suwanai

ストラディヴァリウス 1714年製ヴァイオリン「ドルフィン:Dolphin」

ストラディヴァリウスの中でも三大名器に挙げられるこの楽器は圧倒的な存在感があります。全身全霊で立ち向かわなければなりませんから、技術はもちろん気力も、そして体力も必要です。最初はなかなか楽器の持つ力が活かせず苦労しましたが、楽器の持つ素晴らしさを最大限引き出させる様に、試行錯誤を繰り返しながら、長い時間を過ごしてきました。演奏家の個性とは、楽器と一体化したものでもありますから、楽器と歩んできた年月、その影響は大きいです。

「ドルフィン」はハイフェッツの演奏後、30年間ほどほとんど弾かれていませんでした。急な環境の変化でニスやパーフリングが浮くこともあり、そのたびに調整。楽器を持ち変えてから数年後、指板の位置が数ミリ中心からズレていたことがわかり、7週間ほど楽器を工房に預け、大規模な再調整が行われました。それ以降、音量や響きはもちろん、音色の艶が格段に増し、楽器の状態も安定しました。

“名器“と言われる楽器は、それぞれ非常に個性的です。「ドルフィン」は黄金期の作品で、保存状態が良く、楽器の持つはりの強さ、倍音の美しさと響きが特徴的です。私たちにとって楽器を貸してくださる方々の存在は、なくてはならないものです。楽器がなくては演奏家は成り立ちません。楽器と共に育み精進を重ねる — また皆様の前で演奏できることを楽しみにしています。

(雑誌「サラサーテ」インタビュー 2020年8月号より抜粋)

ゴルトムント・クアルテット Goldmund Quartet

ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット:Paganini Quartet」

フロリアン・シュッツ(第1ヴァイオリン)	1727年製ヴァイオリン「パガニーニ」
ピンカス・アット(第2ヴァイオリン)	1680年製ヴァイオリン「パガニーニ」
クリストフ・ヴェンドーリ(ヴィオラ)	1731年製ヴィオラ「パガニーニ」
ラファエル・パトローレ(チェロ)	1736年製チェロ「パガニーニ」

Q.日本音楽財団から、2019年から貸与されている「パガニーニ・クアルテット」についての印象、あるいは使い続けて発見したことなどをお聞かせください。

A.「パガニーニ・クアルテット」のことが本当に大好きです！東京で楽器を手にした日から今日まで毎日が新しい発見で、楽器に無限の可能性を感じます。当然、楽器を知るためにはある程度の時間を要するのが常ですが、我々の場合、とても早かったです。楽器があまりにも見事に互いに調和するので、演奏するのが純粹な喜びです。この楽器を所有していたニコロ・パガニーニは、楽器を理想的に組み合わせる上で各々の楽器が必要とする具体的な音質を明らかに理解していました。楽器は我々を真に形成し、クアルテットの音色の一部になっています。いつか返却しなければならないと考えるだけで恐ろしくなります。

Q.「パガニーニ・クアルテット」の4本のアンサンブルが奏でるサウンドは、どのような特徴があるでしょうか。

A.楽器4挺それぞれに独自の個性があります。第一ヴァイオリンの輝きと力強さ、第二ヴァイオリンの温かみと明瞭さ、美しく透明感のあるヴィオラの澄んだ音色、力強く地に足の着いたチェロが完璧に調和しています。これら4挺の楽器で、最善の方法で自己表現できることをとても嬉しく感じています。

(雑誌「音楽の友」インタビュー 2022年9月号掲載)

キム・スーヤン Kim Suyoen

ストラディヴァリウス 1702年製ヴァイオリン「ロード・ニューランズ:Lord Newlands」

「ロード・ニューランズ」は、私にとってとても特別な楽器です。あらゆることを極めて個人的なやりかたで表現できる完璧な楽器だと心から感じるからです。音色や音への感触に対する私の考えは、このヴァイオリンから大きな影響を受けており、他の楽器を演奏しているときも、即座に同じものを求めています。開放的で響きわたるように澄んだ音色で、大変温かみもあります。「ロード・ニューランズ」を通じて、とても私的で誠実な音楽づくりができていていると感じています。

(雑誌「音楽の友」インタビュー 2022年9月号掲載)

ティモシー・チューイ Timothy Chooi

ストラディヴァリウス 1709年製ヴァイオリン「エングルマン:Engleman」

「エングルマン」は力強いヴァイオリンで、まるで龍のように激しい音質を持ち、低音弦において特にそれが顕著です。同時代に製作されたものよりも楽器本体のサイズが大きく、その分、より多くの木を介して音を共鳴させることが可能となり、その結果、より大きな音を出せるのです。暗く満ちた音色を自然に出せる特性もあり、チャイコフスキーやブラームスのような深い音楽を演奏するのに特に適していることがわかりました。G線は殆どバリトン歌手と同じようになり、とても大きく共鳴します。私はこれまで美しく甘い音に信頼を置いてきましたが、それに加え、このヴァイオリンを演奏して音のスペクトルにおいて暗黒な側面を見出すことができたのは確かです。

(雑誌「音楽の友」インタビュー 2022年9月号掲載)

パブロ・フェランダス Pablo Ferrández

ストラディヴァリウス 1696年製チェロ「ロード・アイレスフォード:Lord Aylesford」

初めてこの楽器を弾いた日は、これまでの人生で最も不思議な一日でした。ストラディヴァリウスを弾くのは子供の頃からの夢でしたが、二つの事柄で大きな責任を感じました。一つは長い歴史の中でこの楽器を弾いてきた数々の立派なチェリストたちのような演奏家になることで、この楽器の弾きかたのすべてを学びたいという想いを強く抱き、そのことに夢中になりました。もう一つはこの楽器の歴史的な重要性をよく理解していたので、当初は楽器に何か起きる悪夢をよく見ました。数百もの公演を共にしたこの楽器は私の身体の一部、親友のようで、世界中、音楽の旅を共にしています。その美しい音色を自分の声のように感じ、いまでは我々はすばらしいチームだと思います。

(雑誌「音楽の友」インタビュー 2022年9月号掲載)



マリア・ドゥエニャス **María Dueñas**

グアルネリ・デル・ジェス 1736年製ヴァイオリン「ムンツ:Muntz」

この楽器を日本音楽財団からお借りできていることをとても光栄に思っています。私にとって初めてのグアルネリ・デル・ジェスでもあり、演奏できる喜びも格別です。楽器を試奏する前から、ヴァイオリンを覆う美しいニスと完璧な保存状態に目を奪われました。また、その瞬間から、楽器から最高のものを引き出せる方法を私には理解することができたのです。最初に出会った頃からヴァイオリンの進化とともに、私自身も進化していると感じており、多様な音色を見出し、楽器からこれほど多くの異なるニュアンスを引き出せることに驚いています。とても温かく深い、そしてときに暗い音色が、明るく輝くように広がる音色のパレットと対照をなすさまに、最も感銘を受けています。

(雑誌「音楽の友」インタビュー 2022年9月号掲載)

ベンジャミン・バイルマン **Benjamin Beilman**

グアルネリ・デル・ジェス 1740年製ヴァイオリン「イザイ:Ysaÿe」

この「イザイ」は世界で最も重要な楽器の一つです。これまで数々の著名な演奏家が楽器に息吹をもたらしただけでなく、その音色は格別です。このヴァイオリンで演奏できるのは唯一無二の経験だと感じています。自分のすぐ耳元で聴こえる楽器の音色は希望を与えてくれるほど美しく豊かですが、客席で味わう音色の輝きは比類がないからです(耳元では息をのむほど素晴らしい音色でも、客席ではどんよりと沈んで聴こえる楽器もあります)。このヴァイオリンは私が求めるだけのエネルギーを吸収し増幅してくれます。音色の可能性は無限に感じられ、今後のさらなる発見が楽しみです。

(雑誌「音楽の友」インタビュー 2022年9月号掲載)

五嶋 龍 **Ryu Goto**

ストラディヴァリウス 1722年製ヴァイオリン「ジュピター:Jupiter」

本日のプログラムは、皆様に楽しんでいただけるよう18世紀後半から20世紀前半に作曲された比較的馴染みのある作品を選びました。これらの作品と共に楽しんでいただきたいのが、ストラディヴァリウス「ジュピター」の音色です。この楽器は、日本音楽財団からお借りしている楽器で、イタリア・クレモナの巨匠アントニオ・ストラディヴァリが1722年に製作した銘器です。ジュピターのようにニックネームが付く楽器は、これまでに優れた演奏家に愛用され、また、熱心なコレクターによって300年もの間大切に守られてきました。

「ジュピター」には演奏家が表現したい音楽の内面を最大限引き出す力があります。楽器本来の未知の魅力を追いつつ自分自身のイメージネーションを融合させて音楽を作っていく過程は、僕にとって素晴らしい瞬間としか言いようがありません。「ジュピター」を初めて弾いたときは、何時間もコミュニケーションを図り、軽い弓が合うのか、それとも重い弓が合うのかといろいろ試し、様々な音の響きに出会いました。今もなお新たな発見があることに感動します。

理想的な音楽を奏でることができ、それを皆様に共感していただけたとき、演奏家として大変嬉しく思います。そして、音楽を通して少しでも社会に還元できるこのような機会を与えていただきましたことに心より感謝いたします。

(2014年11月20日開催 日本音楽財団演奏会プログラム掲載)

竹澤恭子 Kyoko Takezawa

ストラディヴァリウス 1735 年製ヴァイオリン「サマズィユ:Samazeuilh」

この度、日本音楽財団のご好意により、1735 年製のアントニオ・ストラディヴァリウス「サマズィユ」を貸与いただき、デビュー30周年という節目にあたります記念リサイタルツアーなどのコンサートにて、この素晴らしい楽器で演奏させていただけます事、本当に幸せに思っております。

今夜のプログラムですが、第一にこの「サマズィユ」という楽器の特色を余すところ無くお伝え出来る様なものにしたいということを念頭に組ませていただきました。この楽器は、とても奥深く力強い魅力的な低音から、人間の声を感じさせる様な中音域、そして、輝かしくも温かみを感じさせる高音域まで、高貴なオーラと共に幅広い表現のできる、まるでストラディヴァリウスとガエルネリ・デル・ジェスの魅力を合わせ持つ様な楽器と感じております。これまでコレクターのもとで大切に保管されていたこの楽器は、今まさに目覚めの時にあり、その可能性は無限大です。

そこで、このプログラムの軸となるヴァイオリン・ソナタの最高傑作とも言われるベートーヴェンの「クロイツェル」ソナタやフランクのソナタでは、この楽器の表現の幅の広さや豊かさ、そして、プログラム冒頭のユダヤ人作曲家ブロッホの濃密でスピリチュアルで祈りの音楽である「パール・シェム」では、この「サマズィユ」の最大の魅力である低音や濃厚な音色を、また、ワーグナーやクライスラーの小品ではロマンティックな人間の感情の機微を、人間の肉声を感じさせる「サマズィユ」の音色でお楽しみいただけたらと思っております。

(2019 年 3 月 5 日開催 日本音楽財団演奏会プログラム掲載)

楽器貸与中の演奏家からのお祝いメッセージ

「財団設立 50 年、貸与事業 30 年」

2023 年 7 月 (メッセージ到着順)

マリア・ドウエニャス **María Dueñas**

ガエルネリ・デル・ジェス 1736 年製ヴァイオリン「ムンツ:Muntz」貸与

I would like to congratulate the Nippon Music Foundation on the occasion of the 50th Anniversary and, at the same time, to make the world aware of the important mission it has accomplished along these years. A long journey, deserving profound admiration, joining efforts to preserve an irreplaceable legacy and to hand it in to the coming generations.

I still remember with great excitement the first time ever I travelled to Japan to meet the Foundation Members and receive the Guarneri del Gesù Muntz, a wonderful violin whose voice has helped me grow as a musician. It is indeed the respect and appreciation of a unique cultural tradition that makes the Nippon Music Foundation one of its own. I feel very fortunate to be discovering my musical voice, being accompanied and supported by the Foundation. Long live the Nippon Music Foundation!

日本音楽財団の創立 50 周年に際しお祝い申し上げますとともに、これまで長年にわたり財団が成し遂げてきた重要な責務を世界中の皆様にご存知いただきたいと思います。それは、かけがえない文化遺産を保存し、次世代に引き継いでいくための長い道のりであり、深い称賛に値する努力の賜物です。

初めて日本を訪れ、財団の皆様にご会い、ガエルネリ・デル・ジェス「ムンツ」を受け取った時のことを今でも大きな興奮とともに覚えています。この素晴らしいヴァイオリンの持つ声のお蔭で、音楽家と



して成長することができました。唯一無二の文化的伝統に対する敬意と称賛は、まさに日本音楽財団独特のものです。財団よりご支援いただき、自分自身の音楽の声を発見できていることを大変幸運に感じています。日本音楽財団、万歳！

レイ・チェン Ray Chen

ストラディヴァリウス 1714 年製ヴァイオリン「ドルフィン:Dolphin」貸与

I am truly honored to contribute to the anniversary book celebrating the 50th anniversary of the Nippon Music Foundation and the 30th anniversary of the Instrument Loan Project.

The Nippon Music Foundation's Instrument Loan Project has been a lifeline for many musicians, including myself, by offering us the rare opportunity to perform on exceptional instruments, such as the 1714 Dolphin Stradivarius that I am currently playing. These instruments are priceless treasures that would otherwise be unattainable for most musicians, allowing us to unlock our full potential and enrich the world with our artistry.

As a modern classical musician, I have embraced music education through social media as a means to connect with audiences and inspire a new generation. I am excited to continue working closely with the Foundation to shape the future of classical music and adapt to the evolving expectations of today's musicians. Together, we can nurture talent, promote the beauty of classical music, and ensure its enduring legacy.

I am deeply grateful for the opportunity to be a part of this inspiring community, and I am confident that the Foundation's efforts will continue to empower musicians worldwide.

日本音楽財団の創立 50 周年、楽器貸与事業の 30 周年を祝福する記念誌に寄稿させていただけることを大変光栄に思います。

日本音楽財団の楽器貸与事業は、私自身を含め多くの音楽家にとって生命線となっており、現在私が弾いているストラディヴァリウス 1714 年製ヴァイオリン「ドルフィン」のように、極めて優れた楽器を演奏する希少な機会をもたらしています。

これらの楽器はこのような機会がなければほとんどの演奏家にとって入手不可能な貴重な宝物であり、これらの楽器のお蔭で、私たちは自らの可能性を最大限に引き出し、自らの芸術性で世の中を豊かにすることが可能となっています。

現代のクラシック音楽家として、私は聴衆とつながり、新しい世代にインスピレーションを与える手段として、ソーシャルメディアを通じた音楽教育を取り入れてきました。財団との緊密な連携を今後も続け、クラシック音楽の未来を形作り、今日の音楽家の進化する期待に適応していきたいと思えます。共に力を合わせて才能を育て、クラシック音楽の美しさを広め、その永続的な文化遺産を確かなものにしてまいります。

この素晴らしいコミュニティの一員になる機会をいただけたことに深く感謝しており、日本音楽財団の取り組みが今後も世界中の音楽家を力づけていくものと確信しています。

ゴールドムント・クアルテット Goldmund Quartet

ストラディヴァリウス「パガニーニ・クアルテット:Paganini Quartet」貸与

フロリアン・シュッツ Florian Schötz (1 st vn)	1727 年製ヴァイオリン「パガニーニ: Paganini」貸与
ピンカス・アット Pinchas Adt (2 nd vn)	1680 年製ヴァイオリン「パガニーニ: Paganini」貸与
クリフトフ・ヴァントーリ Christoph Vandory	1731 年製ヴィオラ「パガニーニ: Paganini」貸与
ラファエル・パラトーレ Raphael Paratore	1736 年製チェロ「パガニーニ: Paganini」貸与

The fact that the Nippon Music Foundation is both committed to the best possible preservation of one of the most valuable cultural assets and at the same time offers young musicians the opportunity to play on the best instruments ever built is very fortunate. We, as a string quartet, are very grateful to the Nippon Music Foundation for allowing us to play on four unique Antonio Stradivari instruments since 2019.

We wish the Nippon Music Foundation on its 50th birthday and the Instrument Loan Project on its 30th birthday all the best for the future and congratulate you on the occasion of these anniversaries for your worldwide unique project.

日本音楽財団の尽力で、最も貴重な文化財の一つを可能な限り最良の状態に保存し、同時に、史上最高の楽器を演奏する機会を若手音楽家に提供しているという事実は、大変幸運なことです。私たち弦楽四重奏団は、2019 年以來、アントニオ・ストラディヴァリ製で構成された 4 挺の特別な楽器を演奏させていただいている日本音楽財団に大変感謝しております。

日本音楽財団の創立 50 周年と、楽器貸与事業 30 周年を祝し、今後益々のご多幸をお祈り申し上げますとともに、世界で唯一無二の事業の周年記念に際しお祝い申し上げます。

外村理紗 Risa Hokamura

ストラディヴァリウス 1722 年製ヴァイオリン「ジュピター:Jupiter」貸与

Congratulations Nippon Music Foundation for your 50 years of establishment!

Acknowledging the fact that the NMF does this wonderful Instrument Loan Project for 30 years, just amazes me.

I cannot thank the Foundation enough for doing this since instruments are not only one of the important elements to build the career, but also to grow as a musician.

The foundation owns the top instruments in the world, and I am so lucky that I am able to play one of those.

日本音楽財団創立 50 周年おめでとうございます！

日本音楽財団がこの素晴らしい楽器貸与事業を 30 年間実施されていることに感嘆するばかりです。

楽器はキャリアを築くためだけでなく、演奏家として成長する上でも重要な要素であり、楽器貸与事業を実施されている財団にはいくら感謝してもしきれません。

日本音楽財団は、世界でトップクラスの楽器を所有しており、その楽器の一つを演奏できることを、とても幸運に思います。

吉田 南 Minami Yoshida

ストラディヴァリウス 1716 年製ヴァイオリン「ブース:Booth」貸与

日本音楽財団設立 50 周年、事業開始 30 周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

長きに亘り社会へ貢献されてきた功績をたたえ、益々のご発展を祈念致します。

また財団の皆様の日々の献身に敬意を表し、感謝を申し上げたいと思います。

ストラディヴァリウスを貸与戴き、世界各地に特別な音色をお届けできることは私の誇りです。音楽により社会や人々の心に安寧や調和をもたらすことができるよう、今後も邁進して参ります！



前田妃奈 Hina Maeda

ストラディヴァリウス 1715 年製ヴァイオリン「ヨアヒム:Joahim」貸与

日本音楽財団さま、記念すべき年を迎えられたこと、おめでとうございます。

演奏家にとって、楽器は自分の技術と同じくらい大事な要素で、若いうちから名器と共に過ごせることは本当に幸せなことです。私は、楽器を貸与していただいたことで、思ってもみなかった新しい世界へと人生の駒を進めることができました。とても感謝しています。

財団の、これからのますますの発展を祈念しております。

キム・スーヤン Suyoen Kim

ストラディヴァリウス 1702 年製ヴァイオリン「ロード・ニューランズ:Lord Newlands」貸与

I would like to express my sincere congratulations to the 50th anniversary of the Nippon Music Foundation. The Nippon Music Foundation is one of the most care-taking of the wonderful instruments. I was so lucky to be given the chance of playing long term the amazing Lord Newlands violin, with which I immediately felt deeply connected to. Its sound has inspired me ever since and every performance gives me so much joy. The Foundation helps so many young musicians to not only play a great instrument but also to find and shape one's personal sound and this is maybe the most important long lasting support we can wish for.

日本音楽財団設立 50 周年に際し、心より祝意を表します。日本音楽財団は素晴らしい楽器を最も大切に扱っている機関の一つです。私は「ロード・ニューランズ」という素晴らしい楽器を長期に亘って演奏する機会を与えていただきとても幸運でした。「ロード・ニューランズ」とは瞬時に深い繋がりを感じ、それ以来、私はこの楽器の音色にインスピレーションを受け、楽器を演奏するたびに大きな喜びを感じています。財団は、多くの若手音楽家たちが優れた楽器を演奏するだけでなく、個々の音色を見つけ、形作ることを支援しており、これこそが、私たちが望む最も重要な長期的サポートなのです。

金川真弓 Mayumi Kanagawa

ストラディヴァリウス 1725 年製ヴァイオリン「ウィルヘルミ:Wilhelmj」貸与

I am nearing the end of my first year together with the beautiful “Wilhelmj” Stradivarius of 1725- the search for symbiosis and unity between body and soul, tool and craft, form and content, which I find to be the ultimate search in life and art, feels extremely heightened alongside such an extraordinary violin.

On the occasion of the 50th anniversary of the Foundation's establishment, I would like to thank and celebrate the ongoing and invaluable work of so many to preserve and let these instruments flourish both as works of art, and as tools for the art of music making, letting us string players experience these beauties through the Loan Project. It is a great testament to our human society, and I hope for its lengthy continuation and success.

私がこの美しい 1725 年製のストラディヴァリウス「ウィルヘルミ」と共に過ごした最初の年も終わりに近づいています。それは、身体と魂、道具と工芸品、形式と内容への共生と統一への探求で、これこそが人生における究極の探求であり、このような並外れたヴァイオリンと共に過ごす中で、芸術性

がとても高められていると感じています。

財団設立 50 周年に際し、これらの楽器を芸術作品として、また、音楽制作のツールとして保護し、繁栄させるために数多くの方が貴重な取り組みを続けて下さっていること、そして楽器貸与事業を通じて私たち弦楽器奏者がこのような素晴らしい経験を得られていることに感謝し、祝意を申し上げます。それは私たち人間社会への偉大な証であり、このような取り組みが今後も長く継続し成功することを願っています。

ステラ・チェン Stella Chen

ストラディヴァリウス 1708 年製ヴァイオリン「ハギンス:Huggins」貸与

It is my pleasure to join in the celebration of the 50th anniversary of the Nippon Music Foundation and the 30th anniversary of the Instrument Loan Project. I will never forget my feeling of awe and gratitude receiving this piece of art and history from the Foundation on that very same day that I was officially bestowed the first prize of the Queen Elisabeth Competition in 2019. The “Huggins” violin is a treasure, and it has been my pleasure and privilege to explore and develop alongside the beautiful colors that live within the instrument. I am grateful to be a part of this legacy, and I thank and congratulate the Foundation from the bottom of my heart!

日本音楽財団設立 50 周年および楽器貸与事業 30 周年をお祝いできることを大変光栄に思います。私が 2019 年にエリザベート王妃国際音楽コンクールで第1位を授与された同日、芸術と歴史を併せ持つこの楽器を受け取った時の畏敬と感謝の念を決して忘れません。このヴァイオリン「ハギンス」は宝物であり、楽器の中に息づく美しい色と共に探求し成長できたことは私の喜びであり、光栄に思います。私がこの伝説の一部になれることに感謝し、日本音楽財団に心よりお礼とお祝い申し上げます。

吉本梨乃 Rino Yoshimoto

ストラディヴァリウス 1736 年製ヴァイオリン「ムンツ:Muntz」貸与

日本音楽財団の 50 周年記念に際し、ストラディヴァリウス「ムンツ」を貸与していただいていることに心から感謝しています。この素晴らしい楽器と出会えたことは私にとって夢のような瞬間であり、演奏家としての成長と共に喜びと感動を与えてくれました。これからもこの素晴らしい楽器と共に、音楽の力を通じて多くの人々に感動と希望を届けられるよう努めてまいります。日本音楽財団のご支援に深く感謝し、これからも精進して音楽の美を追求し続けます。心からお祝い申し上げます！

ベンジャミン・バイルマン Benjamin Beilman

グアルネリ・デル・ジェス 1740 年製ヴァイオリン「イザイ:Ysaÿe」貸与

It is with great joy and appreciation that I write this message congratulating the Nippon Music Foundation on its 50th birthday, as well as three decades of its Instrument Loan Project. The foundation's mission to preserve our shared history through these instruments, as well as transform as many lives in the process, is a noble and increasingly rare endeavor. I thank Mr. Kano and the tireless team at NMF for making all this possible.



The great violinist Fritz Kreisler summed up what NMF and all of us strive for every day: “The artist is like a honeybee; he gathers the pollen and travels from country to country sowing the seeds of understanding and goodwill.”

日本音楽財団の設立 50 周年と楽器貸与事業 30 周年への祝意をお伝えできることに、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。これらの楽器を通じて私たちの共有する歴史を守り、また、その過程で多くの方々の人生を変革するという財団の使命は崇高であり、極めて希少な取り組みです。これらすべてを可能にして下さっている加納氏と日本音楽財団の精力的なチームに感謝申し上げます。

偉大なヴァイオリニストであるフリッツ・クライスラーが、日本音楽財団や私たち皆が日々努力していることを、次のように要約しています：「芸術家は蜜蜂のようなものです。花粉を集め、国から国へと旅し、理解と善意の種を蒔いているのです。」

カミーユ・トマ Camille Thomas

ストラディヴァリウス 1730 年製チェロ「フォイアマン:Feuermann」貸与

I had the privilege to play the "Feuermann" Stradivarius for the past four years and it has been one of the most extraordinary experiences in my life. Each time I play on it, I feel blessed and honored to be able to make this extraordinary instrument resonate for an audience and bring emotion and hope.

Playing on this cello developed and transformed my playing in a way that I couldn't have imagined. Thanks to it, I am now a different cellist, a better one. I have the feeling that after those years, we are partners, it is now a part of me, like my own voice.

I could not live without music and I dedicate my life to it. Spending those years with the Feuermann Stradivarius, the most beautiful cello I ever played, was the biggest chance in my life and that would have never happened without the generosity and trust of the Nippon Music Foundation. I want to express my gratitude from the bottom of my heart to them as they changed my life. With this incredible loan, they are helping me to accomplish my goal to serve the music and bring hope and beauty to humanity through music. I will be forever grateful. Merci...

この4年間、ストラディヴァリウス「フォイアマン」を演奏する恩恵を受けてきましたが、それは私の人生で最も特別な経験の一つでした。「フォイアマン」を演奏するたびに、この素晴らしい楽器を聴衆の皆さまの心に響かせ、感動と希望をもたらすことができるのを、幸せで光栄なことと感じています。このチェロで演奏し、自分でも想像できなかったほど演奏が開花し、変化しました。「フォイアマン」のおかげで、私はこれまでとは異なる、より優れたチェリストになったのです。これまでの年月を経て、私たちはパートナーであり、「フォイアマン」はまるで自分の声のように自分自身の一部になっていると感じています。

私は音楽なしでは生きていけません。そして人生を音楽に捧げています。ストラディヴァリウス「フォイアマン」は、私がこれまでに演奏した最も美しいチェロです。「フォイアマン」と共にこれまでの数年間を過ごせたことは私の人生における最大の巡り合わせでしたが、それは日本音楽財団の寛大さと信頼がなければ決して起こりませんでした。私の人生を変えてくれた日本音楽財団に心より感謝を表したいと思います。この素晴らしい貸与のお蔭で、音楽に奉仕し、音楽を通じて人類に希望と美をもたらすという私の目標を成し遂げることができています。これからも一生感謝したいと思います。ありがとうございます。

3. 演奏会の開催

保有するストラディヴァリウス等を使用した被貸与者による演奏会は、楽器貸与事業の広報を図るとともに、音楽の普及・振興に貢献している。

楽器貸与事業を開始した当時は、まず、多くの人に当財団の楽器貸与事業を知ってもらうことを目的にオピニオン・リーダー等を対象にした招待限定の演奏会を多く開催した。2014年度からの10年は特に地方都市での演奏会開催に力を入れるとともに、多くの方々にクラシック音楽を生で聴く機会を提供しながら、クラシック音楽ファンの底辺拡大を目的に、青少年を対象とした「レクチャー・コンサート」を積極的に展開してきた。また、当財団単独主催だけでなく、他団体と共催することにより、より効果的なコンサート運営ができることから、さまざまな共催団体と協力して演奏会の運営に努めてきた。

①シリーズ化し毎年国内外で実施してきた「ストラディヴァリウス・コンサート:Encounter with Stradivari」は、2010年度の開催を最後に日本国内での開催が主となり、海外での開催は日本財団からの要請を受けての開催のみとした。2018年度にはスイス・ジュネーブの国連本部で世界人権宣言70周年記念「ストラディヴァリウス・コンサート2018」、2023年度にはノルウェー・ベルゲンで、らい病発見150周年記念「ハンセン病ベルゲン国際会議」やスイス・ジュネーブでの「ハンセン病回復者たちに対する偏見や差別をなくすためのグローバル・アピール2024」においてのストラディヴァリウス・ミニ・コンサートとして実施した。日本国内での開催は引き続き4年ごとに10挺以上を一堂に会した演奏会を実施しているが、2020年度はコロナ禍で開催中止となった。10挺以上が一堂に会する大規模な「ストラディヴァリウス・コンサート」は4年ごととしているが、その間の3年は、2名から3名程度による小規模なコンサートを「ストラディヴァリウス・コンサート」としてシリーズ化して開催している。

《「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み》資料⑤参照

②「チャリティ・コンサート」では、地域の文化発信の拠点となることを目指している音楽ホールや、地域の問題解決に取り組んでいるNPO等を演奏会のパートナーとして実施し、チケット売上等の全額をそれらの団体が行う事業等に寄付した(コンサートの運営は日本財団の助成で行うことができることから、チケット売上は、音楽ホールや演奏会のパートナー団体に全額寄付することができた)。音楽ホールや当財団の演奏会パートナーが行っている事業の周知を行いながら入場料を行うことで、確実に集客を伸ばすことができた。

《「チャリティ・コンサート」の開催一覧》資料⑥参照

2022年度からは、共催団体に入場料の取扱いを委ね、その収入はそれぞれの公益事業に使われることになった。

③2011年度から始めた「青少年のためのレクチャー・コンサート」は、当初25歳以下の高校生及び大学生を対象として全席招待とした。近年では、小・中学生を対象として「初めてのクラシック音楽を生で鑑賞」する機会を提供し、クラシック音楽ファンの底辺拡大に力を注いできた。

《「青少年のためのコンサート」の歩み》資料⑦参照

④2017年度から、全国のオーケストラとの共同事業は、名古屋フィルハーモニー交響楽団の定期公演に当財団の被貸与者をソリストとして出演協力するシリーズを3年間実施した。

その後、(公社)日本オーケストラ連盟と協力し、当該連盟に加盟するオーケストラの定期演奏



会に被貸与者をソリストとして出演協力をしている。

◀ 「オーケストラとの共演コンサート」の歩み ▶ 資料⑧参照

⑤2023 年度からは(公社)全国公立文化施設協会(公文協)と協力し、全国の自治体が運営するホールと共同して、地域におけるクラシック音楽文化の振興・普及のため、被貸与者のリサイクルを開催、また主に子供を対象としたクラシック音楽の普及を目的として(公財)千葉県文化振興財団と協力し、被貸与者による演奏会の共同開催を開始した。

⑥2020 年から 2022 年にかけて世界的な新型コロナウイルス感染症拡大により、財団主催演奏会が中止となった。これを機に楽器貸与者による演奏動画を当財団 YouTube サイトで積極的に配信した。

2014 年度から 2023 年度の演奏会(年度順)内容は下記のとおり。

演奏曲目は巻末資料④(P.121~P.136)参照

2014 年度

- 1) 名 称 「ストラディヴァリウスの響き」 巻頭写真参照
子どもの心と身体の成長支援ネットワークのためのチャリティー・コンサート
(よみうり大手町ホールの柿落しコンサートとして開催)
- 出 演 Ray Chen Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”使用
石坂団十郎 Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”使用
江口 玲 ピアノ
- 日 時 2014 年 6 月 24 日(火) 19:00 開演
- 会 場 よみうり大手町ホール大ホール(東京都千代田区)(501 席)
- 主 催 読売新聞社
- 特別協力 (公財)日本音楽財団
- 協 力 (公財)日本財団
- 入場料 全席 6,000 円(※寄付先と寄付額は次の公演に記載)
- 来場者数 約 460 名
- 2) 名 称 「ストラディヴァリウスの響き」
子どもの心と身体の成長支援ネットワークのためのチャリティー・コンサート
- 出 演 指 揮 円光寺雅彦
オーケストラ 読売日本交響楽団
ソリスト Ray Chen Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”使用
石坂団十郎 Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”使用
- 日 時 2014 年 6 月 25 日(水) 19:00 開演
- 会 場 サントリーホール(東京都港区)(2,006 席)
- 主 催 読売新聞社
- 特別協力 (公財)日本音楽財団
- 協 力 (公財)日本財団
- 入場料 S 席 8,000 円、A 席 6,000 円、P 席 4,000 円※

- 来場者数 約 1,740 名
- ※寄付先と 上記 1)、2) の 2 公演から「子どもの心と身体の成長支援ネットワーク」へ主催で
寄付額 ある読売新聞を通じて 1,000,000 円を寄付した
- その他 6 月 25 日のコンサートには読売新聞を通じて視覚障害者等も招待した
- 3) 名 称 第 12 回いずみホール“夢コンサート”
障害者とその家族やボランティアの方々を無料で招待するコンサートに下記楽器貸与者の出演協力をした。



- 出 演 指揮 藤岡幸夫
オーケストラ 関西フィルハーモニー管弦楽団
ソリスト Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”使用
- 日 時 2014 年 9 月 26 日 (金) 14:00 開演
- 会 場 いずみホール (大阪府大阪市) (821 席)
- 主 催 (一財)住友生命社会福祉事業団
- 特別協力 (公財)日本音楽財団
- 協 力 (公財)日本財団
- 招待団体 大阪市社会福祉協議会、日本ライトハウス、大阪ボランティア協会、
歯車の会、スミセイハーモニー、全国重度障害者雇用事業所協会
- 来場者数 約 600 名 (盲導犬 15 頭、車いす 17 台) (全席招待)
- 4) 名 称 ストラディヴァリ製作“パガニーニ・クアルテット”の音色
～ハーゲン・クアルテット コンサート～
- 出 演 Hagen Quartet Stradivarius “Paganini Quartet”使用
Lukas Hagen (1st vn) Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini”使用
Rainer Schmidt (2nd vn) Stradivarius 1680 年製 Violin “Paganini”使用
Veronika Hagen Stradivarius 1731 年製 Viola “Paganini”使用
Clemens Hagen Stradivarius 1736 年製 Cello “Paganini”使用



- 日 時 2014年9月29日(月) レセプション 18:00 演奏会 19:00 開演
 会 場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区)(550席)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 来場者数 約450名(全席招待)
- 5) 名 称 ストラディヴァリウス チャリティー・コンサート
 五嶋 龍 ヴァイオリン・リサイタル
- 出 演 五嶋 龍 Stradivarius 1722年製 Violin “Jupiter”使用
 鳥羽亜矢子 ピアノ
- 日 時 2014年11月20日(木)18:30 開演
 会 場 郷の音ホール(兵庫県三田市)(974席)
 主 催 (公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団
 (社福)ひょうご障害福祉事業協会
- 後 援 三田市、三田市教育委員会、三田市音楽協会
 特別協力 (公財)日本音楽財団
 協 力 (公財)日本財団
 入場料 一般2,000円(当日2,500円)、学生1,000円(当日1,500円)全席自由
 寄付先 子ども発達支援センター・さんだ
 寄付額 1,878,000円(チケット売上の全額)
 来場者数 約900名



- 6) 名 称 パブロ・フェランデス チェロ・リサイタル
- 出 演 Pablo Ferrández Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”使用
 林 絵里 ピアノ
- 日 時 2014年12月11日(木)
 レセプション 18:00 演奏会 19:00 開演
- 会 場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区)(550席)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 来場者数 約450名(全席招待)



7) 名 称 青少年のためのレクチャーコンサート「名曲への誘い」
 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ
 日 時 2014 年 11 月 7 日(金)14:00 開演
 会 場 アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市)(700 席)
 主 催 (公財)日本音楽財団、アトリオン音楽ホール
 協 力 (公財)日本財団
 来場者数 約 600 名(全席招待)
 CD 配布 当日の実録 CD を参加した学生に配布した



8) 名 称 青少年のためのレクチャーコンサート「音楽の楽しみ」
 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ
 日 時 2014 年 12 月 14 日(日)14:00 開演
 会 場 鶴来(つるぎ)総合文化会館クレイン(石川県白山市)(800 席)
 主 催 白山市文化協会
 特別協力 (公財)日本音楽財団
 協 力 (公財)日本財団
 来場者数 約 500 名(全席招待)
 CD 配布 当日と同じプログラムの実録 CD を来場者に配布した

9) 名 称 子どもたちのためのレクチャーコンサート「音楽の楽しみ」
 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ
 日 時 2015 年 2 月 14 日(土)15:00 開演
 会 場 北九州市響ホール(福岡県北九州市)(720 席)
 主 催 (公財)北九州市芸術文化振興財団
 共 催 北九州市、北九州市教育委員会
 特別協力 (公財)日本音楽財団
 協 力 (公財)日本財団
 来場者数 約 500 名(全席招待)
 CD 配布 当日と同じプログラムの実録 CD を来場者に配布した

2015 年度

1) 名称 **Andrey Baranov ヴァイオリン・リサイタル**
 出演 **Andrey Baranov Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”使用**
 林 絵里 ピアノ
 日程 2015 年 4 月 15 日(水) レセプション 18:00 演奏会 19:00～20:00
 会場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区) (550 席)
 主催 (公財)日本音楽財団
 助成 (公財)日本財団
 来場者数 約 500 名(全席招待)



2) 名称 **Summer Concert 2015**
 出演 **Arabella Miho Steinbacher Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”使用**
 石坂 団十郎 **Stradivarius 1730 年製 Cello “Feruemann”使用**
 林 絵里 ピアノ
 日程 2015 年 7 月 9 日(木)
 レセプション 18:00 演奏会 19:00～20:00
 会場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区) (550 席)
 主催 (公財)日本音楽財団
 助成 (公財)日本財団
 来場者数 約 500 名(全席招待)



3) 名称 **第 13 回いずみホール“夢コンサート”**
 障害を持つ方とその方々をサポートする家族やボランティアの人たちを無料で招待するコンサートに下記楽器貸与者の出演協力をした。

出演 指揮 **藤岡幸夫**
 オーケストラ **関西フィルハーモニー管弦楽団**
 ソリスト **渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”使用**
 日時 2015 年 10 月 7 日(水) 14:00～16:00
 会場 **いずみホール(大阪府大阪市) (821 席)**
 主催 **いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団]**
 特別協力 (公財)日本音楽財団

協 力 (公財) 日本財団
 招待先団体 大阪市社会福祉協議会、日本ライトハウス、大阪ボランティア協会、
 視覚障がいサポートボランティア、スミセイハーモニー、
 全国重度障害者雇用事業所協会、身障者講習会講師
 来場者数 約 630 名(盲導犬 15 頭、車いす 23 台、ストレッチャー1 台)(全席招待)



©樋川智昭

4) 名 称 青少年のためのレクチャーコンサート「ベートーヴェンを聴こう」
 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ
 日 程 2015 年 10 月 30 日(金) 14:00～15:20
 会 場 アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市) (700 席)
 主 催 (公財) 日本音楽財団、アトリオン音楽ホール
 協 力 (公財) 日本財団
 来場者数 約 530 名(全席招待)
 CD 配布 出席した学生等に実録 CD を配布した



5) 名 称 Ji Young Lim ヴァイオリン・リサイタル
 出 演 Ji Young Lim Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”使用
 鳥羽亜矢子 ピアノ
 日 程 2015 年 11 月 10 日(火)
 レセプション 18:00 演奏会 19:00～20:00
 会 場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区) (550 席)
 主 催 (公財) 日本音楽財団
 助 成 (公財) 日本財団
 来場者数 約 450 名(全席招待)



6) 名 称 ストラディヴァリウス チャリティー・コンサート
 パブロ・フェランデス チェロ・リサイタル

出 演 Pablo Ferrández Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”使用
 鳥羽亜矢子 ピアノ

日 時 2015 年 11 月 27 日(金) 18:30～19:40

会 場 郷の音ホール(兵庫県三田市) (974 席)

主 催 (公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団
 (社福)ひょうご障害福祉事業協会

後 援 三田市、三田市教育委員会、三田市音楽協会

特別協力 (公財)日本音楽財団

協 力 (公財)日本財団

入場料 一般 2,000 円(当日 2,500 円)、学生 1,000 円(当日 1,500 円)

寄付先 子ども発達支援センター・さんだ

寄付額 1,850,500 円(チケット売上全額)

来場者数 約 720 名



7) 名 称 ストラディヴァリウスの響き PCA ニューイヤー名曲コンサート
 インターナショナル・オーケストラ・アカデミー支援

出 演 兵庫芸術文化センター管弦楽団
 指揮 チャールズ・オリヴィエリ=モンロー (Charles Olivieri-Munroe)

Pablo Ferrández Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”使用
 Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”使用

日 時 2016 年 1 月 8 日(金) 15:00 開演

会 場 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール(兵庫県西宮市) (2,000 席)

主 催 兵庫県、兵庫立芸術文化センター

特別協力 (公財)日本音楽財団

協 力 (公財)日本財団

入場料 A 席 4,000 円、B 席 3,000 円、C 席 2,000 円、D 席 1,000 円

寄付額 4,682,000 円(チケット売上全額)

来場者数 約 1,400 名



- 8) 名 称 子どもたちのためのレクチャーコンサート「名曲への誘い」
 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ
 日 時 2016 年 2 月 7 日(日) 15:00～17:00
 会 場 北九州市響ホール(福岡県北九州市) (720 席)
 主 催 (公財)北九州市芸術文化振興財団
 共 催 北九州市、北九州市教育委員会
 特別協力 (公財)日本音楽財団
 協 力 (公財)日本財団
 来場者数 約 550 名(全席招待)
 CD 配布 当日と同じプログラムの実録 CD(2014 年度実施の秋田録音分)を来場した子どもたちに配布した

2016 年度

- 1) 名 称 Suyoen Kim ヴァイオリン・リサイタル
 出 演 Suyoen Kim Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”使用
 占部由美子 ピアノ
 日 程 2016 年 7 月 13 日(水)
 レセプション 18:00 演奏会 19:00～20:00
 会 場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区) (550 席)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 来場者数 約 470 名(全席招待)



- 2)～4) 名 称 ストラディヴァリウス・コンサート 2016 巻頭写真参照

4 年ぶりにストラディヴァリウスを 13 挺一堂に会した「ストラディヴァリウス・コンサート 2016」と題したチャリティ・コンサートを、大阪、福岡、東京の 3 都市で開催した。

これまでの日本国内での「ストラディヴァリウス・コンサート」は、主催を新聞社とし、当財団は協力という形式で事業を行ってきた。しかし、過去の事業から十分なノウハウを蓄積してきたので、2016 年度は当財団が主催者となり、チケット売上等もすべて当財団の収入として経理処理した上で、寄付金として直接支出することに改めるとともに、(公財)日本財団以外の諸団体への助成金の申請や、事業に対する企業協賛金等を積極的に開拓した。

助成金等に関しては、(公財)日本財団からの助成金を軸に、福岡公演に関しては、(公財)全国税理士共栄会文化財団、(公財)朝日新聞文化財団からの助成金に加え、福岡地域の文化振興に寄与する事業と認定され、演奏会場であるアクロス福岡より会場使用料相当が助成された。また、ルフトハンザ ドイツ航空会社から、演奏家の海外からの招へいに関する航空券の手配で、また株式会社東北新社からは CD、DVD の作成に関して多大なご配慮をいただくことで、当初予定



していた経費を大幅に削減することに成功した。

加えて、大阪公演では 9 社から 90 万円、福岡公演では 10 社から 300 万円の企業協賛を受けることにより、地域での注目度も高くなり、集客率は 80% から 90% でほぼ満席となった。その結果、寄付金総額は当財団史上最高額となった。

出演者と使用楽器名(被貸与者 13 名とストラディヴァリウス 13 挺、ピアニスト 1 名)

Hagen Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
Lukas Hagen (1 st vn)	Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini”使用
Rainer Schmidt (2 nd vn)	Stradivarius 1680 年製 Violin “Paganini”使用
Veronika Hagen	Stradivarius 1731 年製 Viola “Paganini”使用
Clemens Hagen	Stradivarius 1736 年製 Cello “Paganini”使用
Veronika Eberle	Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”使用
Sergey Khachatryan*	Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”使用
Svetlin Roussev	Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”使用
諏訪内晶子	Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”使用
Ray Chen	Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”使用
Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”使用
Yuki Manuela Janke	Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”使用
Pablo Ferrández	Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”使用
石坂団十郎、 江口 玲	Stradivarius 1730 年製 Cello “Feueramm”使用 ピアノ

*注 Sergey Khachatryan は Guarneri del Gesù 1740 年製 Violin “Ysaye”の被貸与者だが、この演奏会では Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”を使用した。

2) 大阪公演

名 称	日本ライトハウス 盲導犬育成支援 チャリティ・コンサート ストラディヴァリウス・コンサート 2016
日 程	2016 年 9 月 9 日(金)19:00 開演
会 場	フェスティバルホール(大阪府大阪市)(2,700 席)
主 催	(公財)日本音楽財団、フェスティバルホール
助 成	(公財)日本財団
協 力	(社福)日本ライトハウス、(一社)大阪交響楽団、 認定 NPO 法人関西フィルハーモニー管弦楽団
特別協賛	ルフトハンザ ドイツ航空会社
協 賛	ステラケミファ株式会社、参天製薬株式会社、 株式会社関西アーバン銀行、永和信用金庫、のぞみ信用組合、 大阪商工信用金庫、灯友会(日本ライトハウス後援会)(順不同)
入場料	Box 席 10,000 円、バルコニーBox(2 席セット)16,000 円 S 席 8,000 円、A 席 6,000 円、B 席 4,000 円
寄付額	18,906,000 円(チケット売上与協賛金の全額)

寄付先 (社福)日本ライトハウス「盲導犬育成支援」 ※4匹の盲導犬が育成された
来場者数 約 2,510 名

3)福岡公演

名 称 SOS 子どもの村 JAPAN 支援チャリティ・コンサート
ストラディヴァリウス・コンサート 2016

日 程 2016年9月12日(月)19:00開演

会 場 福岡シンフォニーホール(福岡県福岡市)(1,867席)

主 催 (公財)日本音楽財団、
SOS 子どもの村 JAPAN 支援チャリティ・コンサート実行委員会

共 催 (公財)アクロス福岡

助 成 (公財)日本財団、(公財)全国税理士共栄会文化財団、
(公財)朝日新聞文化財団

後 援 オーストリア大使館、福岡県、福岡市、福岡県教育委員会、
(公財)福岡市文化芸術振興財団、子どもの村福岡後援会

特別協賛 ルフトハンザ ドイツ航空会社

協 賛 福岡トヨタ自動車株式会社、福岡トヨペット株式会社、
トヨタカローラ福岡株式会社、トヨタカローラ博多株式会社、
ネットトヨタ福岡株式会社、えん株式会社、株式会社ゼンリン
大成印刷株式会社、株式会社ホテル日航福岡、株式会社やずや

入場料 S 席 7,000 円、A 席 5,000 円、B 席 3,000 円

寄付額 11,590,400 円(チケット売上と協賛金の全額)

寄付先 (特非)SOS 子どもの村 JAPAN

来場者数 約 1,500 名

※追加イベントとして演奏会前日の9月11日(日)に出演者2名(Yuki Manuela Janke、Pablo Ferrández)の協力により、親子を対象としたミニコンサートをアクロス福岡内の円形ホールで行い、普段クラシック音楽と触れる機会の少ない幼年の子供たちに身近に音楽を楽しんでもらった。

4)東京公演

名 称 車椅子利用者の音楽鑑賞を支援するためのチャリティ・コンサート
ストラディヴァリウス・コンサート 2016

日 程 2016年9月13日(火)19:00開演

会 場 サントリーホール大ホール(東京都港区)(2006席)

主 催 (公財)日本音楽財団、サントリーホール

特別共催 港区スポーツふれあい文化健康財団

助 成 (公財)日本財団

特別協賛 ルフトハンザ ドイツ航空会社

入場料 S 席 10,000 円、A 席 8,000 円、B 席 6,000 円

寄付額 5,049,000 円
(サントリー芸術財団との覚書で決めた500万円と当日会場の募金額の合計)

寄付先 (公財)サントリー芸術財団



サントリーホールが実施する車椅子利用者の音楽鑑賞コンサート開催のため
使用された

- 来場者数 約 1,750 名
- 5) 名称 第 14 回いずみホール“夢コンサート”
- 2014 年度よりいずみホールで実施しているこの事業に協力しており、今回が 3 年目となる。障害を持つ方とその方々をサポートする家族やボランティアの人たちを無料で招待するコンサートに楽器被貸与者の出演協力をした。

出演 指揮 藤岡幸夫
オーケストラ 関西フィルハーモニー管弦楽団
ソリスト 石坂団十郎 Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”使用

日時 2016 年 9 月 15 日(木) 14:00～16:00

会場 いずみホール(大阪府大阪市) (821 席)

主催 (一財)住友生命福祉文化財団

特別協力 (公財)日本音楽財団

協力 (公財)日本財団

招待団体 大阪市社会福祉協議会、日本ライトハウス、大阪ボランティア協会、
視覚障がいサポートボランティア、スミセイハーモニー、
全国重度障害者雇用事業所協会、身障者講習会講師

- 来場者数 約 620 名(盲導犬 8 頭、車いす 30 台、ストレッチャー 1 台)(全席招待)
- 6) 名称 青少年のためのレクチャーコンサート「名曲を聴こう」

出演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”使用
江口 玲 ピアノ

日程 2016 年 11 月 11 日(金) 14:00～15:20

会場 アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市) (700 席)

主催 (公財)日本音楽財団、秋田県

助成 (公財)日本財団

来場者数 約 430 名(全席招待)

CD 配布 出席した学生等に同様のプログラムで開催した
11 月 18 日名古屋公演の実録 CD を後日配布した



- 7) 名称 「渡辺玲子リサイタ」 NPO ふくりび支援チャリティ、レクチャーコンサート
(イム・ジヨン: Ji Young Lim 氏とのデュオ・コンサートを予定していたが、調不調により出演不可となったため、急遽プログラムを変更し、渡辺玲子氏による演奏会をレクチャー形式で実施した)

出演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”使用
Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”使用(アンコール曲のみ)
林 絵里 ピアノ

日程 2016 年 11 月 18 日(金) 19:00～20:30

会 場 三井住友海上しらかわホール(愛知県名古屋市) (693 席)
 主 催 (公財)日本音楽財団、
 NPO 法人ふくりび活動支援チャリティ・コンサート実行委員会
 共 催 中日新聞社
 助 成 (公財)日本財団
 後 援 名古屋市、名古屋教育委員会
 協 賛 住友理工株式会社、株式会社 NSR JAPAN
 入場料 S 席 6,000 円、A 席 5,000 円、B 席 3,000 円
 寄付先 NPO 法人全国福祉理美容師養成協会(NPO 法人ふくりび)が、がん闘病中の方
 のアピアランス(外見)の悩みをサポートするための民間初の専門施設として設
 立した「アピアランスサポートセンターあいち」の運営資金として使用された
 寄付額 1,797,000 円(チケット売上と協賛金の全額)
 来場者数 約 310 名



8)名 称 五嶋 龍ヴァイオリン・リサイタル
 出 演 五嶋 龍 Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”使用
 居福健太郎 ピアノ
 日 程 2017 年 1 月 31 日(火)
 レセプション 18:00 演奏会 19:00~20:00
 会 場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区) (550 席)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 来場者数 約 530 名(全席招待)



2017 年度

2017 年度は 3 つの目的別に 10 公演を実施した。

①演奏会の定期開催(5 公演)

演奏会の集客力を高める有効な方法として、演奏会の定期開催を本年度より開始した。毎年同じ時期に演奏会を定期的で開催することでクラシック音楽ファンに予め開催の告知することで集客力を期待できるほか、開催地における当財団の認知度とブランド力を定着させるとともに、音楽文化の振興・普及に努めた。

1)浦安市との共同コンサート

首都圏での演奏会開催を目指す一環として、2017年度より浦安市との共同事業として開始した。2016年12月に浦安市との協定を締結し、双方が保有する音楽資源を有効に活用し、演奏会を定期的に継続して開催できる環境を整えた。チケット売上の全額を浦安市が条例により設置した基金に積み立てた。なお、基金は浦安の青少年のための文化芸術振興に使われた。

名 称	浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vo.1 諏訪内晶子ヴァイオリン・リサイタル (浦安音楽ホール柿落しコンサート)
日 程	2017年4月14日(金)19:00開演
会 場	浦安音楽ホール(千葉県浦安市)(300席)
主 催	浦安市、(公財)日本音楽財団
助 成	(公財)日本財団
出 演	諏訪内晶子 Stradivarius 1714年製 Violin “Dolphin”使用 金子陽子 ピアノ
入場料	全席 6,000円 チケット売上全額を「浦安市文化芸術振興基金」へ積立
寄付額	1,650,000円(チケット売上6,000円×275枚)
来場者数	295名(うち招待20名)



2)～5)名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業

日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 1～3

名古屋フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会に当財団の楽器貸与者が出演協力する事業を本年度より始めた。名古屋フィルの公演に定期的に来場するクラシック音楽ファン層へのアプローチができたことで東海地方における当財団の活動の周知と音楽文化の振興普及が実現できた。

芸術性の観点からは、楽器貸与者とオーケストラ双方のレベルの向上が図れたほか、公益性の観点からは、各コンサートに地元で音楽を学ぶ学生を招待しクラシック音楽に触れる機会を提供した。(4公演で472名の学生を招待)

2) 名 称	日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 1 「ヨアヒム」 豊田市コンサートホール・シリーズ Vol.5
日 程	2018年2月3日(土)16:00開演
会 場	豊田市コンサートホール(愛知県豊田市)(1,004席)
主 催	(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
共 催	(公財)豊田市文化振興財団、豊田市・豊田市教育委員会
特別協力	(公財)日本音楽財団
助 成	(公財)日本財団

出 演 名古屋フィルハーモニー交響楽団
 指揮 小泉和裕
 Ray Chen Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”使用
 共 演 豊田市ジュニアオーケストラ
 来場者数 815 名(うち学生招待 35 名)



3) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 2 「ハギンズ」
 第 60 回市民会館名曲シリーズ <ベートーヴェン・ツィクルスV>
 日 程 2018 年 2 月 8 日(木) 18:45 開演
 会 場 日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市) (2,291 席)
 主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
 協 力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
 (公財)名古屋市文化振興事業団、中日新聞社、CBC テレビ
 出 演 名古屋フィルハーモニー交響楽団
 指揮 川瀬賢太郎
 Ji Young Lim Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”使用
 来場者数 1,417 名(うち学生招待 170 名)



4)5) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 3 「サセルノ」
 第 454 回定期演奏会<シドニーII / 1 万ドルのシンフォニー>
 日 程 2018 年 2 月 16 日(金)18:45 開演
 2018 年 2 月 17 日(土)16:00 開演
 会 場 日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市) (2,291 席)
 主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
 共 催 名古屋市

後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、
 (公財)名古屋市文化振興事業団、朝日新聞、メ〜テレ

特別協力 (公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団、文化庁文化芸術振興費補助金

出 演 名古屋フィルハーモニー交響楽団
 指揮 広上淳一
 Alina Pogostkina Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”使用

来場者数 2月16日(金)1,230名(うち学生招待155名)
 2月17日(土)1,712名(うち学生招待112名)



②新しいファン層拡大(2公演)

6)7) 青少年のためのレクチャーコンサート

2017年度は、下記のとおり2公演開催した。教育委員会の正規事業と位置づけることを条件とすることで、より一層、開催地の市町村との協力関係が強化できたほか、低年齢層のクラシック音楽ファンの拡大を推進することができた。

6) 北九州市におけるレクチャーコンサート

名 称 青少年のためのレクチャーコンサート「名曲を聴こう」

日 程 2017年12月8日(金)14:00～15:20

会 場 響ホール(福岡県北九州市)(700席)

主 催 (公財)日本音楽財団、北九州市(福岡県)

助 成 (公財)日本財団

出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ

来場者数 675名(全席招待)

CD配布 出席した学生等に同様のプログラムの実録CDを配布した

7) 浦安市におけるレクチャーコンサート

このレクチャーコンサートは、浦安市と当財団の協定締結(2016年12月)に基づき設置された「浦安市芸術振興基金」利用の今後のモデル事業として開催した。

名 称 青少年のためのレクチャーコンサート「名曲を聴こう」

日 程 2017年12月17日(日)14:00～15:20

会 場 浦安音楽ホール(千葉県浦安市)(300席)

主 催 浦安市教育委員会、(公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団

出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ
 来場者数 約 220 名(全席招待)
 CD 配布 出席した学生等に同様のプログラムの実録 CD を配布した



8) 社会的に影響力のある団体との連携

iPS 細胞研究所との連携による演奏会を開催し、同研究所の支援者を中心にこれまでクラシック音楽に関心のなかった人にもアプローチできたことで聴衆層を拡大できたほか、当財団の楽器貸与事業の広報にも大いに役立った。チケット売上等は全額、同研究所に寄付し、ファンドレイズの協力があった。

名 称 「iPS 細胞研究所支援」
 山中伸弥教授トーク&Ray Chen ヴァイオリン・リサイタル
 日 程 2018 年 1 月 31 日(水) 山中教授講演 18:00～ 演奏会 19:00 開演



会 場 紀尾井ホール(東京都千代田区)(800 席)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 共 催 京都大学 iPS 細胞研究所
 助 成 (公財)日本財団
 協 賛 サントリーホールディングス(株)、(株)大和証券グループ本社、
 東京海上日動火災保険(株)、(株)三井住友銀行、三井不動産(株)
 後 援 (公財)笹川記念保険協力財団、(公財)日本科学協会
 出 演 Ray Chen Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”使用
 林 絵里 ピアノ
 入場料 全席 10,000 円
 寄付額 7,910,000 円(チケット売上(736 枚)7,360,000 円、協賛金(5 社)500,000 円、
 当日の寄付金 50,000 円を含む)
 チケット売上の全額を京都大学 iPS 細胞研究基金に寄付した
 来場者数 741 名



③楽器貸与事業の周知広報(2公演)

楽器貸与事業の周知と広報を目的に、政財界のオピニオンリーダー等有識者を対象とした演奏会を2公演開催した。

- 9) 名 称 Benjamin Beilman ヴァイオリン・リサイタル
日 程 2017年6月21日(水) レセプション 18:00～ 演奏会 19:00 開演
会 場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区) (550 席)
主 催 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
出 演 Benjamin Beilman Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”使用
林 絵里 ピアノ
来場者数 約 450 名(全席招待)



- 10) 名 称 Alina Pogostkina ヴァイオリン・リサイタル
日 程 2017年10月17日(火) レセプション 18:00～ 演奏会 19:00 開演
会 場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区) (550 席)
主 催 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
出 演 Alina Pogostkina Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”使用
林 絵里 ピアノ
来場者数 約 440 名(全席招待)



2018 年度

2018 年度は日本財団の助成事業として次の 3 つの目的別に 10 公演を実施したほか、日本財団支援事業として「海外演奏会」と「海の日コンサート」を共同で開催した。

①演奏会の定期開催(5 公演)

演奏会の集客力を高めるための有効な方法の一つとして、演奏会の定期開催を 2017 年度より

開始した。毎年同じ会場、同じ時期に定期的開催し、クラシック音楽ファンに予め開催の告知することで集客力が期待できる。本年度も当財団の認知度とブランド力を定着させるとともに、開催地における音楽文化の振興・普及に努めた。

1) 浦安市との共同コンサート

名 称	スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン・リサイタル 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol.2
日 程	2018年4月18日(水)19:00 開演
会 場	浦安音楽ホール(千葉県浦安市) (303 席)
主 催	(公財)日本音楽財団、浦安市
共 催	浦安音楽ホール
助 成	(公財)日本財団、(公財)朝日新聞文化財団
出 演	Svetlin Roussev Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”使用 上田晴子 ピアノ
入場料	全席 6,000 円
寄付額	852,000 円(チケット売上 6,000 円×142 枚) チケット売上全額が「浦安市文化芸術振興基金」に積立てられ市民の文化芸術活動の普及振興に使われた
来場者数	139 名



2)～5) 名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業

日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 4～6

東海地方を代表するオーケストラである名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同で定期的な演奏会を開催することで、東海地方での当財団の活動周知を推進し、音楽文化の振興普及に努めた。当財団は、ストラディヴァリウス被貸与者の出演料と旅費等を経費負担した。

2018 年度は下記のとおり実施した。(4 公演で 281 名の学生を招待した)

2) 名 称	日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 4 「ロード・ニューランズ&フォイアマン」 第 65 回市民会館名曲シリーズ<ベートーヴェン・ツィクルス X>
日 程	2019 年 1 月 10 日(木)18:45 開演
会 場	日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市) (2,291 席)
主 催	(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
特別協力	(公財)日本音楽財団
助 成	(公財)日本財団 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・独立行政法人日本芸術文化振興会



後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、
 (公財)名古屋市文化振興事業団、中日新聞社、CBC テレビ

出 演 名古屋フィルハーモニー交響楽団
 指揮 小泉和裕

Suyoen Kim Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”使用
 石坂団十郎 Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”使用
 田村 響 ピアノ

来場者数 1,592 名 うち学生招待 6 名



3)4) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 5 「ドラゴネッティ」
 第 465 回定期演奏会 <レム『ソラリス』>

日 程 2019 年 2 月 22 日(金)18:45 開演
 2019 年 2 月 23 日(土)16:00 開演

会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知県名古屋市)(1,800 席)

主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団

特別協力 (公財)日本音楽財団

助 成 (公財)日本財団
 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・独立行政
 法人日本芸術文化振興会

後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会
 (公財)名古屋市文化振興事業団、朝日新聞社、メ〜テレ

特別協賛 三井不動産リアルティ株式会社

出 演 名古屋フィルハーモニー交響楽団
 指揮 アンтони・ヴィット(Antoni Wit)

Veronika Eberle Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”使用



来場者数	1,279名 うち学生招待 135名 (2/22)
	1,596名 うち学生招待 106名 (2/23)
5) 名称	日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 6「エングルマン」 平日午後のオーケストラ Vol.3
日程	2019年3月13日(水)14:00 開演
会場	日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市)(2,291席)
主催	(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
特別協力	(公財)日本音楽財団
助成	(公財)日本財団 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・独立行政法人日本芸術文化振興会
後援	愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、 (公財)名古屋市文化振興事業団、中日新聞社、中京テレビ放送
指揮	円光寺雅彦
出演	Benjamin Beilman Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”使用
来場者数	1,224名(うち学生招待 34名)



②新しいファン層の拡大「青少年のためのレクチャーコンサート」(2公演)

6)北九州市におけるレクチャーコンサート

名称	青少年のためのレクチャーコンサート「音楽における愛のかたち」
日程	2018年12月13日(木)14:15 開演
会場	北九州市立響ホール(福岡県北九州市)(700席)
主催	(公財)日本音楽財団、北九州市、 (公財)北九州市芸術文化振興財団
助成	(公財)日本財団
出演	渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”使用 江口 玲 ピアノ
対象	小学校高学年(4年生以上)
来場者数	492名(全席招待)
CD配布	実録CDを作成し出席した学生等に配布した

7)浦安市におけるレクチャーコンサート

浦安市と当財団の協定締結(2016年12月)に基づき開催。今年度は2回目となる。

名 称 青少年のためのレクチャーコンサート「音楽における愛のかたち」
 日 程 2019年2月6日(水)15:00開演
 会 場 浦安音楽ホール(千葉県浦安市)(303席)
 共 催 浦安音楽ホール
 主 催 浦安市教育委員会、(公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”使用
 江口 玲 ピアノ
 対 象 小学生、中学生(学校のオーケストラや吹奏楽部に所属)
 来場者数 165名(全席招待)
 CD配布 出席した学生等に公演と同様のプログラムの実録CDを配布した

③楽器貸与事業の周知広報(3公演)

楽器貸与事業の周知と広報を目的に、政財界のオピニオン・リーダー等有識者を対象とした演奏会を3公演開催した。

8)名 称 スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン・リサイタル
 日 程 2018年4月17日(火)レセプション18:00～演奏会19:00開演
 会 場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区)(550席)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 Svetlin Roussev Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”使用
 上田 晴子 ピアノ
 来場者数 約480名(全席招待)

9)名 称 クレモナ・クアルテット&小菅 優
 日 程 2018年7月2日(月)19:00開演
 会 場 浜離宮朝日ホール(東京都中央区)(550席)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団



出 演 Quartetto di Cremona Stradivarius “Paganini Quartet”使用
 Cristiano Gualco (1st vn) Stradivarius 1727年製 Violin “Paganini”使用
 Paolo Andreoli (2nd vn) Stradivarius 1680年製 Violin “Paganini”使用
 Simone Gramaglia Stradivarius 1731年製 Viola “Paganini”使用
 Giovanni Scaglione Stradivarius 1736年製 Cello “Paganini”使用
 小菅 優 ピアノ

来場者数	約 470 名 (全席招待)
10) 名称	ストラディヴァリウス 1735 年製「サマズィユ」で聴く 竹澤恭子 & 江口玲デュオ・リサイタル
日 程	2019 年 3 月 5 日 (火) 19:00 開演
会 場	王子ホール (東京都中央区) (300 席)
主 催	(公財) 日本音楽財団
助 成	(公財) 日本財団
出 演	竹澤恭子 Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh” 使用 江口 玲 ピアノ
入場料	全席 6,000 円 チケット売上金の全額は、2018 年 6 月から 7 月に発生した西日本豪雨で被災した岡山県倉敷市真備町「マービーふれあいセンター」の再建に充てられた。
寄付額	934,016 円 (チケット売上全額 6,000 円×136 枚、 Makuake のクラウドファンディング 25,800 円、当日の募金等 92,216 円)
寄付先	岡山県倉敷市
来場者数	305 名 (販売 133 名、招待 172 名)



④ 日本財団との共同事業 (3 公演)

日本財団との共同で、国内外でのコンサートを下記のとおり開催した。当財団は楽器被貸与者等の出演に関連した業務を担当した。

11) 日本財団との共同事業 1

1948 年に「世界人権宣言」が国連で採決されてから 70 周年を迎えることを記念し、下記の演奏会を日本財団との共同で開催した。

[巻頭写真参照](#)

(1) 名称	世界人権宣言 70 周年記念「ストラディヴァリウス・コンサート 2018」 Encounter with Stradivari 2018 “In commemoration of the 70 th anniversary of the Universal Declaration of Human Rights”
日 程	2018 年 6 月 16 日 (土) 18:30 開演
会 場	国際連合欧州本部 Palais des Nations, Assembly Hall (スイス・ジュネーブ)
主 催	(公財) 日本財団、国連人権高等弁務官事務所 (OHCHR)
協 力	(公財) 日本音楽財団
出 演	(被貸与者 7 名とストラディヴァリウス 7 挺、ピアニスト 1 名) Quartetto di Cremona Stradivarius “Paganini Quartet” 使用 Cristiano Gualco (1 st vn) Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini” 使用 Paolo Andreoli (2 nd vn) Stradivarius 1680 年製 Violin “Paganini” 使用 Simone Gramaglia Stradivarius 1731 年製 Viola “Paganini” 使用



Giovanni Scaglione	Stradivarius 1736 年製 Cello “Paganini”使用
Svetlin Roussev	Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”使用
諏訪内晶子	Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”使用
Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”使用
占部由美子	ピアノ

来場者数 1,212 名 (登録申込者招待)

(2)名称	ストラディヴァリウス・コンサート “Encounter with Stradivari”
日程	2018 年 6 月 14 日 (木) 19:30～20:20
会場	在ジュネーブ日本政府代表部大使公邸 (スイス・ジュネーブ)
主催	(公財) 日本財団
協力	(公財) 日本音楽財団
出演	(被貸与者 6 名とストラディヴァリウス 6 挺、ピアニスト 1 名)

Quartetto di Cremona	Stradivarius “Paganini Quartet”使用
Cristiano Gualco (1 st vn)	Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini”使用
Paolo Andreoli (2 nd vn)	Stradivarius 1680 年製 Violin “Paganini”使用
Simone Gramaglia	Stradivarius 1731 年製 Viola “Paganini”使用
Giovanni Scaglione	Stradivarius 1736 年製 Cello “Paganini”使用
諏訪内晶子	Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”使用
Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”使用
占部由美子	ピアノ

来場者数 30 名 (招待のみ)

12) 日本財団との共同事業 2

本事業は南沢基金からの日本財団に対する寄付により開催された。寄付者の意向により、「タイタニック号」音楽隊のヴァイオリンと関連付けて日本財団の「海の日」の関連事業として実施された。「海」をテーマとした講演と演奏会を「飛鳥II」クルーズ船上にて開催し、次世代を担う若い聴衆がタイタニック船上ヴァイオリニストにまつわる話と上質の弦楽クラシック音楽に触れる機会を提供した。タイタニック号が沈む直前まで乗客を勇気付けようとヴァイオリンの演奏を続けたタイタニック号音楽隊の話と合わせて、船上で実際に演奏されたとされる曲目を含むプログラムをタイタニック号に音楽隊のメンバーとして乗船していたヴァイオリニストのジョック・ヒューム氏に縁のある楽器と当財団保有のストラディヴァリウスの両方の音色で聴いてもらうことで、参加した青少年たちにクラシック音楽を楽しむ機会を提供しクラシック音楽をより身近に感じてもらう演奏会となった。

名称	海と日本 PROJECT 飛鳥II 船上ヴァイオリン演奏会
日程	2018 年 7 月 23 日 (月) ワード氏による講演 12:55～ 演奏会 13:05 開演
会場	横浜港寄港中「飛鳥 II」船内ギャラクシーラウンジ (神奈川県横浜港寄港)
主催	(公財) 日本財団、(公財) 日本音楽財団
協賛	郵船クルーズ株式会社
出演	Christopher Ward* タイタニック号音楽隊末裔
	Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”使用
	Andrew Hume 1913 年製 Violin “Hume”使用**

林 絵里 ピアノ

招待 横浜市中区より小学校高学年の児童とその親 69 組 138 名
渋谷区より小学校高学年の児童とその親 39 組 78 名、関係者 51 名
来場者数 267 名(全席招待)

*タイタニック号に8名の音楽隊のメンバーとして乗船していたヴァイオリニスト、ジョック・ヒューム氏の孫にあたる人物。世界自然保護基金英国支部(WWFUK)の元会長。

**当時21歳だったヒューム氏のために、ヴァイオリン製作者であった父親が製作していたヴァイオリン。タイタニック号沈没事故の為にヒューム氏生還はならず、本人が弾くことはなかった。



2019 年度

2019 年度は 10 公演を予定したが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、1 公演が中止となり 9 公演の実施となった。そのうち 4 公演については、入場券を一般販売しチケット収入の全額 10,396,400 円を各開催地の福祉団体等に寄付した。

①演奏会の定期開催(8 公演)

演奏会の集客力を高めるための有効な方法の一つとして、演奏会の定期開催を 2017 年度より開始した。毎年同じ会場、同じ時期に定期的に開催し、クラシック音楽ファンに予め開催の告知することで集客力が期待できる。本年度も当財団の認知度とブランド力を定着させるとともに、開催地における音楽文化の振興・普及に努めた。

1) 浦安市との共同コンサート

名 称 セルゲイ・ハチャトゥリアン ヴァイオリン・リサイタル
浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol.3
日 程 2019 年 4 月 20 日(土)14:00 開演
会 場 浦安音楽ホール(千葉県浦安市)(303 席)
主 催 (公財)日本音楽財団、浦安市
共 催 浦安音楽ホール
助 成 (公財)日本財団



出 演 Sergey khachatryan Guarneri del Gesù 1740 年製 Violin "Ysaye"使用
Lusine Khachatryan ピアノ
入場料 市民優先 4,000 円、一般 5,000 円



来場者数 240名(うち招待19名)
寄付額 1,082,000円(チケット売上全額)
(チケット売上:市民優先4,000円×78枚、一般5,000円×154枚)
寄付先 浦安市の「浦安市文化芸術振興基金」に積立てられ市民の文化芸術活動の普及振興に使われた

2)～4)ストラディヴァリウス・コンサート 2019 Encounter with Stradivari 2019

10挺以上の保有楽器と演奏家が一堂に会する演奏会の開催は4年ごとであるが、その間の年に2名程度のソリストによるコンサートを定期的に開催することにした。

本年度は下記のとおり、3都市で開催した。当初出演を予定していた Veronika Eberle の出産が近いことから出演不可となり、代役として Ji Young Lim が出演した。

出 演	Ji Young Lim	Stradivarius 1700年製 Violin “Dragonetti”使用
	(2挺の楽器演奏)	Stradivarius 1717年製 Violin “Sasserno”使用
	Benjamin Beilman	Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”使用
	萩原麻未	ピアノ

2)福岡公演

日 程 2019年10月29日(火)19:00開演
会 場 福岡シンフォニーホール(福岡県福岡市)(1,867席)
主 催 (公財)日本音楽財団、西日本新聞社
共 催 (公財)アクロス福岡
助 成 (公財)日本財団
協 力 SOS子どもの村 JAPAN、福岡市立こども病院
入場料 S席5,000円、A席4,000円、B席3,000円
寄付額 3,726,600円(チケット売上の全額)
寄付先 SOS子どもの村 JAPAN(3,085,625円)、福岡市立こども病院(640,975円)
来場者数 784名(うち招待28名)

3)大阪公演

日 程 2019年10月30日(水)19:00開演
会 場 いずみホール(大阪府大阪市)(821席)
主 催 (公財)日本音楽財団
共 催 いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団]
助 成 (公財)日本財団
協 力 京都大学 iPS 細胞研究所
入場料 S席5,000円、A席4,000円
寄付額 3,855,300円(チケット売上全額)
寄付先 京都大学 iPS 細胞研究所
来場者数 755名(うち招待11名)

4)東京公演

日 程 2019年10月31日(木)19:00開演
会 場 サントリーホール ブルーローズ(小ホール)(東京都港区)(380席)

主 催	(公財)日本音楽財団
共 催	サントリーホール
協 力	国立成育医療研究センターもみじの家
助 成	(公財)日本財団
入場料	全席 5,000 円
寄付額	1,732,500 円(チケット売上全額)
寄付先	国立成育医療研究センターもみじの家
来場者数	340 名(うち招待 22 名)



5)～8)名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業

日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 7～9

東海地方を代表するオーケストラである名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同で定期的な演奏会を開催することで、東海地方での当財団の活動周知を推進し、音楽文化の振興普及に努めた。2017 年度より開始し 3 年目となる本事業では、当財団被貸与者が毎年同時期に「ストラディヴァリウス月間」と称し、数ヶ月にわたり 4 公演を名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演を予定したが、1 公演が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催中止となった。

当財団は、ストラディヴァリウス被貸与者の出演料と旅費等を経費負担した。本年度は下記のとおり 3 公演を実施し、198 名の学生を招待した。

5)6) 名 称	日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 7 「ロード・アイレスフォード」 名フィル 475 回定期演奏会 畢生の傑作<マスターピース>シリーズ	
日 程	2020 年 1 月 17 日(金)18:45 開演 2020 年 1 月 18 日(土)16:00 開演	
会 場	愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知県名古屋市)(1,800 席)	
主 催	(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団	
特別協力	(公財)日本音楽財団	
助 成	(公財)日本財団、文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・独立行政法人日本芸術文化振興会	
後 援	愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会、 (公財)名古屋市文化振興事業団、朝日新聞社、メ〜テレ	
出 演	名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮 沼尻竜典 Pablo Ferrández Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”使用	



来場者数 約 1,250 名 うち学生招待 66 名 (1/17)
約 1,510 名 うち学生招待 97 名 (1/18)



7) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 8 「ムンツ」
名フィル豊田市コンサートホールシリーズ Vol.8
日 程 2020 年 2 月 1 日 (土) 16:00 開演
会 場 豊田市コンサートホール(愛知県豊田市) (1,004 席)
主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
共 催 (公財)豊田市文化振興財団、豊田市、豊田市教育委員会
特別協力 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
出 演 名古屋フィルハーモニー交響楽団
指揮 大植英次
Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”使用
豊田市ジュニアオーケストラ(一部共演)
来場者数 936 名(うち学生招待 35 名)



8) 名 称 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ 9 「カンポセリーチェ」
名フィル平日午後のオーケストラ Vol.5

※新型コロナウイルスの感染拡大の影響で開催が中止となった

日 程 2020 年 3 月 4 日 (水) 14:00 開演(中止)
会 場 愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知県名古屋市) (1,800 席)
主 催 (公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団
特別協力 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・独立行政法人日本芸術文化振興会

後 援 愛知県、愛知県教育委員会、名古屋市、名古屋市教育委員会
(公財)名古屋市文化振興事業団、中日新聞社、東海テレビ放送

出 演 名古屋フィルハーモニー交響楽団
指揮 Beatrice Benezi (ベアトリーチェ・ヴェネツィ)

(中止) Svetlin Roussev Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice”貸与

②新しいファン層の拡大「青少年のためのレクチャーコンサート」(2公演)

下記2公演に出演を予定していた Arabella Miho Steinbacher が出産のため出演不可となったため、特例として過去の被貸与者である大谷康子に楽器を貸与し、演奏委託した。

9)北九州市におけるレクチャーコンサート

名 称 青少年のためのヴァイオリンコンサート
日 程 2019年12月5日(木)14:15 開演
会 場 北九州市立響ホール(福岡県北九州市)(700席)
主 催 (公財)日本音楽財団、北九州市、
(公財)北九州市芸術文化振興財団
共 催 北九州市教育委員会
助 成 (公財)日本財団
出 演 大谷康子 Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用
佐藤卓史 ピアノ
対 象 中学生
来場者数 509名(全席招待)
CD 配布 実録CDを作成し出席した学生等に配布した



10)浦安市におけるレクチャーコンサート

浦安市と当財団の協定締結(2016年12月)に基づき3回目(最終回)の開催となる。

名 称 青少年のためのヴァイオリンコンサート
日 程 2020年1月25日(土)14:00 開演
会 場 浦安市文化会館小ホール(千葉県浦安市)(355席)
共 催 J:COM 浦安音楽ホール、浦安市文化会館
主 催 浦安市、浦安市教育委員会、(公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
出 演 大谷康子 Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用
佐藤卓史 ピアノ
対 象 小中学生とその保護者

来場者数 215 名(全席招待)

CD 配布 出席した学生等に公演と同様のプログラムの実録 CD を配布した

2020 年度

当財団楽器の被貸与者による演奏会(12 公演)を下記のとおり予定したが新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、8 公演が中止となり 4 公演のみの実施となった。

これまでは演奏会の実録 CD を作成し、関係者へ配布する等で事業の周知に努めていたが、本年度は中止となった公演では、演奏家の協力を得てのリモート演奏動画や演奏会の動画を当財団 YouTube サイトで配信し、会場に来られない人たちに向けての周知広報活動をした。

①演奏会の定期開催(4 公演:うち 1 公演実施、3 公演は感染症で中止)

演奏会の集客力を高めるための有効な方法の一つとして、演奏会の定期開催を 2017 年度より開始した。毎年同じ地域、同じ時期に定期的に開催し、クラシック音楽ファンに予め開催の告知することで集客力が期待できる。

本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で楽器の被貸与者の来日が困難となり、3 公演が中止となった。

1) 浦安市との共同コンサート(日程変更しての開催)

2017 年度より演奏会を定期的に行っており、4 回目となった。

名 称 大谷康子 ヴァイオリン・リサイタル

浦安市・日本音楽財団

ストラディヴァリウス・シリーズ Vol.4

日 程 2020 年 11 月 3 日(火・祝)14:00~16:00

会 場 J:COM 浦安音楽ホール(千葉県浦安市)(303 席)

主 催 (公財)日本音楽財団、浦安市

共 催 J:COM 浦安音楽ホール

助 成 (公財)日本財団

出 演 大谷康子 Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”使用

佐藤卓史 ピアノ

入場料 市民優先 4,000 円、一般 5,000 円



寄付額 487,000 円(チケット売上全額)

(チケット売上:市民優先 4,000 円×103 枚、一般 5,000 円×15)

寄付先 浦安市の「浦安市文化芸術振興基金」に積立てられ、市民の文化芸術活動の普及振興に使われた

来場者数 約 120 名(コロナ禍で会場の 50%入場制限実施)

2)～4)ストラディヴァリウス・コンサート 2020 (3公演中止) 「Encounter with Stradivari 2020」

福岡、大阪公演は室内楽形式、東京公演はオーケストラとの共演として下記のとおり予定したが、世界規模で新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海外在住の演奏家の渡航制限があり開催中止とした。入場料は既に行われていたため払戻を行ったが、一部払い戻しがされなかった分は、各公演予定の寄付先である「SOS 子どもの村 Japan」へ 38,400 円(福岡公演)、(一財)住友生命福祉文化財団へ 8,000 円(大阪公演)、(公財)サントリー芸術財団サントリーホールへ 366,000 円(東京公演)をそれぞれ寄付した。

なお、演奏会は中止となったが出演を予定した有志演奏家 13 名とピアニスト、指揮者によるリモート演奏動画を制作し、「パッヘルベル『カノン』リモート演奏～ストラディヴァリウス 2020 に代えて～」と題して当財団 YouTube サイトで配信し、全世界に向けてストラディヴァリウスの音色を届けた。

中止となった公演の出演予定者とスケジュール等は下記とおり

Goldmund Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”貸与団体
Florian Schötz (1 st vn)	Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini”
Pinchas Adt (2 nd vn)	Stradivarius 1680 年製 Violin “Paganini”
Christoph Vandory	Stradivarius 1731 年製 Viola “Paganini”
Raphael Paratore	Stradivarius 1736 年製 Cello “Paganini”
Veronika Eberle	Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”貸与
Suyoen Kim	Stradivarius 1702 年製 Violin “Lord Newlands”貸与
Benjamin Beilman	Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”貸与
Svetlin Roussev	Stradivarius 1710 年製 Violin “Camposelice” 貸与
諏訪内晶子	Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”貸与(東京のみ)
Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”貸与
Ji Young Lim	Stradivarius 1717 年製 Violin “Sasserno”貸与
五嶋 龍	Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”貸与 (福岡、大阪のみ)
Ray Chen	Stradivarius 1735 年製 Violin “Samazeuilh”貸与
Yuki Manuela Janke	Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”貸与
Pablo Ferrández	Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”貸与 (当財団楽器の被貸与者 15 名)
江口 玲	ピアノ(福岡、大阪のみ)
山田和樹	指揮(東京のみ)
東京交響楽団	オーケストラ(東京のみ)

2)福岡公演:室内楽形式(中止)

日 時	2020 年 9 月 6 日(日)
会 場	福岡シンフォニーホール(福岡県福岡市)(1,867 席)
主 催	(公財)日本音楽財団、(株)西日本新聞社
共 催	(公財)アクロス福岡
助 成	(公財)日本財団



協 力 (特非)SOS 子どもの村 JAPAN、
(地独)福岡市立病院機構福岡こども病院
後 援 福岡県、福岡市、NHK、(株)朝日新聞社

3)大阪公演:室内楽形式(中止)

日 時 2020年9月8日(火)
会 場 住友生命いずみホール(大阪府大阪市)(821席)
主 催 (公財)日本音楽財団、
住友生命いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団]
助 成 (公財)日本財団
後 援 大阪府、NHK、(株)朝日新聞社

4)東京公演:オーケストラとの共演(中止)

日 時 2020年9月10日(木)
会 場 サントリーホール大ホール(東京都港区)(2,006席)
主 催 (公財)日本音楽財団、サントリーホール
助 成 (公財)日本財団
協 力 (特非)マギーズ東京
後 援 (公財)港区スポーツふれあい文化健康財団、NHK、(株)朝日新聞社

②日本オーケストラ連盟との共同事業(5公演うち1公演実施、4公演は感染症により中止)

2020年度から、日本オーケストラ連盟との共同事業として、連盟の会員(正会員:25団体)である各地のオーケストラの主催する公演に当財団の楽器の被貸与者がソリストとして出演する事業を開始したが、出演を予定した演奏家がコロナ禍で来日できないため、5公演のうち4公演が協力できず、1公演のみを代演で協力した。

本事業は、双方が保有する音楽資源を有効に活用し、より効果的に事業を推進することができることが利点であり、当財団の楽器の被貸与者及び各楽団のレベル向上につながり、また、学生を公演に招待することにより、若者のクラシック音楽ファンの拡大に寄与する予定であった。この共同事業は、お互いに協力することにより、各団体単独ではできないことが可能になり、恩恵を受ける人を増やすことができることから、今後も取り組む予定である。

5)名 称 大阪交響楽団 第249回定期公演(代替演奏家の協力により実施)

日 時 2021年2月5日(金)19:00開演
会 場 ザ・シンフォニーホール(大阪府大阪市)(1,845席)
主 催 (公社)大阪交響楽団
協 力 (公財)日本音楽財団
助 成 (公財)日本財団
文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)・独立行政法人日本芸術文化振興会
指 揮 太田 弦
出 演 渡辺玲子 Stradivarius 1735年製 Violin “Samazeuilh”使用
来場者数 約470名(うち学生招待10名)

<中止となった公演の出演予定者とスケジュール等は下記6)から9)のとおり>

- 6) 名称 セントラル愛知交響楽団 第179回定期演奏会
 日時 2020年11月20日(金)18:45開演
 会場 三井住友海上しらかわホール(愛知県名古屋市)(693席)
 主催 (一社)セントラル愛知交響楽団
 協力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 指揮 角田鋼亮
 出演(中止) Benjamin Beilman Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”貸与
- 7) 名称 東京都交響楽団 都響スペシャル2020
 日時 2020年11月23日(月・祝)14:00開演
 会場 サントリーホール大ホール(東京都港区)(2,006席)
 主催 (公財)東京都交響楽団
 協力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 指揮 小泉和裕
 出演(中止) Benjamin Beilman Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”貸与
- 8) 名称 オーケストラ・アンサンブル金沢 第435回定期公演
 日時 2020年11月26日(木)19:00開演
 会場 石川県立音楽堂コンサートホール(石川県金沢市)(1,560席)
 主催 オーケストラ・アンサンブル金沢
 協力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 指揮 Günter Pichler
 出演(中止) Benjamin Beilman Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”貸与
- 9) 名称 群馬交響楽団 第564回定期公演
 日時 2021年1月30日(土)15:00開演
 会場 高崎芸術劇場(群馬県高崎市)(2,026席)
 主催 (公財)群馬交響楽団
 協力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 指揮 小林研一郎
 出演(中止) Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”貸与

③新しいファン層の拡大を目的とした演奏会の開催(2公演実施)

当財団の楽器被貸与者によるトークと演奏を交えた演奏会、ジュニアオーケストラとの共演を含む演奏会を開催した。新しいファン層の拡大によるクラシック音楽の振興・普及を図った。

- 10) 名称 鳥取県との共同事業(青少年のためのヴァイオリンコンサート)
 日時 2020年10月19日(月)13:45~15:00
 会場 境港シンフォニーガーデン(鳥取県境港市)(400席)
 主催 (公財)鳥取県文化振興財団、(公財)日本音楽財団



共 催 境港市、境港市教育委員会
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 大谷康子 Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”使用
 小山さゆり ピアノ
 来場者数 約 180 名(コロナ禍で会場の 50%の入場制限実施)招待
 (境港市立渡小学校 4～6 年生、教職員、「とっりの芸術宅配便」登録アーティスト)
 動画配信 当日の演奏等を動画撮影し、当財団 YouTube サイトで配信



11) 名 称 北九州市との共同事業(子どもの未来をひらくヴァイオリンコンサート)
 日 時 2021 年 3 月 21 日(日) 14:00～15:50
 会 場 黒崎ひびしんホール(福岡県北九州市)(826 席)
 主 催 北九州市、(株)黒崎コミュニティサービス、(公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 後 援 北九州市教育委員会
 出 演 大谷康子 Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”使用
 林 絵里 ピアノ(第 1 部出演)
 小森康弘 指揮(第 2 部出演)
 北九州市ジュニアオーケストラ(第 2 部出演)
 来場者数 約 200 名(コロナ禍で親子 150 組以内の事前申込で招待)
 動画配信 当日の演奏等を動画撮影し、当財団 YouTube サイトで配信



④若手育成を目的する演奏会の開催(1 公演中止)

当財団の楽器を貸与した若手演奏家の日本デビュー公演として開催を予定していたが、コロナウイルス感染症が収束していないため中止とした。中止に伴うチケットの払い戻しがされなかった額(4,000 円)は、当初予定していた「(特非)子どもに音楽を」に寄付した。また、マリア・ドゥエニヤスカ

ら届いた日本のファンに向けたメッセージと演奏動画を当財団 YouTube サイトで配信した。

12) 名 称	「マリア・ドゥエニャス ヴァイオリン・リサイタル」(中止)	
日 時	2020年7月8日(水) 19:00 開演	
会 場	サントリーホール ブルーローズ(小ホール)(東京都港区)(380席)	
主 催	(公財)日本音楽財団	
助 成	(公財)日本財団	
出 演	María Dueñas	Guarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”貸与
	江口 玲	ピアノ

2021年度

当財団楽器の被貸与者による演奏会(15公演)を下記のとおり計画したが新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け5公演が中止、2公演が協力中止となり8公演の実施となった。

①演奏会の定期開催(5公演計画:うち1公演実施、4公演中止)

演奏会の集客力を高めるための有効な方法の一つとして、演奏会の定期開催を2017年度より開始した。本年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で被貸与者の来日が困難となり、4公演が中止となった。

1)浦安市との共同コンサート(日程及び出演者を変更し実施)

2016年12月に浦安市と当財団間で双方が保有する音楽資源を有効に活用し、共同でコンサートを実施する協定を締結し、2017年度より演奏会を定期的に開催してきており、本年度で5回目となった。

名 称	ストラディヴァリウス・デュオ・コンサート 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol.5	
日 程	2022年1月24日(月)19:00 開演	
会 場	J:COM 浦安音楽ホール(千葉県浦安市)(303席)	
主 催	(公財)日本音楽財団、浦安市	
共 催	J:COM 浦安音楽ホール	
助 成	(公財)日本財団	
出 演	吉田 南※	Stradivarius 1716年製 Violin “Booth”使用
	大谷康子※	Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用
	福間洸太郎	ピアノ



入場料	市民優先 4,000円、一般 5,000円
寄付額	660,000円(チケット売上全額)

(チケット売上:市民優先 4,000 円×80 枚、一般 5,000 円×68 枚)

寄付先 浦安市の「浦安市文化芸術振興基金」に積立てられ、市民の文化芸術活動の普及振興に使われた

来場者数 145 名(招待 11 名含)(コロナ禍で会場の 50% 入場制限実施)

※当初の事業計画では Pablo Ferrández(Stradivarius 1696 年製 Cello “Lord Aylesford”)の出演を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入国後の 14 日間隔離が日程上難しいことから Stella Chen(Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”)と吉田南のデュオに変更。その後、新型コロナウイルスのオミクロン変異株に対する水際対策強化による在外演奏家の招へい中止に伴い大谷康子が Stella Chen を代演した。

2)～5)小規模編成のストラディヴァリウス・コンサート 2021 (4 公演中止)

本年度は大阪、東京、鳥取公演を予定していたが、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて、出演を予定していた演奏家の渡航の見通しが立たなかったことから、開催を中止した。中止となった公演の詳細は下記とおり

出演	Goldmund Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”貸与団体
	Florian Schötz (1 st vn)	Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini”
	Pinchas Adt (2 nd vn)	Stradivarius 1680 年製 Violin “Paganini”
	Christoph Vandory	Stradivarius 1731 年製 Viola “Paganini”
	Raphael Paratore	Stradivarius 1736 年製 Cello “Paganini”

2)大阪公演(中止)

日程 2021 年 9 月 6 日(月)
会場 住友生命いずみホール(大阪府大阪市)(821 席)
主催 (公財)日本音楽財団
住友生命いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団]
助成 (公財)日本財団

3)4)東京公演(中止)

日程 2021 年 9 月 9 日(木)、2021 年 9 月 10 日(金)
会場 サントリーホール ブルーローズ(東京都港区)(432 席)
主催 (公財)日本音楽財団、
(公財)サントリー芸術文化財団サントリーホール
助成 (公財)日本財団

5)鳥取公演(中止)

日程 2021 年 9 月 11 日(土)
会場 とりぎん文化会館 梨花ホール(鳥取県鳥取市)(1,620 席)
主催 (公財)日本音楽財団、(公財)鳥取県文化振興財団
助成 (公財)日本財団

②全国のオーケストラとの共同事業(6 公演計画:うち 4 公演代演で実施、2 公演中止)

2020 年度より(公社)日本オーケストラ連盟(正会員:25 団体、準会員:13 団体)との共同事業として、全国のオーケストラの主催する公演に当財団楽器の被貸与者がソリストとして出演協力している。本年度は 2021 年 12 月からの変異株に対する水際対策のために海外在住の被貸与者が来

日できず日本人被貸与者の代演や一部協力中止(2公演)となった。

本事業を通じて双方が保有する音楽資源を有効に活用し、当財団の楽器の被貸与者及び各楽団のレベル向上につながり、また、実施した4公演に学生計79名を招待することにより、若者がクラシック音楽に触れる機会を提供し、次世代の音楽文化の担い手の育成にも貢献した。

実録CDを作成し、関係者へ配布することで当財団の事業の周知広報に努めた。

- 6)7) 名 称 山形交響楽団との共演(代演で実施)
- 日 程 2022年1月15日(土)19:00開演
2022年1月16日(日)15:00開演
- 会 場 山形テルサ大ホール(山形県山形市)(806席)
- 主 催 (公社)山形交響楽協会
- 協 力 (公財)日本音楽財団
- 特別協力 (公財)日本財団
- 指 揮 下野竜也
- 出 演 吉田 南※ Stradivarius 1716年製 Violin “Booth”使用
※Stella Chen(Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”)の代演
- 来場者数 1月15日 約420名(うち学生招待26名)
1月16日 約610名(うち学生招待14名)
- 8) 名 称 東京ニューシティ管弦楽団との共演(代演で実施)
- 日 程 2022年1月23日(日)14:00開演
- 会 場 東京芸術劇場(東京都豊島区)(1,999席)
- 主 催 (一社)東京ニューシティ管弦楽団
- 協 力 (公財)日本音楽財団
- 特別協力 (公財)日本財団
- 指 揮 曾我大介
- 出 演 吉田 南※ Stradivarius 1716年製 Violin “Booth”使用
※Ji Young Lim(Stradivarius 1717年製 Violin “Sasserno”)の代演
- 来場者数 約360名(うち学生招待14名)
- 9) 名 称 神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演(代演で実施)
- 日 程 2022年2月5日(土)14:00開演
- 会 場 神奈川県民ホール(神奈川県横浜市)(2,493席)
- 主 催 (公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団
- 協 力 (公財)日本音楽財団
- 特別協力 (公財)日本財団
- 指 揮 大植英次
- 出 演 吉田 南※ Stradivarius 1716年製 Violin “Booth”使用
※Ji Young Lim(Stradivarius 1717年製 Violin “Sasserno”)の代演
- 来場者数 約670名(うち学生招待25名)
- 10)11) 新日本フィルハーモニー交響楽団との共演(2公演協力中止)
- 10) 日 程 2022年1月27日(木)19:00開演



- 会場 サントリーホール大ホール(東京都港区)(2,006席)
 主催 (公財)新日本フィルハーモニー交響楽団
- 11) 日程 2022年1月28日(金)19:00開演
 会場 すみだトリフォニーホール大ホール(東京都墨田区)(1,801席)
 主催 (公財)新日本フィルハーモニー交響楽団
- ③音楽教育としての演奏会の開催(3公演のうち2公演実施、1公演中止)
 青少年がクラシック音楽を楽しく学び親しむきっかけ作りとして、各地の学校の協力のもと、当財団の楽器被貸与者によるトークと演奏を交えた演奏会を開催した。開催地のジュニアオーケストラとの共演を含む1公演はコロナ禍で中止となった。クラシック音楽における新しいファン層の拡大を図ることを目的として本年度の対象は主に小学生とした。
- 12) 名称 鳥取県との共同事業
 青少年のためのヴァイオリンコンサート(北栄町・琴浦町公演)
 日時 2021年11月18日(木)14:00開演
 会場 大栄農村環境改善センター(鳥取県北栄町)(404席)
 主催 (公財)鳥取県文化振興財団、(公財)日本音楽財団
 共催 北栄町、琴浦町、北栄町教育委員会、琴浦町教育委員会
 助成 (公財)日本財団
 出演 大谷康子 Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用
 松本和将 ピアノ
 来場者数 220名(コロナ禍で会場の50%の入場制限実施)
 (北条小学校4年生、大栄小学校6年生、八橋小学校4・5年生、船上小学校5年生、関係者)
- 13) 名称 鳥取県との共同事業
 青少年のためのヴァイオリンコンサート(日南町公演)
 日時 2021年11月19日(金)13:30開演
 会場 日南町総合文化センターさつきホール(鳥取県日南町)(502席)
 主催 (公財)鳥取県文化振興財団、(公財)日本音楽財団
 共催 日南町、日南町教育委員会
 助成 (公財)日本財団
 出演 大谷康子 Stradivarius 1725年製 Violin “Wilhelmj”使用
 松本和将 ピアノ
 来場者数 124名(コロナ禍で会場の50%の入場制限実施)
 (日南小学校全児童1~6年生)
- 14) 名称 北九州市との共同事業:子どもの未来をひらくヴァイオリンコンサート(中止)
 日時 2022年2月27日(日)14:00開演
 会場 黒崎ひびしんホール(福岡県北九州市)(826席)
 主催 北九州市、(株)黒崎コミュニティサービス、(公財)日本音楽財団
 助成 (公財)日本財団
 後援 北九州市教育委員会

出 演 大谷康子 Stradivarius 1725 年製 Violin “Wilhelmj”貸与
 松本和将 ピアノ
 吉浦勝喜 指揮
 北九州市ジュニアオーケストラ

④インターネット配信を目的とした収録演奏会

演奏映像を配信するために演奏会を収録した。また、実録 CD を作成し関係者に配布することで、当財団が実施する事業の周知広報に活用した。

15) 名 称 吉田南&福間洸太郎・デュオ・コンサート
 日 程 2022 年 1 月 19 日 (水) 18:30 開演
 会 場 サントリーホール ブルーローズ (小ホール) (東京都港区) (380 席)
 主 催 (公財) 日本音楽財団
 助 成 (公財) 日本財団
 出 演 吉田 南 Stradivarius 1716 年製 Violin “Booth”使用
 福間洸太郎 ピアノ
 来場者数 約 70 名 (限定招待)
 動画配信 テレビマンユニオンのプラットフォーム (3 ヶ月限定) と当財団の YouTube で配信



©Fumiaki Fujimoto

2022 年度

当財団楽器の被貸与者による演奏会を下記のとおり実施した。(13 公演のうち 12 公演実施、1 公演中止)

①演奏会の定期開催 (5 公演)

演奏会の集客力を高めるための有効な方法の一つとして、演奏会の定期開催を 2017 年度より開始した。

1) 浦安市との共同コンサート (日程及び出演者を変更し実施)

2016 年 12 月に浦安市と当財団間で双方が保有する音楽資源を有効に活用し、共同でコンサートを実施する協定を締結し、2017 年度より演奏会を定期的で開催しており、本年度で 6 回となった。詳細は下記のとおりである。当日の実録 CD 制作、動画を YouTube で配信した。

名 称 Camille Thomas Cello Recital
 日 時 2022 年 6 月 29 日 (水) 19:00 開演
 会 場 J:COM 浦安音楽ホール (千葉県浦安市) (303 席)
 主 催 (公財) 日本音楽財団、浦安市
 共 催 J:COM 浦安音楽ホール
 助 成 (公財) 日本財団



出 演 Camille Thomas Stradivarius 1730 年製 Cello “Feuermann”使用
 萩原麻未 ピアノ

入場料 市民優先 4,000 円、一般 5,000 円
 200,000 円(チケット売上:市民優先 4,000 円×85 枚、一般 5,000 円×72 枚)
 ※チケット収入は浦安市が受け入れ、浦安市民の文化芸術活動の普及振興に使われた

来場者数 約 250 名(招待 90 名含)



©Rikimaru Hotta

2)～5) 小規模編成のストラディヴァリウス・コンサート 2022 「Encounter with Stradivari 2022」

本年度の開催詳細は下記とおりである。東京公演の実録 CD 制作及び動画を YouTube で一部配信した。

出 演	Goldmund Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”被貸与団体
	Florian Schötz (1 st vn)	Stradivarius 1727 年製 Violin “Paganini”使用
	Pinchas Adt (2 nd vn)	Stradivarius 1680 年製 Violin “Paganini”使用
	Christoph Vandory	Stradivarius 1731 年製 Viola “Paganini”使用
	Raphael Paratore	Stradivarius 1736 年製 Cello “Paganini”使用

2)3) 東京公演

日 時 2022 年 10 月 7 日(金)19:00 開演、2022 年 10 月 8 日(土)14:00 開演

会 場 サントリーホール ブルーローズ (380 席)(東京都港区)

主 催 (公財)日本音楽財団、
(公財)サントリー芸術文化財団サントリーホール

助 成 (公財)日本財団

入場料 4,500 円(正面席)、3000 円(サイドビュー席)
 チケット売上(2,668,500 円)は、(公財)サントリー芸術文化財団サントリーホールの収入とし、同ホールの行う公益事業に使われた

来場者数 351 名(10/7)、355 名(10/8)



©Rikimaru Hotta

4) 鳥取公演

日 時	2022 年 10 月 10 日(月・祝)14:00 開演
会 場	倉吉未来中心 大ホール (1,219 席)(鳥取県倉吉市)
主 催	(公財)日本音楽財団、(公財)鳥取県文化振興財団
助 成	(公財)日本財団
特別後援	(株)新日本海新聞社、日本海テレビジョン放送(株)
後 援	鳥取県、鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町、 鳥取教育委員会、倉吉市教育委員会、三朝町教育委員会、 湯梨浜町教育委員会、北栄町教育委員会、琴浦町教育委員会
入場料	S 席 4,000 円、A 席 3,000 円(18 歳以下 S 席 2,000 円/A 席 1,500 円) チケット売上(3,063,500 円)は、(公財)鳥取県文化振興財団の収入とし、同財 団の行う公益事業に使われた
来場者数	約 940 名

5) 大阪公演

日 時	2022 年 10 月 12 日(水)19:00 開演
会 場	住友生命いずみホール (821 席)(大阪府大阪市)
主 催	(公財)日本音楽財団 住友生命いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団]
助 成	(公財)日本財団
入場料	一般 4,400 円、友の会 3,400 円、学生券 2,200 円 チケット売上(860,720 円)は、住友生命いずみホール[(一財)住友生命福祉文 化財団]の収入とし、同ホールの行う公益事業に使われた
来場者数	約 340 名

② 全国のオーケストラとの共同事業(6 公演)

2020 年度より(公社)日本オーケストラ連盟(正会員:25 団体、準会員:13 団体)との共同事業として、全国のオーケストラの主催する公演に当財団楽器の被貸与者がソリストとして出演協力している。

本事業を通じて双方が保有する音楽資源を有効に活用し、当財団の楽器の被貸与者及び各楽団のレベル向上につながった。また、実施した 6 公演に学生(ヤングシート席を含む)計 356 名を招待し、若者がクラシック音楽に触れる機会を提供するとともに、次世代の音楽文化の担い手の育成にも貢献した。実録 CD を作成し、関係者へ配布することで当財団の事業の周知広報に努めた。

6) 東京都交響楽団との共演

日 時	2023 年 2 月 19 日(日)14:00 開演
会 場	東京芸術劇場コンサートホール(1,999 席)(東京都豊島区)
主 催	(公財)東京都交響楽団
協 力	(公財)日本音楽財団
特別協力	(公財)日本財団
指 揮	Yan Pascal Tortelier(ヤン・パスカル・トルトゥリエ)
出 演	Benjamin Beilman Guarneri del Gesù 1740 年製 Violin “Ysaye”使用



来場者数 約 1,520 名(うちヤングシート招待 118 名)



7) 奈良フィルハーモニー管弦楽団との共演

日 時 2023 年 2 月 25 日(土)13:30 開演
会 場 奈良県文化会館国際ホール(1,189 席)(奈良県奈良市)
主 催 (特非)奈良フィルハーモニー管弦楽団
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
後 援 奈良県、奈良市、大和郡山市、奈良新聞社、朝日新聞奈良総局、
売新聞奈良支局、毎日新聞奈良支局、産経新聞社、奈良フィル友の会、
和郡山市音楽芸術協会
指 揮 栗辻 聡
出 演 Benjamin Beilman Guarneri del Gesù 1740 年製 Violin “Ysaye”使用
来場者数 556 名(うち学生招待 34 名)

8)9) 富士山静岡交響楽団との共演 2 公演

日時・会場 ①2023 年 3 月 4 日(土)14:00 開演
静岡市清水文化会館マリナート大ホール(1,513 席)(静岡県清水市)
②2023 年 3 月 5 日(日)14:00 開演
アクトシティ浜松 中ホール(1,030 席)(静岡県浜松市)
主 催 (公財)富士山静岡交響楽団
共 催 (公財)浜松市文化振興財団(浜松公演)
協 力 (公財)日本音楽財団
特別協力 (公財)日本財団
後 援 静岡県、静岡市(静岡公演)、浜松市(浜松公演)
指 揮 高関 健
出 演 Timothy Chooi Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”使用
来場者数 3/4 483 名(うち学生招待 98 名)
3/5 346 名(うち学生招待 76 名)

10) 日本センチュリー交響楽団との共演

日 時 2023 年 3 月 9 日(木)19:00 開演
会 場 ザ・シンフォニーホール(1,704 席)(大阪府大阪市)
主 催 (公財)日本センチュリー交響楽団

協 力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 指 揮 川瀬賢太郎
 出 演 Timothy Chooi Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”使用
 来場者数 約 1,250 名(うち学生招待 7 名)



11) 中部フィルハーモニー交響楽団との共演

日 時 2023 年 3 月 11 日(土)15:00 開演
 会 場 小牧市市民会館(1,334 席)(愛知県小牧市)
 主 催 (特非)中部フィルハーモニー交響楽団
 共 催 (一財)こまき市民文化財団
 協 力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 後 援 (株)中日新聞社
 指 揮 田中祐子
 出 演 Timothy Chooi Stradivarius 1709 年製 Violin “Engleman”使用
 来場者数 676 名(うち学生招待 23 名)

③NHK 交響楽団との共演(中止)

2021 年 5 月にメニューイン国際コンクールで優勝した被貸与者のマリア・ドウエニャスの日本デビュー・コンサートとして NHK 交響楽団との共演を下記のとおり予定したが、出演者が体調不良のため急遽中止となった。

12) 名 称 マリア・ドウエニャス&N 響スペシャルコンサート(中止)

日 時 2022 年 4 月 26 日(火)19:00 開演
 会 場 東京芸術劇場コンサートホール (1,999 席)(東京都豊島区)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 共 催 (公財)NHK 交響楽団、認定 NPO 法人マギーズ東京
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 María Dueñas Guarneri del Gesù 1736 年製 Violin “Muntz”貸与
 指 揮 山田和樹

④協力事業

(公財)笹川平和財団の要請により下記のとおりスペシャル・コンサートを実施した。

13) 名 称 北極サークル日本フォーラム「ジャパン・ナイト」
 ストラディヴァリウス・スペシャル・コンサート



日 時 2023年3月4日(土)17:30~18:00
 会 場 虎ノ門ヒルズフォーラム(東京都港区)
 主 催 (公財)笹川平和財団、(公財)日本財団、北極サークル事務局
 協 力 (公財)日本音楽財団
 出 演 外村理紗 Stradivarius 1722年製 Violin “Jupiter”使用
 来場者数 約320名



2023年度

当財団楽器の被貸与者による演奏会(13公演)を下記のとおり実施した。

①演奏会の定期開催(2公演)

1)2)小規模編成の「ストラディヴァリウス・コンサート」

「ストラディヴァリウス・コンサート 2023」と題して大阪と東京で被貸与者3名による演奏会を下記のとおり開催した。

東京公演はNHKラジオ「ベストオブクラシック」で収録され放送された。実録CDを作成し、関係者へ配布することで当財団の事業の周知広報に努めた。

出 演

Suyoen Kim	Stradivarius 1700年製 Violin “Lord Newlands”使用
María Dueñas	Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”使用
Pablo Ferrández	Stradivarius 1696年製 Cello “Lord Aylesford”使用
江口 玲	ピアノ

1)大阪公演

日 程 2023年9月22日(金)19:00開演
 会 場 住友生命いずみホール(821席)(大阪)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 住友生命いずみホール[(一財)住友生命福祉文化財団]
 助 成 (公財)日本財団
 協 力 (社福)日本ライトハウス
 入場料 一般6,000円、友の会5,400円、学生券2,000円
 チケット売上1,844,000円は、(一財)住友生命福祉文化財団(734,000円)、
 (社福)日本ライトハウス(1,110,000円)のそれぞれの公益事業に使われた
 来場者数 約400名(招待含む)

2)東京公演

日 程 2023年9月24日(日)14:00開演

会 場	紀尾井ホール（800 席）（東京）
主 催	（公財）日本音楽財団、（公財）日本製鉄文化財団
助 成	（公財）日本財団
協 力	タカギクラヴィア株式会社
入場料	S 席 6,500 円（サポート会員 5,850 円）A 席 5,000 円 U29（29 歳以下）1,500 円 ※当日券は+500 円 チケット売上（2,785,650 円）は（公財）日本製鉄文化財団（紀尾井ホール）の公益事業に使われた
来場者数	約 640 名（招待含む）



©Rikimaru Hotta

②全国のオーケストラとの共同事業（4 公演）

（公社）日本オーケストラ連盟（正会員：25 団体、準会員：15 団体）との共同事業として、全国のオーケストラの主催する公演に当財団楽器の被貸与者がソリストとして出演協力している。

本事業を通じて双方が保有する音楽資源を有効に活用し、当財団の楽器の被貸与者及び各楽団のレベル向上につながり、また、実施した 4 公演に学生計 90 名を招待し、若者がクラシック音楽に触れる機会を提供するとともに、次世代の音楽文化の担い手の育成にも貢献した。

4公演のうち3公演の実録 CD を作成し当財団の事業の周知広報に努めた。

3) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演

名 称	県民名曲シリーズ第 18 回
日 程	2024 年 1 月 6 日（土） 14:00 開演
会 場	神奈川県民ホール大ホール（2,115 席）（神奈川・横浜）
主 催	（公財）神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神奈川県、神奈川県民ホール
協 力	（公財）日本音楽財団
特別協力	（公財）日本財団
助 成	文化庁文化芸術費補助金（舞台芸術当総合支援事業（創造団体支援））独立行政法人日本芸術文化振興会
指 揮	出口大地
出 演	外村理紗 Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”使用
来場者数	約 2,100 名（うち学生招待 20 名）

4) 山形交響楽団との共演

名 称	ユアタウンコンサート米沢公演
日 程	2024 年 1 月 8 日（月・祝） 15:00 開演
会 場	伝国の杜 置賜文化ホール（500 席）（山形・米沢）
主 催	（公社）山形交響楽協会、米沢市教育委員会、（公財）米沢上杉文化振興財団

協 力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 助 成 文化庁文化芸術費補助金(舞台芸術当総合支援事業(創造団体支援))独立行政法人日本芸術文化振興会
 後 援 山形県、山形教育委員会、山形新聞、山形放送、山形テレビ、
 テレビュー山形、さくらんぼテレビ、NHK 山形放送
 指 揮 阪 哲朗
 出 演 外村理紗 Stradivarius 1715 年製 Violin “Joachim”使用
 来場者数 約 480 名(うち学生招待 15 名)



5) 神奈川フィルハーモニー管弦楽団との共演

名 称 特別演奏会 第 18 回フレッシュ・コンサート
 日 程 2024 年 1 月 27 日(土) 14:00 開演
 会 場 神奈川県立音楽堂(900 席)(神奈川・横浜)
 主 催 (公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団、神奈川県
 共 催 川崎市
 協 力 (公財)日本音楽財団
 特別協力 (公財)日本財団
 指 揮 横山 奏
 出 演 Stella Chen Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”使用
 来場者数 約 390 名(うち学生招待 40 名)



6) 大阪交響楽団との共演

名 称 第 268 回定期演奏会
 日 程 2024 年 1 月 31 日(水) 19:00 開演
 会 場 ザ・シンフォニーホール(1,704 席)(大阪)
 主 催 (公社)大阪交響楽団

特別協賛 大和ハウス工業株式会社
 後援 大阪府、堺市
 協力 (公財)日本音楽財団、ザ・シンフォニーホール、(公財)堺市文化振興財団
 特別協力 (公財)日本財団
 助成 文化庁文化芸術費補助金(舞台芸術当総合支援事業(創造団体支援))独立行政法人日本芸術文化振興会
 指揮 原田慶太楼
 出演 Stella Chen Stradivarius 1708 年製 Violin “Huggins”使用
 来場者数 約 1,250 名(うち学生招待 15 名)

③全国の自治体が保有するホールとの共同事業(1 公演)

2023 年度より公益社団法人全国公立文化施設協会(公文協)と協力し、全国の自治体が運営するホールと共同して、地域におけるクラシック音楽文化の振興・普及のため、下記のとおり実施した。実録 CD を作成し、関係者へ配布することで当財団の事業の周知広報に努めた。

7)ヴェロニカ・エーベルレ・ヴァイオリンリサイタル

日程 2023 年 9 月 9 日(土)14:00 開演
 会場 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール小ホール(323 席)(滋賀・大津)
 主催 (公財)びわ湖芸術文化財団、(公財)日本音楽財団
 (公社)全国公立文化施設協会
 助成 (公財)日本財団
 出演 Veronika Eberle Stradivarius 1700 年製 Violin “Dragonetti”使用
 山田武彦 ピアノ
 入場料 一般 3,850 円、青少年(24 歳以下)1,650 円
 チケット売上(792,000 円)は地域の音楽文化振興のための公益事業に使われた
 来場者数 約 240 名(招待含む)



©Chikara Kuriyama

④公益財団法人千葉県文化振興財団との共同事業(2 公演)

2023 年度より千葉県文化振興財団と協力し、同地域におけるクラシック音楽文化の振興・普及のために下記のとおり実施した。

出演 Veronika Eberle Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti” 使用
 山田武彦 ピアノ
 入場料 一般 2,000 円、U30(30 歳以下)1,000 円、小中学生 500 円
 チケット売上 660,000 円(南総公演 496,500 円、東総公演 163,500 円)は、それぞれの収入とし地元へ還元し公益目的事業に使われた。

(8) 日程 2023 年 9 月 11 日(月) 14:00 開演
 会場 千葉県南総文化ホール (1,200 席)(千葉・館山)



- 主催 (公財)千葉県文化振興財団、(公財)日本音楽財団
 助成 (公財)日本財団、文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場、音楽堂等
 活性化)独立行政法人日本芸術文化振興会
 後援 千葉県、館山市、木更津市、勝浦市、鴨川市、君津市、富津市、袖ヶ浦市
 南房総市、鋸南町各教育委員会
 来場者数 約 360 名(学校招待 82 名含む)
 (9)日程 2023 年 9 月 12 日(火) 14:00 開演
 会場 千葉県東総文化会館 (900 席)(千葉・旭)
 主催 (公財)千葉県文化振興財団、(公財)日本音楽財団
 助成 (公財)日本財団、文化庁文化芸術振興費補助金(地域の中核劇場、音楽堂等
 活性化)独立行政法人日本芸術文化振興会
 後援 千葉県、銚子市、東金市、旭市、匝瑳市、香取市、山武市、多古町、東庄町、
 横芝光町各教育委員会
 来場者数 約 630 名(旭市内の 5 つの中学校の 3 年生 542 名招待含む)



⑤楽器貸与事業の広報(2公演)

貸与事業の広報の一環として、全席招待の演奏会を下記のとおり実施した。実録 CD を作成し、関係者へ配布することで当財団の事業の周知広報に努めた。動画を財団 YouTube で配信した。

10)レイ・チェン・ヴァイオリン・リサイタル

- 日程 2023 年 8 月 9 日(水) 19:00 開演
 会場 サントリーホール ブルーローズ(小ホール) (384 席)(東京)
 主催 (公財)日本音楽財団
 助成 (公財)日本財団
 出演 Ray Chen Stradivarius 1714 年製 Violin “Dolphin”使用
 佐藤卓史 ピアノ
 来場者数 約 310 名



©Rikimaru Hotta

11)エリザベート王妃国際コンクール(ベルギー)優勝者による演奏会

ステラ・チェン&イム・ジョン デュオ・リサイタル

日 程 2024年1月25日(木)19:00 開演
 会 場 サントリーホール ブルーローズ(小ホール) (384席) (東京)
 主 催 (公財)日本音楽財団
 助 成 (公財)日本財団
 出 演 Stella Chen Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”使用
 Ji Young Lim Stradivarius 1717年製 Violin “Sasserno”使用
 大須賀恵里 ピアノ
 来場者数 約240名



©Rikimaru Hotta

⑥協力事業(2都市)

(公財)笹川保健財団の要請により、下記のとおりノルウェー(ベルゲン)とスイス(ジュネーブ)においてストラディヴァリウスの演奏を披露し、当財団の楽器貸与活動を周知広報した。

12) 名 称 「らい菌発見150周年記念ハンセン病ベルゲン国際会議」
 ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート2023(ノルウェー・ベルゲン)
 日 程 2023年6月21日(水)
 (1)9:50~10:20 オープニングセレモニー
 (2)17:30~18:00 レセプション
 会 場 グリーグ・ホール The Peer Gynt Hall, GRIEGHALLEN(ノルウェー・ベルゲン)
 主 催 笹川ハンセン病イニシアチブ、ベルゲン大学
 協 力 (公財)日本音楽財団
 出 演 Pinchas Adt Stradivarius 1680年製 Violin “Paganini”使用
 Florian Schötz Stradivarius 1727年製 Violin “Paganini”使用
 吉本梨乃 Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”使用
 Raphael Paratore Stradivarius 1736年製 Cello “Paganini”使用
 来場者数 (1)、(2)各約200名
 ライブ配信 国際会議のライブ配信とともに演奏会も配信された



13) ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート 2024(スイス・ジュネーブ) 2 会場

- 出 演 Giuseppe Gibboni Stradivarius 1722 年製 Violin “Jupiter”使用
吉本梨乃 Stradivarius 1736 年製 Violin “Muntz”使用
- (1) 名 称 ハンセン病回復者たちに対する偏見や差別をなくすための
「グローバル・アピール 2024」スペシャルコンサート
ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート 2024 ①
- 日 程 2024 年 1 月 31 日(水) オープニングコンサート 17:10～17:40
- 会 場 世界保健機関(WHO)本部(スイス・ジュネーブ)
- 主 催 笹川ハンセン病イニシアチブ、世界保健機関(WHO)
- 協 力 (公財)日本音楽財団
- 来場者数 約 100 名
- 配 信 式典のライブ配信とともに演奏も配信された
録画は、世界保健機関(WHO)並びに笹川ハンセン病イニシアチブの Web で配
信された



左よりテドロス WHO 事務局長、吉本、Gibboni、笹川日本財団会長



- (2) 名 称 ストラディヴァリウス・ミニ・コンサート 2024 ②
- 日 程 2024 年 1 月 31 日(水) 20:00～20:30
- 会 場 在ジュネーブ国際機関日本政府代表部大使公邸(スイス)
- 主 催 (公財)日本財団、(公財)笹川保健財団
- 協 力 (公財)日本音楽財団
- 聴 衆 20 名(招待のみ)



4. 音楽助成事業(2014年度から2023年度)

本事業では、国内外の音楽文化の振興と普及に寄与することを目的として、音楽関連諸団体が行う事業に支援を行っている。一般公募した事業の助成団体並びに金額については、諮問機関である事業運営委員会(事業運営委委員名簿 P.114)において審議し決定している。

2013年度にそれまでの対象の5つの柱(①マスタークラス、②指導者の育成、③子供を対象としたアウトリーチ、④リハビリ、⑤パートナーの育成)から支援対象を変更し、当財団が積極的に演奏会を開催していくために必要不可欠な「パートナーの育成」を中心に2018年度まで事業支援を行った。

2019年度からは、①ヴァイオリン等の弦楽器を主とした演奏会において、音楽的、技術的向上を目的とする事業、②より多くの人々に優れた弦楽器演奏を鑑賞する機会を提供する事業の2つの柱に助成対象を移行した。

2014年度から2023年度の10年間の支援は下記のとおり71事業54,606,811円になった。詳細は巻末資料⑩(P.158-P.160)参照

年度	事業数(支援の柱)	支援額	
2014	4件(パートナーの育成)	¥5,728,273	
2015	4件(パートナーの育成)	¥7,081,400	
2016	5件(パートナーの育成)	¥4,512,400	
2017	6件(パートナーの育成)	¥6,550,000	
2018	9件(パートナーの育成)	¥6,000,000	
2019	4件(①弦楽器の技術向上、②音楽鑑賞の機会提供)	¥3,974,738	※
2020	8件(①弦楽器の技術向上、②音楽鑑賞の機会提供)	¥4,600,000	※
2021	9件(①弦楽器の技術向上、②音楽鑑賞の機会提供)	¥5,300,000	※
2022	11件(①弦楽器の技術向上、②音楽鑑賞の機会提供)	¥5,040,000	
2023	11件(①弦楽器の技術向上、②音楽鑑賞の機会提供)	¥5,820,000	
	2014年度～2023年度 計71件	¥54,606,811	

※新型コロナウイルス感染症の影響で事業が中止となり支援件数が減った。

(2019年度1件、2020年度3件、2021年度1件)



助成事業(主にパートナーの育成枠)のうち被貸与者出演協力の演奏会一覧

・兵庫芸術文化センター管弦楽団 第71回定期演奏会

実施団体 兵庫県立芸術文化センター
日 程 2014年6月13日(金)、14日(土)、15日(日)
会 場 兵庫県立芸術文化センター(兵庫県西宮市)(2,000席)
出 演 兵庫芸術文化センター管弦楽団、
Stefan Sanderling(指揮)
Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”使用

・オーケストラの日 2015

実施団体 (公社)日本オーケストラ連盟
日 程 2015年3月31日(火)
会 場 文京シビックホール(東京)(1,802席)
出 演 オーケストラの日祝祭管弦楽団
円光寺雅彦(指揮)
大谷康子 Stradivarius 1709年製 Violin “Engleman”使用

・オーケストラの日 2016

実施団体 (公社)日本オーケストラ連盟
日 程 2016年3月31日(火)
会 場 文京シビックホール(東京)(1,802席)
出 演 オーケストラの日祝祭管弦楽団
川瀬賢太郎(指揮)
Ray Chen Stradivarius 1715年製 Violin “Joachim”使用

・オーケストラの日 2017

実施団体 (公社)日本オーケストラ連盟
日 程 2017年3月31日(金)
会 場 文京シビックホール(東京)(1,802席)
出 演 オーケストラの日祝祭管弦楽団
現田茂夫(指揮)
Svetlin Roussev Stradivarius 1710年製 Violin “Camposelice”使用

・青少年のためのレクチャーコンサート IN 宇部

実施団体 (一財)宇部市文化創造財団
日 程 2017年7月16日(日)
会 場 宇部市渡辺翁記念会館(山口県宇部市)(1,303席)
出 演 渡辺玲子 Guarneri del Gesù 1736年製 Violin “Muntz”使用
江口 玲 ピアノ

・「子ども発達支援センター・さんだ」支援チャリティ・コンサート

Arabella Miho Steinbacher Violin Recital
実施団体 子ども発達支援センター・さんだ支援チャリティ・コンサート実行委員会

日 程 2017年7月18日(火)
会 場 三田市総合文化センター郷の音ホール(兵庫県三田市)(974席)
出 演 Arabella Miho Steinbacher Stradivarius 1716年製 Violin “Booth”使用
林 絵里 ピアノ

・第11回 ARTE 国際マンドリンフェスティバル&コンクール

実施団体 特定非営利活動法人 ARTE MANDOLINISTICA
日 程 2017年10月8日(日)
会 場 いずみホール(大阪府大阪市)(821席)
出 演 マンドリンオーケストラ 112名
Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736年製 Violin “Muntz”使用

・オーケストラの日 2018

実施団体 (公社)日本オーケストラ連盟
日 程 2018年3月31日(土)
会 場 東京文化会館大ホール(東京)(2,303席)
出 演 オーケストラの日祝祭管弦楽団
藤岡幸夫(指揮)
Ji Young Lim Stradivarius 1708年製 Violin “Huggins”使用

・「子ども発達支援センター・さんだ」支援チャリティ・コンサート

Yuki Manuela Janke Violin Recital
実施団体 子ども発達支援センター・さんだ支援チャリティ・コンサート実行委員会
日 程 2018年7月20日(金)
会 場 三田市総合文化センター郷の音ホール(兵庫県三田市)(974席)
出 演 Yuki Manuela Janke Stradivarius 1736 Violin “Muntz”使用
林 絵里 ピアノ

・マギーズ東京支援・がんに影響を受けたすべての人々のためのチャリティ・コンサート

Benjamin Beilman Violin Recital
実施団体 NPO 法人マギーズ東京 チャリティ・コンサート実行委員会
日 程 2019年3月11日(月)
会 場 東京文化会館大ホール(東京)(2,303席)
出 演 Benjamin Beilman Stradivarius 1709 Violin “Engleman”使用
江口 玲 ピアノ

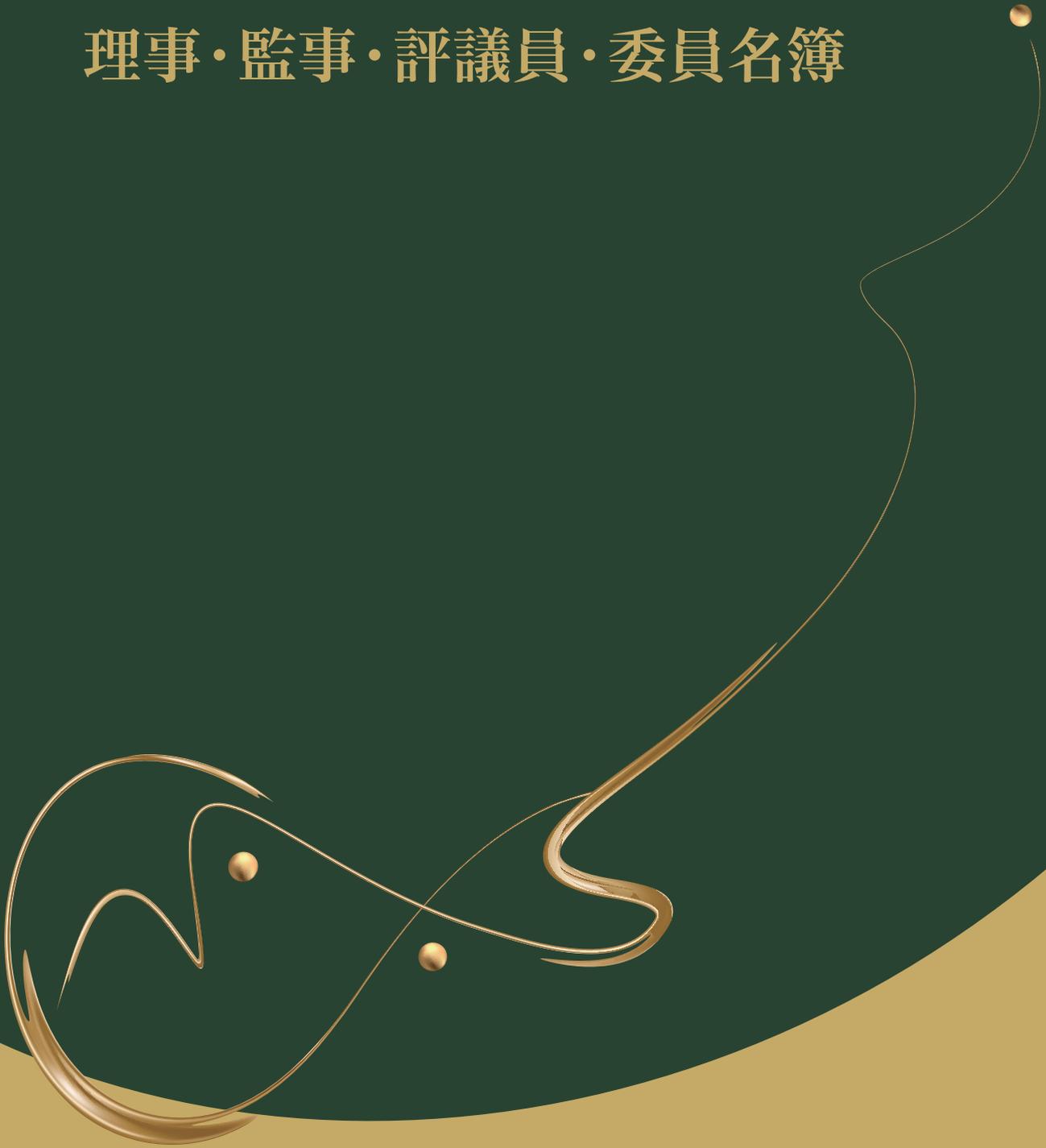
・オーケストラの日 2019

実施団体 (公社)日本オーケストラ連盟
日 程 2019年3月31日(日)
会 場 東京文化会館大ホール(東京)(2,303席)
出 演 オーケストラの日祝祭管弦楽団
大友直人(指揮)
竹澤恭子 Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh”使用



III

理事・監事・評議員・委員名簿



(設立時から1994年までは「25年の歩み」に記載)

(1994年から2004年までは「30年の歩み」に記載)

(2004年から2014年までは「40年の歩み」に記載)

公益財団法人への移行(2012.4.1)後の理事、監事、評議員一覧

理事

敬称略

第1期理事 (任期 2012.4.1～2014年度の定時評議員会の終結時まで)

会長	小林 實	(一財)地域活性化センター顧問 (代表理事)
理事長	塩見和子	常勤 (代表理事)
常務理事	檜林欣也	常勤 (業務執行理事)
理事	海老澤 敏	尚美学園大学大学院特別専任教授
理事	福田 博	西村あさひ法律事務所顧問弁護士 (2012.6.14 就任)
理事	福井俊彦	元日本銀行総裁、(一財)キャノングローバル戦略研究所理事長
理事	長谷川和年	元駐オーストリア特命全権大使
理事	畠山向子	(公財)畠山記念美術館館長
理事	日野原重明	(一財)聖路加国際メディカルセンター理事長
理事	岩淵龍太郎	ヴァイオリニスト
理事	児玉幸治	(一財)機会システム振興協会会長
理事	松木康夫	新赤坂クリニック名誉院長
理事	新田 勇	元(株)東芝専務取締役
理事	斉藤邦彦	元駐米特命全権大使
理事	佐治俊彦	毎日新聞社社友

第2期理事 (任期 2014.6.27～2016年度の定時評議員会の終結時まで)

会長	小林 實	(一財)地域活性化センター顧問 (代表理事)
理事長	塩見和子	常勤 (代表理事)
常務理事	檜林欣也	常勤 (業務執行理事)
理事	海老澤 敏	尚美学園大学大学院特別専任教授
理事	福田 博	西村あさひ法律事務所顧問弁護士
理事	福井俊彦	元日本銀行総裁、(一財)キャノングローバル戦略研究所理事長
理事	長谷川和年	元駐オーストリア特命全権大使
理事	畠山向子	(公財)畠山記念美術館館長
理事	日野原重明	(一財)聖路加国際メディカルセンター理事長
理事	児玉幸治	(一財)機会システム振興協会会長
理事	松木康夫	新赤坂クリニック名誉院長
理事	新田 勇	元(株)東芝専務取締役
理事	斉藤邦彦	元駐米特命全権大使
理事	佐治俊彦	毎日新聞社社友

第3期理事 (任期 2016.6.27～2018年度の定時評議員会の終結時まで)

会長	塩見和子	常勤 (代表理事)
常務理事	檜林欣也	常勤 (業務執行理事)
理事	海老澤 敏	尚美学園大学大学院名誉教授
理事	福田 博	丸の内国際法律事務所客員弁護士
理事	福井俊彦	元日本銀行総裁、(一財)キャノングローバル戦略研究所理事長
理事	斉藤邦彦	元駐米特命全権大使



第4期理事（任期 2018.6.25～2020 年度の定時評議員会の終結時まで）

会長	海老沢勝二	（代表理事）
常務理事	加納民夫	常勤（業務執行理事）
理事	石川礼子	常勤（業務執行理事）（2019.10.1 就任）
理事	海老澤 敏	尚美学園大学大学院名誉教授
理事	門野 泉	（公財）東京財団理事長、清泉女子大学名誉教授
理事	斉藤邦彦	元駐米特命全権大使
理事	竹内千春	弁護士
理事	福井俊彦	元日本銀行総裁、（一財）キャノングローバル戦略研究所理事長

第5期理事（任期 2020.6.23～2022 年度の定時評議員会の終結時まで）

会長	海老沢勝二	（代表理事）
常務理事	加納民夫	常勤（業務執行理事）
理事	石川礼子	常勤（業務執行理事）
理事	海老澤 敏	国立音楽大学名誉教授
理事	門野 泉	（公財）東京財団理事長、清泉女子大学名誉教授
理事	斉藤邦彦	元駐米特命全権大使（2022.3.15 退任）
理事	竹内千春	弁護士（2020.9.15 退任）
理事	福井俊彦	元日本銀行総裁、（一財）キャノングローバル戦略研究所理事長

第6期理事（任期 2022.6.24～2024 年度の定時評議員会の終結時まで）

会長	海老沢勝二	（代表理事）
常務理事	加納民夫	常勤（業務執行理事）
理事	石川礼子	常勤（業務執行理事）
理事	伊東信一郎	ANA ホールディング特別顧問
理事	海老澤 敏	国立音楽大学名誉教授
理事	澤 和樹	ヴァイオリニスト、（公財）文化財保護・芸術研究助成財団理事長
理事	門野 泉	（公財）東京財団理事長、清泉女子大学名誉教授
理事	福井俊彦	元日本銀行総裁、（一財）キャノングローバル戦略研究所理事長

監事

第1期監事（任期 2012.4.1～2016 年度の定時評議員会まで）

監事	垣見 隆	弁護士
監事	山内悦嗣	公認会計士

第2期監事（任期 2016.6.27～2020 年度の定時評議員会まで）

監事	垣見 隆	弁護士
監事	山内悦嗣	公認会計士（2018.6.23 退任）
監事	吉村貞彦	公認会計士（2019.3.7 就任）

第3期監事（任期 2020.6.23～2024 年度の定時評議員会まで）

監事	垣見 隆	弁護士
監事	吉村貞彦	公認会計士

評議員

第1期評議員（任期 2012.4.1～2016 年度の定時評議員会の終結時まで）

評議員	相川直樹	慶応義塾大学名誉教授
評議員	荒蒔康一郎	元麒麟ホールディング(株)会長
評議員	海老沢勝二	学校法人大隈記念早稲田佐賀学園副理事長
評議員	藤井宏昭	国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長（2012.6.14 就任）
評議員	木全 ミツ	認定 NPO 法人女子教育奨励会理事長
評議員	清原武彦	産経新聞社取締役会長
評議員	小林道夫	ピアニスト、チェンバロ奏者
評議員	前 和男	東京音楽大学顧問
評議員	奈良久彌	(株)三菱総合研究所特別顧問
評議員	尾形武寿	(公財)日本財団理事長（2012.6.14 就任）
評議員	須磨久善	心臓外科医
評議員	丹治 誠	元日本銀行理事

第2期評議員（任期 2016.6.27～2020 年度の定時評議員会の終結時まで）

評議員	相川直樹	慶応義塾大学名誉教授
評議員	荒蒔康一郎	元麒麟ホールディング(株)会長
評議員	海老沢勝二	学校法人大隈記念早稲田佐賀学園副理事長（2018.6.25 退任）
評議員	藤井宏昭	国際交流基金顧問、森アーツセンター理事長
評議員	畠山向子	(公財)畠山記念美術館館長
評議員	日野原重明	(一財)聖路加国際メディカルセンター理事長（2017.7.18 逝去）
評議員	木全ミツ	認定 NPO 法人女子教育奨励会理事長
評議員	児玉幸治	(一財)機会システム振興協会会長
評議員	松本康夫	新赤坂クリニック名誉院長（2018.9.13 退任）
評議員	清原武彦	産経新聞社取締役会長
評議員	尾形武寿	(公財)日本財団理事長
評議員	須磨久善	心臓外科医

第3期評議員（任期 2020.6.23～2024 年度の定時評議員会の終結時まで）

評議員	相川直樹	慶応義塾大学名誉教授
評議員	荒蒔康一郎	元麒麟ホールディング(株)会長（2022.6.24 退任）
評議員	藤井宏昭	国際交流基金顧問
評議員	畠山向子	(公財)畠山記念美術館館長
評議員	児玉幸治	(一財)機会システム振興協会顧問
評議員	清原武彦	産経新聞社取締役特別顧問（2023.9.25 退任）
評議員	尾形武寿	(公財)日本財団理事長
評議員	西村 朗	作曲家、東京音楽大学教授（2023.9.7 逝去）
評議員	白石美雪	音楽学者、武蔵野美術大学教授
評議員	佐藤隆文	元金融庁長官



楽器貸与委員(任期2年)

(2024年3月末現在)

敬称略
就任順に記載

代表地区		氏名	就任年月日	現職(元)
欧州	委員長 代行	イヴァン・デ・ラオノア Yvan de Launoit	2015/9/11	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール副理事長
欧州	委員	ジョナサン・ノット Jonathan Nott	2018/8/15	指揮者
米国	委員	キム・カシュカシヤン Kim Kashkashian	2018/8/15	ニューイングランド音楽院ヴィオラ・室内楽教授
米国	委員	アイダ・カヴァフィアン Ida Kavafian	2018/8/15	カーティス音楽院教授ヴァイオリン学科長
日本	委員長	原田 幸一郎 Koichiro Harada	2018/9/11	ヴァイオリニスト、 桐朋学園大学特命教授、東京音楽大学特任教授
日本	委員	藤原 真理 Mari Fujiwara	2018/9/11	チェリスト
日本	委員	池辺 晋一郎 Shinichiro Ikebe	2019/8/26	作曲家、東京音楽大学名誉教授
米国	委員	クライヴ・ギリンソン Clive Gillinson	2019/9/18	カーネギーホール総支配人兼音楽監督
	(歴代委員)			(当時の役職等)
日本	委員	吉田 貴壽 Takatoshi Yoshida	1994/8/15	昭和音楽大学学長(2001/10/2逝去まで)
米国	委員	ドロシー・ディレイ Dorothy DeLay	1994/8/15	ジュリアード音楽院教授(2002/3/23逝去まで)
米国	委員	ヤーノシュ・シュタルケル Janos Starker	1994/8/15	チェリスト、インディアナ大学音楽学部教授(2012/8/14退任)
米国	委員長	ロリン・マゼール Lorin Maazel	1994/8/15	指揮者(2014/7/13逝去まで)
欧州	委員	ジャン・ピエール・デ・ラオノア Comte Jean-Pierre de Launoit	1994/8/15	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール会長 (2014/11/12逝去まで)
日本	委員	塩見 和子 Kazuko Shiomi	1994/8/15	当財団理事長、会長(2018/6/25退任)
日本	委員	海老澤 敏 Bin Ebisawa	2002/8/15	国立音楽大学名誉教授(2019/7/16退任)
米国	委員	チョン・キョン=ファ Kyung-Wha Chung	2002/9/22	ヴァイオリニスト、ジュリアード音楽院教授(2018/8/14退任)
欧州	委員	アナ・チェマチェンコ Ana Chumachenko	2005/8/15	ヴァイオリニスト、ミュンヘン音楽大学教授(2018/8/14退任)
欧州	委員	カーティス・プライス Sir Curtis Price	2006/8/15	英国音楽院副理事長(2019/4/4退任)
米国	委員	マルタ・カザルス・イストミン Marta Casals-Istomin	2007/11/15	マンハッタン音楽院元学長(2018/8/14退任)
欧州	委員長	サイモン・ラトル Sir Simon Rattle	2014/9/24	指揮者(2018/8/14退任)

事業運営委員（任期1年、2022年より2年に変更）

（2024年3月末現在）

敬称略
就任順に記載

	氏名	就任年月日	役職等(元)
委員長	小倉多美子	2019/2/1	音楽ジャーナリスト、武蔵野音楽大学講師
委員	金子建志	2019/2/1	音楽評論家
委員	柴田俊一	2019/2/1	日本芸術文化振興会非常勤プログラムオフィサー、元NHKプロデューサー
委員	柴辻純子	2022/2/1	音楽評論家
委員	那須田務	2024/2/1	音楽評論家
	(歴代委員)		(当時の役職等)
委員長	吉田貴壽	1994/4/1	昭和音楽大学学長、東邦学園名誉教授(2001/10/2逝去まで)
委員	下田勝美	1994/4/1	日本音楽財団常務理事(1999年3月まで)
委員	原田元吉	1994/4/1	日本マーチング指導者協会理事長(1999年3月末まで)
委員	秋山紀夫	1994/4/1	日本吹奏楽指導者協会会長(1998年3月末まで)
委員	関谷晋	1994/4/1	(社)全日本合唱連盟副理事長(1998年3月末まで)
委員	米山穂積	1994/4/1	全日本太鼓連盟副理事長(1998年3月末まで)
委員長	中曾根松衛	1994/4/1	(株)芸術現代社社長→会長(2007年3月末まで)
委員	塩見和子	1994/4/1	日本音楽財団専務理事→理事長→会長(2018年6月まで)
委員	川崎優	1996/4/1	作曲家(1998年3月末まで)
委員	辻正行	1997/4/1	日本合唱指導者協会理事長(1999年3月末まで)
委員	岩井宏之	1997/4/1	音楽評論家(2016年3月末まで)
委員	藤掛廣幸	1997/4/1	作曲家(2021年1月末まで)
委員長	鹿海信也	1999/4/1	元文化庁文化部長(2016年3月末まで)
委員長	川本統脩	1999/4/1	日本大学芸術学部講師(2024年1月まで)
委員	齋藤一郎	2002/4/1	東京芸術大学名誉教授(2022年1月末まで)
委員	関根五郎	2004/4/1	元NHK交響楽団団友(2012年3月末まで)



IV

資料



日本財団助成金実績一覧

(単位:円)

年 度	補 助 金		助 成 金			助成金総額
	事業助成金	事業内容	運営助成金	基本財産	事業基金 (楽器購入・事業費)	
1974～1991 (S.49～H.3)年度まで	楽器貸与事業開始前					
小計	676,681,000		579,000,000	60,000,000	0	1,315,681,000
1992～2003 (H.4～H.15)年度まで	(詳細は30年誌に記載)					
小計	322,250,000		1,332,400,000	0	10,803,000,000	12,457,650,000
2004～2010 (H.16～H.22)年度まで	(詳細は40年誌に記載)					
小計	184,165,000		653,400,000	0	1,972,840,000	2,810,405,000
計	1,183,096,000		2,564,800,000	60,000,000	12,775,840,000	16,583,736,000

事業区分の変更

年 度	公益事業会計			法人会計		助成金総額
	事業助成金	うち特定資産※1	事業内容	運営助成金	基本財産	
2011～2013 (H.23～H.25)年度まで	(詳細は40年誌に記載)					
小計	516,128,000	20,000,000		238,160,000	0	754,288,000

2014	H.26	186,700,000	40,577,454	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	80,000,000	0	266,700,000
2015	H.27	185,650,000	29,511,000	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	70,300,000	0	255,950,000
2016	H.28	203,700,000	44,785,831	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	73,000,000	0	276,700,000
2017	H.29	165,016,000	10,000,000	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	66,744,000	0	231,760,000
2018	H.30	※2 133,091,000	7,500,000	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	80,850,000	0	213,941,000
2019	R.1	143,131,000	7,500,000	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	65,141,000	0	208,272,000
2020	R.2	143,452,000	7,500,000	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	80,625,000	0	224,077,000
2021	R.3	116,909,000	0	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	79,010,000	0	195,919,000
2022	R.4	140,662,000	0	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	70,234,000	0	210,896,000
2023	R.5	600,000,000	※3 600,000,000	楽器整備に係る基金			600,000,000
		156,863,000	0	楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興	67,935,000	0	224,798,000
2014～2023 (H.26～R.5)年度まで							
小計		2,175,174,000	747,374,285		733,839,000	0	2,909,013,000
合 計 1974(S.49)年度から2023(R.5)年度まで							20,247,037,000

※1 特定資産には、①特定資産取得資金(楽器購入)、②特定費用準備資金(大規模楽器修理)、③特定費用準備資金(楽器保全)がある

※2 助成金とは別に日本財団支援事業として10,050,979円を受領

※3 特定資産取得資金(楽器購入)として積立、楽器市場調査を開始した



事業費内訳(年度ごとの決算額)

公益目的事業:楽器貸与事業を通じた音楽文化の振興の内訳

(単位:円)

事業名 年度	楽器保全	楽器貸与	国内演奏会	日本財団支援 特別演奏会	音楽助成	楽器図録制作	事業管理費 (退職給付金)	計
2014	62,013,753	22,958,922	27,816,826		5,951,452		52,209,550	170,950,503
2015	54,883,068	23,360,649	20,317,527		7,162,974		50,873,635	156,597,853
2016	52,578,012	15,944,287	85,333,366		4,782,255		49,740,046	208,377,966
2017	59,958,896	20,184,241	27,933,995		7,219,252		51,716,480	167,012,864
2018	55,430,901	9,827,917	19,039,184	10,050,979	6,322,412		51,186,757	151,858,150
2019	※ 62,556,560	12,894,375	27,173,127		4,281,320		47,371,267	154,276,649
2020	50,050,323	7,747,079	11,174,010		4,805,152	14,898,175	49,622,715	138,297,454
2021	50,070,901	6,866,173	8,004,905		5,510,992	990,361	48,755,885	120,199,217
2022	53,644,170	6,189,565	19,724,100		5,338,306		54,696,779	139,592,920
2023	55,353,046	7,673,570	29,866,680		6,255,666		59,190,849	158,339,811
計	556,539,630	133,646,778	276,383,720	10,050,979	57,629,781	15,888,536	515,363,963	1,565,503,387

※楽器の大規模修理 1件(8,214,891円)は特定費用準備資金(大規模楽器修理)を取り崩して実施している



楽器貸与状況(2014年度～2023年度)

(注)長期貸与は、楽器貸与委員会の承認を得た1年以上の長期貸与(旧区分)

2018/9/25以降の長期貸与(貸与区分A)は上限7年、(貸与区分B)は上限3年とした。また短期貸与(貸与区分C)の上限は1年とした。2018/9/25時点の長期貸与(旧区分)者に対しては相互に相談の上、返却時期を決定した。

貸与中の演奏家の貸与終了日は2024年3月末時点の契約内容を記載。

楽器名	購入年月	貸与演奏家名	貸与期間(貸与区分) 特記事項	
Stradivarius "Paganini Quartet"	1994/2	以前の貸与状況は40年誌参照		
		Hagen Quartet		
		①Violin 1680	Rainer Schmidt	2013/7/25-2017/8/11(長期貸与)
		②Violin 1727	Lukas Hagen	2013/7/22-2017/8/11(長期貸与)
		③Viola 1731	Veronika Hagen	2013/7/4-2017/8/27(長期貸与)
		④Cello 1736	Clemens Hagen	2013/7/18-2017/8/27(長期貸与)
		Quartetto di Cremona		
		①Violin 1680	Paolo Andreoli	2017/9/25-2018/11/30(短期貸与)追加の特別公演のため貸与延長した
		②Violin 1727	Cristiano Gualco	2017/9/25-2018/11/30(短期貸与)追加の特別公演のため貸与延長した
		③Viola 1731	Simone Gramalia	2017/9/25-2018/11/30(短期貸与)追加の特別公演のため貸与延長した
		④Cello 1736	Giovanni Scaglione	2017/9/25-2018/11/30(短期貸与)追加の特別公演のため貸与延長した
		Kuss Quartet		
		①Violin 1727	Jana Kuss	2019/4/22-2019/6/17(貸与区分C)
		②Violin 1680	Oliver Wille	2019/4/22-2019/6/17(貸与区分C)
③Viola 1731	William Coleman	2019/5/10-2019/6/17(貸与区分C)		
④Cello 1736	Mikayel Hakhnazaryan	2019/5/10-2019/6/17(貸与区分C)		
Goldmund Quartet				
①Violin 1727	Florian Schötz	2019/8/28-2024/9/30予定(貸与区分A)コロナウィルスの影響によりで1年延長		
②Violin 1680	Pinchas Adt	2019/9/27-2024/9/30予定(貸与区分A)コロナウィルスの影響によりで1年延長		
③Viola 1731	Christoph Vandory	2019/9/27-2024/9/30予定(貸与区分A)コロナウィルスの影響によりで1年延長		
④Cello 1736	Raphael Paratore	2019/9/27-2024/9/30予定(貸与区分A)コロナウィルスの影響によりで1年延長		
⑤Stradivarius 1708 Violin "Huggins"	1995/3	以前の貸与状況は40年誌参照		
		Andrey Baranov	2012/5/29-2015/5/11(2012年エリザベートコンクール優勝者)	
		Ji Young Lim	2015/6/2-2019/3/28(2015年エリザベートコンクール優勝者) A区分の延長申請してSassenoへ楽器変更	
		Stella Chen	2019/5/28-2024/4/2(2019年エリザベートコンクール優勝者) コロナ禍でコンクール開催が1年延長	
		2024年エリザベートコンクール優勝者へ貸与予定		
⑥Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz"	1995/3	以前の貸与状況は40年誌参照		
		渡辺玲子	2014/10/28-2019/7/5(短期貸与)更新	
		Maria Dueñas	2019/7/12-2021/1/11(貸与区分C)(コロナウィルスの影響により6ヶ月延長)	
		María Dueñas	2021/1/12-2022/11/16(貸与区分A) Camposelicheへ楽器変更	
竹内鴻史郎	2023/6/28-2024/3/28(貸与区分C)			



楽器貸与状況(2014年度～2023年度)

楽器名	購入年月	貸与演奏家名	貸与期間(貸与区分) 特記事項
⑦Stradivarius 1709 Violin "Engleman"	1996/5	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Vilde Frang	2012/11/28-2014/7/25(長期貸与)
		大谷康子	2014/12/16-2016/2/29(短期貸与)更新
		Sergey Khachatryan	2016/8/19-2016/9/13(財団演奏会出演のため)
		渡辺玲子	2016/11/15-2016/11/18(財団演奏会出演のため)
		Benjamin Beilman	2016/12/7-2022/6/15(長期貸与)楽器変更へ
		原田幸一郎	2021/10/12-2022/3/31(貸与区分C)
		Timothy Chooi	2022/6/6-2029/6/5予定(貸与区分A)
⑧Stradivarius 1730 Cello "Feurmann"	1996/12	以前の貸与状況は40年誌参照	
		石坂団十郎	2013/6/22-2019/1/10(長期貸与)
		Camille Thomas	2019/9/24-2021/3/23(貸与区分C)(コロナウィルスの影響により6ヶ月延長)
		Camille Thomas	2021/3/24-2025/3/23予定(貸与区分A)
⑨Stradivarius 1736 Violin "Muntz"	1997/7	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Yuki Manuela Janke	2007/11/3-2022/5/8(長期貸与) コロナ禍で来日規制のため期間延長
		吉本梨乃	2022/11/16-2023/8/31(貸与区分C)
		吉本梨乃	2023/9/1-2026/8/31予定(貸与区分B)
⑩Guarneri del Gesù 1740 Violin "Ysaÿe"	1998/3	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Sergey Khachatryan	2010/10/27-2022/5/8(長期貸与) Strad. Lord Newlandsより変更 コロナ禍で来日規制のため期間延長
		Benjamin Beilman	2022/6/15-2025/8/6予定(長期貸与) Englemanより楽器変更 コロナ禍で貸与中断(2020/9/30-2022/6/15)のため期間延長
⑪Stradivarius 1722 Violin "Jupiter"	1998/5	以前の貸与状況は40年誌参照	
		五嶋 龍	2013/3/7-2021/8/31(短期→長期貸与)
		外村理紗	2022/1/12-2023/8/25(貸与区分A) Joachimへ楽器変更
		Giuseppe Gibboni	2023/10/23-2028/10/22予定(貸与区分A)
⑫Stradivarius 1716 Violin "Booth"	1999/1	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Arabella Miho Steinbacher	2006/9/4-2021/6/15(長期貸与)Strad. Muntzより変更 コロナ禍での来日規制のため期間延長
		吉田 南	2021/8/10-2024/9/30予定(貸与区分B)
⑬Stradivarius 1717 Violin "Sasserno"	1999/5	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Alina Pogostkina	2013/2/28-2019/2/25(長期貸与) 2015/4-2015/12/3出産のため演奏活動休業 貸与中断中は下記の2名に短期貸与
		池田菊衛	2015/5/27-2015/6/22(Alina Pogostkinaの産休中の短期貸与)
		神尾真由子	2015/7/1-2015/11/25(Alina Pogostkinaの産休中の短期貸与)
		Ji Young Lim	2019/3/28-2024/9/30予定(貸与区分A) (2015エリザベートコンクール優勝者 Hugginsを4年貸与) コロナ禍で一時貸与中断(2022/1/19-2022/5/16)のため貸与延長
⑭Stradivarius 1714 Violin "Dolphin"	2000/2	諏訪内晶子	2000/8/11-2020/9/30(長期貸与)
		Ray Chen	2021/12/8-2025/3/31予定(長期貸与) Samazeuilhより変更 コロナ禍で貸与中断(2020/9/-2022/9/5)

楽器貸与状況(2014年度～2023年度)

楽器名	購入年月	貸与演奏家名	貸与期間(貸与区分) 特記事項
⑮Stradivarius 1715 Violin "Joachim"	2000/9	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Ray Chen	2014/6/19-2019/10/23(長期貸与) Strad. Lord Newlandsより変更、2019/10/23Samazeuiljへ変更
		Angelo Xiang Yu	2019/11/1-2022/6/24(貸与区分A) 中国での活動が主となったため貸与中断 貸与再開時はコロナ禍で(2020/9/30-2022/6/24)貸与中断
		前田妃奈	2022/8/31-2023/8/23(貸与区分C)
		外村理紗	2023/8/25-2027/1/11 予定(貸与区分A) Jupiterより変更
⑯Stradivarius 1725 Violin "Wilhemj"	2001/6	以前の貸与状況は40年誌参照	
		渡辺玲子	2012/11/12- 2014/10/10 (財団演奏会協力のため)
		Radoslaw Szulc	2014/12/8-2015/5/29(短期貸与) 2015/6/26-2018/11/27(短期貸与) 更新
		加野景子	2018/11/27-2019/11/26(貸与区分C) CD,DVDレコーディングのため
		大谷康子	2019/11/28-2020/1/31(演奏委託:事業協力) 2020/2/1-2021/7/31 45周年記念演奏会(貸与区分C) (コロナの影響により6ヶ月延長)
		大谷康子	2021/8/1-2022/3/31 45周年記念演奏会(貸与区分C) (コロナの影響、財団事業協力のため延長8ヶ月延長)
		金川真弓	2022/9/6-2025/9/5 予定(貸与区分A)
⑰Stradivarius 1702 Violin "Lord Newlands"	2002/6	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Ray Chen	2012/4/11-2014/6/24(長期貸与) Joachimへ楽器変更
		Suyoen Kim	2015/1/20-2024/9/30 予定(長期貸与)
⑱Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti"	2002/6	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Veronika Eberle	2009/5/11-2024/9/30 予定(長期貸与)
⑲Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford"	2003/6	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Pablo Ferrández	2014/1/17-2023/9/24 (長期貸与)
		横坂 源	2024/1/26-2024/12/16 予定(貸与区分C)
⑳Stradivarius 1710 Violin "Camposelice"	2004/9	以前の貸与状況は40年誌参照	
		Svetlin Roussev	2012/2/2-2021/1/130(長期貸与)
		María Dueñas	2022/11/16-2025/1/11 予定(貸与区分A) del Gesù Muntzより変更
㉑Stradivarius 1735 Violin "Samazeuilh" この楽器は日本財団助成のほか、 個人からの寄付2億円をもって購 入した	2017/8	竹澤恭子	2018/8/27-2019/7/16(貸与区分C) デビュー30周年記念演奏会のため
		2019/7/19～2020/2大規模修理実施	
		Ray Chen	2020/3/1-2021/12/8(長期貸与) Joachimより変更 コロナ禍で(2020/9/-)貸与中断したため、下記の日本在住4名※の短期貸与(貸与区分C)に使用した Dolphinへ変更
		渡辺玲子※	2020/10/23-2021/3/15(演奏委託) 財団事業:アンサンブル金沢への出演のため(コロナ禍で貸与者の渡航不可のため代演)、その他海外からの渡航不可の演奏家の代演
		外村理紗※	2021/5/21-2021/8/10(貸与区分C) 演奏会のため
		柳田茄那子※	2021/8/10-2021/9/30(貸与区分C) CD録音のため
		池田菊衛※	2021/10/6-2022/3/31(貸与区分C) 桐朋学園音楽大学音楽ホール柿落し公演出演等のため
		Lun Li	2022/10/5-2027/10/4 予定(貸与区分A)



主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

2014年度以前の演奏会の曲目は、30年誌、40年誌に記載

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
2014.6.24	ストラディヴァリウスの響き	よみうり大手町ホール (東京)
サン＝サーンス Saint-Saëns	「序奏とロンド・カプリチオーソ」イ短調 作品28 "Introduction and Rondo Capriccioso" in A Minor, Op.28	Ray Chen (Strad 1715 Violin "Joachim") 石坂団十郎(Strad 1696 Cello "Lord Aylesford")
レスピーギ Respighi	「アダージョと変奏」作品133 (チェロとピアノ版) "Adagio with variations" for Cello and Piano, P.133	江口 玲(ピアノ)
オネゲル Honegger	ヴァイオリンとチェロのためのソナチネ ホ短調 作品80 Sonatine for Violin and Cello, H80	
ゲオルク・フリードリヒ・ヘンデル/ ヨハン・ハルヴォルセン編 George Frideric Händel / arr. Johan Halvorsen	パッサカリアト短調 (ヴァイオリンとチェロ版) 原曲:ヘンデル チェンバロ組曲 第7番ト短調 第6楽章 Passacaglia in G Minor for Violin and Cello after Harpsichord Suite No.7, VI. Passacaglia by G. F. Händel	
チャイコフスキー Tchaikovsky	ピアノ三重奏曲 イ短調 作品50「偉大な芸術家の思い出に」 Piano Trio A Minor, Op.50 "In memory of a great artist" I. Pezzo elegiaco. Moderato assai IIa. Tema con variazioni. Andante con moto IIb. Variazione finale e coda. Allegro risoluto e con fuoco-Andante con moto	
2014.6.25	ストラディヴァリウスの響き	サントリーホール (東京)
チャイコフスキー Tchaikovsky	「エフゲニー・オネーギン」よりポロネーズ 作品24 Polonaise from "Eugene Onegin", Op.24 「懐かしい土地の思い出」より 第3楽章 "メロディー" & 第2楽章 "スケルツォ" "Souvenir d'un lieu cher", Op.42 III. "Melody" & II. "Scherzo" (1878) 編曲:アレクサンドル・グラスノフ Arr. Alexander Glazunov ロココ風の主題による変奏曲 イ長調 作品33 Variations on a Rococo Theme in A Major, Op.33 アンダンテ・カンタービレ (チェロと弦楽オーケストラのための) Andante cantabile for Cello and String Orchestra 「6つの小品」より"ノクターン" 作品19-4 (チェロ、オーケストラ版) "Nocturne" from "6 Pieces" for Cello and Orchestra, Op.19-4 ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35 Violin Concerto in D Major, Op.35 I. Allegro moderato II. Canzonetta: Andante III. Finale: Allegro vivacissimo	指揮:円光寺雅彦 読売日本交響楽団 Ray Chen(Strad 1715 Violin "Joachim") 石坂団十郎(Strad 1696 Cello "Lord Aylesford")
2014.9.26	第12回 いずみホール "夢コンサート"	いずみホール (大阪)
ロッシーニ Rossini	「ウィリアム・テル」序曲より「スイス軍の行進」 "March of The Swiss Army" from "William Tell" Overture	指揮:藤岡 幸夫 関西フィルハーモニー管弦楽団
オッフエンバック Offenbach	喜歌劇「天国と地獄」序曲 "Orphee aux Enfers" Overture	Yuki Manuela Janke(Strad 1736 Violin "Muntz")
ベートーヴェン Beethoven	ロマンス ヘ長調 作品50 Romance No.2 in F Major, Op.50	
モンティ Monti	チャールダーシュ Csárdás	
ドボルザーク Dvořák	交響曲第8番ト長調 作品88 Symphony No.8 G Major, Op.88	
2014.9.29	ストラディヴァリ製作 "パガニーニ・クアルテット" の音色 〜ハーゲン・クアルテット コンサート〜 The Timbre of Stradivarius - Hagen Quartet plays 'Paganini Quartet' -	浜離宮朝日ホール (東京)
モーツァルト Mozart	弦楽四重奏曲 第17番 変ロ長調 K.458「狩」 String Quartet No.17 in B-flat Major, K.458 "The Hunt" I. Allegro vivace assai II. Menuetto. Moderato-Trio III. Adagio IV. Allegro assai 弦楽四重奏曲 第22番 変ロ長調 K.589 プロイセン王四重奏曲 第2番 String Quartet No.22 in B-flat Major, K.589 Prussian Quartet No.2 I. Allegro II. Larghetto III. Menuetto: Moderato IV. Allegro assai	Hagen Quartet(Strad "Paganini Quartet") Lukas Hagen(1st vn:Strad 1727 Violin "Paganini") Rainer Schmidt(2nd vn:Strad 1680 Violin "Paganini") Veronika Hagen(Strad 1731 Viola "Paganini") Clemens Hagen(Strad 1736 Cello "Paganini")
2014.11.07	青少年のためのレクチャー・コンサート「名曲への誘い」 Concert for Young Students "Invitation to the Masterpieces"	秋田アトリオンホール (秋田)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ 第7番 ハ短調 作品30-2より第1楽章 Sonata for violin and piano No.7 in C Minor, Op.30-2 I. Allegro con brio	渡辺玲子(del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ 第1番ト長調 作品78より第2楽章、第3楽章 Sonata for violin and piano No.1 in G Major, Op.78 II. Adagio III. Allegro molto moderato	
バッハ/ウィルヘルム編 Bach / arr. Wilhelmj	G線上のアリア(原曲:管弦楽組曲第3番よりアリア) Air on the G String (after "Air" from Orchestral Suite No.3)	



主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
エルンスト Ernst	シューベルトの「魔王」による大奇想曲 作品26 "Der Erlkönig" Grand Caprice, Op.26 (after Lied "Erlkönig" by Schubert)	
ラフマニノフ/江口玲編 Rachmaninoff / arr. Akira Eguchi	「パガニーニの主題による狂詩曲」より第18変奏 アンダンテ・カンタービレ Rhapsody on a Theme of Paganini, Op.43 Variation 18. Andante cantabile	
ブラームス/クライスラー編 Brahms / arr. Kreisler	ハンガリー舞曲 第17番(原曲:ピアノ連弾) Hungarian Dance No.17 (after Piano four-hands)	
ショパン/イザイ編 Chopin / arr. Ysaÿe	ワルツ 第14番(原曲:ピアノ独奏曲) Waltz No.14 in E Minor, Op. Posth. (after Solo Piano)	
ワックスマン Waxman	カルメン幻想曲(原曲:ビゼー作曲オペラ「カルメン」より) Carmen Fantasy (after Bizet's Opera "Carmen")	
2014.11.20	「子ども発達支援センター・さんだ」支援 ストラディヴァリウス・チャリティコンサート 五嶋龍ヴァイオリン・リサイタル	三田市総合文化センター (兵庫)
クライスラー Kreisler	愛の喜び Liebesfreud	五嶋 龍(Strad 1722 Violin "Jupiter") 林 絵里(ピアノ)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ 第10番ト長調 作品96 Violin Sonata No.10 in G Major, Op.96	
エルンスト Ernst	夏の名残りのバラ The Last Rose of Summer	
マスネ Massenet	タイスの「冥想曲」 "Méditation" from Thaïs	
サラサーテ Sarasate	ツイゴイネルワイゼン Zigeunerweisen, Op.20	
クライスラー Kreisler	美しきロスマリン Schön Rosmarin	アンコール曲
2014.12.11	パブロ・フェランデス チェロ・リサイタル Pablo Ferrández Cello Recital	浜離宮朝日ホール (東京)
ブルッフ Bruch	コル・ニドライ 作品 47 Kol Nidrei, Op.47	Pablo Ferrández(Strad 1696 Cello "Lord Aylesford") 林 絵里(ピアノ)
ショスタコーヴィチ Shostakovich	チェロ・ソナタ ニ短調 作品 40 Cello Sonata in D Minor, Op.40	
シューマン Schumann	幻想小曲集 作品 73 Fantasiestücke, Op.73	
2014.12.14 2015.2.14	青少年のためのレクチャーコンサート「音楽の楽しみ」	鶴来総合文化会館クレイン (石川) 北九州市立響ホール (福岡)
Part 1 音のパレット - 文学、絵画から音へ		渡辺玲子(del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)
ヴィヴァルディ Vivaldi	「四季」より「冬」 第1楽章 1st Movement of "Winter" from Four Seasons, Op.8	
シマノフスキ Szymanowski	「神話」より1. アレトゥーサの泉(ギリシャ神話) "La fontaine d'Arethuse" from Mity - 3 Poematy, Op.30	
コルンゴルト Korngold	組曲「から騒ぎ」作品11より「夜警の行進(ドグベリーとヴァージェス)(シェイクスピアの劇) Dogberry and Verges (March of the Watch) from "Much Ado about Nothing" Suite, Op. 11	
ムソルグスキー Mussorgsky	組曲「展覧会の絵」より「卵の殻をつけた雛の踊り」(ハルトマンの絵)※ピアノ独奏 "Ballet of the Chickens in Their Shells" from "Pictures at an Exhibition" (Hartmann's pictures) *Solo piano	
Part 2 ダンスと音楽		
チャイコフスキー Tchaikovsky	「六つの小品」作品51より「感傷的なワルツ」 Valse sentimentale from "6 Pieces", Op.51	
ラヴェル Ravel	ハバネラ形式の小品 Piece in the form of a Habanera	
ガルデル / ジョン・ウィリアムズ編 Gardel / arr. John Williams	タンゴ(ボル・ウナ・カベーナ) Tango (Por Una Cabeza)	
ショパン Chopin	ポロネーズ イ長調 作品40-1「軍隊」 ※ピアノ独奏 Polonaise in A Major, Op. 40-1 "Military Polonaise" *Solo piano	
ラヴェル Ravel	ツイガーン Tzigane	
2015.4.15	アンドレイ・ヴァラノフ ヴァイオリン・リサイタル Andrey Baranov Violin Recital	浜離宮朝日ホール (東京)
ショスタコーヴィチ Shostakovich	「24の前奏曲」作品34より「4つの前奏曲」 "Four Preludes" from "24 Preludes", Op.34	Andrey Baranov (Strad 1708 Violin "Huggins") 林 絵里(ピアノ)
チャイコフスキー Tchaikovsky	ワルツ・スケルツォ ハ長調 作品34 Valse-Scherzo in C Major, Op.34	
ヴィエニャフスキ Wieniawski	華麗なるポロネーズ 第1番 ニ長調 作品4 Polonaise brillante No.1 in D Major, Op.4	



主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
2015.7.9	Summer Concert 2015	浜離宮朝日ホール (東京)
カルル・ダヴィドフ Karl Davydov	無言のロマンスト長調 作品23 Romance without words in G Major, Op.23	Arabella Miho Steinbacher(Strad 1716 Violin "Booth") 石坂団十郎(Strad 1730 Cello "Feuermann")
カルル・ダヴィドフ Karl Davydov	泉にて 作品20-2 At the Fountain, Op. 20-2	林 絵里(ピアノ)
プロコフィエフ Prokofiev	無伴奏ヴァイオリン・ソナタ ニ長調 作品115 Sonata for Solo Violin in D Major, Op.115	
ラヴェル Ravel	ヴァイオリンとチェロのためのソナタ Sonata for Violin and Cello	
ヘンデルーハルヴオルセン Handel-Halvorsen	ヘンデルの主題によるパッサカリアト短調 (ヴァイオリンとチェロ版) Passacaglia in G Minor for Violin and Cello after Suit No.7 in G Minor for Harpsichord by Georg Friedrich Händel	
2015.10.7	第13回 いずみホール "夢コンサート"	いずみホール (大阪)
チャイコフスキー Tchaikovsky	「エフゲニー・オネーギン」よりポロネーズ Polonaise from Opera "Eugene Onegin"	指揮:藤岡 幸夫 関西フィルハーモニー管弦楽団
メンデルスゾーン Mendelssohn	ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 Violin Concerto in E Minor, Op.64	渡辺玲子(del Gesù 1736 Violin "Muntz")
グリーグ Grieg	「ペール・ギュント」抜粋 (朝 / 山の魔王の宮殿にて / ソルヴェ ヴェーグの歌) Peer Gynt, Highlights (Morgenstemning / Solvejg's Song / In The Hall Of The Mountain King)	
シベリウス Sibelius	フィンランディア Finlandia	
2015.10.30	青少年のためのレクチャーコンサート「ベートーヴェンを聴こう」	秋田アトリオンホール (秋田)
	ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調 作品24「スプリング」第1楽章 Violin Sonata No. 5 in F Major, Op.24 "Spring" I. Allegro	渡辺玲子(del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 作品47「クローツェル」 Violin Sonata No.9 in A Major, Op.47 "Kreutzer"	
	ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ長調 作品27-2「月光」第1楽章 Piano Sonata No.14 in C-sharp Minor, Op.27-2 "Quasi una fantasia" I. Adagio sostenuto	
	ヴァイオリン・ソナタ 第10番ト長調 作品96 第2楽章 Violin Sonata No.10 in G Major, Op.96 II. Adagio espressivo	
2015.11.10	イム・ジョン ヴァイオリン・リサイタル Ji Young Lim Violin Recital	浜離宮朝日ホール (東京)
グリーグ Grieg	ヴァイオリン・ソナタ 第3番 短調 作品45 Violin Sonata No.3 in C Minor, Op.45	Ji Young Lim(Strad 1708 Violin "Huggins") 鳥羽亜矢子(ピアノ)
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 作品100 Sonata for Violin and Piano No.2 in A Major, Op.100	
フバイ Hubay	カルメンによる華麗な幻想曲 作品3 第3番 Carmen, Fantasie Brillante, Op.3, No.3	
2015.11.27	「子ども発達支援センター・さんだ」支援 ストラディヴァリウス チャリティ・コンサート パブロ・フェランドス チェロリサイタル	三田市総合文化センター 郷の音ホール 大ホール (兵庫)
グラナドス Granados	スペイン舞曲集 作品37より第5番「アンダルーサ」 Danzas espanolas, Op.37 No.5 "Andaluza"	Pablo Ferrández(Strad 1696 Cello "Lord Aylesford") 鳥羽亜矢子(ピアノ)
フォーレ Fauré	夢のあとに Après un rêve	
サン=サーンス Saint-Saëns	白鳥 Le cygne	
ブラームス Brahms	チェロ・ソナタ 第1番 ホ短調 作品38 Cello Sonata No. 1 in E Minor, Op.38	
パガニーニ Paganini	『モーゼ』の主題による変奏曲 Variations on one string on Rossini's "Moses"	
チャイコフスキー Tchaikovsky	「ノクターン」 作品19-4 Nocturne, Op.19-4	アンコール曲
2016.1.8	インターナショナル・オーケストラ・アカデミー支援 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第32回名曲コンサート ストラディヴァリウスの響き PACニューイヤー名曲コンサート	兵庫芸術文化センター(兵庫)
メンデルスゾーン Mendelssohn	ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 Violin Concerto in E Minor, Op.64	指揮:Charles Olivieri-Munroe 兵庫芸術文化センター管弦楽団
サン=サーンス Saint-Saëns	チェロ協奏曲 第1番 イ短調 作品33 Cello Concerto No.1 in A Minor, Op.33	Yuki Manuela Janke (Strad 1736 Violin "Muntz") Pablo Ferrández (Strad 1696 Cello "Lord Aylesford")
ハルヴオルセン Halvorsen	ヘンデルの主題によるパッサカリアト短調 (ヴァイオリンとチェロ版) Passacaglia in G Minor for Violin and Cello after Suit No.7 in G Minor for Harpsichord by Georg Friedrich Händel	アンコール曲



主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
ベートーヴェン Beethoven	交響曲 第7番 イ長調 作品92 Symphony No.7 in A Major, Op.92	アンコール曲
ゲーゼ Gade	タンゴ・ジェラシー Tango Jalousie	
2016.2.7	子どもたちのレクチャー・コンサート「名曲への誘い」 Concert for Children "Invitation to the Masterpieces"	北九州市立響ホール (福岡)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ 第7番 小調 作品30-2より 第1楽章 Sonata for violin and piano No.7 in C Minor Op.30-2 I. Allegro con brio	渡辺 玲子(del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ 第1番 長調 作品78より 第2楽章、第3楽章 Brahms: Sonata for violin and piano No.1 in G Major, Op.78 II. Adagio III. Allegro molto moderato	
バッハ / ウィルヘルム編 Bach / arr. Wilhelmj	G線上のアリア(原曲:管弦楽組曲第3番よりアリア) Air on the G String (after "Air" from Orchestral Suite No.3)	
エルンスト Ernst	シュューベルトの「魔王」による大奇想曲 作品26 "Der Erlkönig" Grand Caprice Op.26 (after Lied "Erlkönig" by Schubert)	
ラフマニノフ/江口玲編 Rachmaninoff/arr. A Eguchi	「パガニーニの主題による狂詩曲」より第18変奏 アンダンテ・カンタービレ Rhapsody on a Theme of Paganini Op.43 Variation 18. Andante cantabile	
ブラームス / クライスラー編 Brahms / arr. Kreisler	ハンガリー舞曲 第17番(原曲:ピアノ連弾) Hungarian Dance No.17 (after Piano four-hands)	
ショパン / イザイ編 Chopin / arr. Ysaÿe	ワルツ 第14番(原曲:ピアノ独奏曲) Waltz No.14 in E Minor Op. Posth. (after Solo Piano)	
ワックスマン Waxman	カルメン幻想曲(原曲:ビゼー作曲オペラ「カルメン」より) Carmen Fantasy (after Bizet's Opera "Carmen")	
2016.7.13	スヨン・キム ヴァイオリン・リサイタル Suyoen Kim Violin Recital	浜離宮朝日ホール (東京)
バッハ Bach	無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第3番 ホ長調 BWV1006 Partita No.3 in E Major for Solo Violin, BWV1006	Suyoen Kim(Strad 1702 Violin "Lord Newlands") 占部由美子(ピアノ)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ 第3番 作品12-3 Violin Sonata No.3, Op.12-3	
サン＝サーンス Saint-Saëns	序奏とロンド・カプリチオーソ 短調 作品28 Introduction and Rondo Capriccioso in A Minor, Op.28	
2016.9.9 2016.9.12 2016.9.13	ストラディヴァリウス・コンサート 2016 Encounter with Stradivari 2016	大阪フェスティバルホール (大阪) 福岡シンフォニーホール アクロス福岡 (福岡) サントリーホール(東京)
テレマン Telemann	4つのヴァイオリンのための協奏曲 長調 TWV 40:201 Concerto for 4 violins in G Major, TWV 40:201	1st vn: Ray Chen(Strad "Joachim") 2nd vn: Arabella Miho Steinbacher(Strad "Booth") 3rd vn: Sergey Khachatryan(Strad "Engleman") 4th vn: Svetlin Roussev(Strad "Camposelice")
ポッパー Popper	3つのチェロとピアノのためのレクイエム 作品66 Requiem for 3 Cellos and Piano, Op.66	1st cello: 石坂 団十郎(Strad "Feuermann") 2nd cello: Pablo Ferrández(Strad "Lord Aylesford") 3rd cello: Clemens Hagen(Strad "Paganini") 江口 玲(ピアノ)
ドボルザーク Dvořák	2つのヴァイオリンとヴィオラのための三重奏曲「テルツェット」 長調 作品74 Terzetto in C Major for 2 Violins and Viola, Op.74	1st vn: Veronika Eberle(Strad "Dragonetti") 2nd vn: Rainer Schmidt(Strad "Paganini" 1680) Viola: Veronika Hagen(Strad "Paganini")
ショスタコーヴィチ Shostakovich	2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小品 5 Pieces for 2 Violins and Piano	1st vn: Lukas Hagen(Strad "Paganini" 1727) 2nd vn: Yuki Manuela Janke(Strad "Muntz") 江口 玲(ピアノ)
ピアソラ / ユキ・モリ編 Piazzolla / arr. Yuki Mori	6つのヴァイオリンとピアノのためのリベルタンゴ Libertango for 6 Violins and Piano	1st vn: Arabella Miho Steinbacher(Strad "Booth") 2nd vn: 諏訪内 晶子(Strad "Dolphin") 3rd vn: Veronika Eberle(Strad "Dragonetti") 4th vn: Sergey Khachatryan(Strad "Engleman") 5th vn: Ray Chen(Strad "Joachim") 6th vn: Svetlin Roussev(Strad "Camposelice") 江口 玲(ピアノ)
ヘンデル Händel	2つのヴァイオリンとピアノのためのソナタ 短調 作品2-7 Sonata for 2 Violins and Piano in G Minor, Op.2, No.7	1st vn: Sergey Khachatryan(Strad "Engleman") 2nd vn: Arabella Miho Steinbacher(Strad "Booth") 江口 玲(ピアノ)
ベートーヴェン Beethoven	弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 作品130より「カヴァティーナ」 "Cavatina" from String Quartet No.13 in B-flat Major, Op.130	Hagen Quartet(Strad "Paganini Quartet") 1st vn: Lukas Hagen(Strad "Paganini" 1727) 2nd vn: Rainer Schmidt(Strad "Paganini" 1680) Viola: Veronika Hagen(Strad "Paganini") Cello: Clemens Hagen(Strad "Paganini")
メンデルスゾーン Mendelssohn	弦楽八重奏曲 変ホ長調 作品20 String Octet in E-flat Major, Op.20	1st vn: 諏訪内 晶子(Strad "Dolphin") 2nd vn: Svetlin Roussev (Strad "Camposelice") 3rd vn: Yuki Manuela Janke (Strad "Muntz") 4th vn: Ray Chen(Strad "Joachim") 1st va: Veronika Hagen(Strad "Paganini" Viola) 2nd va(with cello): 石坂 団十郎(Strad "Feuermann") 1st cello: Pablo Ferrández(Strad "Lord Aylesford") 2nd cello: Clemens Hagen(Strad "Paganini")

主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日 作曲者名	演奏会タイトル 曲目	開催場所 演奏者(使用楽器)等
2016.9.15	第14回 いずみホール "夢コンサート"	いずみホール (大阪)
J. シュトラウスII Johann Strauss II.	ボルカ「雷鳴と電光」 Unter Donner und Blitz	指揮:藤岡幸夫 関西フィルハーモニア管弦楽団 石坂団十郎(Strad 1730 Cello "Feruermann")
ウェーバー Weber	「魔弾の射手」序曲 Overture from "Der Freischutz"	
ハイドン Haydn	チェロ協奏曲 第1番 ハ長調 Cello Concerto No.1 C Major	
リムスキー=コルサコフ Rimsky-Korsakov	交響組曲「シェエラザード」作品35より III. 若い王子と王女 IV. バグダッドの祭り - 海 A symphonic suite Sheherazade Op.35 III. Andantino quasi allegretto IV. Festival at Bagdad	
2016.11.11	青少年のためのレクチャコンサート「名曲を聴こう」	秋田アトリオンホール (秋田)
バッハ Bach/Arr. Wilhelmj	G線上のアリア Air on the G String	渡辺玲子(del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)
パガニーニ Paganini	モーゼ幻想曲 Moses Fantasy	
フランク Franck	ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 長調 第1楽章、第2楽章 Sonata for Piano and Violin in A Minor, 1st & 2nd movements	
クライスラー Kreisler	ウィーン奇想曲 Caprice Viennois	
シューベルト Schubert	即興曲変ト長調 作品90-3 (ピアノ独奏) Impromptu Op.90, No.3	
ショスタコーヴィチ Shostakovich	ロマンス(映画「馬あぶ」より) Romance from "The Gadfly"	
バルトーク / セーケイ編 Bartok / arr. Székely	ルーマニア民俗舞曲 Rumanian Folk Dances	
ラヴェル Ravel	ツイガース Tzigane	
2016.11.18	渡辺玲子リサイタル NPOふくりび支援チャリティ、レクチャーコンサート	
バッハ / ウィルヘルム編 Bach / arr. Wilhelmj	G線上のアリア Air on the G String	渡辺玲子(del Gesù 1736 Violin "Muntz") (Strad 1709 Violin "Engleman") 林 絵里(ピアノ)
パガニーニ Paganini	モーゼ幻想曲 Moses Fantasy	
フランク Franck	ピアノとヴァイオリンのためのソナタ 長調 第1楽章、第2楽章 Sonata for Piano and Violin in A Major I. Allegretto ben moderato III. Recitativo - Fantasia	
クライスラー Kreisler	ウィーン奇想曲 Caprice Viennois	
シューベルト Schubert	楽興の時 D.780 作品94-2 (ピアノ独奏) Moment Musical D.780, Op.94-2	
ショスタコーヴィチ Shostakovich	ロマンス(映画「馬あぶ」より) Romance from "The Gadfly"	
バルトーク / セーケイ編 Bartók / arr. Székely	ルーマニア民俗舞曲 Romanian Folk Dances	
ラヴェル Ravel	ツイガース Tzigane	
エルガー Elgar	愛の挨拶 Salut d'amour	
2017.1.31	五嶋龍ヴァイオリンリサイタル	浜離宮朝日ホール (東京)
シューマン Schumann	ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第2番 二短調 作品121 第1楽章、第4楽章 Sonata for Violin and Piano No.2 in D Minor, Op.121 I. Ziemlich langsam - Lebhaft & IV. Bewegt	五嶋 龍(Strad 1722 Violin "Jupiter") 居福健太郎(ピアノ)
モーツァルト Mozart	ヴァイオリンソナタ第18番ト長調 K.301(293a) Violin Sonata No.18 in G Major, K.301 (293a)	
サーリアホ Saariaho	トカール Tocar	
ヴィエニャフスキ Wieniawski	創作主題による華麗なる変奏曲 作品15 Theme Original Varié, Op.15	
2017.4.14	諏訪内晶子リサイタル 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol. 1 (浦安音楽ホール柿落し、チャリティコンサート)	浦安音楽ホール (千葉)
プロコフィエフ Prokofief	ヴァイオリンとピアノのための5つのメロディ作品35bis Five Melodies, Op.35bis	諏訪内晶子(Strad 1714 Violin "Dolphin") 金子陽子(ピアノ)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ第5番ハ長調作品24「春」 Violin Sonata No.5 in F Major, Op.24, "Spring"	
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ第6番イ長調作品30-1 Violin Sonata No.6 in A Major, Op.30, No.1	

主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
フェリャ / コハンスキ編 Manuel de Falla / Arr.Kochański	スペイン民謡組曲 Suite populaire espagnole	アンコール曲
マスネ Massenet	タイスの「瞑想曲」 "Méditation" from Thaïs	
2017.6.21	ベンジャミン・バイルマン ヴァイオリン・リサイタル Benjamin Beilman Violin Recital	浜離宮朝日ホール (東京)
ラヴェル Rave	ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調 Violin Sonata No.2 in G Major	Benjamin Beilman(Strad 1709 Violin "Engleman") 林 絵里(ピアノ)
ヤナーチェク Janáček	ヴァイオリン・ソナタ 変イ短調 Violin Sonata in A-flat Minor	
シューベルト Schubert	華麗なるロンド ロ短調 D.895 作品70 Rondo Brilliant in B Minor, D.895, Op.70	
2017.7.16	青少年のためのレクチャコンサート「名曲を聴こう」 (助成事業)	宇部市渡辺翁記念会館 (山口)
バッハ / ウィルヘルム編 Bach / Arr. Wilhelmj	G線上のアリア Air on the G String	渡辺玲子(del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)
パガニーニ Paganini	モーゼ幻想曲 Moses Fantasy	
フランク Franck	ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 第1楽章、第2楽章 Sonata for Piano and Violin in A Minor 1st & 2nd movements	
クライスラー Kreisler	ウィーン奇想曲 Caprice Viennois	
シューベルト Schubert	即興曲変ト長調 作品90-3 (ピアノ独奏) Impromptu Op.90-3	
ショスタコーヴィチ Shostakovich	ロマンス(映画「馬あぶ」より) Romance from "The Gadfly"	
バルトーク / セーケイ編 Bartok / arr. Székely	ルーマニア民俗舞曲 Rumanian Folk Dances	
ラヴェル Ravel	ツイガース Tzigane	
2017.7.18	「子ども発達支援センター・さんだ」支援 チャリティコンサート (助成事業) アラベラ・美歩・シュタインバッハー ヴァイオリン・リサイタル	三田市総合文化センター 郷の音ホール大ホール (兵庫)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリンソナタ第1番 ニ長調 作品12-1 Violin Sonata No.1 in D Major, Op.12, No.1	Arabella Miho Steinbacher(Strad 1716 Violin "Booth") 林 絵里(ピアノ)
サン＝サーンス Saint-Saëns	序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 作品28 Introduction and Rondo Capriccioso in A Minor, Op.28	
ピアソラ / ピーター・フォン・ヴァインハルト編 Piazzolla / Arr. Peter von Wienhardt	オブリビオン(忘却)、リベルタンゴ Oblivion, Libertango	
ラヴェル Maurice Ravel	ツイガース Tzigane	
2017.10.17	アリーナ・ポゴストキーナ ヴァイオリン・リサイタル Alina Pogostkina Violin Recital	浜離宮朝日ホール (東京)
ブラームス Brahms	F.A.E.ソナタよりスケルツォ Scherzo from "F.A.E." Sonata	Alina Pogostkina(Strad 1722 Violin "Sasserno") 林 絵里(ピアノ)
モーツァルト Mozart	ヴァイオリン・ソナタ 変ロ長調 K.454 Violin Sonata in B-flat Major, K.454	
グリーグ Grieg	ヴァイオリン・ソナタ 第2番ト長調 作品13 Violin Sonata No.2 in G Major, Op.13	
2017.12.8 2017.12.17	青少年のためのレクチャコンサート「名曲を聴こう」	北九州市立響ホール (福岡) 浦安音楽ホール (千葉)
バッハ / ウィルヘルム編 Bach / arr. Wilhelmj	G線上のアリア Air on the G String	渡辺玲子(del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)
パガニーニ Paganini	モーゼ幻想曲 Moses Fantasy	
フランク Franck	ピアノとヴァイオリンのためのソナタ イ長調 第1楽章、第2楽章 Sonata for Piano and Violin in A Major I. Allegretto ben moderato III. Recitativo - Fantasia	
クライスラー Kreisler	ウィーン奇想曲 Caprice Viennois	
シューベルト Schubert	即興曲変ト長調 作品90-3 (ピアノ独奏曲) Impromptu, Op.90-3	
ショスタコーヴィチ Shostakovich	ロマンス(映画「馬あぶ」より) Romance from "The Gadfly"	
バルトーク / セーケイ編 Bartók / arr. Székely	ルーマニア民俗舞曲 Romanian Folk Dances	
ラヴェル Ravel	ツイガース Tzigane	



主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
2018.1.31	山中伸弥教授トーク&レイ・チェン ヴァイオリン・リサイタル (iPS細胞研究所支援チャリティコンサート) Ray Chen Violin Recital	紀尾井ホール (東京)
モーツァルト Mozart	ヴァイオリン・ソナタ イ長調 K.305 Violin Sonata in A Major, K.305	Ray Chen(Strad 1715 Violin "Joachim") 林 絵里(ピアノ)
バッハ Bach	無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調より「シャコンヌ」 "Chaconne" from Partita No.2 in D Minor, BWV1004	
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ第3番ニ短調作品108 Violin Sonata No.3 in D Minor, Op.108	
2018.2.3	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ1 「ヨアヒム」	豊田市コンサートホール (愛知)
ワーグナー Wagner	<豊田市ジュニアオーケストラと共演> 歌劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」第1幕前奏曲 Prelude to "Die Meistersinger von Nurnberg"	指揮:小泉和裕 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Ray Chen(Strad 1715 Violin "Joachim")
ブルッフ Bruch	ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調作品26 Violin Concerto No.1 in G Minor, Op.26	豊田市ジュニアオーケストラ
パガニーニ Paganini	24の奇想曲より21.Amososo-Presto 21. Amoroso -Presto from 24 Capices	アンコール曲
ブラームス Brahms	交響曲第1番ハ短調作品68 Symphony No.1 in C Minor, Op.68	
2018.2.8	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ2 「ハギンズ」	日本特殊陶業市民会館フォレストホール (愛知)
ベートーヴェン Beethoven	ウェリントン勝利(戦争交響曲)作品91 Wellingtons Sieg(Battle Symphony), Op.91	指揮:川瀬賢太郎 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Ji Young Lim(Strad 1708 Violin "Huggins")
ベートーヴェン Beethoven	ロマンス 第1番ト長調 作品40 Romance No.1 in G Major, Op.40	
ベートーヴェン Beethoven	ロマンス 第2番 ヘ長調 作品50 Romance No.2 in F Major , Op.50	
バッハ Bach	パルティータ第3番ホ長調より 3.Gavotte en Rondeau 3. Gavotte en Rondeau From Partita No.3 in E Major	アンコール曲
ベートーヴェン Beethoven	交響曲第4番変ロ長調作品60 Symphony No.4 in B-flat Major, Op.60	
2018.2.16, 17	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ3 「サセルノ」	日本特殊陶業市民会館フォレストホール (愛知)
グレーム・クーネ Koehne	エレベーター・ミュージック「日本初演」 Elevator Music (Japan Premiere)	指揮:広上淳一 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Alina Pogostkina(Strad 1717 Violin "Sasserno")
シベリウス Sibelius	ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47 Violin Concerto in D Minor, Op.47	
シベリウス Sibelius	水滴 Water Drops	アンコール曲
アッテルベリ Atterberg	交響曲第6番 ハ長調 作品31『ドル・シンフォニー』 Symphony No.6 in C Major, Op.31 "Dollar Symphony"	
2018.4.17	スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン・リサイタル Svetlin Rossev Violin Recital	浜離宮朝日ホール (東京)
ドビュッシー Debussy	ヴァイオリン・ソナタト短調 Violin Sonata in G Minor	Svetlin Rossev(Strad 1710 Violin "Camposelice") 上田晴子(ピアノ)
ラヴェル Ravel	ヴァイオリン・ソナタ 第2番ト短調 Violin Sonata No.2 in G Major	
サン＝サーンス Saint-Saëns	序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 作品28 Introduction and Rondo Capriccioso in A Minor, Op.28	
ラヴェル Ravel	ツィガース Tzigane	
2018.4.18	スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン・リサイタル Svetlin Rossev Violin Recital 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol. 2	浦安音楽ホール (千葉)
ドビュッシー Debussy	ヴァイオリン・ソナタ ト短調 Violin Sonata in G Minor	Svetlin Rossev(Strad 1710 Violin "Camposelice") 上田晴子(ピアノ)
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ニ短調 作品108 Violin Sonata No.3 in D Minor, Op.108	
ラヴェル Ravel	ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト短調 Violin Sonata No.2 in G Major	
サン＝サーンス Saint-Saëns	序奏とロンド・カプリチオーソ イ短調 作品28 Introduction and Rondo Capriccioso in A Minor, Op.28	
ラヴェル Ravel	ツィガース Tzigane	
チャイコフスキー Tchaikovsky	ただ憧れを知る者だけが 作品6-6 None but the Lonely Heart Op.6, No.6	アンコール曲

主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日 作曲者名	演奏会タイトル 曲目	開催場所 演奏者(使用楽器)等
2018.6.14	ストラディヴァリウス・コンサート Encounter with Stradivari	在ジュネーブ日本政府代表部大使公邸 (スイス・ジュネーブ)
ハイドン Haydn	弦楽四重奏曲 第81番ト長調 作品77-1 String Quartet in G Major, Op.77, No.1	Quartetto di Cremona(Strad "Paganini Quartet") Cristiano Gualco(1st vn:Strad 1727" Paganini") Paolo Andreoli(2nd vn:Strad 1680 "Paganini") Simone Gramalia(Strad 1731 Viola "Paganini") Giovanni Scaglione(Strad 1736 Cello "Paganini")
マスネ Massenet	タイスの「瞑想曲」 "Méditation" from Thaïs	Arabella Miho Steinbacher(Strad 1715 Violin "Booth") 占部由美子(ピアノ)
サン＝サーンス/イザイ編 Saint-Saëns (arr.Ysaÿe)	ワルツ形式の練習曲 作品52 No.6より"カプリス" Caprice after a Study in Form of a Waltz, Op.52, No.6	諏訪内晶子(Strad 1714 Violin "Dolphin") 占部由美子(ピアノ)
サラサーテ Sarasate	ヴァイオリン二重奏曲「ナバラ」作品33 Navarra for 2 Violins and piano, Op.33	諏訪内晶子(Strad 1714 Violin "Dolphin") Arabella Miho Steinbacher(Strad 1715 Violin "Booth") 占部由美子(ピアノ)
2018.6.16	世界人権宣言70周年記念「ストラディヴァリウス・コンサート2018」 Encounter with Stradivari 2018 "In commemoration of the 70th anniversary of the Universal Declaration of Human Rights"	Palais des Nations, Assembly Hall 国際連合欧州本部議事堂 (スイス・ジュネーブ)
ルクレール Leclair	2つのヴァイオリンのためのソナタ 第2番 イ長調 作品 3-2 Sonata for Two Violins in A Major, Op.3, No.2	Arabella Miho Steinbacher(Strad 1715 Violin "Booth") Svetlin Roussev(Strad 1710 Violin "Camposelice")
ベートーヴェン Beethoven	弦楽四重奏曲 第8番ホ短調 作品59-2 第2楽章、第4楽章 String Quartet No.8 in E Minor, Op.59-2 II. Molto addagio IV. Finale; Presto	Quartetto di Cremona(Strad "Paganini Quartet") Cristiano Gualco(1st vn:Strad 1727" Paganini") Paolo Andreoli(2nd vn:Strad 1680 "Paganini") Simone Gramalia(Strad 1731 Viola "Paganini") Giovanni Scaglione(Strad 1736 Cello "Paganini")
サン＝サーンス Saint-Saëns	序奏とロンド・カプリチオーソ 作品28 Introduction and Rondo Capriccioso in A Minor, Op.28	Arabella Miho Steinbacher(Strad 1715 Violin "Booth") 占部由美子(ピアノ)
モシュコフスキ Moszkowski	2つのヴァイオリンとピアノのための組曲 作品71 第4楽章 Suite for two violins and piano in G Minor, Op.71 IV. Molto vivace	Arabella Miho Steinbacher(Strad 1715 Violin "Booth") Svetlin Roussev(Strad 1710 Violin "Camposelice") 占部由美子(ピアノ)
ヴラディゲロフ Viadigerov	ブルガリア組曲「歌」作品21 Song for Two Violins and Piano, Op.21	Svetlin Roussev(Strad 1710 Violin "Camposelice") 占部由美子(ピアノ)
サラサーテ Sarasate	ヴァイオリン二重奏曲「ナバラ」作品33 Navarra for 2 Violins and piano, Op.33	諏訪内晶子(Strad 1714 Violin "Dolphin") Arabella Miho Steinbacher(Strad 1715 Violin "Booth") 占部由美子(ピアノ)
ショーゾン Chausson	ヴァイオリンとピアノと弦楽四重奏のための協奏曲ニ長調作品21より 第2楽章 Concert for Violin, Piano and String Quartet, Op.21 II. Sicelienne	Quartetto di Cremona(Strad "Paganini Quartet") 諏訪内晶子(Strad 1714 Violin "Dolphin") 占部由美子(ピアノ)
レオナード Leonard	3つのヴァイオリンとピアノのためのスペイン・セレナーデ スペイン風ユモレスク・セレナーデ Spanish Serenade for 3 Violins and Piano	諏訪内晶子(Strad 1714 Violin "Dolphin") Arabella Miho Steinbacher(Strad 1715 Violin "Booth") Svetlin Roussev(Strad 1710 Violin "Camposelice") 占部由美子(ピアノ)
2018.7.2	クレモナ・クアルテット&小菅優	浜離宮朝日ホール (東京)
ベートーヴェン Beethoven	弦楽四重奏曲 第8番 ホ短調 作品59-2 String Quartet No.8 in E Minor, Op.59-2	Quartetto di Cremona(Strad "Paganini Quartet") Cristiano Gualco(1st vn:Strad 1727" Paganini") Paolo Andreoli(2nd vn:Strad 1680 "Paganini") Simone Gramalia(Strad 1731 Viola "Paganini") Giovanni Scaglione(Strad 1736 Cello "Paganini")
シューマン Schumann	ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品44 Piano Quintet in E-flat Major, Op.44	Quartetto di Cremona(Strad "Paganini Quartet") 小菅 優(ピアノ)
ブラームス Brahms	ピアノ五重奏曲 ヘ短調 作品34 3楽章 Piano Quintet in F Minor, Op.34 III. Andante, un poco adagio	アンコール曲
2018.7.20	「子ども発達支援センター・さんだ」支援 チャリティ・コンサート 有希・マヌエラ・ヤンケ ヴァイオリン リサイタル (助成事業)	三田市総合文化センター 郷の音ホール 大ホール (兵庫)
モーツァルト Mozart	ピアノとヴァイオリンのためのソナタト長調 K.301 Sonata for Piano and Violin in G Major, K. 301	Yuki Manuela Janke (Strad 1736 Violin "Muntz") 林 絵里(ピアノ)
マスネ Massenet	タイスの「瞑想曲」 "Méditation" from Thaïs	
ドボルザーク Dvorák	8つのユモレスク 作品101 第7曲 Humoresques, Op.101, No.7	
ブラームス Brahms	ハンガリー舞曲 第2番 ニ短調 Hungarian Dances No.2 in D Minor	
ブラームス Brahms	ハンガリー舞曲 第5番 嬰へ短調 Hungarian Dances No.5 in F-sharp Minor	
フォーレ Fauré	ヴァイオリンソナタ 第1番 イ長調 作品13 Violin Sonata No.1 in A Major, Op.13	

主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所	
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等	
2018.7.23	海と日本PROJECT 飛鳥II 船上ヴァイオリン演奏会	飛鳥II (横浜港停泊中) (対象者:横浜市中区と渋谷区の小学生親子)	
サラ・フラワー・アダマス Sarah Flower Adams	主よ御許に近づかん※ Nearer, my God, to Thee	Yuki Manuela Janke (Strad 1736 Violin "Muntz") ※Andrew Hume 1913 Violin "Hume"使用 林 絵里(ピアノ)	
大中寅二 Oonaka Toraji	椰子の実※ Yashi no mi (Coconut)		
バッハ Bach	G線上のアリア※ Air on the G String		
モーツァルト Mozart	アイネ・クライネ・ナハトムジーク Eine kleine Nachtmusik		
ドボルザーク Dvořák	ユーモレスク Humoresque		
クライスラー Kreisler	中国の太鼓 Tambourin Chinois		
マスネ Massenet	タイスの「瞑想曲」 Meditation from Thais		
サラサーテ Sarasate	サパテアード Zapateado		
ブラームス Brahms	ハンガリー舞曲 第5番 Hungarian Dances No.5		
井上武士 Inoue Takeshi	海 <全員で合唱> Umi (The Sea)		
2018.12.13 2019. 2. 6	青少年のためのレクチャコンサート「音楽における愛のかたち」		北九州市立響ホール (福岡) 浦安音楽ホール (千葉)
モーツァルト Mozart	(母への愛) ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 K304より 第1楽章 (Love for Mother) Violin Sonata in E Minor, K304 Allegro		渡辺玲子(del Gesu 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)
ベートーヴェン Beethoven	(自然に対する愛) ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ短調 「春」より 第1楽章 (Love for Nature) Violin Sonata No.5 in F Major "Spring" I. Allegro		
バッハ Bach	(妻への愛) 無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番ニ短調より「シャコンヌ」 (Love for Wife) "Chaconne" from Partita No.2 for solo violin in D Minor		
ヤナーチェク チャイコフスキー クライスラー Janáček Tchaikovsky Kreisler	(祖国への愛) ヴァイオリン・ソナタより 第2楽章、第4楽章 「懐かしい土地の想い出」から <メロディー> ウィーン 奇想曲 (Love for Homeland) Violin Sonata - II. Ballada: Con moto, IV. Adagio <Melody> from "Memory of a dear place" Caprice Viennois		
クライスラー サラサーテ Kreisler Sarasate	(ヴァイオリンが奏でる愛の世界) 愛の喜び、愛の悲しみ、チゴイネルワイゼン (World of Love) Liebesfreud, Liebesleid, Zigeunerweisen		
2019.1.10	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ4 「ロード・ニューランド&フォイアマン」	日本特殊陶業市民会館フォレストホール (愛知)	
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン、チェロとピアノのための三重協奏曲ハ長調作品56 Triple Concerto in C Major Op.56	指揮:小泉和裕 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Suyoen Kim(Strad 1702 Violin "Lord Newlands") 石坂団十郎(Strad 1730 Cello "Feuermann") 田村 響(ピアノ)	
ベートーヴェン Beethoven	交響曲第5番ハ短調作品67「運命」 Symphony No.5 in C Minor, Op 67		
2019.2.22 2019.2.23	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ5 「ドラゴネッティ」	愛知県芸術劇場コンサートホール (愛知)	
藤倉 大	「ソラリス」組曲(日本初演)	指揮: Antoni Wit 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Veronika Eberle(Strad 1700 Violin "Dragonetti")	
ドボルザーク Dvořák	ヴァイオリン協奏曲イ短調作品53 Violin Concerto in A Minor, Op. 53		
チャイコフスキー Tchaikovsky	交響曲第5番ハ短調作品64 Symphony No.5 in E Minor, op. 64		
2019.3.5	竹澤燕子&江口玲デュオ・リサイタル	王子ホール (東京)	
ブロッホ Bloch	シェム Baal Shem	竹澤燕子(Strad 1735 Violin "Samazeuilh") 江口 玲(ピアノ)	
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 作品47 「クロイツェル」 Sonata No.9 for Piano and Violin in A Major, Op. 47 "Kreutzer"		
ワーグナー Wagner	ロマンツァ Romanza		
クライスラー Kreisler	愛の悲しみ、愛の喜び Liebesleid, Liebesfreud		
フランク Franck	ヴァイオリン・ソナタ イ長調 Violin Sonata in A Major		

主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日 作曲者名	演奏会タイトル 曲目	開催場所 演奏者(使用楽器)等
2019.3.13	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ6「エンゲルマン」	日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知)
シベリウス Sibelius	交響詩「フィンランディア」作品26 Ton-poem 'Finlandia' op.26	指揮:円光寺雅彦 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Benjamin Beilman(Strad 1709 Violin "Engleman")
シベリウス Sibelius	ヴァイオリン協奏曲ニ短調作品47 Violin Concerto in D Minor, Op.47	
チャイコフスキー Tchaikovsky	交響曲第6番ロ短調作品74「悲愴」 Symphony No.6 in B Minor, op.74, "Pathétique"	
2019.4.20	セルゲイ・ハチャトゥリアン ヴァイオリン・リサイタル Sergey Khachatryan Violin Recital 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol. 3	浦安音楽ホール(東京)
モーツァルト Mozart	ヴァイオリン・ソナタ 第40番 変ロ長調 K.454 Violin Sonata in B-Flat Major, K.454	Sergey Khachatryan(del Gesu 1740 Violin "Ysaÿe") Lusine Khachatryan(ピアノ)
プロコフィエフ Prokofiev	ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ニ長調 作品94bis Violin Sonata No.2 in D Major, Op.94bis	
フランク Franck	ヴァイオリン・ソナタ イ長調 Violin Sonata in A Major	
バクダサリアン Baghdasaryan	夜想曲 Nocturne	アンコール アルメニアの曲
コミタス・ヴァダペット Vardapet	杏の木 Aprocot Tree	アンコール アルメニアの曲
2019.10.29 2019.10.30 2019.10.31	ストラディヴァリウスコンサート2019 Encounter with Stradivari 2019	福岡シンフォニーホール(福岡) 大阪いずみホール(大阪) サントリーホール小ホール(東京)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ 第5番 へ長調 作品24「春」 Violin Sonata No.5 in F Major "Spring", Op.24	Benjamin Beilman(Strad 1709 Violin "Engleman") 萩原麻未(ピアノ)
バルトーク Bartók	2つのヴァイオリンのための二重奏曲Sz. 98 Duos for Two Violins, Sz.98 No. 35 Ruthenian Kolomejka No. 16 Burlesque No. 22 Mosquito Dance No. 26 Teasing Song No. 42 Arabian Dance No. 43 Pizzicato No. 44 Transylvanian Dance No. 36 Bagpipies	Ji Young Lim(Strad 1700 Violin "Dragonetti") Benjamin Beilman(Strad 1709 Violin "Engleman")
チャイコフスキー Tchaikovsky	「なつかしい土地の思い出」作品42から「メロディ」 "Mélodie" from Souvenir d'un lieu cher, Op.42	Ji Young Lim (Strad 1700 Violin "Dragonetti") 萩原麻未(ピアノ)
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ第2番 イ長調 作品100 Violin Sonata No.2 in A Major, Op.100 I. Allegro amabile II. Andante tranquillo - Vivace III. Allgretto grazioso	Ji Young Lim(Strad 1717 Violin "Sasserno") 萩原麻未(ピアノ)
ショスタコーヴィチ Shostakovich	2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小品 5 Pieces for Two Violins and Piano, Op.97 I. Prelude II. Gavotte III. Elegy IV. Waltz V. Polka	Benjamin Beilman(Strad Violin 1709 "Engleman") Ji Young Lim(Strad Violin 1717 "Sasserno") 萩原麻未(ピアノ)
モジコフスキ Moszkowski	2つのヴァイオリンとピアノのための組曲 作品71 Suite for Two Violins and Piano, Op.71 IV. Molto Vivace	Benjamin Beilman(Strad1709 Violin "Engleman") Ji Young Lim(Strad 1717 Violin "Sasserno") 萩原麻未(ピアノ)
2019.12.5 2020.1.25	青少年のためのヴァイオリンコンサート	響ホール(福岡) 浦安市文化会館小ホール(千葉)
エルガー Elgar	愛の挨拶 Salut d'amour	大谷康子(Strad 1725 Violin "Wilhelmj") 佐藤卓史(ピアノ)
クライスラー Kreisler	「愛の悲しみ」「愛の喜び」 Liebesleid、Liebesfreud	
ヴィヴァルディ Vivaldi	ヴァイオリン協奏曲集 作品8「四季」から「春」 "Spring" from Four Seasons Op.8	
ベートーベン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ第5番 作品24「春」より 第1楽章 Violin Sonata No.5 in F Major, op.24 "Spring" - I Allegro	
バツハ/ウィルヘルミ編 Bach / arr. Wilhelmj	G線上のアリア Air on the G String	
ブラームス Brahms	ハンガリー舞曲 第5番 Hungarian Dances No.5 in G Minor	
葉加瀬太郎	情熱大陸のテーマ	
ジャン・アラール	「椿姫ファンタジー」より「乾杯の歌」	
サラサーテ Sarasate	ツィゴイネルワイゼン Zigeunerweisen Op.20	
モンティ Monti	チャールダーシュ Csárdás (Czardas)	アンコール曲



主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日 作曲者名	演奏会タイトル 曲目	開催場所 演奏者(使用楽器)等
2020.1.17 2020.1.18	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ7「ロード・アイレスフォード」	愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知)
シューマン Schumann	チェロ協奏曲イ短調作品129 Cello Concerto in A Minor, Op.129	指揮:沼尻竜典 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Pablo Ferrandez(Strad 1696 Cello "Lord Aylesofrd")
ワーグナー Wagner	楽劇「ニーベルングの指輪」より「沼尻場」 Excerpts from "Der Ring des Nibelungen" [Numajiri Ver.]	
バッハ Bach	無伴奏チェロ組曲第3番ハ長調BWV1009から Sarabande Cello Suite No.3 in C major WV1009 IV Sarabande	アンコール曲
カタロニア民謡 Catalonia Folk Song	鳥の歌 Song of the Birds	アンコール曲
2020.2.1	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ8「ムンツ」	豊田市コンサートホール(愛知)
J. シュトラウス二世 Johann Strauss II	喜歌劇「こもり」序曲 共演ジュニアオーケストラ Die Fledermaus: Overture	指揮:大植英次 名古屋フィルハーモニー交響楽団 Yuki Manuela Janke(Strad 1736 Violin "Muntz") 豊田市ジュニアオーケストラ(一部出演)
シベリウス Sibelius	ヴァイオリン協奏曲ニ短調作品47 Violin Concerto in D Minor, Op.47	
バッハ Bach	無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第3番ハ長調BWV1005から Largo Sonata for solo violin No.3 in C Major BWV1005 III. Largo	アンコール曲
ドボルザーク Dvořák	交響曲第9番ホ短調作品95(B.178)「新世界より」 Symphony No.9 in E Minor, "From the New World", Op.95	
2020.10.19	青少年のためのヴァイオリン・コンサート	境港シンフォニーガーデン(鳥取)
エルガー Elgar	愛の挨拶 Salut d'amour	大谷康子(Strad 1725 Violin "Wilhelmj") 小山さゆり(ピアノ)
クライスラー Kreisler	愛の喜び、愛の悲しみ Liebesfreud, Liebesleid	
ヴィヴァルディ Vivaldi	ヴァイオリン協奏曲集『四季』より「春」 "Spring" from Four Seasons Op.8	
バッハ/ウィルヘルム編曲 Bach / arr. Wilhelmj	G線上のアリア Air on the G String	
ブラームス Brahms	ハンガリー舞曲第5番 Hungarian Dance No.5	
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ 第5番ハ長調 作品24「スプリング」 第1楽章 Violin Sonata No. 5 in F Major Op.24 "Spring" I. Allegro	
葉加瀬太郎	「情熱大陸」のテーマ	
アラール	乾杯の歌	
デ・サラサーテ Sarasate	ツィゴイネルワイゼン Zigeunerweisen Op.20	
モンティ Monti	チャルダース Csárdás (Czardas)	アンコール曲
2020.11.3	大谷康子ヴァイオリン・リサイタル 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol. 4	J:COM浦安音楽ホール(千葉)
エルガー Elgar	愛の挨拶 Salut d'amour	大谷康子(Strad 1725 Violin "Wilhelmj") 佐藤卓史(ピアノ)
ヴィヴァルディ Vivaldi	ヴァイオリン協奏曲集『四季』より「秋」 第1楽章 "Autumn" from Four Seasons Op.8	
ベートーベン Beethoven	ヴァイオリン・ソナタ第5番 作品24「春」より 第1楽章 Violin Sonata No.5 in F Major, op.24 "Spring" I. Allegro	
宮城道雄	春の海	
皆で歌おう!	もみじ、里の秋、	
アストル・ピアソラ	『ブエノスアイレスの四季』より「秋」	
外山雄三	『日本民謡による組曲』より 第1楽章	
ハンス・ジマー リチャード・ハーヴェイ	映画『リトルプリンス 星の王子さまと私』より「Suis moi」	
レナード・バーンスタイン	映画『ウェスト・サイド・ストーリー』より「トゥナイト」「マンボ」	
ジェリー・ボック シェルドン・ハーニック	映画『屋根の上のヴァイオリン弾き』より「オープニング・タイトル」 「サンライズ・サンセット」	
アストル・ピアソラ	リベルタンゴ	
リチャード・ロジャーズ	ミュージカル『南太平洋』より「バリハイ」「魅惑の宵」	
サラサーテ Sarasate	ツィゴイネルワイゼン Zigeunerweisen Op.20	
モンティ Monti	チャルダース Csárdás (Czardas)	アンコール曲

主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
2021.2.5	日本オーケストラ連盟との共同事業 大阪交響楽団 第249回定期公演	ザ・シンフォニーホール (大阪)
グラズノフ Glazunov	ヴァイオリン協奏曲イ短調作品82 Violin Concerto in A Minor, Op.82	指揮:太田 弦 大阪交響楽団 渡辺玲子(Strad 1735 Violin "Samazeuilh")
2021.3.21	子どもの未来をひらくヴァイオリンコンサート	黒崎ひびしんホール (福岡)
エルガー Elgar	愛の挨拶 Salut d'amour	大谷康子(Strad 1725 Violin "Wilhelmj") 林 絵里(ピアノ)
ヴィヴァルディ Vivaldi	ヴァイオリン協奏曲集 作品8「四季」から「春」 第1楽章 1st Movement of "Spring" from Four Seasons Op.8	
マスネ Massenet	タイスの瞑想曲 Meditation from Thaïs	
フランク Frank	ヴァイオリンソナタより 第4楽章 Violin Sonata in A Major IV. Allegretto poco mosso	
チャイコフスキー Tchaikovsky	ヴァイオリン協奏曲より from Violin Concerto in D Major	
(北九州市ジュニアオーケストラとの共演) メンデルスゾーン Mendelssohn	ヴァイオリン協奏曲より 第1楽章 Violin Concerto in D Minor I. Allegro Molto Appassionato	
2021.11.18 2021.11.19	青少年のためのヴァイオリンコンサート	大栄農村環境改善センター (鳥取) 日南町総合文化センターさつきホール (鳥取)
ゴセック Gossec	ガヴオット Gavotte	大谷康子(Strad 1725 Violin "Wilhelmj") 松本和将(ピアノ)
ベートーヴェン Beethoven	メヌエット Minuet in G Major	
サン＝サーンス Saint-Saëns	白鳥 Le cygne	
クライスラー Kreisler	美しきロスマリン Schön Rosmarin	
ベートーヴェン Beethoven	エリーゼのために For Elise	
モーツァルト Mozart	アイネクライネナハトムジーク第1楽章 Eine kleine Nachtmusik 1st movement	
ブラームス Brahms	ハンガリー舞曲第5番 Hungarian Dance No.5	
パプロ・デ・サラサーテ Sarasate	ツイゴイネルワイゼン Zigeunerweisen Op.20	
モンティ Monti	チャールダーシュ Csárdás (Czardas)	アンコール曲
	情熱大陸、紅蓮華(鬼滅の刃より)	アンコール曲
2022.1.15	日本オーケストラ連盟との共同事業 山形交響楽協会	山形テレサ大ホール (山形)
メンデルスゾーン Mendelssohn	ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 Violin Concerto in E Minor, O.64	指揮:下野竜也 山形交響楽団 吉田 南(Strad 1716 Violin "Booth")
2021.1.19	吉田南&福岡洸太郎デュオ・コンサート	サントリーホール・ブルーローズ (東京)
モーツァルト Mozart	ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 K.304 Violin Sonata in E Minor, K.304	吉田 南(Strad 1725 Violin "Booth") 福岡洸太郎(ピアノ)
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ 第3番 二短調 作品108 Violin Sonata No.3 in D Minor, Op.108	
フランク Frank	ヴァイオリン・ソナタ イ長調 Violin Sonata in A Major	
2022.1.23	日本オーケストラ連盟との共同事業 東京ニューシティ管弦楽団第145回定期演奏会	東京芸術劇場大ホール (東京)
ドボルザーク Dvořák	ヴァイオリン協奏曲イ短調 作品53、B.108 Violin Concerto in A Minor, Op.53 B.108	指揮:曾我大介 東京ニューシティ管弦楽団 吉田南(Strad 1716 Violin "Booth")
2022.1.24	ストラディヴァリウス・デュオ・コンサート 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol. 5	J:COM浦安音楽ホール (千葉)
ルクレール Leclair	2つのヴァイオリンのためのソナタ 短調 作品35 Sonata for 2 Violins in E Minor, Op. 3, No. 5	吉田 南(Strad 1716 Violin "Booth") 大谷康子(Strad 1725 Violin "Wilhelmj") 福岡洸太郎(ピアノ)
フランク Frank	フランク:ヴァイオリン・ソナタイ長調 Violin sonata A Major	
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ第3番 二短調 作品108 Violin Sonata No.3 in D Minor, Op.108	
ショスタコーヴィチ Shostakovich	2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小品 5 Pieces for 2 Violins and Piano	

主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
モショコフスキ Mozzkowski	2つのヴァイオリンとピアノのための組曲短調作品71 第4楽章 Suite for Two Violins and Piano in G Minor, Op. 71 4mov. Molto vivace	アンコール曲
2022.2.5	日本オーケストラ連盟との共同事業 神奈川フィルハーモニー管弦楽団第375回定期演奏会	神奈川県民ホール大ホール(神奈川)
ブルッフ Bruch	ヴァイオリン協奏曲第1番短調作品26 Violin Concerto No.1 in G Minor Op.26	指揮:大植英次 神奈川フィル管弦楽団 吉田 南(Strad 1716 Violin "Booth")
2022.6.29	カミーユ・トマ チェロ・リサイタル Camille Thomas Cello Ricial 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズ Vol. 6	J:COM浦安音楽ホール(千葉)
ラヴェル Ravel	2つのヘブライの歌より 第1曲「カディッシュ」 2 Melodies hebraïques	Camille Thomas(Strad 1730 Cello "Feuermann") 萩原麻未(ピアノ)
グリーグ Grieg	チェロソナタ イ短調作品36 Cello Sonata in A Minor, Op.36	
ラフマニノフ Rachmaninov	チェロソナタ ト短調 作品19 Cello Sonata in G Minor, Op.19	
ポッパー Popper	ハンガリー狂詩曲(短編) Hungarian Rhapsody Op.68	アンコール曲
ショパン Chopin	チェロ・ソナタ短調作品65第3楽章 Sonate für Violoncello und Klavier Mov.3 Largo	アンコール曲
カタロニア民謡 Catalonian folk song	鳥の歌(パブロ・カザルス/スティーヴン・イッサーリス編) "The Song of the Birds(Arr. Pablo Casals / Steven Isserlis)	アンコール曲
2022.10.7	ストラディヴァリウス・デュオ・コンサート2022 (プログラムA)	サントリーホール・ブルーローズ(東京)
ハイドン Haydn	弦楽四重奏曲 第67番 ニ長調作品64.5「ひばり」 String Quartet No.67 in D Major, Op. 64, No. 5, "The Lark"	Goldmund Quartet(Strad "Paganini Quartet") Florian Schötz(1st vn:Strad 1727" Pganini") Pinchas Adt(2nd vn:Strad 1680 "Paganini") Christoph Vandory(Strad 1731 Viola "Paganini") Raphael Paratore(Strad 1736 Cello "Paganini")
ショスタコーヴィチ Shostakovich	弦楽四重奏曲 第8番 ハ短調作品110 String Quartet No. 8 in C Minor, Op. 110	
シューベルト Franz Schubert	弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810「死と乙女」 String Quartet No. 14 in D Minor, D 810, "Death and the Maiden"	
ハイドン Haydn	弦楽四重奏曲 第1番変ロ長調作品1-1より 第3楽章 String Quartet No.1 B-flat Major, Op.1, No.1 - III. Adagio	アンコール曲
ルーベンベルガー Rubenberger	オクセンフェルダール・ショティッシュ Ochsenfelder Schottisch	アンコール曲
2022.10.8	ストラディヴァリウス・デュオ・コンサート2022 (プログラムB)	サントリーホール・ブルーローズ(東京)
ウェーベルン Webern	弦楽四重奏のための緩徐楽章 Langsamer Satz	Goldmund Quartet(Strad "Paganini Quartet") Florian Schötz(1st vn:Strad 1727" Pganini") Pinchas Adt(2nd vn:Strad 1680 "Paganini") Christoph Vandory(Strad 1731 Viola "Paganini") Raphael Paratore(Strad 1736 Cello "Paganini")
メンデルスゾーン Mendelssohn	弦楽四重奏曲 第4番ハ短調作品44-2 String Quartet No. 4 in E Minor, Op. 44, No. 2	
プッチーニ Puccini	弦楽四重奏曲 嬰ハ短調「菊」 String Quartet in C-sharp Minor, "Crisantemi"	
ベートーヴェン Beethoven	弦楽四重奏曲 第6番変ロ長調作品18-6 String Quartet No.6 in B-flat Major, Op.18, No.6	
ドボルザーク/ケンパー編 Dvořák/arr. Kember	ユモレスク 作品101-7 Humoresques Op.101, No.7	アンコール曲
ルーベンベルガー Rubenberger	オクセンフェルダール・ショティッシュ Ochsenfelder Schottisch	アンコール曲
2022.10.10 2022.10.12	ストラディヴァリウス・デュオ・コンサート2022 (プログラムA)	倉吉未来中心大ホール(鳥取) 住友生命いづみホール(大阪)
ハイドン Haydn	弦楽四重奏曲 第67番 ニ長調作品64.5「ひばり」 String Quartet No.67 in D Major, Op.64, No.5, "The Lark"	Goldmund Quartet(Strad "Paganini Quartet") Florian Schötz(1st vn:Strad 1727" Pganini") Pinchas Adt(2nd vn:Strad 1680 "Paganini") Christoph Vandory(Strad 1731 Viola "Paganini") Raphael Paratore(Strad 1736 Cello "Paganini")
ショスタコーヴィチ Shostakovich	弦楽四重奏曲 第8番 ハ短調作品110 String Quartet No.8 in C Minor, Op.110	
シューベルト Schubert	弦楽四重奏曲 第14番 ニ短調 D810「死と乙女」 String Quartet No.14 in D Minor, D810, "Death and the Maiden"	
ドボルザーク/ケンパー編 Dvořák / arr. Kember	ユモレスク 作品101-7 Humoresques Op.101, No.7	アンコール曲
ルーベンベルガー Rubenberger	オクセンフェルダール・ショティッシュ Ochsenfelder Schottisch	アンコール曲
2023.2.19	日本オーケストラ連盟との共同事業 東京交響楽団 第968回定期演奏会Cシリーズ	東京芸術劇場大ホール(東京)
ラル Lalo	スペイン交響曲 作品21(ヴァイオリン協奏曲第2番 ニ短調) Symphony espagnole, Op.21 (Violin Concerto No.2 in D Minor)	指揮:Yan Pascal Tortelier(ヤン・パスカル・トルトゥリエ) 東京都交響楽団 Benjamin Beilman(del Gesù Violin "Ysaÿe")
2023.2.25	日本オーケストラ連盟との共同事業 奈良フィルハーモニー交響楽団 第52回定期演奏会	奈良県文化会館国際ホール(奈良)
チャイコフスキー Chaikovsky	ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35 Violin Concerto in D Major, Op.35	指揮:栗辻 聡 奈良フィルハーモニー管弦楽団 Benjamin Beilman(del Gesù Violin "Ysaÿe")

主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
2023.3.4 2023.3.5	日本オーケストラ連盟との共同事業 富士山静岡交響楽団 第117回定期演奏会	静岡市清水文化会館 (マリナート) (静岡) アクティシティ浜松中ホール (静岡)
プロコフィエフ Prokofiev	ヴァイオリン協奏曲 第2番 短調 作品63 Violin Concerto No. 2 in G Minor, Op.63	指揮: 高関 健 富士山静岡交響楽団 Timothy Chooi(Strad 1709 Violin "Engleman")
2023.3.4	北極サークル日本フォーラム「ジャパン・ナイト」	虎ノ門ヒルズフォーラム (東京)
バッハ Bach	無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第3番 ホ長調 BWV1006 第1楽章、第3楽章 Partita for Solo Violin No.3 in E Major BWV1006 I. Preludio III. Gavotte en Rondeau	外村理紗(Strad 1722 Violin "Jupiter")
イザイ Ysaye	無伴奏ヴァイオリン・ソナタ作品27 第3番 二短調「バラード」 Sonata for Solo Violin No.3 in D Minor, Op. 27 "Ballade"	
	さくら(マリア・カネコ・ミラー編曲) "Sakura" for Solo Violin arranged by Maria Kaneko Miller	
パガニーニ Paganini	24のカプリース作品1より 第11番 長調 Caprice No.11 in C Major from 24 Caprices for Solo Violin, Op. 1	
2023.3.9	日本オーケストラ連盟との共同事業 日本センチュリー交響楽団 第270回定期演奏会	ザ・シンフォニーホール (大阪)
コルンゴルト Korngold	ヴァイオリン協奏曲 二長調 作品35 Violin Concerto in D Major, Op.35	指揮: 川瀬賢太郎 日本センチュリー交響楽団 Timothy Chooi(Strad 1709 Violin "Engleman")
2023.3.11	日本オーケストラ連盟との共同事業 中部フィルハーモニー交響楽団 小牧特別演奏会	小牧市市民会館 (愛知)
サラサーテ マスネ サン＝サーンス	ツイゴイネルワイゼン タイスの瞑想曲 序奏とロンド・カプリチオーソ 作品28	指揮: 田中祐子 中部フィルハーモニー交響楽団 Timothy Chooi(Strad 1709 Violin "Engleman")
2023.6.21	「らい菌発見150周年記念ハンセン病ベルゲン国際会議」 Stradivarius Mini Concert	グリーグホールThe Peer Gynt Hall, GRIEGHALLEN (ノルウェー・ベルゲン)
(オープニングセレモニー・コンサート)		
グリーグ Grieg	「ペール・ギョント」組曲 朝の気分 Morning Mood, from Peer Gynt Suite No. 1 Op.46	Florian Schötz (1st vn:Strad 1727" Pganini") Pinchas Adt (2nd vn:Strad 1680 "Paganini") Raphael Paratore(Strad 1736 Cello "Paganini")
バッハ Bach	ヴァイオリンソナタ第1番 第1楽章 Sonata for Solo Violin No. 1 in G Minor, BWV1001 I. Adagio	吉本梨乃(Strad 1736 Violin "Muntz")
ハイドン Haydn	ディヴェルティメント(2つのヴァイオリンとチェロ版) Divertimento for Two Violins and Cello in D Major, Hob. IV:6 I. Adagio cantabile II. Allegro III. Tempo di menuetto	Florian Schötz (1st vnvn:Strad 1727" Pganini") Pinchas Adt(2nd vn:Strad 1680 "Paganini") Raphael Paratore (Strad 1736 Cello "Paganini")
ドボルザーク Dvořák	ミニチュア 作品75 第1楽章、第2楽章 Miniatures, Op.75 I. Cavatina. Moderato II. Capriccio. Poco allegro	Pinchas Adt (1st vn:Strad 1680 "Paganini") Florian Schötz (2nd vn:Strad 1727" Pganini") Raphael Paratore(Strad 1736 Cello "Paganini")
パッカーベル Pachelbel	カノン(3つのヴァイオリンとチェロ版) Canon for Three Violins and Cello	吉本梨乃 (1st vn:Strad 1736 Violin "Muntz") Florian Schötz(2nd vn:Strad 1727" Pganini") Pinchas Adt(3rd vn:Strad 1680 "Paganini") Raphael Paratore(Strad 1736 Cello "Paganini")
(レセプション・コンサート)		
パーセル Purcell	パヴァーヌとシャコンヌ Pavane and Chaconne in G Minor	吉本梨乃(1st vn:Strad 1736 Violin "Muntz") Florian Schötz (2nd vn:Strad 1727" Pganini") Pinchas Adt(3rd vn:Strad 1680 "Paganini") Raphael Paratore (Strad 1736 Cello "Paganini")
グリーグ Grieg	「ペールギョント」組曲 ソルヴェイグの歌(2つのヴァイオリンとヴィオラ版) Solveig's Song, from Peer Gynt Suite No. 2	吉本梨乃(1st vn:Strad 1736 Violin "Muntz") Florian Schötz(2nd vn:Strad 1727" Pganini") Pinchas Adt(3rd vn:Strad 1680 "Paganini") Raphael Paratore(Strad 1736 Cello "Paganini")
ガルデル Gardel	ポル・ウナ・カペーサ(2つのヴァイオリン、チェロ版) Por una Cabeza for Two Violins and Cello	Pinchas Adt (1st vn:Strad 1680 "Paganini") Florian Schötz(2nd vn:Strad 1727" Pganini") Raphael Paratore(Strad 1736 Cello "Paganini")
パガニーニ Paganini	24のカプリース作品1より 第24番 短調 Caprice No.24 in A Minor, from 24 Caprices for Solo Violin, Op.1	吉本梨乃(Strad 1736 Violin "Muntz")
ルーベンベルガー Rubenberger	オクセンフェルダール・ショティツシュ他 Landler für'd Babett & Ochsenfelder Schottisch	アンコール曲 Florian Schötz(1st vn), Pinchas Adt(2nd vn), 吉本梨乃(3rd vn), Raphael Paratore(vc)
2023.8.9	レイ・チェン・ヴァイオリン・リサイタル	サントリーホール・ブルーローズ (東京)
ストラヴィンスキー / ドウシュキン編 Stravinsky / arr. Dushikin	イタリア組曲 Suite Itarienne	Ray Chen(Strad 1714 Violin "Dolphin") 佐藤卓史(ピアノ)
バッハ Bach	無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 二短調 BWV1004より 「シャコンヌ」 "Chaconne" from Partita No.2 for Soro Violin in D Minor BWV1004	
ブラームス / ヨアヒム編 Brahms / arr.Joachim	ハンガリー舞曲第7番 Hungarian Dance No.7	
モンティ Monti	チャールダーシュ Csárdás (Czardas)	

主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
作曲者名	曲目	演奏者(使用楽器)等
クライスラー Kreisler	美しきロスマリン Schön Rosmarin	アンコール曲
ボンセ / ハイフェッツ編 Ponce / arr. Heifetz	エストレリータ Estrellita	アンコール曲
2023.9.9	ヴェロニカ・エーベルレ・ヴァイオリンリサイタル 全国公立文化施設協会との共同事業	滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール小ホール (滋賀)
モーツァルト Mozart	ヴァイオリンソナタ へ長調 K.377 Violin Sonata F Major K.377	Veronika Eberle(Strad 1700 Violin "Dragonetti") 山田武彦(ピアノ)
チャイコフスキー Tchaikovsky	なつかしい土地の思い出 作品42 Memory of a Dear Place, Op.42	
バルトーク Bartok	ラプソディー第1番 Sz.86 Rhapsody No. 1	
クララ・シューマン Clara Schumann	ヴァイオリンとピアノのための3つのロマンス 作品22 3 Romances for Violin and Piano, Op. 22	
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ 第2番イ長調 作品100 Violin Sonata No. 2 in A Major, Op. 100	
パガニーニ Paganini	カンタービレ Cantabile	アンコール曲
2023.9.11 2023.9.12	ヴェロニカ・エーベルレ・ヴァイオリンリサイタル 千葉県文化振興財団との共同事業	千葉県南総文化ホール (千葉) 千葉県東総文化会館 (千葉)
クララ・シューマン Clara Schumann	ヴァイオリンとピアノのための3つのロマンス 作品22 3 Romances for Violin and Piano, Op. 22	Veronika Eberle(Strad 1700 Violin "Dragonetti") 山田武彦(ピアノ)
バルトーク Bartók	ラプソディー第1番 Rhapsody No. 1	
井上武士 / 山田武彦編 Inoue / arr. Yamada	海 Umi	
チャイコフスキー Tchaikovsky	なつかしい土地の思い出 作品42 Memory of a Dear Place, Op.42	
大中寅二 Toraji Onaka / arr. Reijiro Koroku	椰子の実 Yashinomi	アンコール曲
2023.9.22 2023.9.24	ストラディヴァリウス・デュオ・コンサート2023	住友生命いずみホール (大阪) 紀尾井ホール (東京)
ラフマニノフ Rachmaninov	ヴォカリーズ 作品34-14 Vocalise Op.34-14	Pablo Ferrández(Strad 1696 Cello "Lord Aylesford") 江口 玲(ピアノ)
ベートーヴェン Beethoven	ピアノ三重奏曲第4番 変ロ長調作品11《街の歌》 Piano Trio in B-flat Major Op.11 "Gassenhauer"	Suyoen Kim(Strad 1700 Violin "Lord Newlands") Pablo Ferrández(Strad 1696 Cello "Lord Aylesford") 江口 玲(ピアノ)
ラヴェル Ravel	ツィガース Tzigane	María Dueñas(Strad 1710 Violin "Camposelice") 江口 玲(ピアノ)
ベートーヴェン Beethoven	ヴァイオリンソナタ第5番 へ長調 作品24《春》から 第1章 Violin Sonata in F Major Op.24 "Spring" I Allegro	Suyoen Kim(Strad 1700 Violin "Lord Newlands") 江口 玲(ピアノ)
チャイコフスキー Tchaikovsky	ピアノ三重奏曲イ短調 作品50 <偉大な芸術家の思い出> から第1楽章 Piano Trio in A Minor Op.50 "In memory of great artist" I. Moderato assai- Allegre giusto	María Dueñas(Strad 1710 Violin "Camposelice") Pablo Ferrández(Strad 1696 Cello "Lord Aylesford") 江口 玲(ピアノ)
ショスタコーヴィチ Shostakovich	2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小品 5 Pieces for 2 Violins and Piano	María Dueñas(1st vn:Strad 1710 Violin "Camposelice") Suyoen Kim(2nd vn:Strad 1700 Violin "Lord Newlands") 江口 玲(ピアノ)
コルンゴルト Korngold	2つのヴァイオリン、チェロ、左手のためのピアノによる組曲 作品23から 第2楽章、第3楽章 Suite for 2 Violins, Cello and Piano(left hand) Op.23 II. Walzer. Nicht schnell, anmutig III. Grotteske. Möglichst rasch	María Dueñas(1st vn:Strad 1710 Violin "Camposelice") Suyoen Kim(2nd vn:Strad 1700 Violin "Lord Newlands") Pablo Ferrández(Strad 1696 Cello "Lord Aylesford") 江口 玲(ピアノ)
ヘンデル / マリア・ドゥエニャス編 Händel / arr. Dueñas	トリオ・ソナタ短調 作品 2-6, HWV 391から第1楽章 Trio sonata for 2 violins & continuo in G Minor, Op. 2, No. 6, HWV 391 I. Andante-Allegro	アンコール曲
2024.1.6	日本オーケストラ連盟との共同事業 県民名曲シリーズ第18回	神奈川県民ホール大ホール (神奈川)
メンデルスゾーン Mendelssohn	ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 作品64 Violin Concerto in E Minor, Op.64	指揮: 出口大地 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 外村理紗(Strad 1715 Violin "Joachim")
2024.1.8	日本オーケストラ連盟との共同事業 ユアタウンコンサート米沢公演	伝国の社 置賜文化ホール (山形)
チャイコフスキー Chaikovsky	ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35 Violin Concerto in D Major, Op.35	指揮: 阪 哲朗 山形交響楽団 外村理紗(Strad 1715 Violin "Joachim")



主催演奏会曲目一覧(2014年度～2023年度)

開催年月日 作曲者名	演奏会タイトル 曲目	開催場所 演奏者(使用楽器)等
2024.1.25	ステラ・チェン&イム・ジョン デュオ・リサイタル	サントリーホール ブルーローズ (東京)
ルクレール Leclair	2つのヴァイオリンのためのソナタ ホ短調作品3-5 Sonata for 2 Violins in E Minor, Op.3-5	Stella Chen(Strad 1708 Violin "Huggins") Ji Young Lim(Strad 1717 Violin "Sasserno")
グリーグ Grieg	ヴァイオリンソナタ第3番 ホ短調作品45 Violin Sonata No. 3 in C Minor, Op.45	Ji Young Lim(Strad 1717 Violin "Sasserno") 大須賀恵里(ピアノ)
ブラームス Brahms	ヴァイオリン・ソナタ第3番 ニ短調作品108 Violin Sonata No.3 in D Minor, Op.108	Stella Chen(Strad 1708 Violin "Huggins") 大須賀恵里(ピアノ)
モシュコフスキ Moszkowski	2つのヴァイオリンとピアノのための組曲作品71 Suite for Two Violins and Piano in G Minor, Op. 71	Stella Chen(1st vn:Strad 1708 Violin "Huggins") Ji Young Lim(2nd vn:Strad 1717 Violin "Sasserno") 大須賀恵里(ピアノ)
ショスタコーヴィチ Shostakovich	2つのヴァイオリンとピアノのための5つの小曲から 3.エレジー、5.ポルカ Elegy & Polka from 5 Pieces for Two Violins and Piano	アンコール曲
2024.1.27	日本オーケストラ連盟との共同事業 特別演奏会 第18回フレッシュ・コンサート	神奈川県立音楽堂 (神奈川県横浜市)
プロコフィエフ Prokofiev	ヴァイオリン協奏曲 第2番 短調 作品63 Violin Concerto No.2 in G Minor, Op.63	指揮:横山 奏 管弦楽 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 Stella Chen(Strad 1708 Violin "Huggins")
2024.1.31	日本オーケストラ連盟との共同事業 第268回定期演奏会	ザ・シンフォニーホール (大阪府大阪市)
コルンゴルト Korngold	ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 作品35 Violin Concerto in D Major, Op.35	指揮:原田慶太楼 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 Stella Chen(Strad 1708 Violin "Huggins")
2024.1.31	「グローバル・アピール2024」式典スペシャルコンサート Global Appeal 2024 to End Stigma and Discrimination against Persons Affected by Leprosy Stradivarius Mini Concert 2024 ①	WHO(世界保健機構) 本部 (スイス・ジュネーブ)
パガニーニ Paganini	カプリース第24番 Caprice in A Minor, Op.1, No.24	Giuseppe Gibboni(Strad 1722 Violin "Jupiter")
イザイ Ysaÿe	無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 作品27-3 Sonata for Solo Violin Op.27-3 in D Minor "Ballade"	吉本梨乃(Strad 1736 Violin "Muntz")
バッハ Bach	無伴奏ヴァイオリンソナタ 第1番 第1楽章 Sonata for Solo Violin No.1 in G Minor BWV 1001 I. Adagio	Giuseppe Gibboni(Strad 1722 Violin "Jupiter")
ヴィエニャフスキ Wieniawski	2つのヴァイオリンのためのカプリース 作品18-1 Duo for two violins Caprice Op. 18 No.1 in G Minor	吉本梨乃(1st vn:Strad 1736 Violin "Muntz") Giuseppe Gibboni (2nd vn:Strad 1722 Violin "Jupiter")
ガルデル Gardel	ポル・ウナ・カベサ Por una Cabeza	アンコール曲
2024.1.31	Stradivarius Mini Concert 2024 ②	在ジュネーブ日本政府代表部大使公邸 (スイス・ジュネーブ)
バッハ Bach	無伴奏ヴァイオリンソナタ 第1番 第2楽章、第3楽章 Sonata for Solo Violin No.1 in G Minor BWV 1001 II. Fuga III. Siciliana	吉本梨乃(Strad 1736 Violin "Muntz")
パガニーニ Paganini	24のカプリースより 第1番、第5番 Caprice in E Major, Op.1, No.1 & 5	Giuseppe Gibboni(Strad 1722 Violin "Jupiter")
ベリオ De Bériot	グランデュオコンチェルトタンテ 作品57-3 Gran Duo Concertante No.3	Giuseppe Gibboni (1st vn:Strad 1722 Violin "Jupiter") 吉本梨乃 (2nd vn:Strad 1736 Violin "Muntz")
ガルデル Gardel	ポル・ウナ・カベサ Por una Cabeza	アンコール曲



「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み

保有する弦楽器名器の音色を多くの方々にお届けするため、ストラディヴァリウスを多数一堂に会した「ストラディヴァリウス・コンサート」を国内外で開催している。

1998

オール・ストラディヴァリウス・コンサート

日本音楽財団設立 25 周年記念 25th Anniversary of Nippon Music Foundation

09.08 東京オペラシティコンサートホール(東京) Tokyo Opera City Concert Hall(Tokyo)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
ミハイル・コペルマン Mikhail Kopelman	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
原田禎夫 Sadao Harada	Stradivarius 1736 Cello “Pagani”
ニコライ・ズナイダー Nikolaj Znaider	Stradivarius 1708 Violin “Huggins”
渡辺玲子 Reiko Watanabe	Stradivarius 1709 Violin “Engleman”
樫本大進 Daishin Kashimoto	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
徳永二男 Tsugio Tokunaga	Stradivarius 1736 Violin “Muntz”
林 絵里 Eri Hayashi	Piano
ストラディヴァリウス 8 挺	8 Stradivarius instruments

2001

Seven Stradivarius Benefit Concert

04.18 スウェーデン王宮(ストックホルム) The Royal Palace of Sweden (Stockholm)

04.19 スウェーデン王立音楽アカデミー(ストックホルム) Royal Swedish Academy of Music (Stockholm)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
ミハイル・コペルマン Mikhail Kopelman	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner	Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”
樫本大進 Daishin Kashimoto	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
マリン・ブロマン Malin Broman	Stradivarius 1709 Violin “Ex-Crafoord” *
サイモン・クローフォード・フィリップス Simon Crawford Philips	Piano
ストラディヴァリウス 7 挺	7 Stradivarius instruments
*スウェーデン音楽院より借用	Loaned from Royal Swedish Academy of Music

2001

A Stradivari Musical Extravaganza

05.23 ランカスター・ハウス(ロンドン) Lancaster House (London)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
ミハイル・コペルマン Mikhail Kopelman	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
渡辺玲子 Reiko Watanabe	Stradivarius 1709 Violin “Engleman”
ユリア・フィッシャー Julia Fischer	Stradivarius 1716 Violin “Booth”
ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner	Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”
樫本大進 Daishin Kashimoto	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
ステイーヴン・イッサーリス Steven Isserlis	Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”
	Stradivarius 1696 Viola “Archinto” *

「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み

イアン・ブラウン Ian Brown Piano
 ストラディヴァリウス 10 挺 10 Stradivarius instruments
 *英国王立音楽院より借用 Loaned from Royal Academy of Music (UK)

2002

オール・ストラディヴァリウス・コンサート

日中国交正常化記念 30 周年 30th Anniversary of Normalization of China-Japan Diplomatic Relations

10.25 保利劇場(北京) Poly Theater (Beijing)

10.26 釣魚台迎賓館(北京) Diaoyutai State Guesthouse (Beijing)

東京クワルテット Tokyo String Quartet Stradivarius "Paganini Quartet"
 マーティン・ビーヴァー Martin Beaver Stradivarius 1727 Violin "Paganini"
 池田菊衛 Kikuei Ikeda Stradivarius 1680 Violin "Paganini"
 磯村和英 Kazuhide Isomura Stradivarius 1731 Viola "Paganini"
 クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
 バイバ・スクリデ Baiba Skride Stradivarius 1708 Violin "Huggins"
 リサ・バティアシュヴィリ Lisa Batiashvili Stradivarius 1709 Violin "Engleman"
 諏訪内晶子 Akiko Suwanai Stradivarius 1714 Violin "Dolphin"
 ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner Stradivarius 1717 Violin "Sasserno"
 林 絵里 Eri Hayashi Piano
 ストラディヴァリウス 8 挺 8 Stradivarius instruments

2003

Age of Stradivarius

11.26 東京オペラシティコンサートホール(東京) Tokyo Opera City Concert Hall(Tokyo)

内田 輝 Teru Uchida Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti"
 諏訪内晶子 Akiko Suwanai Stradivarius 1714 Violin "Dolphin"
 佐藤俊介 Shunsuke Sato Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj"
 ジュディッシュ・インゴルフソン Judith Ingolfsson Stradivarius 1736 Violin "Muntz"
 クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
 ロイヤルチェンバーオーケストラ Royal Chamber Orchestra
 ストラディヴァリウス 5 挺 5 Stradivarius instruments

11.27 東京オペラシティコンサートホール(東京) Tokyo Opera City Concert Hall(Tokyo)

バイバ・スクリデ Baiba Skride Stradivarius 1708 Violin "Huggins"
 ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner Stradivarius 1717 Violin "Sasserno"
 檜本大進 Daishin Kashimoto Stradivarius 1722 Violin "Jupiter"
 磯村和英 Kazuhide Isomura Stradivarius 1731 Viola "Paganini"
 ロイヤルチェンバーオーケストラ Royal Chamber Orchestra
 ストラディヴァリウス 4 挺 4 Stradivarius instruments

11.28 東京芸術劇場(東京) Tokyo Metropolitan Theatre(Tokyo)

東京クワルテット Tokyo String Quartet Stradivarius "Paganini Quartet"
 マーティン・ビーヴァー Martin Beaver Stradivarius 1727 Violin "Paganini"
 池田菊衛 Kikuei Ikeda Stradivarius 1680 Violin "Paganini"
 磯村和英 Kazuhide Isomura Stradivarius 1731 Viola "Paganini"
 クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
 バイバ・スクリデ Baiba Skride Stradivarius 1708 Violin "Huggins"
 諏訪内晶子 Akiko Suwanai Stradivarius 1714 Violin "Dolphin"
 ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner Stradivarius 1717 Violin "Sasserno"



「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み

榎本大進 Daishin Kashimoto	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
佐藤俊介 Shunsuke Sato	Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”
ジュディッシュ・インゴルフソン Judith Ingolfsson	Stradivarius 1736 Violin “Muntz”
江口 玲 Akira Eguchi	Piano
ストラディヴァリウス 10 挺	10 Stradivarius instruments

2004

Easter with Stradivarius (Special Concert in Salzburg)

日本音楽財団 30 周年記念 30th Anniversary of Nippon Music Foundation

04.04 モーツアルテウム(ザルツブルク) Mozarteum (Salzburg)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
マーティン・ビーヴァー Martin Beaver	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
安永 徹 Toru Yasunaga	Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands”
バイバ・スクリデ Baiba Skride	Stradivarius 1708 Violin “Huggins”
リサ・バティアシュヴィリ Lisa Batiashvili	Stradivarius 1709 Violin “Engleman”
諏訪内晶子 Akiko Suwanai	Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”
ユリア・フィッシャー Julia Fischer	Stradivarius 1716 Violin “Booth”
ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner	Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”
榎本大進 Daishin Kashimoto	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
佐藤俊介 Shunsuke Sato	Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”
石坂団十郎 Danjulo Ishizaka	Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”
	Stradivarius 1696 Viola “Archinto” *
市野あゆみ Ayumi Ichino	Piano
ストラディヴァリウス 14 挺	14 Stradivarius instruments
*英国王立音楽院より借用	Loaned from Royal Academy of Music (UK)
ザルツブルク・イースター音楽祭公式プログラムとして開催	Official Salzburg Easter Festival Program

2005

Encounter with Stradivari

10.09	リングット・コンGRESS・センター(トリノ)	Centro Congressi Lingotto (Torino)
10.11	ザルツブルク大学講堂(ザルツブルク)	Aula Academica der Universität Salzburg (Salzburg)
10.13	パーク・ハイアット・チューリッヒ(チューリッヒ)	Park Hyatt Zurich (Zurich)
東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”	
マーティン・ビーヴァー Martin Beaver	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”	
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”	
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”	
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”	
エリック・シューマン Erik Schumann	Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti”	
諏訪内晶子 Akiko Suwanai	Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”	
佐藤俊介 Shunsuke Sato	Stradivarius 1716 Violin “Booth”	
榎本大進 Daishin Kashimoto	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”	
バイバ・スクリデ Baiba Skride	Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”	
石坂団十郎 Danjulo Ishizaka	Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”	
	Stradivarius 1696 Viola “Archinto” *	
占部由美子 Yumiko Urabe	Piano	
ストラディヴァリウス 11 挺	11 Stradivarius instruments	

「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み

*英国王立音楽院より借用 Loaned from Royal Academy of Music (UK)

2006

Encounter with Stradivari 2006

10.05 ブリュッセル芸術センター Palais des Beaux-Arts (Brussels)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius "Paganini Quartet"
マーティン・ビーヴァー Martin Beaver	Stradivarius 1727 Violin "Paganini"
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin "Paganini"
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola "Paganini"
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
木嶋真優 Mayu Kijima	Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti"
セルゲイ・ハチャトゥリアン Sergey Khachatryan	Stradivarius 1708 Violin "Huggins"
竹澤恭子 Kyoko Takezawa	Stradivarius 1710 Violin "Camposelice"
庄司紗矢香 Sayaka Shoji	Stradivarius 1715 Violin "Joachim"
ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner	Stradivarius 1717 Violin "Sasserno"
樫本大進 Daishin Kashimoto	Stradivarius 1722 Violin "Jupiter"
ヨゼフ・カルリーチェク Josef Karlicek	Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford"
	Stradivarius 1696 Viola "Archinto" *
占部由美子 Yumiko Urabe	Piano
ストラディヴァリウス 12 挺	12 Stradivarius instruments
*英国王立音楽院より借用	Loaned from Royal Academy of Music (UK)

10.09 聖シモン&聖ユダ教会(ブラハ) Church of Sts. Simon and Jude (Prague)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius "Paganini Quartet"
マーティン・ビーヴァー Martin Beaver	Stradivarius 1727 Violin "Paganini"
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin "Paganini"
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola "Paganini"
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
木嶋真優 Mayu Kijima	Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti"
竹澤恭子 Kyoko Takezawa	Stradivarius 1710 Violin "Camposelice"
ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner	Stradivarius 1717 Violin "Sasserno"
樫本大進 Daishin Kashimoto	Stradivarius 1722 Violin "Jupiter"
バイバ・スクリデ Baiba Skride	Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj"
ヨゼフ・カルリーチェク Josef Karlicek	Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford"
	Stradivarius 1696 Viola "Archinto" *
占部由美子 Yumiko Urabe	Piano
ストラディヴァリウス 11 挺	11 Stradivarius instruments
*英国王立音楽院より借用	Loaned from Royal Academy of Music (UK)

2007

Encounter with Stradivari 2007

10.07 キャッスルトン・ファームズ シアターハウス(ヴァージニア) The Theatre House, Castleton Farms (Virginia)

10.09 カナダ国立美術館(オタワ) National Gallery of Canada (Ottawa)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius "Paganini Quartet"
マーティン・ビーヴァー Martin Beaver	Stradivarius 1727 Violin "Paganini"
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin "Paganini"
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola "Paganini"
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
諏訪内晶子 Akiko Suwanai	Stradivarius 1714 Violin "Dolphin"



「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み

庄司紗矢香 Sayaka Shoji	Stradivarius 1715 Violin “Joachim”
アラベラ・美歩・シュタインバッハー Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 Violin “Booth”
ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner	Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”
エリック・シューマン Erik Schuman	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
川久保賜紀 Tamaki Kawakubo	Stradivarius 1736 Violin “Muntz”
石坂団十郎 Danjulo Ishizaka	Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”
	Stradivarius 1696 Viola “Archinto” *
占部由美子 Yumiko Urabe	Piano
ストラディヴァリウス 12 挺	12 Stradivarius instruments
*英国王立音楽院より借用	Loaned from Royal Academy of Music (UK)

2008

ストラディヴァリウス・コンサート **Encounter with Stradivari 2008**

日本音楽財団 35 周年記念 **35th Anniversary of Nippon Music Foundation**

09.06 いずみホール(大阪) Izumi Hall (Osaka)

09.07 しらかわホール(名古屋) Shirakawa Hall (Nagoya)

09.09 サントリーホール(東京) Suntory Hall (Tokyo)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
マーティン・ビーヴァー Martin Beaver	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
セルゲイ・ハチャトゥリアン Sergey Khachatryan	Stradivarius 1708 Violin “Huggins”
竹澤恭子 Kyoko Takezawa	Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”
庄司紗矢香 Sayaka Shoji	Stradivarius 1715 Violin “Joachim”
アラベラ・美歩・シュタインバッハー Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 Violin “Booth”
ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner	Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”
エリック・シューマン Erik Schumann	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
バイバ・スクリデ Baiba Skride	Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”
有希・マヌエラ・ヤンケ Yuki Manuela Janke	Stradivarius 1736 Violin “Muntz”
石坂団十郎 Danjulo Ishizaka	Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”
スティーヴン・イッサーリス Steven Isserlis	Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”
	Stradivarius 1696 Viola “Archinto” *
小林道夫 Michio Kobayashi	Harpsichord
江口 玲 Akira Eguchi	Piano
ストラディヴァリウス 15 挺	15 Stradivarius instruments
*英国王立音楽院より借用	Loaned from Royal Academy of Music (UK)

2009

Encounter with Stradivari 2009

11.05 ヘルムート・リスト・ホール(グラーツ) Helmunt-List-Hall (Graz)

11.07 アカデミア美術館(フィレンツェ) Galleria dell'Accademia (Florence)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
マーティン・ビーヴァー Martin Beaver	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
リサ・バティアシュヴィリ Lisa Batiashvili	Stradivarius 1709 Violin “Engleman”
竹澤恭子 Kyoko Takezawa	Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”

「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み

エリック・シューマン Erik Schumann	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
バイバ・スクリデ Baiba Skride	Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”
有希・マヌエラ・ヤンケ Yuki Manuela Janke	Stradivarius 1736 Violin “Muntz”
石坂団十郎 Danjulo Ishizaka	Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”
	Stradivarius 1696 Viola “Archinto” *
占部由美子 Yumiko Urabe	Piano
ストラディヴァリウス 11 挺	11 Stradivarius instruments
*英国王立音楽院より借用	Loaned from Royal Academy of Music (UK)

2010

Encounter with Stradivari 2010

10.07 ルーヴル美術館(パリ) Auditorium of the Louvre Museum (Paris)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
マーティン・ビーヴァー Martin Beaver	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
セルゲイ・ハチャトゥリアン Sergey Khachatryan	Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands”
シン・ヒョンス Hyun-Su Shin	Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”
諏訪内晶子 Akiko Suwanai	Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”
ゲザ・ホッス=レゴツキ Geza Hosszu-Legocky	Stradivarius 1715 Violin “Joachim”
アラベラ・美歩・シュタインバッハー Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 Violin “Booth”
ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner	Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”
マンリコ・パドヴァーニ Manrico Padovani	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
有希・マヌエラ・ヤンケ Yuki Manuela Janke	Stradivarius 1736 Violin “Muntz”
石坂団十郎 Danjulo Ishizaka	Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”
スティーヴン・イッサーリス Steven Isserlis	Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”
	Stradivarius 1696 Viola “Archinto” *
マギー・コール Maggie Cole	Harpsichord
占部由美子 Yumiko Urabe	Piano
ストラディヴァリウス 15 挺	15 Stradivarius instruments
*英国王立音楽院より借用	Loaned from Royal Academy of Music (UK)

2012

ストラディヴァリウス・コンサート **Encounter with Stradivari 2012**

09.06 福岡シンフォニーホール(福岡) Fukuoka Symphony Hall (Fukuoka)

09.08 兵庫県芸術文化センター(西宮) Hyogo Performing Arts Center (Nishinomiya)

09.10 サントリーホール(東京) Suntory Hall (Tokyo)

東京クワルテット Tokyo String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
マーティン・ビーヴァー Martin Beaver	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
磯村和英 Kazuhide Isomura	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
クライヴ・グリーンズミス Clive Greensmith	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
レイ・チェン Ray Chen	Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands”
スヴェトリン・ルセフ Svetlin Roussev	Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”
ヴィヴィアン・ハーグナー Viviane Hagner	Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”
セルゲイ・ハチャトゥリアン Sergey Khachatryan	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
有希・マヌエラ・ヤンケ Yuki Manuela Janke	Stradivarius 1736 Violin “Muntz”
石坂団十郎 Danjulo Ishizaka	Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”



「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み

Stradivarius 1696 Viola “Archinto” *

江口 玲 Akira Eguchi Piano
 ストラディヴァリウス 11 挺 11 Stradivarius instruments
 *英国王立音楽院より借用 Loaned from Royal Academy of Music (UK)

2016

ストラディヴァリウス・コンサート **Encounter with Stradivari 2016**

09.09 大阪フェスティバルホール(福岡) Osaka Festival Hall (Osaka)

09.12 福岡シンフォニーホール(福岡) Fukuoka Symphony Hall (Fukuoka)

09.13 サントリーホール(東京) Suntory Hall (Tokyo)

ハーゲンクアルテット Hagen String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
ルークス・ハーゲン Lukas Hagen	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
ライナー・シュミット Rainer Schumidt	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
ヴェロニカ・ハーゲン Veronika Hagen	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
クレメンス・ハーゲン Clemens Hagen	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
ヴェロニカ・エーベリレ Veronika Eberle	Stradivarius 1700 Violin “Dragonetti”
セルゲイ・ハチャトゥリアン Sergey Khachatryan	Stradivarius 1709 Violin “Engleman”
スヴェトリン・ルセフ Svetlin Roussev	Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”
諏訪内晶子 Akiko Suwanai	Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”
レイ・チェン Ray Chen	Stradivarius 1715 Violin “Joachim”
アラベラ・美歩・シュタインバッハー Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 Violin “Booth”
有希・マヌエラ・ヤンケ Yuki Manuela Janke	Stradivarius 1736 Violin “Muntz”
パブロ・フェランデス Pablo Ferrández	Stradivarius 1696 Cello “Lord Aylesford”
石坂団十郎 Danjulo Ishizaka	Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”
江口 玲 Akira Eguchi Piano	
ストラディヴァリウス 13 挺	13 Stradivarius instruments

2018

世界人権宣言 70 周年記念「ストラディヴァリウス・コンサート」 **Encounter with Stradivari 2018**

In commemoration of the 70th anniversary of the Universal Declaration of Human Rights

06.16 国際連合欧州本部議事堂(ジュネーブ) Palais des Nations, Assembly Hall(Geneve)

クレモナクアルテット Quartetto di Cremona	Stradivarius “Paganini Quartet”
クリスティアーノ・グアルコ Cristiano Gualco	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
パオロ・アンドレオーリ Paolo Andreoli	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
シモネ・グラマーリャ Simone Gramaglia	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
ジョバンニ・スカリオオーネ Giovanni Scaglione	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
スヴェトリン・ルセフ Svetlin Roussev	Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”
諏訪内晶子 Akiko Suwanai	Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”
アラベラ・美歩・シュタインバッハー Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 Violin “Booth”
占部由美子 Yumiko Urabe	Piano
ストラディヴァリウス 7 挺	7 Stradivarius instruments

06.14 日本大使公邸(ジュネーブ) Ambassador’s Residence (Geneve)

クレモナクアルテット Quartetto di Cremona	Stradivarius “Paganini Quartet”
クリスティアーノ・グアルコ Cristiano Gualco	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
パオロ・アンドレオーリ Paolo Andreoli	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
シモネ・グラマーリャ Simone Gramaglia	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
ジョバンニ・スカリオオーネ Giovanni Scaglione	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
諏訪内晶子 Akiko Suwanai	Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”
アラベラ・美歩・シュタインバッハー Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 Violin “Booth”

「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み

占部由美子 Yumiko Urabe Piano
 ストラディヴァリウス 6 挺 6 Stradivarius instruments

2020 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

ストラディヴァリウス・コンサート **Encounter with Stradivari 2020**

(予定していた日程と出演者)

中止 09.06 福岡シンフォニーホール(福岡) Fukuoka Symphony Hall (Fukuoka)

中止 09.08 住友生命いずみホール(大阪) Izumi Hall (Osaka)

中止 09.10 サントリーホール(東京) Suntory Hall (Tokyo)

ゴルトムント・クアルテット Gordmunt String Quartet	Stradivarius "Paganini Quartet"
フロリアン・シェッツ Florian Schötz	Stradivarius 1727 Violin "Paganini"
ピンカス・アット Pinchas Adt	Stradivarius 1680 Cello "Paganini"
クリストフ・ヴァンドーリ Christoph Vandory	Stradivarius 1736 Viola "Paganini"
ラファエル・パラトーレ Raphael Paratore	Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
ヴェロニカ・エーベリレ Veronika Eberle	Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti"
キム・スーヤン Suyoen Kim	Stradivarius 1702 Violin "Lord Newlands"
スヴェトリン・ルセフ Svetlin Roussev	Stradivarius 1710 Violin "Camposelice"
諏訪内晶子 Akiko Suwanai	Stradivarius 1714 Violin "Dolphin" (東京のみ)
レイ・チェン Ray Chen	Stradivarius 1715 Violin "Joachim"
イム・ジヨン Ji Young Lim	Stradivarius 1717 Violin "Sasserno"
五嶋 龍 Ryu Goto	Stradivarius 1722 Violin "Jupiter" (福岡、大阪のみ)
アラベラ・美歩・シュタインバッハー Arabella Miho Steinbacher	Stradivarius 1716 Violin "Booth"
有希・マヌエラ・ヤンケ Yuki Manuela Janke	Stradivarius 1736 Violin "Muntz"
パブロ・フェランデス Pablo Ferrández	Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford"
江口 玲 Akira Eguchi	Piano
東京交響楽団 オーケストラ(東京のみ)	
山田和樹 指揮(東京のみ)	
ストラディヴァリウス 14 挺	14 Stradivarius instruments (各公演 13 挺)

2023

Stradivarius Mini Concert, Bergen

らい菌発見から 150 年年記念ハンセン病ベルゲン国際会議

The Bergen International Conference on Hansen's Disease: 150 Years Since the Discovery of the Leprosy Bacillus

06.21 グリーグホール(ベルゲン) The Peer Gynt Hall Grieghallen (Bergen)

ピンカス・アット Pinchas Adt	Stradivarius 1680 Violin "Paganini"
フロリアン・シェッツ Florian Schotz	Stradivarius 1727 Violin "Paganini"
吉本梨乃 Rino Yoshimoto	Stradivarius 1736 Violin "Muntz"
ラファエル・パラトーレ Raphael Paratore	Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
ストラディヴァリウス 4 挺	4 Stradivarius instruments



2024 開催予定

ストラディヴァリウス・コンサート **Encounter with Stradivari 2024**

日本音楽財団設立 50 周年記念公演 **50th Anniversary of Nippon Music Foundation**

(予定する開催地と出演者)

09.01 住友生命いずみホール(大阪) Izumi Hall (Osaka)

09.03 紀尾井ホール(東京) Kioi Hall (Tokyo)

09.07 東京オペラシティコンサートホール(東京) Tokyo Opera City Concert Hall (Tokyo)

ゴルトムント・クアルテット Gordmunt String Quartet	Stradivarius “Paganini Quartet”
フロリアン・シェッツ Florian Schötz	Stradivarius 1727 Violin “Paganini”
ピンカス・アット Pinchas Adt	Stradivarius 1680 Violin “Paganini”
クリストフ・ヴァンドーリ Christoph Vandory	Stradivarius 1731 Viola “Paganini”
ラファエル・パラトーレ Raphael Paratore	Stradivarius 1736 Cello “Paganini”
キム・スーヤン Suyoen Kim	Stradivarius 1702 Violin “Lord Newlands”
ティモシー・チューイ Timoty Chooi	Stradivarius 1709 Violin “Engleman”
マリア・デュエニャス Maria Dueñas	Stradivarius 1710 Violin “Camposelice”
レイ・チェン Ray Chen	Stradivarius 1714 Violin “Dolphin”
外村理紗 Risa Hokamura	Stradivarius 1715 Violin “Joachim”
吉田 南 Minami Yoshida	Stradivarius 1716 Violin “Booth”
イム・ジヨン Ji Young Lim	Stradivarius 1717 Violin “Sasserno”
ジュゼッペ・ジッポーニ Giuseppe Gibboni	Stradivarius 1722 Violin “Jupiter”
金川真弓 Mayumi Kanagawa	Stradivarius 1725 Violin “Wilhelmj”
ルン・リー Lun Li	Stradivarius 1735 Violin “Samazeuilh”
吉本梨乃 Rino Yoshimoto	Stradivarius 1736 Violin “Muntz”
カミール・トマ Camille Thomas	Stradivarius 1730 Cello “Feuermann”
ベンジャミン・バイルマン Benjamin Beilman	Guarneri del Gesù 1740 Violin “Ysaÿe”
池田菊衛 Kikuei Ikeda	Stradivarius 1690 Viola “Medici”*(9/1, 9/3 のみ)
江口 玲 Akira Eguchi	Piano(9/1, 9/3 のみ)
東京交響楽団 Tokyo Symphony Orchestra	オーケストラ(9/7 のみ)
広上淳一 Junichi Hirogami	指揮(9/7 のみ)
ストラディヴァリウス 17 挺	17 Stradivarius instruments
*1 挺はアメリカ在住の個人より借用	
グアルネリ・デル・ジェス 1 挺	1 Guarneri del Gesù instrument

「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み

2019年度より、4年ごとの大規模な「ストラディヴァリウス・コンサート」の間の3年は、被貸与者2~3名程度の小規模な「ストラディヴァリウス・コンサート」をシリーズ化し開催している。

2019

ストラディヴァリウス・コンサート **Encounter with Stradivari 2019**

09.06 福岡シンフォニーホール(福岡) Fukuoka Symphony Hall (Fukuoka)

09.08 いずみホール(大阪) Izumi Hall (Osaka)

09.10 サントリーホール小ホール(東京) Suntory Hall (Tokyo)

イム・ジヨン Ji Young Lim	Stradivarius 1717 Violin "Sasserno"
(2挺のストラド演奏)	Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti"
ベンジャミン・バイルマン Benjamin Beilman	Stradivarius 1709 Violin "Engleman"
萩原麻未 Mami Hagiwara	Piano
ストラディヴァリウス 3挺	3 Stradivarius instruments

2021 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止

ストラディヴァリウス・コンサート **Encounter with Stradivari 2021**

(予定していた日程と出演者)

09.06 住友生命いずみホール(大阪) Izumi Hall (Osaka)

09.09 サントリーホール小ホール(東京) Suntory Hall (Tokyo)

09.10 サントリーホール小ホール(東京) Suntory Hall (Tokyo)

09.11 とりぎん文化会館 梨花ホール(鳥取) Torigin Bunka kaikan Hall (Tottori)

ゴルトムント・クアルテット Gordmunt String Quartet	Stradivarius "Paganini Quartet"
フロリアン・シェッツ Florian Schötz (1st vn)	Stradivarius 1727 Violin "Paganini"
ピンカス・アット Pinchas Adt (2nd vn)	Stradivarius 1680 Violin "Paganini"
クリストフ・ヴァンドーリ Christoph Vandory	Stradivarius 1731 Viola "Paganini"
ラファエル・パラトーレ Raphael Paratore	Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
ストラディヴァリウス 4挺	4 Stradivarius instruments

2022

ストラディヴァリウス・コンサート **Encounter with Stradivari 2022**

10.07 サントリーホール小ホール(東京) Suntory Hall (Tokyo)

10.08 サントリーホール小ホール(東京) Suntory Hall (Tokyo)

10.10 倉吉未来中心大ホール(鳥取) Tottori Prefectural Kurayoshi Mirai Chusin Hall (Tottori)

10.12 住友生命いずみホール(大阪) Izumi Hall (Osaka)

ゴルトムント・クアルテット Gordmunt String Quartet	Stradivarius "Paganini Quartet"
フロリアン・シェッツ Florian Schötz (1st vn)	Stradivarius 1727 Violin "Paganini"
ピンカス・アット Pinchas Adt (2nd vn)	Stradivarius 1680 Violin "Paganini"
クリストフ・ヴァンドーリ Christoph Vandory	Stradivarius 1731 Viola "Paganini"
ラファエル・パラトーレ Raphael Paratore	Stradivarius 1736 Cello "Paganini"
ストラディヴァリウス 4挺	4 Stradivarius instruments

2023

ストラディヴァリウス・コンサート **Encounter with Stradivari 2023**

09.22 住友生命いずみホール(大阪) Izumi Hall (Osaka)

09.24 紀尾井ホール(東京) Kioi Hall (Tokyo)

キム・スーヤン Suyoen Kim	Stradivarius 1702 Violin "Lord Newlands"
マリア・デュエニャス Maria Dueñas	Stradivarius 1710 Violin "Camposelice"
パブロ・フェランデス Pablo Ferrández	Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford"
江口 玲 Akira Eguchi	Piano
ストラディヴァリウス 3挺	3 Stradivarius instruments



「チャリティ・コンサート」の開催一覧

(国内)

開催年月日	名称	場所	出演	寄付先	寄付額	備考
2003.5.28	アイザック・スターン メモリアル・コンサート	第一生命(東京)	Pinchas Zukerman(vn) Tatiana Goncharova(Pf)	アイザック奨学基金 カナダ・ナショナル・アーツ センターの若手育成プロ グラム	¥2,750,000	US\$30,000.00
2005.10.20	「樫本大進リサイタル」 ザ・フェニックスホール10周年チャ リティ・コンサート	ザ・フェニックスホール (大阪)	樫本大進(vn) 児島一江(pf)	足長育英会(奨学基金)	¥1,000,000	
2008.3.25	竹澤恭子&南紫音 チャリティ・コ ンサート 「子どもの村福岡」建設支援	福岡シンフォニーホール アクロス福岡(福岡)	竹澤恭子(vn) 南 紫音(vnf) 江口 玲(pf)	NPO法人こどもの村福岡 を設立する会	¥5,255,485	
2009.1.19	庄司紗矢香&小菅優 チャリティ・ コンサート 「子どもの村福岡」建設支援	福岡シンフォニーホール アクロス福岡(福岡)	庄司紗矢香(vn) 小菅 優(pf)	NPO法人こどもの村福岡 を設立する会	¥5,760,000	
2010.2.2	竹澤恭子&江口玲 チャリティ・コンサート	石川県立音楽堂邦楽 ホール(石川)	竹澤恭子(vn) 江口 玲(pf)	オーケストラアンサンブル 金沢「福祉コンサート」事 業	¥531,266	
2010.11.20	内田光子&Viviane Hagner デュオ・コンサート	東京オペラシティコン サートホール(東京)	Viviane Hagner(vn) 内田光子(pf)	オーケストラ連盟青少年育 成基金	¥5,106,392	
2011.1.27	ストラディヴァリウス&デル・ジェス チャリティ・コンサート2011	いづみホール(大阪)	渡辺玲子(vn) Yuki Manuela Janke(vn) 江口 玲(pf)	いづみホール音楽普及活 動	¥635,600	
2011.1.29	ストラディヴァリウス&デル・ジェス チャリティ・コンサート2011	北國新聞赤羽ホール (石川)	渡辺玲子(vn) Yuki Manuela Janke(vn) 江口 玲(pf)	(財)石川県芸術文化協会 「0歳からの音楽会」支援	¥1,000,000	
2011.2.17	東京クワルテット with ストラディ ヴァリウス ～阪神淡路大震災「1.17希望の灯 り」チャリティ・コンサート～	神戸文化ホール中ホー ル(兵庫)	東京クワルテット	NPO法人阪神淡路大震災 「1.17希望の灯り」	¥1,645,000	
2011.8.31	ストラディヴァリウス&N響 チャリティ・コンサート ～東日本大震災復興支援～	サントリーホール(東京)	NHK交響楽団 梅田敏明指揮 Veronika Eberle(vn) Sergey Khachatryan(vn) 藤森亮一(vc)	東日本大震災被災者支援 3件 ①岩手県沿岸部の学習支 援プロジェクト 3,500,000円 ②子どもの村東北設立支 援 1,000,000円 ③日独交流150周年記念 事業 1,498,451円	¥5,998,451	支援先3件
2012.1.21	諏訪内晶子 ヴァイオリン・コンサート	岡山市立オリエント美術 館内特設会場(岡山)	諏訪内晶子(vn) 林 絵里(pf)	「離党の子供達をオリエ ント美術館に招くための基 金」創設	¥1,000,000	
2012.1.23	諏訪内晶子 ヴァイオリン・コンサート	福岡シンフォニーホール アクロス福岡(福岡)	諏訪内晶子(vn) 林 絵里(pf)	子どもの村福岡	¥5,819,356	
2013.8.8	ストラディヴァリウス チャリティ・コンサート	三田市立総合文化セン ター郷の音ホール (兵庫)	Alina Pogostkina(vn) 林 絵里(pf)	こども発達支援センターさ んだ	¥1,912,500	
2013.12.17	ストラディヴァリウス&N響 チャリティ・コンサート	Bunkamuraオーチャード ホール(東京)	NHK交響楽団 井上道義指揮 諏訪内晶子(vn) 石坂団十郎(vc)	「日本SOS子どもの村」を 通じて被災地の子ども支 援	¥4,121,551	
2014.6.24	「ストラディヴァリウスの響き」 チャリティ・コンサート	よみうりホール(東京)	Ray Chen(vn) 石坂団十郎(vc) 江口 玲(pf)	子どもの心と身体の成長 支援ネットワーク	¥1,000,000	読売新聞を通じ て寄付
2014.6.25		サントリーホール(東京)	読売日本交響楽団 Ray Chen(vn) 石坂団十郎(vc)			
2014.11.20	ストラディヴァリウス・チャリティ・コ ンサート 「五嶋 龍 ヴァイオリン・リサイタル」	三田市立総合文化セン ター郷の音ホール(兵 庫)	五嶋 龍(vn) 林 絵里(pf)	こども発達支援センターさ んだ	¥1,878,000	
2015.11.27	ストラディヴァリウス・チャリティ・コ ンサート 「パブロ・フェランデス・チェロリサ イタル」	三田市立総合文化セン ター郷の音ホール(兵 庫)	Pablo Ferrández(vc) 鳥羽亜矢子(pf)	こども発達支援センターさ んだ	¥1,850,500	
2016.1.8	ストラディヴァリウスの響き チャリティ・コンサート	兵庫芸術文化センター KOBELCO大ホール (兵庫)	兵庫芸術文化センター管 弦楽団、Charles Olivieri-Munore指揮 Yuki Manuela Janke(vn) Pablo Ferrández(vc)	インターナショナルアカデミー支援	¥4,682,000	

「チャリティ・コンサート」の開催一覧

開催年月日	名称	場所	出演	寄付先	寄付額	備考
2016.11.18	渡辺玲子 チャリティ・コンサート	しらかわホール(愛知)	渡辺玲子(vn) 林 絵里(pf)	NPO法人全国福祉理美容 師養成協会(NPO法人ふ くりび)	¥1,797,000	
2017.4.14	諏訪内晶子 ヴァイオリンチャリティ・コンサート	浦安音楽ホール(千葉)	諏訪内晶子(vn) 金子陽子(pf)	浦安市文化基金	¥1,650,000	
2018.1.31	山中伸弥教授トーク&レイ・チェン ヴァイオリン チャリティ・コンサート	紀尾井ホール(東京)	Ray Chen(vn) 林 絵里(pf)	iPS細胞研究所	¥7,950,000	
2018.4.18	Svetlin Roussev ヴァイオリンチャリティ・コンサート	浦安音楽ホール(千葉)	Svetlin Roussev(vn) 上田晴子(pf)	浦安市文化基金	¥852,000	
2019.3.5	竹澤恭子&江口玲 デュオ・リサイタル	王子ホール(東京)	竹澤恭子(vn) 江口 玲(pf)	岡山県倉敷市真備町	¥934,016	西日本豪雨で被災した倉敷市真備町「マービーふれあいセンター」の再建のため
2019.4.20	セルゲイ・ハチャトリアン ヴァイオリンリサイタル	浦安音楽ホール(千葉)	Sergey Khachatryan(vn) Lusine Khachatryan(pf)	浦安市文化基金	¥1,082,000	
2019.10.29	Encounter with Stradivari 2019 福岡公演	福岡シンフォニーホール (福岡)	Veronika Eberle(vn) Benjamin Beilaman(vn) 萩原麻未(pf)	SOS子供の村JAPAN 福岡市立子供病院	¥3,726,600	
2019.10.30	Encounter with Stradivari 2019 大阪公演	いずみホール(大阪)	Veronika Eberle(vn) Benjamin Beilaman(vn) 萩原麻未(pf)	京都大学iPS細胞研究所	¥3,855,300	
2019.10.31	Encounter with Stradivari 2019 東京公演	サントリーホール小ホール 東京)	Veronika Eberle(vn) Benjamin Beilaman(vn) 萩原麻未(pf)	国立成育医療研究センター もみじの家	¥1,732,500	
2020.7.8	マリア・デュエニャス ヴァイオリン・リサイタル (コロナウ イルス感染症の影響で開催中止)	サントリーホール大ホール (東京)		NPO 法人「子どもに音楽 を」	¥4,000	払戻がされなかったチケット代金を当初予定団体へ寄付
2020.11.3	大谷康子 ヴァイオリン・リサイタル	J:COM浦安音楽ホール (千葉)	大谷康子(vn) 佐藤隆史(pf)	浦安市文化基金	¥487,000	新型コロナ感染防止対策で入場数制限
2022.1.24.	ストラディヴァリウス デュオ・コンサート	J:COM浦安音楽ホール (千葉)	大谷康子(vn) 吉田 南(vn) 福岡 洗太郎(pf)	浦安市文化基金	¥660,000	
2022.4.26	マリア・デュエニャス&N響ス ペシャルコンサート(コロナウ イルス感染症の影響で開催中止)	東京文化会館大ホール (東京)			-	
2022.6.29	ストラディヴァリウス チェロ・リサイタル	J:COM浦安音楽ホール (千葉)	Camille Thomas(vc) 萩原麻未(pf)	浦安市	¥700,000	全額浦安市の文化事業に使われる
2022.10.7 2022.10.8	Encounter with Stradivari 2022 東京公演	サントリーホール小ホール (東京)	Goldmund Quartet	(公財)サントリー芸術財団 の行う公益事業	¥2,668,500	
2022.10.10	Encounter with Stradivari 2022 鳥取公演	倉吉未来中心大ホール (鳥取)	Goldmund Quartet	(公財)鳥取県文化振興財 団の行う公益事業	¥3,063,500	
2022.10.12	Encounter with Stradivari 2022 大坂公演	いずみホール(大阪)	Goldmund Quartet	(一財)住友生命福祉文化 財団の行う公益事業	¥860,720	
2023.9.22	Encounter with Stradivari 2023 大阪公演	いずみホール(大阪)	Suyoen Kim(vn) María Dueñas (vn) Pablo Ferrández(vc) 江口 玲(pf)	(一財)住友生命福祉文化 財団の行う公益事業	¥734,000	
				(社福)日本ライトハウスの 行う公益事業	¥1,110,000	
2023.9.24	Encounter with Stradivari 2023 東京公演	紀尾井ホール (東京)	Suyoen Kim(vn) María Dueñas (vn) Pablo Ferrández(vc) 江口 玲(pf)	(公財)日本製鉄文化財団 の行う公益事業	¥2,785,650	
				計	¥88,598,887	



「チャリティ・コンサート」の開催一覧

(10挺以上の楽器を一堂にしたストラディヴァリウス・コンサート)

開催年月日	名称	場所	出演	寄付先	寄付額	備考
2008.9.6	Encounter With Stradivari 2008	いづみホール(大阪)	貸与者15名 小林道夫(チェンバロ) 江口 玲 (Pf)	住友生命社会福祉事業団	¥2,000,000	読売新聞を通じて寄付
2008.9.7	Encounter With Stradivari 2008	しらかわホール(愛知)	貸与者15名 小林道夫(チェンバロ) 江口 玲 (Pf)	三井住友海上文化財団	¥2,000,000	読売新聞を通じて寄付
2008.9.9	Encounter With Stradivari 2008	サントリーホール(東京)	貸与者15名 小林道夫(チェンバロ) 江口 玲 (Pf)	サントリーホール車いす利用者プロジェクト	¥5,000,000	読売新聞を通じて寄付
2012.9.6	Encounter With Stradivari 2012	福岡シンフォニーホール アクロス福岡(福岡)	貸与者11名 江口 玲 (Pf)	子どもの村福岡	¥5,000,000	読売新聞を通じて寄付
2012.9.8	Encounter With Stradivari 2012	兵庫県立芸術文化センター大ホール(兵庫)	貸与者11名 江口 玲 (Pf)	(兵庫は支援先無し)	-	
2012.9.10	Encounter With Stradivari 2012	サントリーホール(東京)	貸与者11名 江口 玲 (Pf)	サントリーホール車いす利用者プロジェクト	¥5,000,000	読売新聞を通じて寄付
2016.9.9	Encounter With Stradivari 2016	フェスティバルホール(大阪)	貸与者13名 江口 玲 (Pf)	社会福祉法人日本ライトハウス「盲導犬育成支援」	¥18,906,000	財団から直接寄付
2016.9.12	Encounter With Stradivari 2016	福岡シンフォニーホール アクロス福岡(福岡)	貸与者13名 江口 玲 (Pf)	(特非)SOS子どもの村 JAPAN	¥11,590,400	
2016.9.13	Encounter With Stradivari 2016	サンリーホール(東京)	貸与者13名 江口 玲 (Pf)	サントリーホール車いす利用者プロジェクト	¥5,049,000	
2020.9.6	Encounter With Stradivari 2020 (中止)	福岡シンフォニーホール アクロス福岡(福岡)		(特非)SOS子どもの村 JAPAN	¥38,400	新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止、払戻がされなかったチケット代を予定団体へ寄付
2020.9.8	Encounter With Stradivari 2020 (中止)	いづみホール(大阪)		(一財)住友生命福祉文化財団	¥8,000	
2020.9.10	Encounter With Stradivari 2020 (中止)	サントリーホール(東京)		(公財)サントリー芸術財団	¥366,000	
				計	¥54,957,800	

(海外)

開催年月日	名称	場所	出演	寄付先	備考
2001.4.19	Seven Stradivarius Benefit Concert	The Royal Academy of Music Concert Hall, Stockholm	貸与者他7名 Simon Crawford-Phillips (Pf)	スウェーデン赤十字社	チャリティ基金約120万円
2001.5.23	A Stradivari Musical Extravaganza	Lancaster House, London	貸与者10名 Ian Brown (Pf)	フィルハーモニアオーケストラと室内楽マスターコースIMS Prussia Coveで折半された	チケット売上約880万円と寄付金が集まった
2006.10.5	Encounter with Stradivari 2006	Palais des Beaux-Arts, Bozar Bruxelles	貸与者12名 占部由美子 (Pf)	ベルギー・エリザベート王妃国際音楽コンクール	コンクールの基金(運営資金)へ寄付
2007.10.7	Encounter with Stradivari 2007	Theater House, Castleton Farm, U.S.A.	貸与者11名 占部由美子 (Pf)	シャトーヴィル財団	若手演奏家事業に使われる
2007.10.9	Encounter with Stradivari 2007	National Gallery of Canada	貸与者12名 占部由美子 (Pf)	Pincas Zukermanの主宰する若手演奏家育成事業支援	
2009.11.5	Encounter with Stradivari 2009	Helmut List Halle, Graz	貸与者11名 占部由美子 (Pf)	AVL Cultural 財団が実施する若手作曲家と演奏家の支援事業	
2009.11.7	Encounter with Stradivari 2009	Galleria dell'Accademia, Firenze	貸与者11名 占部由美子 (Pf)	Teatro del Maggio Musicale Fiorentinoが実施する学校を対象とした音楽教育振興のためのチャリティ	

「Encounter with Stradivari」の出演者は資料⑥「ストラディヴァリウス・コンサート」の歩み参照



「青少年のためのコンサート」の歩み

「青少年のためのコンサート」は、良質なクラシック音楽に早くから触れることで、将来のクラシック音楽愛好者の増加につながると考え、積極的に取り組んでいる。

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
	演奏家(使用楽器)	特記事項
2011.11.11	青少年のためのレクチャー・コンサート2011 「音楽における愛のかたち」	アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	
2012.11. 6	青少年のためのレクチャー・コンサート 2012 「大作曲家たちの友情と反目」	アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	助成事業として支援
2013.10.27	青少年のためのレクチャー・コンサート 「大作曲家たちの友情と反目」	鶴来総合文化会館クレインホール(石川県白山市)
	渡辺玲子 (Stradivarius Violin 1725 "Wilhelmj") 江口 玲(ピアノ)	助成事業として支援
2013.11.8	青少年のためのレクチャー・コンサート 「音楽の楽しみ」	アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市)
	渡辺玲子 (Stradivarius Violin 1725 "Wilhelmj") 江口 玲(ピアノ)	助成事業として支援
2014.1.19	青少年のためのレクチャー・コンサート 「大作曲家たちの友情と反目」	北九州市立響ホール(福岡県北九州市)
	渡辺玲子 (Stradivarius Violin 1725 "Wilhelmj") 江口 玲 (ピアノ) 北九州市ジュニアオーケストラ	助成事業として支援 (市制50周年記念の一環として実施)
2014.11.7	青少年のためのレクチャー・コンサート 「名曲への誘い」	アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	
2014.12.14	青少年のためのレクチャー・コンサート 「音楽の楽しみ」	鶴来総合文化会館クレインホール(石川県白山市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	
2015.2.14	子どもたちのためのレクチャー・コンサート 「音楽の楽しみ」	北九州市立響ホール(福岡県北九州市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	
2015.10.30	青少年のためのレクチャー・コンサート 「ベートーヴェンを聴こう」	アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	
2016.2.7	子どもたちのレクチャー・コンサート 「名曲への誘い」	北九州市立響ホール(福岡県北九州市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	
2016.11.11	青少年のためのレクチャー・コンサート 「名曲を聴こう」	アトリオン音楽ホール(秋田県秋田市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	
2017.7.16	青少年のためのレクチャー・コンサート 「名曲を聴こう」	宇部市渡辺翁記念会館(山口県宇部市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	助成事業として支援
2017.12.8	青少年のためのレクチャー・コンサート 「名曲を聴こう」	北九州市立響ホール(福岡県北九州市)
	渡辺玲子 (Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲 (ピアノ)	



「青少年のためのコンサート」の歩み

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
	演奏家(使用楽器)	特記事項
2017.12.17	青少年のためのレクチャー・コンサート 「名曲を聴こう」	浦安音楽ホール(千葉県浦安市)
	渡辺玲子(Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)	
2018.7.23	海と日本PRoJECT 飛鳥II 船上ヴァイオリン演奏会	横浜港寄港中の「飛鳥II」船内ギャラクシーラウンジ
	Yuki Manuela Janke (Strad 1736 Violin "Muntz") 林 絵里(ピアノ)	日本財団との共同事業 対象者:横浜市中区と渋谷区の小学生親子
2018.12.13	青少年のためのレクチャー・コンサート 「音楽における愛のかたち」	北九州市立響ホール(福岡県北九州市)
	渡辺玲子(Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)	
2019.2.6	青少年のためのレクチャー・コンサート 「音楽における愛のかたち」	浦安音楽ホール(千葉県浦安市)
	渡辺玲子(Guarneri del Gesù 1736 Violin "Muntz") 江口 玲(ピアノ)	
2019.12.5	青少年のためのヴァイオリン・コンサート	北九州市立響ホール(福岡県北九州市)
	大谷康子(Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj") 佐藤卓史(ピアノ)	
2020.1.25	青少年のためのヴァイオリン・コンサート	浦安市文化会館小ホール(千葉県浦安市)
	大谷康子(Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj") 佐藤卓史(ピアノ)	
2020.10.19	青少年のためのヴァイオリン・コンサート	境港シンフォニーガーデン(鳥取県境港市)
	大谷康子(Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj") 小山さゆり(ピアノ)	
2021.3.21	子どもの未来をひらくヴァイオリン・コンサート	黒崎ひびしんホール(福岡県北九州市)
	大谷康子(Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj") 林 絵里(ピアノ) 北九州市ジュニアオーケストラ	
2021.11.18	青少年のためのヴァイオリン・コンサート	大栄農村環境改善センター(鳥取県北栄町)
	大谷康子(Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj") 松本和将(ピアノ)	
2020.11.19	青少年のためのヴァイオリン・コンサート	日南町総合文化センターさつきホール(鳥取県日南町)
	大谷康子(Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj") 松本和将(ピアノ)	
2022.2.27	子どもの未来をひらくヴァイオリン・コンサート(コロナ禍のため中止)	黒崎ひびしんホール(福岡県北九州市)
	大谷康子(Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj") 松本和将(ピアノ) 北九州市ジュニアオーケストラ	
2023.9.11	ヴェロニカ・エーベルレ・ヴァイオリン・リサイタル (千葉県文化振興財団との共同事業)	千葉県南総文化ホール(千葉県館山市)
	Veronika Eberle (Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti") 山田武彦(ピアノ)	
2023.9.12	ヴェロニカ・エーベルレ・ヴァイオリン・リサイタル (千葉県文化振興財団との共同事業)	千葉県東総文化ホール(千葉県旭市)
	Veronika Eberle (Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti") 山田武彦(ピアノ)	

「オーケストラとの共演コンサート」の歩み

日本国内のオーケストラとの共演コンサート(楽器貸与者がソリストとして出演)は、双方において技術のレベルアップに繋がるとともに、各開催都市においてのクラシック音楽の普及振興に寄与し、クラシック音楽ファンの拡大に貢献している。

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
	管弦楽団名、指揮者名	演奏家名(使用楽器)
2003.11.26	Age of Stradivarius	東京オペラシティコンサートホール(東京都新宿区)
	管弦楽 ロイヤルチェンバーオーケストラ 指揮 堤 俊作	内田 輝(Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti") 諏訪内晶子(Stradivarius 1714 Violin "Dolphin") 佐藤俊介(Stradivarius 1725 Violin "Wilhelmj") Judith Ingolfsson(Stradivarius 1736 Violin "Muntz") Clive Greensmith(Stradivarius 1736 Cello "Paganini")
2003.11.27	Age of Stradivarius	東京オペラシティコンサートホール(東京都新宿区)
	管弦楽 ロイヤルチェンバーオーケストラ 指揮 堤 俊作	Baiba Skride(Stradivarius 1708 Violin "Huggins") Viviane Hagner(Stradivarius 1717 Violin "Sasserno") 樫本大進(Stradivarius 1722 Violin "Jupiter") 磯村和英(Stradivarius 1731 Viola "Paganini")
2011.8.11	「東日本大震災復興支援」 ストラディヴァリウス&N響 チャリティ・コンサート	サントリーホール(東京都港区)
	管弦楽 NHK交響楽団 指揮 梅田敏明	Veronika Eberle(Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti") Sergey Khachatryan(Stradivarius 1702 Violin "Lord Newlands") 藤森亮一(Stradivarius 1730 Cello "Feruerman")
2013.12.17	「日本SOS子供の村」を通じて被災地の子供支援 ストラディヴァリウス&N響 チャリティ・コンサート	Bunkamuraオーチャード(東京都渋谷区)
	管弦楽 NHK交響楽団 指揮 井上道義	諏訪内晶子(Stradivarius 1714 Violin "Dolphin") 石坂団十郎(Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford")
2014.6.25	ストラディヴァリウスの響き	サントリーホール(東京都港区)
	管弦楽 読売日本交響楽団 指揮 日光寺雅彦	Ray Chen(Stradivarius 1715 Violin "Joachim") 石坂団十郎(Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford")
2014.9.26	第12回「いずみホール」夢コンサート	いずみホール(大阪府大阪市)
	管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団 指揮 藤岡幸夫	Yuki Manuela Janke(Stradivarius 1736 Violin "Muntz")
2015.10.7	第13回「いずみホール」夢コンサート	いずみホール(大阪府大阪市)
	管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団 指揮 藤岡幸夫	渡辺玲子(Guarnieri del Gesù 1736 Violin "Muntz")
2016.1.8	インターナショナル・オーケストラ・アカデミー支援 兵庫芸術文化センター管弦楽団 第32回名曲コンサート 「ストラディヴァリウスの響き」PACニューイヤーマン曲コンサート	兵庫芸術文化センター(兵庫県西宮市)
	管弦楽 兵庫芸術文化管弦楽団 指揮 Charles Olivieri-Muntore	Yuki Manuela Janke(Stradivarius 1736 Violin "Muntz") Pablo Ferrández(Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford")
2016.9.15	第14回「いずみホール」夢コンサート	いずみホール(大阪府大阪市)
	管弦楽 関西フィルハーモニー管弦楽団 指揮 藤岡幸夫	石坂団十郎(Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesford")
2018.2.3	名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ1「ヨアヒム」 豊田市コンサートシリーズVol.5	豊田市コンサートホール(愛知県豊田市)
	管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮 小泉和裕	Ray Chen(Stradivarius 1715 Violin "Joachim")
2018.2.8	名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ2「ハギンズ」 第60回市民会館名曲シリーズ<ベートーヴェン・ツィクルスV>	日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋)
	管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮 川瀬賢太郎	Ji Young Lim(Stradivarius 1708 Violin "Huggins")



「オーケストラとの共演コンサート」の歩み

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
	管弦楽団名、指揮者名	演奏家名(使用楽器)
2018.2.16 2018.2.17	名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ3「サセルノ」	日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市)
	管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮 広上淳一	Alina Pogostkina (Stradivarius 1717 Violin "Sasserno")
2019.1.10	名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ4 「ロード・ニューランド&ファイアマン」 第65回市民会館名曲シリーズ<ベートーヴェン・ツィクルスX>	日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市)
	管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮 小泉和裕	Suyoen Kim (Stradivarius 1702 Violin "Lord Newlands") 石坂団十郎 (Stradivarius 1730 Cello "Feuermann") 田村 響(ピアノ)
2019.2.22 2019.2.23	名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ5「ドラゴネッティ」 第465回定期演奏会<レム『ソラリス』>	愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知県名古屋市)
	管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮 Antoni Wit	Veronika Eberle (Stradivarius 1700 Violin "Dragonetti")
2019.3.13	名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ6「エンゲルマン」 平日午後のオーケストラVol.3	日本特殊陶業市民会館フォレストホール(愛知県名古屋市)
	管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮 円光寺雅彦	Benjamin Beilman (Stradivarius 1709 Violin "Engleman")
2020.1.17	名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ7「ロード・アイレスフォード」 名フィル第475回定期演奏会 畢生の傑作<マスターピース>シリーズ	愛知県芸術劇場コンサートホール(愛知県名古屋市)
	管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮 沼尻竜典	Pablo Ferrández (Stradivarius 1696 Cello "Lord Aylesofrd")
2020.2.1	名古屋フィルハーモニー交響楽団との共同事業 日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズ8「ムンツ」 名フィル豊田コンサートシリーズVol.8	豊田市コンサートホール(愛知県豊田市)
	管弦楽 名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮 大植英次	Yuki Manuela Janke (Stradivarius 1736 Violin "Muntz") 豊田市ジュニアオーケストラ(一部出演)
2021.2.5	日本オーケストラ連盟との共同事業 大阪交響楽団第246回定期演奏会	ザ・シンフォニーホール(大阪府大阪市)
	管弦楽 大阪交響楽団 指揮 太田 弦	※渡辺玲子 (Stradivarius 1735 Violin "Samazeuilh")
2022.1.15 2022.1.16	日本オーケストラ連盟との共同事業 山形交響楽団第298回定期演奏会	山形テルサホール(山形県山形市)
	管弦楽 山形交響楽団 指揮 下野竜也	※吉田 南 (Stradivarius 1716 Violin "Booth")
2022.1.23	日本オーケストラ連盟との共同事業 東京ニューシティ管弦楽団第145回定期演奏会	東京芸術劇場コンサートホール(東京都豊島区)
	管弦楽 東京ニューシティ管弦楽団 指揮 曾我大介	※吉田 南 (Stradivarius 1716 Violin "Booth")
2022.2.5	日本オーケストラ連盟との共同事業 神奈川フィルハーモニー管弦楽団第375回定期演奏会	神奈川県民ホール大ホール(神奈川県横浜市)
	管弦楽 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 指揮 大植英次	※吉田 南 (Stradivarius 1716 Violin "Booth")
2023.2.19	日本オーケストラ連盟との共同事業 東京交響楽団 第968回定期演奏会Cシリーズ	東京芸術劇場大ホール(東京都豊島区)
	管弦楽 東京都交響楽団 指揮 Yan Pascal Tortelier	Benjamin Beilman (Guarneri del Gesù Violin "Ysaÿe")



「オーケストラとの共演コンサート」の歩み

開催年月日	演奏会タイトル	開催場所
	管弦楽団名、指揮者名	演奏家名(使用楽器)
2023.2.25	日本オーケストラ連盟との共同事業 奈良フィルハーモニー交響楽団 第52回定期演奏会	奈良県文化会館国際ホール(奈良県奈良市)
	管弦楽 奈良フィルハーモニー管弦楽団 指揮 栗辻 聡	Benjamin Beilman (Guarneri del Gesù Violin "Ysaÿe")
2023.3.4	日本オーケストラ連盟との共同事業 富士山静岡交響楽団 第117回定期演奏会	静岡市清水文化会館(マリナート)(静岡県清水市)
	管弦楽 富士山静岡交響楽団 指揮 高関 健	Timothy Chooi (Stradivarius 1709 Violin "Engleman")
2023.3.5	日本オーケストラ連盟との共同事業 富士山静岡交響楽団 第117回定期演奏会	アクトシティ浜松(静岡県浜松市)
	管弦楽 富士山静岡交響楽団 指揮 高関 健	Timothy Chooi (Stradivarius 1709 Violin "Engleman")
2023.3.9	日本オーケストラ連盟との共同事業 日本センチュリー交響楽団 第270回定期演奏会	ザ・シンフォニーホール(大阪府大阪市)
	管弦楽 日本センチュリー交響楽団 指揮 川瀬賢太郎	Timothy Chooi (Stradivarius 1709 Violin "Engleman")
2023.3.11	日本オーケストラ連盟との共同事業 中部フィルハーモニー交響楽団 小牧特別演奏会	小牧市市民会館(愛知県小牧市)
	管弦楽 中部フィルハーモニー交響楽団 指揮 田中祐子	Timothy Chooi (Stradivarius 1709 Violin "Engleman")
2024.1.6	日本オーケストラ連盟との共同事業 県民名曲シリーズ第18回	神奈川県民ホール大ホール(神奈川県横浜市)
	管弦楽 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 指揮 出口大地	外村理紗(Stradivarius 1715 Violin "Joachim")
2024.1.8	日本オーケストラ連盟との共同事業 ユアタウンコンサート米沢公演	伝国の杜 置賜文化ホール(山形県米沢市)
	管弦楽 山形交響楽団 指揮 阪 哲朗	外村理紗(Stradivarius 1715 Violin "Joachim")
2024.1.27	日本オーケストラ連盟との共同事業 特別演奏会 第18回フレッシュ・コンサート	神奈川県立音楽堂(神奈川県横浜市)
	管弦楽 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 指揮 横山 奏	Stella Chen (Stradivarius 1708 Violin "Huggins")
2024.1.31	日本オーケストラ連盟との共同事業 第268回定期演奏会	ザ・シンフォニーホール(大阪府大阪市)
	管弦楽 神奈川県フィルハーモニー管弦楽団 指揮 原田慶太楼	Stella Chen (Stradivarius 1708 Violin "Huggins")

※2021年2月から2022年2月までの開催は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により海外からの渡航制限のため、予定していた海外在住の被貸与者にかわり、日本人の被貸与者が代演した。



保有楽器の被貸与者によるCD等一覧(2014年度～2023年度)

過去のCD等一覧 1994年-2003年 30年誌掲載
2004年-2013年 40年誌掲載

(2014年度以降に確認ができたもの)

楽器名	被貸与者	CDタイトル	発売日等	備考
Strad "Paganini Quartet"	東京クワルテット	Dvorak Op.96, Smetana string quartet No1	2012	harmonia mundi usa
Strad Cello 1969 "Lord Aylesford"	石坂団十郎	Pavel Haas Quartet, Danjulo Ishizaka Cello, Shubert Death and the Maiden, String Quintet in C Major	2013/7録音 2013/9発売	SUPRAPHON
Strad Cello 1969 "Lord Aylesford"	石坂団十郎	Greig Janacek Kodaly	2012/1録音 2014/6発売	onyx classics
Strad Violin 1710 "Camposelice"	Svetlin Roussev	Ysaÿe The Complete Sonatas For Solo Violin, Op. 27 sonata for Two Violins Tedi Papavrami(Vn 1),Svetlin Roussev(Vn 2)	2012/10録音 2014発売	Outhere Music France
Strad Violin 1702 "Lord Newlands"	Ray Chen	Mozart Violin Concertos K216 & 218	2013/7録音 2014/1/1発売	SONY CLASSICAL
Strad Violin 1716 "Booth"	Arabella Steinbacher	Arabella Steinbacher Mozart: Violin Concertos Nos. 3,4 & 5	2013/9録音 2014/5発売	PENTATONE
Strad Violin 1715 "Joachim" Strad Cello 1730 "Feuermann"	Ray Chen 石坂団十郎	ストラディヴァリウスの響き	2014/6/24録音 2014/6/25CD&DVD収録	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1716 "Booth"	Arabella Steinbacher	Arabella Steinbacher & Robert Kulek Sonatas for Violin and Piano by César Franck and Richard Strauss	2014/9/1	PENTATONE
Strad "Paganini Quartet"	Hagen Quartet	The Timbre of Stradivarius Hagen Quartet plays "Paganini Quartet"	2014/9/29録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1716 "Booth"	Arabella Steinbacher	Documentary "Music of Hope" Arabella Steinbacher in Japan	DVD 2014収録 2015/3発売	NIGHTBERRY
del Gesù 1736 Violin "Muntz"	渡辺玲子	青少年のためのレクチャーコンサート 「名曲への誘い」	2014/11/7録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1722 "Jupiter"	五嶋 龍	「子ども発達支援センター・さんだ」支援 ストラディヴァリウス チャリティ・コンサート 五嶋龍 ヴァイオリン リサイタル	2014/11/20録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Cello 1696 "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández	Pablo Ferrandez Cello Recital パブロ・フェランデス チェロ・リサイタル	2014/12/11録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1708 "Huggins"	Andrey Baranov	Andrey Baranov Violin Recital アンドレイ・バラノフ ヴァイオリン・リサイタル	2015/4/15録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1722 "Jupiter"	五嶋 龍	ベートーヴェン クロイツェル・ソナタ フランク ヴァイオリン・ソナタ	2015/4/29	ユニバーサルクラシックス
Strad Violin 1710 "Camposelice"	Svetlin Roussev	Of Fire and Ice	2012/6/11-13録音 2013/6/17-20録音 2015/5発売	FONDAMENTA
Strad Violin 1716 "Booth "	Arabella Steinbacher	Mendelssohn violin concerto Op. 64 Tchaikovsky violin concerto Op. 35 Orchestre de la Suisse Romande, Charles Dutoit	2015/6/1	PENTATONE キングインターナショナル
Strad Violin 1716 "Booth" Strad Cello 1730 "Feuermann"	Arabella Steinbacher 石坂団十郎	Summer Concert 2015	2015/7/9録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1709 "Engleman"	大谷康子	大谷康子のお菓子な名曲サロン	2015/9/16	キングレコード
Strad Violin 1722 "Jupiter"	五嶋 龍	リフレクションズ(ベスト・アルバム)	2015/10/14	ユニバーサルクラシックス
del Gesù 1736 Violin "Muntz"	渡辺玲子	青少年のためのレクチャーコンサート 「ベートーヴェンを聴こう」	2015/10/30録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1708 "Huggins"	Ji Young Lim	Ji Young Lim Violin Recital イム・ジヨン ヴァイオリン・リサイタル	2015/11/10録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1717 "Sasserno"	Alina Pogostkina	Lived and Dreamed	2015/10/30	Solo Musica (Sony Music)
Strad Violin 1722 "Jupiter"	五嶋 龍	LEGENDE	2015/11/11	ユニバーサルクラシックス
Strad "Paganini Quartet"	Hagen Quartet	Mozart String Quartets K.387 & K.458	2015/11/13	Myrios
Strad Cello 1696 "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández	「子ども発達支援センター・さんだ」支援 ストラディヴァリウス チャリティー・コンサート パブロ・フェランデス チェロリサイタル	2015/11/27録音	国内演奏会実録版 非売品



保有楽器の被貸与者によるCD等一覧(2014年度～2023年度)

楽器名	被貸与者	CDタイトル	発売日等	備考
Strad Violin 1736 "Muntz " Strad Cello 1696 "Lord Aylesford"	Yuki Manuela Janke Pablo Ferrández	インターナショナル・オーケストラ・アカデミー支援 第34回名曲コンサート ストラディヴァリウスの響き -PACニューイヤー名曲コンサート-	2016/1/8録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1714 "Dolphin"	諏訪内晶子	フランク&R.シュトラウス:ヴァイオリン・ソナタ、 武満徹:悲歌	2016/4/6	ユニバーサル ミュージック
Strad Violin 1710 "Camposelice"	Svetlin Roussev	Dvorák-Mendelssohn Piano Trios	2016/4/25	Universal Music LLC
Strad Violin 1710 "Camposelice"	Sevtlin Roussev	Eugene Ysaye Neiges d'antan	2016/5/24	Musique En Wallonie
Strad Violin 1702 "Lord Newlands"	Suyoen Kim	Suyoen Kim Violin Recital キム・スヨン ヴァイオリン・リサイタル	2016/7/13録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1716 "Booth "	Arabella Steinbacher	Fantasies, Rhapsodies & Daydreams	2016/9/9	Pentatone キングインターナ ショナル
Strad "Paganini Quartet" Strad Violin 1680"Paganini" Strad Violin 1727 "Paganini" Strad Viola 1731 "Paganini" Strad Cello 1736 "Paganini" Strad Violin 1700 "Dragonetti" Strad Violin 1710 "Camposelice" Strad Violin 1714 "Dolphin" Strad Violin 1715 "Joachim" Strad Violin 1716 "Booth" Strad Violin 1736 "Muntz" Strad Violin 1709 "Engleman" Strad Cello 1696 "Lord Aylesford" Strad Cello 1730 "Feuermann"	Hagen Quartet Rainer Schmidt Lukas Hagen Veronika Hagen Clemens Hagen Veronika Eberle Svetlin Roussev 諏訪内晶子 Ray Chen Arabella Steinbacher Yuki Manuela Janke Sergey Khachatryan Pablo Ferrández 石坂団十郎	Encouter with Stradivari 2016 ストラディヴァリウス・コンサート2016	2016/9/13録音 CD&DVD	国内演奏会実録版 非売品
del Gesù Violin 1740 "Ysaye"	Sergey Khachatryan	My Armenia	2016/11/9	naïve
del Gesù 1736 Violin "Muntz" (Encore: Strad 1709 Violin "Engleman")	渡辺玲子	「NPOふくりび・アピアランスサポートセンターあいち」支援 渡辺玲子チャリティ・コンサート	2016/11/18録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1710 "Camposelice"	Sevtlin Roussev	Edouard Lalo, Albert Roussel	2016/12/7	arcantus
Strad Violin 1722 "Jupiter"	五嶋 龍	Ryu Goto Violin Recital 五嶋龍 ヴァイオリン・リサイタル	2017/1/31録音	国内演奏会実録版 非売品
del Gesù Violin 1736 "Muntz"	渡辺玲子	Air & Dance on Violin	2017/4/5	fontec
Strad Violin 1714 "Dolphin"	諏訪内晶子	諏訪内晶子ヴァイオリン・リサイタル 浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズVol.1	2017/4/14録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad. Violin 1709 "Engleman"	Benjamin Beilman	Benjamin Beilman Violin Recital ベンジャミン・バイルマン ヴァイオリン・リサイタル	2017/6/21録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad. Violin 1708 "Huggins"	Ji Young Lim	Mozart, Beethoven Violin Sonatas	2017/7/7	Warner Classics
del Gesù Violin 1736 "Muntz"	渡辺玲子	青少年のためのレクチャーコンサート IN 宇部	2017/7/16録音	助成事業演奏会 非売品
Strad Violin 1716 "Booth"	Arabella Steinbacher	「子ども発達支援センター・さんだ」支援チャリティ・コンサート Arabella Steinbacher Violin Recital	2017/7/18録音	助成事業演奏会 非売品
Strad Violin 1716 "Booth"	Arabella Steinbacher	Britten & Hindemith Violin Concertos	2017/10/1	Pentatone キングインターナ ショナル
Strad Violin 1736 "Muntz "	Yuki Manuela Janke	ARTE国際マンドリンフェスティバル&コンクール	2017/10/8録音	助成事業演奏会実 録版 非売品
Strad. Violin 1717 "Sasserno"	Alina Pogostkina	Alina Pogostkina Violin Recital アリーナ・ポゴストキーナ ヴァイオリン・リサイタル	2017/10/17録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1715 "Joachim"	Ray Chen	Ray Chen Violin Recital in support of the CIRA iPS細胞研究所支援 「レイ・チェン ヴァイオリン・リサイタル」	2018/1/31録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1715 "Joachim" Strad Violin 1708 "Huggins" Strad Violin 1717 "Sasserno"	Ray Chen Ji Young Lim Alina Pogstkina	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 「ストラディヴァリウス・シリーズ1～3」	2018/2/3録音 2018/2/8録音 2018/2/16&2/17録 音	名フィル共同事業 実録版 非売品
Strad Violin 1710 "Camposelice"	Sevtlin Roussev	Sevtlin Roussev Violin Recital スヴェトリン・ルセフ ヴァイオリン・リサイタル	2018/4/18録音	国内演奏会実録版 非売品



保有楽器の被貸与者によるCD等一覧(2014年度～2023年度)

楽器名	被貸与者	CDタイトル	発売日等	備考
Strad "Paganini Quartet" Strad Violin 1680 "Paganini" Strad Violin 1727 "Paganini" Strad Viola 1731 "Paganini" Strad Cello 1736 "Paganini" Strad Violin 1710 "Camposelice" Strad Violin 1714 "Dolphin" Strad Violin 1716 "Booth"	Quartetto di Cremona Paolo Andreoli Cristiano Gualco Simone Gramalia Giovanni Scaglione Svetlin Roussev 諏訪内晶子 Arabella Steinbacher	Encounter with Stradivari 2018 "In commemoration of the 70th anniversary of the Universal Declaration of Human Rights" 世界人権宣言 70 周年記念 「ストラディヴァリウス・コンサート 2018」	2018/6/16録音 ジュネーブ	海外演奏会実録版 非売品
Strad "Paganini Quartet"	Quartetto di Cremona	Quartetto di Cremona & Yu Kosuge クレモナ・クアルテット&小菅優	2018/7/2録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad "Paganini Quartet"	Quartetto di Cremona	"Schubert: String Quintet & String Quartet 'Death and the Maiden' Op. 163 (D. 956)"	2018/9/18-22録音	audite
Strad Violin 1716 "Booth"	Arabella Steinbacher	"Richard Strauss: Violin Concerto d-minor"	2018/10/5発売	PENTATONE
del Gesù 1736 Violin "Muntz"	渡辺玲子	青少年のためのレクチャーコンサート 「音楽における愛のかたち」	2018/12/18録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1725 "Wilhelmj"	加野景子	A Manhattan Story II ～Spring～	2019	—
Strad Violin 1702 "Lord Newlands" Strad Cello 1730 "Feuermann" Strad Violin 1700 "Dragonetti" Strad Violin 1709 "Engelman"	Suyoen Kim 石坂団十郎 Veronika Eberle Benjamin Beilman	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 「ストラディヴァリウス・シリーズ4～6」	2019/1/10録音 2019/2/22, 2/23録音 2019/3/13録音	名フィル共同事業 実録版 非売品
Strad 1735 Violin "Samazeuilh"	竹澤恭子	竹澤恭子 & 江口玲デュオ・リサイタル	2019/3/5録音	国内演奏会実録版 非売品
del Gesù 1740 Violin "Ysaye"	Sergey Khachatryan	浦安市・日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズVol.3 セルゲイ・ハチャトゥリアン ヴァイオリン・リサイタル	2019/4/20録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad 1710 Violin "Camposelice"	Svetlin Roussev	Midnight Bells	2019/6/28	YESM & ART
del Gesù 1736 Violin "Muntz"	渡辺玲子	poetry	2019/10/9	fontec
Strad 1700 Violin "Dragonetti" Strad 1717 Violin "Sasserno" Strad 1709 Violin "Engelman"	Ji Young Lim " Benjamin Beilman	Encounter with Stradivari 2019 "ストラディヴァリウス・コンサート2019"	2019/10/31録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad 1725 Violin "Wilhelmj"	大谷康子	青少年のためのヴァイオリン・コンサート	2019/12/5録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad Cello 1696 "Lord Aylesford" Strad Violin 1736 "Muntz"	Pablo Ferrández Yuki Manuela Janke	名古屋フィルハーモニー交響楽団・日本音楽財団共同事業 「ストラディヴァリウス・シリーズ7～8」	2020/1/17&18録音 2020/2/1録音	名フィル共同事業 実録版 非売品
Strad "Paganini Quartet"	Kuss Quartet	The String Quartets Beethoven Kuss Quartet Live from Suntory Hall, Tokyo	2019/6 録音	Rubicon Classics
Strad 1730 Cello "Feuermann"	Camille Thomas	Voice of Hope	2020/6/5	Deutsche Grammophon/ Univerasal Music
Strad 1725 Violin "Wilhelmj"	大谷康子	青少年のためのヴァイオリンコンサート	2020/10/19収録 YouTube 2023/12 月まで配信	国内演奏会実録版
Strad 1725 Violin "Wilhelmj"	大谷康子	浦安市・日本音楽財団ストラディヴァリウス・シリーズVol.4 大谷康子ヴァイオリン・リサイタル さわやかな秋、こころに響く、ストラディヴァリウスの調べ	2020/11/3録音	国内演奏会実録版 非売品
Strad 1725 Violin "Wilhelmj"	大谷康子	子供の未来をひらくヴァイオリンコンサート	2021/3/21録音 YouTube配信	国内演奏会実録版
Strad 1696 Cello "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández	REFLECTIONS	2021/4/21	SONY CLASSICAL
Strad 1696 Cello "Lord Aylesford"	Pablo Ferrández	ブラームス「ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲」C シューマン「ピアノ三重奏曲」 Brahms: Double Concerto	2022/1/12録音 CD & LPレコード	SONY CLASSICAL
Strad Violin 1716 "Booth"	吉田 南	吉田南 & 福間洸太郎 デュオ・コンサート	2022/1/19録音	国内演奏会実録版 非売品



保有楽器の被貸与者によるCD等一覧(2014年度～2023年度)

楽器名	被貸与者	CDタイトル	発売日等	備考
Strad Violin 1716 "Booth"	吉田 南	日本音楽財団・日本オーケストラ連盟共同事業 吉田南 ヴァイオリン協奏曲集	2022/1/15&16, 1/23, 2/5録音	オーケストラ連盟共 同事業実録版 非売品
Strad 1730 Cello "Feuermann"	Camille Thomas	浦安市・日本音楽財団 ストラディヴァリウス・シリーズVol.6 Camille Thomas Cello Recital	2022/6/29録音 CD, YouTube配信	国内演奏会実録版 非売品
Strad 1735 Violin "Samazeuilh"	柳田 祐那子	SUONO ETERNO	2021/9 録音 2022/9/30発売	OMF
Strad "Paganini Quartet"	Goldmund Quartet	Encounter with Stradivari 2022 ストラディヴァリウス・コンサート2022	2022/10/7,10/8録音 CD, YouTube配信	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1722 "Jupiter"	金川真弓	RECITAL	2022/10 録音	Octavia Records Inc.
Strad 1730 Cello "Feuermann"	Camille Thomas	Camille Thomas Cello Voice of Hope	LPLレコード	Deutsche Grammophon/ Univerasal Music
Strad Violin 1700 "Dragonetti"	Veronika Eberle	Bethoven Violin Concerto with new Caenzas by Jorg Widmann London Symphony Orchestra, Sir Simon Rattle	2022/3/11&12 London	London Symphony Orchestra
del Gesù 1740 Violin "Ysaÿe"	Benjamin Beilman	日本音楽財団・日本オーケストラ連盟共同事業 ベンジャミン・バイルマン&デル・ジェス「イザイ」	2023/2/19&2/25録 音	オーケストラ連盟共 同事業実録版 非売品
Strad Violin 1709 "Engleman"	Timothy Chooi	日本音楽財団・日本オーケストラ連盟共同事業 ティモシー・チューイ&ストラディヴァリウス「エングルマン」	2023/3/4,5&3/9, 3/11録音	オーケストラ連盟共 同事業実録版 非売品
Strad Violin 1710 "Campolice"	María Dueñas	ベートーヴェン ヴァイオリン協奏曲他	2023/1 録音	ドイツ・グラモフォン
Strad 1730 Cello "Feuermann"	Camille Thomas	The Chopin Project	2022/8/30～ 2023/2/10録音	Decca Records France, a Universal Music France label
Strad "Paganini Quartet"	Goldmund Quartet	SCHUBERT:DER TOD UND DAS MADCHEN&SONGS	2022年録音 2023/5/27発売	Berlin Classic
Strad Violin 1714 "Dolphin"	Ray Chen	Ray Chen Violin Recital レイ・チェン ヴァイオリン・リサイタル	2023/8/9録音 CD, YouTube配信	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1700 "Dragonetti"	Veronika Eberle	Veronika Eberle Violin Recital ヴェロニカ・エーバルレ ヴァイオリン・リサイタル	2023/9/9録音	公文協との共同事 業 実録版 非売品
Strad Violin 1702 "Lord Newlands" Strad Violin 1710 "Campolice" Strad 1696 Cello "Lord Aylesford"	Suyoen Kim María Dueñas Pablo Ferrández	Encounter with Stradivari 2023 ストラディヴァリウス・コンサート2023	2023/9/24録音 CD, YouTube配信	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1708 "Huggins" Strad Violin 1717 "Sasserno"	Stella Chen Ji Young Lim	Stella Chen & Ji Young Lim Duo Recital ステラ・チェン&イム・ジヨン デュオ・リサイタル	2024/1/25録音 CD, YouTube配信	国内演奏会実録版 非売品
Strad Violin 1715 "Joachim"	外村理紗	日本音楽財団・日本オーケストラ連盟共同事業	2024/1/6, 1/8録音	オーケストラ連盟共 同事業実録版 非売品
Strad Violin 1708 "Huggins"	Stella Chen	日本音楽財団・日本オーケストラ連盟共同事業	2024/1/27録音	オーケストラ連盟共 同事業実録版 非売品



音楽助成実績(2014年度～2023年度)

年度	団体名	事業名	支援額(円)	備考
2014年度	ガダニーニ・コンクール実行委員会	第3回ガダニーニ・コンクール	1,000,000	
	兵庫県立芸術文化センター	兵庫芸術文化センター管弦楽団 第71回定期演奏会	1,500,000	被貸与者出演協力 Yuki Manuela Janke
	(公社)日本オーケストラ連盟	オーケストラの日2015	1,800,000	被貸与者出演協力 大谷康子
	The Châteaueville Foundation	OPERA FOR THE YOUNG "Madama Butterfly" The Castleton Festival 2014	1,428,273	US\$13,860
計		4件	5,728,273	
2015年度	(公社)日本オーケストラ連盟	オーケストラの日2016	1,800,000	被貸与者出演協力 Ray Chen
	The Châteaueville Foundation	Casleton Alive音楽教育アウトリーチプログラム	1,905,000	US\$15,625
	東京国際ヴィオラコンクール	ヴィオラスペース2015 Vol.24 第3回東京国際ヴィオラコンクール	2,000,000	
	Krzyzowa-Music	Krzyzowa-Music Workshop with Junior Music	1,376,400	EUR10,000
計		4件	7,081,400	
2016年度	(公社)日本オーケストラ連盟	オーケストラの日2017	1,800,000	被貸与者出演協力 Svetlin Rossev
	(一財)MCFオーケストラとちぎ	マロニエール・クラシック・フェスティバル コンサートVol.4	500,000	
	インフェニートコラルコ	春を呼ぶコンサート2017 インフェニートコラルコ デビュー10周年	500,000	
	特定NPO法人ARTE MANDOLINISTICA	第4回全日本マンドリン合奏コンクール	500,000	
	Krzyzowa-Music	Krzyzowa-Music Workshop with Junior Music	1,212,400	EUR10,000
計		5件	4,512,400	
2017年度	(公社)日本オーケストラ連盟	オーケストラの日2018	800,000	被貸与者出演協力 Ji Young Lim
	(一財)宇部市文化創造財団	青少年のためのレクチャーコンサート IN宇部	1,050,000	被貸与者出演協力 渡辺玲子
	子ども発達支援センター・さんだ支援 チャリティコンサート実行委員会	「子ども発達支援センター・さんだ」支援 チャリティ・コンサートArabella Miho Steinbacher Violin Recital	1,600,000	被貸与者出演協力 Arabella Miho Steinbacher
	みやこじま青少年国際音楽祭実行委員会	第4回みやこじま青少年国際音楽祭	500,000	
	(特非)ARTE MANDOLINISTICA	第11回ARTE国際マンドリンフェスティバル&コンクール	2,100,000	ヴァイオリンとマンドリンの 為の「Star Fantasy」作曲料 含む 被貸与者出演協力 Yuki Manuela Janke
	(一社)Music Dialogue	Music Dialogueディスカバリー・シリーズ 2017-18 (第1回～第5回)	500,000	
計		6件	6,550,000	
2018年度	(公社)日本オーケストラ連盟	オーケストラの日2019	500,000	被貸与者出演協力 竹澤恭子
	(特非)ARTE MANDOLINISTICA	ARTE TOKYO 第8回定期公演	500,000	
	Krzyzowa Music クシヨバ ミュージック	Krzyzowa Music (クシヨバミュージック室内楽ワークショップとフェスティバル)	500,000	500,000円相当EUR
	Mahler Chamber Orchestra (通称MCO) マーラー室内管弦楽団	MITSUKO UCHIDA AND MCO AT CARNEGIE HALL 内田光子とMCO@カーネギーホール	1,000,000	1,000,000円相当EUR
	東京国際ヴィオラコンクール実行委員会	ヴィオラスペース2018 vol.27 第4回東京国際ヴィオラコンクール	500,000	
	子ども発達支援センター・さんだ チャリティ・コンサート実行委員会	「子ども発達支援センター・さんだ」支援チャリティ・コンサート	1,000,000	被貸与者出演協力 Yuki Manuela Janke
	NPO法人マギーズ東京 チャリティ・コンサート実行委員会	マギーズ東京支援・がんに影響を受けたすべての人々のための チャリティ・コンサート	1,000,000	被貸与者出演協力 Benjamin Beilman



音楽助成実績(2014年度～2023年度)

年度	団体名	事業名	支援額(円)	備考
	(特非)東京ジュニアオーケストラソサエティ	東京ジュニアオーケストラソサエティ 第19回定期演奏会	500,000	
	(公財)神奈川フィルハーモニー管弦楽団	定期演奏会 みなとみらいシリーズ341回 ～100年前の横浜物語/ロシア音楽の醍醐味	500,000	
	計	9件	6,000,000	
2019年度	(特非)ARTE MANDOLINISTICA	ARTE TOKYO 第9回定期公演	500,000	
	岡山市ジュニアオーケストラ	岡山市ジュニアオーケストラ創立55周年記念演奏会 第22回スプリングコンサート	0	コロナウイルス感染症拡大に伴う中止
	(特非)東京ジュニアオーケストラソサエティ	東京ジュニアオーケストラソサエティ第20回定期演奏会	1,500,000	
	Mahler Chamber Orchestra (通称MCO) マーラー室内管弦楽団	MITSUKO UCHIDA AND MCO: RETURNING TO CARNEGIE HALL 内田光子とMCO@カーネギーホール再び	974,738	コロナウイルス感染症拡大に伴う中止 支払済み経費の支援 EUR8,290
	(一社)Music Dialogue	Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ 2019-20 (第1回～第4回)	1,000,000	
	計	4件	3,974,738	
2020年度	認定NPO法人ミュージック・シェアリング	ICEP 2020 日本	500,000	
	(特非)東京ジュニアオーケストラソサエティ	東京ジュニアオーケストラソサエティ第21回定期演奏会	0	コロナウイルス感染症拡大に伴う中止
	(一社)Music Dialogue	Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ2020-21	1,000,000	
	ゼフィルス・ピアノ五重奏団	ゼフィルス・ピアノ三重奏 (旧:ゼフィルス・ピアノ五重奏団 第二回定期演奏会)	500,000	コロナウイルス感染症拡大により次年度実施
	飛騨かわいチェロリサイタル実行委員会	真夏の夜の夢のコンサート ～金木博幸と素敵な仲間たち～	200,000	コロナウイルス感染症拡大により次年度実施
	(特非)ARTE MANDOLINISTICA	ARTE MANDOLINISTICA 浜松公演2020	300,000	
	ヒロシマ・ワールド・ユース・オーケストラ	第一回ヒロシマ・ワールド・ユース・オーケストラコンサート	0	コロナウイルス感染症拡大に伴う中止
	シンフォニエッタ静岡	シンフォニエッタ静岡 第62回定期公演(第1回大阪定期公演)	1,000,000	
	延岡フィルハーモニー管弦楽団	延岡フィルハーモニー管弦楽団《楽団創立30周年記念》第19回定期演奏会	500,000	コロナウイルス感染症拡大により次年度実施
	クラシック音楽に親しむ講座の会	蚕都上田で室内楽を織る ～地方で室内楽の本物の質感にふれる～	0	コロナウイルス感染症拡大に伴う中止
	東海市	東日本大震災から10年 新日本フィルハーモニー交響楽団 思う心のコンサート	600,000	
	計	8件	4,600,000	
2021年度	コンサート倶楽部ゆざわ	葵トリオリサイタル	400,000	
	アンサンブル・ファルケ	爆奏! 新感覚公演Vol.2	250,000	
	ウェールズ弦楽四重奏団	ウェールズ弦楽四重奏団ドイツツアー演奏会	0	コロナウイルス感染症影響により中止
	(公社)日本オーケストラ連盟	オーケストラの日2022	700,000	
	コンサートゾン事務局	弦楽ピアノ室内楽収録プロジェクトvol.2	700,000	
	(公財)仙台市市民文化事業団	仙台銀行ホール イズミティ21 コンサートシリーズ イズミノト	500,000	
	みやこじま青少年国際音楽祭実行委員会	第6回みやこじま青少年国際音楽祭	300,000	
	(特非)東京ジュニアオーケストラソサエ	東京ジュニアオーケストラソサエティ 第21回定期演奏会	700,000	
	(一社)Music Dialogue	Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ2021-22	1,000,000	
	ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団メンバーによる室内楽演奏会	ミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団メンバーによる室内楽演奏会	750,000	
	計	9件	5,300,000	



音楽助成実績(2014年度～2023年度)

年度	団体名	事業名	支援額(円)	備考
2022年度	東京国際ヴィオラコンクール実行委員会	ヴィオラスペース2022 vol.30 第5回東京国際ヴィオラコンクール	1,000,000	
	(公社)日本オーケストラ連盟	オーケストラの日2023	200,000	
	(特非)ハマの JACK	過去と未来を繋ぐ室内楽コンサート Vol.1「変奏曲」	500,000	
	横浜楽友会	QUARTET BIENNALE YOKOHAMA 2022	300,000	
	創	黒川侑・佐藤晴真・阪田知樹ピアノトリオvol.3	300,000	
	木曾音楽祭実行委員会	第48回木曾音楽祭	500,000	
	(公財)広島市文化財団	人気ソリスト達によるピアノトリオコンサート	300,000	
	プロジェクト Q 実行委員会	プロジェクト Q・第20章 ～若いクアルテット、ハイドンに挑戦する～	1,000,000	
	nawaKIKAKU 実行委員会	鱒を弾く	200,000	
	(一社) Music Dialogue	Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ2022-23	440,000	
	(一社) Reise	Reise String Laboratory シリーズ	300,000	
計		11件	5,040,000	
2023年度	エス・ストリングス	ナナナナナ・アンサンブル Vol.3	300,000	
	木曾音楽祭実行委員会	第49回木曾音楽祭	500,000	
	Cabinet of Curiosities	Cabinet of Curiosities 2023 New“Chamber”Music	400,000	
	(一社) コジマ・ムジカ・コレギア	しまなみ海道・秋の音楽休暇村2023	500,000	
	(特非)東京ジュニアオーケストラソサエティ	東京ジュニアオーケストラソサエティ 第23回定期演奏会	800,000	
	(公社)日本オーケストラ連盟	オーケストラの日2024	700,000	
	(公財)廿日市市芸術文化振興事業団	はつかいち室内合奏団“SA・KU・RA”演奏会2023	500,000	
	広島ジュニアオーケストラ	青少年によるオーケストラの祭典 合同記念演奏会	300,000	
	プロジェクトQ実行委員会	プロジェクトQ・第21章～若いクアルテット、シューベルトに挑戦する	1,000,000	
	(一社) Music Dialogue	Music Dialogue ディスカバリー・シリーズ2023-24	520,000	
	(一社) Reise	Reise String Laboratory シリーズ	300,000	
計		11件	5,820,000	
総計	2014年度～2023年度 事業数と支援額	71件	54,606,811	

「ランチタイムコンサート」の開催

日本財団ビルバウールームでの「ランチタイムコンサート」は2001年の第1回から2018年の第349回まで日本財団が開催していたが、2019年10月開催の第350回より当財団が運営を引き継いだ。

音楽文化の振興と普及を目的に、プロを目指している若手演奏家に演奏の機会を提供し、地域の方々を中心に、来場者には音楽を身近で鑑賞いただけるように、原則、月2回のお昼時間に「ランチタイムコンサート」として無料で開催している。

出演者は一般公募し、書類及び動画審査により決定している。

日 程 毎月第2、第4水曜日 12:10～12:50

場 所 日本財団バウールーム(東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル1階ロビー)

2019年度

下記の9公演で約1,100名が来場した。

- ①「第350回」2019年10月9日(水) 来場者数163名
「ヴァイオリンとピアノの美しき調べ〜デュオコンサート」
山田香子(ヴァイオリン) 白河俊平(ピアノ)
- ②「第351回」2019年10月23日(水) 来場者数101名
「一度は耳にしたことのある名曲マリンバコンサート」
佐藤大希(マリンバ) 佐藤美玖(マリンバ)
- ③「第352回」2019年11月13日(水) 来場者数100名
「Flute Trio Cortiare ランチタイムコンサート」
Flute Trio Cortiare
橋本奈津希 星野美波 渡邊麻美(フルート)
- ④「第353回」2019年11月27日(水) 来場者数141名
「フランス音楽の調べ」
竹本百合子(ヴァイオリン) 高木美来(ピアノ)
- ⑤「第354回」2019年12月11日(水) 来場者数115名
「Trio Del Arte ランチタイムコンサート」
Trio Del Arte
久保山菜摘(ピアノ) 内野佑佳子(ヴァイオリン) 河野明敏(チェロ)
- ⑥「第355回」2019年12月25日(水) 来場者数115名
「Tetsu Suzuki & Ayataro Ishikawa Jazz Live」
鈴木 哲(テナーサックス) 石川綾太郎(ピアノ)
- ⑦「第356回」2020年1月8日(水) 来場者数80名
「箏・二十五絃箏 ソロコンサート」
金子展寛(箏)
- ⑧「第357回」2020年1月22日(水) 来場者数130名
「YEAH Quartet ～弦楽四重奏の愉しみ～」
YEAH Quartet
萩原安里紗(ヴァイオリン) 栗林衣李(ヴァイオリン)、桂田光理(ヴィオラ) 梶原葉子(チェロ)



⑨「第358回」2020年2月12日(水) 来場者数140名

「フランス音楽の風」

齋藤 碧(ヴァイオリン) 尾城杏奈(ピアノ)

※以下に予定していたランチタイムコンサートは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、開催を中止した。

2020年2月26日、2020年3月11日、2020年3月25日

2020年度

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定した演奏会はすべて中止となったが、出演予定者による演奏動画(演奏15分、自己紹介・曲紹介等5分計20分)を収録し、日本音楽財団ランチタイムコンサート YouTubeで公開した。

動画協力演奏家は下記のとおり10組となった。

<2020年9月16日収録>

①「童謡オペラ!ランチタイムコンサート」

渡辺正親(テノール)、木村雄太(バリトン)、佐々木華(フルート)、玉崎優人(ピアノ)

②「気軽に聴けるクラシックコンサート」

野村なつき(ピアノ)

<2020年9月30日収録>

③「ヴィオラが奏でるロマンス」

中 恵菜(ヴィオラ)、北端祥人(ピアノ)

④「ブギウギピアノの祝典」

高瀬啓伍(ピアノ)

<2020年10月7日収録>

⑤「ピアノデュオで巡る音の旅」

尾島紫穂(ピアノ)、寺元嘉宏(ピアノ)

⑥「鳥羽咲音 チェロ・リサイタル」

鳥羽咲音(チェロ)、鳥羽泰子(ピアノ) ※出演者の希望により2021/3/31までの限定配信

<2020年10月14日収録>

⑦「箏二重奏の世界」

阪元沙有理(箏)、日吉章吾(箏)

⑧「メゾソプラノ&ピアノ デュオ・コンサート～ショパンとフランスに寄せて～」

持田温子(メゾソプラノ)、原久美子(ピアノ)

<2020年10月28日収録>

⑨「It's a Classic Time!!」

柳田茄那子(ヴァイオリン)、居福健太郎(ピアノ)

<2020年11月25日収録>

⑩「Contra Quartetto」

川野朝葉(コントラバス)、河村美蘭(コントラバス)、堀内堅太(コントラバス)、

佐藤大哉(コントラバス)

2021年度

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止とした。

2022 年度

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、開催を中止とした。

2023 年度

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、前期まで開催を中止としたが、10月から再開した。

再開については、主にコンサート中断中に演奏動画収録(2020年度)に協力してくれた演奏家を優先してスケジュールを組んだ。下記の11公演で約850名が来場した。

- ①「第359回」2023年10月11日(水) 来場者数73名

RestART!

柳田茄那子(ヴァイオリン)、居福健太郎(ピアノ)

- ②「第360回」2023年10月25日(水) 来場者数76名

ドビュッシーとショパンの名曲コンサート

野村なつき(ピアノ)

- ③「第361回」2023年11月8日(水) 来場者数84名

ランチタイムコンサート

山田香子(ヴァイオリン)、池邊啓一郎(ピアノ)



- ④「第362回」2023年11月22日(水) 来場者数78名

ブギ・ウギ・ピアノとの出会い

高瀬啓伍(ピアノ)

- ⑤「第363回」2023年12月13日(水) 来場者数88名

Xmas Concert

柳田茄那子(ヴァイオリン)、居福健太郎(ピアノ)

- ⑥「第364回」2024年1月10日(水) 来場者数50名

箏・二十五弦箏コンサート

金子展寛(箏)

- ⑦「第365回」2024年1月24日(水) 来場者数98名

ピアノデュオで巡る音の旅

尾島紫穂(ピアノ)、寺元嘉宏(ピアノ)

- ⑧「第366回」2024年2月14日(水) 来場者数71名

メゾソプラノ&ピアノ デュオコンサート ～ショパンとフランスに寄せて～

持田温子(メゾソプラノ)、原久美子(ピアノ)

- ⑨「第367回」2024年2月28日(水) 来場者数72名

ドイツ音楽の調べ

野村なつき(ピアノ)

- ⑩「第368回」2024年3月13日(水) 来場者数72名

オペラ!オペラ!オペラ! 男たちによるランチタイムオペラコンサート

渡辺正親(テノール)、木村雄太(バリトン)、渡邊拓也(ピアノ)

- ⑪「第369回」2024年3月27日(水) 来場者数84名

Meguna Naka × Yui Harashima ランチタイムコンサート

中 恵菜(ヴィオラ)、原嶋 唯(ピアノ)



日英表記一覧

A	Adt	Adt , Pinchas	ピンカス・アット (Goldmund Q)
	Amati,	Amati , Nicolo	ニコロ・アマティ
	Andreoli	Andreoli , Paolo	パオロ・アンドレオーリ (Cremona Q)
	Aylesford	Aylesford , Lord	アイレスフォード卿
B	Baranov	Baranov , Andrey	アンドレイ・バラノフ
	Baumgartner	Baumgartner , Roland	ローランド・バウムガウトナー
	Berman	Berman , Benjamin	ベンジャミン・バイルルマン
	Blunt	Blunt , Lady	レディ・ブラント
	Booth	Booth	ブース
C	Camposelice	Camposelice	カンボセリーチェ
	Carnet	ATA Carnet	ATAカルネ
	Chen	Chen , Ray	レイ・チェン
	Chen	Chen , Stella	ステラ・チェン
	Chooi	Chooi , Timothy	ティモシー・チューイ
	Cremona	Quartetto di Cremona	クレモナ・クアルテット
D	del Gesu	del Gesu	デル・ジェス (バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリの通称)
	Dolphin	Dolphin	ドルフィン
	Dragonetti	Dragonetti	ドラゴネッティ
	Dueñas	Dueñas , María	マリア・ドウエニャス
E	Eberle	Eberle , Veronika	ヴェロニカ・エバールレ
	Eguchi	Eguchi , Akira	江口 玲 (piano)
	Engleman	Engleman	エンゲルマン
F	Ferrández	Ferrández , Pablo	パブロ・フェランデス
	Feuermann	Feuermann	フォイアマン
	Frang	Frang , Vilde	ヴィルデ・フラング
	Fujiwara	Fujiwara , Mari	藤原真理
	Fukuma	Fukuma , Kotaro	福間洸太郎 (piano)
G	Gibboni	Gibboni , Giuseppe	ジュゼッペ・ジッボニー
	Gillinson	Gillinson , Sir Clive	クライヴ・ギリンソン
	Goldmund	Goldmund Quartet	ゴルトムント・クアルテット
	Goto	Goto , Ryu	五嶋 龍
	Gramaglia	Gramaglia , Simone	シモーネ・グラマーリヤ (Cremona Q)
	Gualco	Gualco , Cristiano	クリスティアーノ・グアルコ (Cremona Q)
H	Hagen	Hagen Quartet	ハーゲン・クアルテット
	Hagen	Hagen , Clemens	クレメンス・ハーゲン (Hagen Q)
	Hagen	Hagen , Lukas	ルーカス・ハーゲン (Hagen Q)
	Hagen	Hagen , Veronika	ヴェロニカ・ハーゲン (Hagen Q)
	Hagiwara	Hagiwara , Mami	萩原麻未 (piano)
	Hakhnazaryan	Hakhnazaryan , Mikayel	ミカエル・ハクナザリアン (Kuss Q)
	Harada	Harada , Koichiro	原田幸一郎
	Hayashi	Hayashi , Eri	林 絵里 (piano)
	Hill	Hill , Andrew	アンドリュー・ヒル
	Hokamura	Hokamura , Risa	外村理紗
	Huggins	Huggins	ハギンス
I	Ifuku	Ifuku , Kentaro	居福健太郎 (piano)
	Ikebe	Ikebe , Shinichiro	池辺晋一郎
	Ikeda	Ikeda , Kikuei	池田菊衛

日英表記一覧

	Ishizaka	Ishizaka , Danjulo	石坂団十郎
J	Janke	Janke , Yuki Manuela	有希・マヌエラ・ヤンケ
	Joachim	Joachim	ヨアヒム
	Jupiter	Jupiter	ジュピター
K	Kamio	Kamio , Mayuko	神尾真由子
	Kanagawa,	Kanagawa , Mayumi	金川真弓
	Kaneko	Kaneko , Yoko	金子陽子 (piano)
	Kano	Kano , Eiko	加野景子
	Kavafian	Kavafian , Ida	アイダ・カヴァフィアン
	Khachatryan	Khachatryan , Lusine	ルジーネ・ハチャトゥリアン (piano)
	Khachatryan	Khachatryan , Sergey	セルゲイ・ハチャトゥリアン
	Kim	Kim , Kaskashian	キム・カシユカシヤン
	Kim	Kim , Suyoen	キム・スーヤン
	Kosuge	Kosuge , Yu	小菅 優 (piano)
	Koyama	Koyama , Sayuri	小山さゆり (piano)
	Kuss	Kuss , Jana	ヤーナ・クス (Kuss Q)
	Kuss	Kuss Quartet	クス・クアルテット
L	Launoit	de Launoit , Yvan	イバン・デ・ラウノア
	Li	Li , Lun	リユン・リー
	Lim	Lim , Ji Young	イム・ジョン
M	Maazel	Maazel , Lorin	ロリン・マゼール
	Maeda	Maeda , Hina	前田妃奈
	Matsumoto	Matsumoto , Kazumasa	松本和将 (piano)
	Muntz	Muntz , H.M.	ムンツ
N	Newlands	Newlands , Lord	ニューランズ卿
	Nott	Nott , Jonathan	ジョナサン・ノット
O	Osuga	Osuga , Eri	大須賀恵理 (Piano)
	Otani	Otani , Yasuko	大谷康子
P	Paganini	Paganini , Nicolò	ニコロ・パガニーニ
	Paratore	Paratore , Raphael	ラファエル・パラトーレ (Goldmund Q)
	Pogostkina	Pogostkina , Alina	アリーナ・ポゴストキーナ
Q	Queen	The Queen Elisabeth International Music Competition, Belgium	エリザベート王妃国際音楽コンクール (ベルギー)
R	Roussev	Roussev , Svetlin	スヴェトリン・ルセフ
	Royal	Royal Academy of Music	英国王立音楽院
S	Samazeuilh	Samazeuilh	サマズイユ
	Sasakawa	Sasakawa , Yohei	笹川陽平
	Sasserno	Sasserno	サセルノ
	Sato	Sato , Takashi	佐藤卓史 (piano)
	Scaglione	Scaglione , Giovanni	ジョヴァンニ・スカリオネ (Cremona Q)
	Schmidt	Schmidt , Rainer	レイナー・シュミッツ (Hagen Q)
	Schotz	Schötz , Florian	フロリアン・シェッツ (Goldmund Q)
	Steinbacher	Steinbacher , Arabella Miho	アラベラ・美歩・シュタインバッハー
	Stern	Stern , Issac	アイザック・スターン
	Stradivarius	Stradivarius	ストラディヴァリウス
	Suwanai	Suwanai , Akiko	諏訪内晶子
	Szulc	Szulc , Radoslaw	ラドスラフ・スルク
T	Takeuchi	Takeuchi , Koshiro	竹内鴻史郎



日英表記一覧

Takezawa	Takezawa, Kyoko	竹澤恭子
Tamura	Tamura, Hibiki	田村 響 (piano)
Thomas	Thomas, Camille	カミーユ・トマ
Toba	Toba, Ayako	鳥羽亜矢子 (piano)
U Ueda	Ueda, Haruko	上田晴子 (piano)
Urabe	Urabe, Yumiko	占部由美子 (piano)
V Vandory	Vandory, Christoph	クリストフ・ヴァンドーリ (Goldmund Q)
W Watanabe	Watanabe, Reiko	渡辺玲子
Wieniawski	International Henryk Wieniawski Violin Competition	ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリンコンクール
Wilhelmj	Wilhelmj	ウイルヘルミ
Wille	Wille, Oliver	オリヴァー・ヴィレ (Kuss Q)
Y Yamada	Yamada, Takehiko	山田武彦 (Piano)
Yanagida	Yanagida, Kanako	柳田茄那子
Yokosaka	Yokosaka, Gen	横坂 源
Yoshida	Yoshida, Minami	吉田 南 [MINAMI]
Yoshimoto	Yoshimoto, Rino	吉本梨乃
Ysaye	Ysaye	イザイ
Yu	Yu, Angelo Xiang	アンジェロ・シャン・ユー





25年記念誌
25年の歩み



30年記念誌
(1994年度～2003年度)



40年記念誌
(2004年度～2013年度)

2024年7月発行

発行 公益財団法人日本音楽財団

〒107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5階

Tel 03-6229-5566 Fax 03-6229-5570

<https://www.nmf.or.jp> info@nmf.or.jp

発行人 会長 海老沢 勝二

企画・編集

責任者 常務理事 加納 民夫

常勤理事 石川 礼子

笹川 さなへ

古河 美保

小池 裕子

青沼 可奈

岡 真里

青木 麻奈帆

諏訪 愛

Adorn...

The 50th Anniversary of the Nippon Music Foundation
and
The 30th Anniversary of the Instrument Loan Project

日本音楽財団
NIPPON MUSIC FOUNDATION